

## Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

## About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

マイクロフィルム版

国立国会図書館所蔵

近代  
日本  
黎明期文学書集成  
目録

ナダ書房

第 I 部・第 II 部 目 次  
(五十音順)

牛 山 良 助	116	染 崎 延 房	22
宇田川 文 海	48	高 瀬 真 卿	73
岡 本 起 泉	25	高 畠 藍 泉	42
織 田 純一郎	107	田 島 象 二	102
仮名垣 魯 文	3	坪 内 逍 遙	98
九 岐 晰	100	戸 田 欽 堂	57
久保田 彦 作	34	梅 亭 金 鷲	16
小宮山 桂 介	117	服 部 誠 一	88
小 室 信 介	64	久 松 義 典	110
坂 崎 斌	61	藤 田 茂 吉	71
柴 四 朗	114	松 村 春 輔	30
條 野 伝 平	36	万 亭 応 賀	11
末 広 重 恭	90	宮 崎 夢 柳	59
須 藤 南 翠	79	矢 野 文 雄	66

第I部 開化期編



# 仮名垣魯文

文政十二年～明治二十七年（一八二九～九四） 本名野崎文藏。維新の際、仮名垣魯文を通称とする。神奈垣魯文、猫々道人、鈍亭魯文、鈍琢楼人、猫痴魯叟、猫叟。万延元年『滑稽富士詣』（文久元年）刊。明治五年七月、山々亭有人と戯作界を代表し「著作道書キ上ゲ」と題する答申書提出。八年十一月「仮名読新聞」を設立。十九年十月、一子熊太郎急死。——AC（野崎左文・石川巖）B（柳田泉）DEGI（興津要）H（浅井清）、興津要『明治開化期文学の研究』『明治文学全集』1（略歴）2（参考文献）参照。

## ①

万国航海 西洋道中膝栗毛

仮名垣魯文戯著 東京 椀屋伊兵衛・椀屋伊三郎・椀屋喜兵衛（万笈閣）発売

和・木版8行 三十冊19cm 初編(上)序(3年9月、河丈紀)2+凡例・口絵2+19丁、(下)20丁、二編(上)自序

(3年閏10月)2+凡例附言・口絵2+19丁、(下)22丁、三編(上)序2+自序(4年春)4+19丁、(下)21丁(20丁

欠)、四編(上)序(4年1月、風柳子義酒雄)2+彩色口絵2+本文読例2+14丁、(下)20丁、五編(上)序(4年2

月)3+彩色口絵・題字2+21丁、(下)19丁、六編(上)自序(4年夏)2+序(玉川亭香魚)1+彩色口絵2+14

丁、(下)22丁、七編(上)序(4年夏初、砂燕)2+仮名違片言附訛語雑字俗用集3+彩色口絵・題字2+12丁、

(下)20丁、八編(上)序(4年7月、魁園庸史)1+彩色口絵2+凡例附言1+16丁、(下)19丁、九編(上)序(4年9

月)2+序・彩色口絵・題字(随庵)3+14丁、(下)17丁、十編(上)序(4年仲秋、星一)2+彩色口絵・題字(紀

魯)・後序(那夢伝盲屋老人)5+13丁、(下)23丁、十一編(上)叙(5年孟春、久保田重信)・自序5+彩色口絵

2+13丁、(下)23+目録1丁

〔わ913 6-2〕 R 1-1 28 51 78 103 132 155 179 202 233 255 280 365 328 351 376、R 2-1 23 43 67 93 118

万国航海

西洋道中膝栗毛

仮名垣魯文原作・総生寛統編

十二編(上)自序・彩色口絵・題字5+西洋膝栗毛次編依頼之記(7年1月、魯文)2+18丁、(下)19丁、十三編

(上)序(7年12月)3 + 彩色口絵・題字2 + 14丁、(下)21丁、十四編(9年3月刊)(上)序2 + 彩色口絵3 + 15丁、(下)21丁、十五編(上)序・彩色口絵4 + 15丁、(下)19丁

挿絵 落合芳幾(一、四、六、十編)、立斎広重(五編)、惺々暁斎(十一、十五編)

△拙者の膝栗毛僥倖に時好にかなひて発行毎部千に下らず 梓客の耳たぶ作者のまぐれ当り喝采々と讚

すべし(八編凡例附言)

②

牛店 雑談 安愚楽鍋 一名奴論建

仮名垣魯文戯著 芳幾・暁斎画 明治四年四月自序 (初編)京都・堺屋仁兵衛

和・木版8行 五冊18cm (初編)扉・自序2 + 口絵・標目2 + 22丁、(二編)(上)序1 + 跋・題字3 + 彩色口

絵2 + 14丁、(下)22丁、(三編)(上)序(小野涼亭)2 + 広告・告条3 + 21丁、(下)21丁 [245-9] G R3-1 33 57 84 112

△第四五編ひきつゞいて出版此次輯ハ西洋栗毛の六編にて御披露の当世流行のざんぎりあたま洋学書生の

大穿ち其熱中実施に涉りたる滑稽恢諧御評判く(三編末尾)

③

河童 相伝 胡瓜遣

仮名垣魯文戯著 暁斎画 明治五年孟春序 東京・椀屋喜兵衛(万笈閣)梓

和・木版8行 二冊19cm (初編)(上)自序・凡例2 + 目録・彩色口絵3 + 16丁、(下)22丁 [245-10] G R3-1 137 165

△此小冊子胡瓜遣と題号る故縁ハ福沢先生の窮理図解世に高評の音通を仮用し実学有益の確論を無用の戯

④

倭国字西洋文庫

那勃列翁一代記 仮名垣魯文作 河丈紀校 芳虎画 東京 紅木堂梓

和・木版 三冊18cm (初編)扉・彩色口絵2 + 序・彩色口絵3 + 凡例ならびにおほむね・本文16丁(6丁

欠)、(二編)扉・彩色口絵2 + 序・彩色口絵2 + 16丁(14 15丁欠)[5年孟春発兌]、(三編)扉・彩色口絵2 + 序・彩色口絵2 + 18丁 [207-153] [大惣かし本] G R3-1 192 218 242

△此さうしハ吾友英国通弁鉄舟河丈紀なる人、英の画工ワクマンといへるものゝ一夕話なるよしにてかた

れるまゝそをたねとしてあらたにつくりまうけたり▽(凡例)

⑤ 西洋料理通 英人選述 仮名垣魯文編 暁斎画 明治五年秋序 東京 江島喜兵衛(万笈閣)梓

和・木版9行 二冊18cm (上)叙2+題字(菱潭)・口絵4+凡例2+21丁、(下)31+万笈閣出版書目9+

売捌書肆2丁 [209-27] G R 3-268 300

△原書一帙英文和解二様を挙て以一本と為 是ハ英人某我横浜居留の間 皇国の傭夫に委く食料調理を命ずるの手沢帖なり▽(凡例)

⑥ 首書 絵入 世界都路 仮名垣魯文著述 沢菱潭浄書 平田思成首書 暁斎画 明治五年仲夏 江島喜兵衛発兌

和・木版5行鼈頭10行 六冊22cm [巻一欠]、(二)45丁、(三)彩色地図2+43丁、(四)題字2+彩色地図2+36丁、(五)彩色地図2+36丁、(六)彩色地図2+35丁、(七)彩色地図2+14丁 R 4-149 99 145 187 218

柳田泉文庫に「巻一 亜細亞洲」所蔵 [特31-592]

⑥ b 通俗理話 初編 仮名垣魯文翻案 暁斎画 明治五年仲冬序 東京 江島喜兵衛(万笈閣)蔵

和・木版9行 二冊23cm (上)自序2+目錄1+18丁、(下)18+広告(万笈閣、知新館)11丁 吉野文庫

⑦ 大洋新語 蛸入道魚説教 初編 仮名垣魯文著 暁斎画 明治五年六月 桃源斎蔵版 存誠閣発兌

和・木版7行 18cm 序1+叙(蝙蝠傘人)1+総括・凡例1+口絵2+15丁 [特44-317] C E L R 3-344

広告に「二篇・三篇近刻」とあり

⑦ b 三則教の捷徑 仮名垣魯文述 石亭画 [明治六年七月]

和・木版6行 18cm 彩色口絵(見開)+24丁(挿絵9図) 吉野文庫

⑦ c 横浜往来 神奈垣魯文編 巻菱潭書 明治六年七月 横浜 新聞会社・東京 椀屋喜兵衛(万笈閣)梓

和・木版4行 23cm 序(三栗居士、伊達千広)4+題字・口絵(暁斎)2+18丁 C E 国会図書館 [特31-103]

⑦ d 文明子宝習字章 神奈垣魯文編 巻菱潭書 明治六年十月序 東京 和泉屋吉兵衛板

⑧ 和・木版5行(鼈頭10行) 23cm 序(苟完舎主人)2+57丁 彩色地図7葉 C◎ 国会図書館〔特42-176〕

佐賀電信録 神奈垣魯文編輯 明治七年九月 名山閣発售

和・木版9行 二冊23cm (上)序(岩村礫水)3+小引3+34丁、(下)32丁

〔特31-957〕◎ACE R4 238 282

△此書事実の概略を得る者ハ僕近年横港に寄寓し久しく新聞会社編漢の未机に列するを以て佐賀県鼎沸の始より官軍凱旋の終り迄臨時公聞電報及び四方寄来の投書社中報者の手記に到り毎日聞紙に掲載する者号を次で其顛末結局を知るを要す 其中偶々謬説なきにあらねば抄録の際各種の新聞紙に照対し或ハ実地を経て確乎たる条件決して疑ひを容ざる信書等を撰び順序拔萃する所数葉に充てり▽〔小引〕

⑧b 現今支那事情 神奈垣魯文鈔輯 明治八年二月 桜楓社蔵版 東京 和泉屋吉兵衛版 吉野文庫

和・木版10行 二冊23cm (上)肖像1葉+緒言2+目錄1+口絵4+地図1+52丁、(下)38丁 挿画1葉

⑨ 西南鎮静録 仮名垣魯文編輯 明治九年十二月、(続)十年三月 東京・牧野吉兵衛發行 名山閣発售

和・木版9行 四冊23cm (上)序(栗本鋤雲、成島柳北)5+西南縮図1+32丁、(下)33+附言2丁、(続

編上)附言・地図1+47丁、(下)50丁 挿画13葉(芳年画) 〔特31-959〕CFS◎ R4 317 362 400 452

△編輯者伏て大方の看客に広告す 該書腹稿の最初至急の際物なるを以て一帙二卷全部とせんを欲せしに余が本業世に知らるゝ日刷新聞記者なるより且に当社して夕に帰家の間午前七時に起て午後十一時に臥す寸暇閨房を避て徹夜机上に寄れば翌日の職為に怠らざるを得ず 故に纔に一ヶ月四五日の休暇をもて此編輯に充筆記章を成す 其拙文識者に耻る所多しと雖も亦以て如何せん……前年余か著す所の佐賀電信録ハ多少伝聞の謬誤ありしかど一時迅速の功をもて多く時好に適ひ書肆の大吉利市記者の筆硯万福なるを世人羨慕の余り這回西南變動の挙に當つて諸府県下に異名同伴の書冊陸續刊行発兌せる者に属したるハ後雁

⑩ 酌子 定妓 芸者の心得 初輯 仮名垣魯文著・出版 広重画 明治十二年一月新刻 和同開珍社



- ⑩ e 添へ文の足らぬを補ひ猫尾に虎の緒を継て三編統貂の草史に換るハ余が猫面と謝す可き而已▽  
恋相場花王夜嵐 猫々道人著述 国政画 明治十三年五月御届 (二)九月序 (三)十四年八月序 東京 辻岡

文助(金松堂)出版

和・木版 九冊18 cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 明治新聞雑誌文庫・国会図書館〔42-909〕

- ⑪ 鋸山玉石異訓 初編 猫々道人原稿 岡丈紀操觚 明治十六年一月 東京・榎本直衛(勸文堂)出版

和・木版8行 二冊18 cm (上)序(岡丈紀)・彩色口絵2+20丁、(下)20丁 〔特40-619〕A R 5-28 52

△客歳の晩夏猫々道人魯翁曾て筇を房絵二州に曳き暑を鋸山の霊場に避るの日偶然一樵夫より聴得し此物語りハ其趣旨克く勸懲の道に愜ひ且近世の一奇談なるものから魯翁遂に帰京の後玉石異聞の名を設けて伊呂波紙上に号を嗣ぎ陸続登録せられしも八十面の長きに至り其稿未だ全からねど猶看客の喝采ハ愈高く響しより書肆の主個勸文堂がそを小冊稗史にもせんと屢魯翁に請ふ折から魯文翁机辺の繁劇き余り即ち迂生にこれを托して操觚せしめし初編の一帙素来本記の拔萃にて毫も愚衷を交へざれば標題も其尽一字を換へ玉石異訓と斯ハ号けつ▽(序) 〔編輯人として稲垣正毗の名あり〕

- ⑫ 稲葉猴雪燈新話 仮名垣魯文戯述 孤蝶園若葉編輯 年恒画 明治十六年十月 東京・鈴木喜右衛門出版

和・活版12行 二冊18 cm (前)緒言・彩色口絵2+28丁、(後)32丁 〔特41-868〕A R 5-75 108

△該賊「稲葉小僧」が悪名世に高きより其行事を物々しく作案せしハ岳亭定岡が神稻水滸伝を始めとし其の他稗史合巻劇場の脚色にも古人鶴屋南北が新作以来近年もまた翻案して演劇せり▽(緒言)

- ⑬ 尾張の山三当世芸者歌舞伎 仮名垣魯文原著 孤蝶園若葉編輯 春香外題画 芳幾画 明治十六年十一月 東京・横田兼太郎出版 松江堂発兌

出雲のお国

和・活版12行 18 cm 千種花音頭新唄・彩色口絵2 + 57丁  
〔特43-34〕A R 5-143

△編者白す此全章ハ曩に猫々道人が戯述にて歌舞伎新報に陸続掲載せしもの也 然るを此度常磐なす松江堂の主個当時流行の絵入小冊に綴らんとの所望に依て那前板の誤植を訂正猶有名なる梅花園春香画の快画を加えて再梓に上したり 殊に表題の芸者歌舞伎と云に因み現今新富座にて興行する「千種花音頭新唄」の一曲を序詞に換え又芸者妓惣踊りの図を口絵となせしハ寔に一時のすさみのみ▽(本文末)

⑭ 今古 實録 隱頭曾我物語 編輯人不詳 芳幾画 明治十七年四月 東京・広岡幸助出版 榮泉堂発兌

和・活版二段組16行 二冊28 cm (上)28丁、(下)33丁〔上下共、見返に目録付す〕 〔特8-756〕A R 5-205-235

⑮ 高橋阿伝夜刃譚 活版13行 18 cm 序1 + 口絵3 + 目録2 + 緒言2 + 157 + 奥付3 p

△回顧すれば八年前。余乎自己の拙筆を覚え。断然架空の業を廃し。稗史の筆を机上に投棄。飄々乎として横湾の山荘。窟蟻の茅舎に隠れ。老の学問手跡六句。翌日散る迄の帰り花。聊乎昨非を知らむと欲すに。如何せん糊口の銭術。老の坂にも世渡りの。杖突乃の字を供ふる為。新聞記者の隠居職務。活た老父乃捨所と。世に謡はれて玆に至るに。旧識の金松主人。昨今府下に名高き毒婦阿伝が顛末を潤色し。全部に補綴せよと乞ふ▽(明治十二年、序)

〔特10-738〕A内 R 5-270

⑯ 義経蝦夷軍記 和・木版12行 18 cm 45丁

鈍亨魯文編 明治十九年四月 東京・伊東武左衛門出版・編輯、吉野喜之助出版 〔特43-114〕A内 R 5-362

⑰ 夢物語高野実伝 活版12行 19 cm 序詞2 + 口絵2 + 101 + 奥付1 p

△余や往日高野氏「長英」の略伝を記しそを新聞紙の余白に掲げたりしが其原稿の麁漏なる者止めて机辺に在しを面識仁木氏之を得むと懇ろに乞へり▽(序詞)

翠松堂梓 〔特10-748〕A○内 R 6-1

⑱ 七ふ 妖狐のお楽あきつね 仮名垣魯文著 芳幾画 明治二十二年五月 東京・落合三雄(文勢堂)発行

活版15行 18 cm 小序1丁+口絵3丁+246+奥付1 p [特10-957] A R 6-59

⑲ 百足の歩ひかて 仮名垣魯文謹記 明治二十三年三月 東京・和田辰之助編輯・発行

活版10行 18 cm 題字(蔚堂)2+緒言(清水晴風)3+百足の歩3+唵咄娑婆詞(霧垣夢文)2+再興の祝ひ(内田茂文)2+毘沙門床(梅垣戯稿)4+夢中の囁言(伽藍堂無一)1+毘沙門と寅の想像説(外神田新福本の親父)1+当風唱歌(太田清吉)1+毘沙門天開祠の毬唄(喜代垣平文)1+戯文1+芸妓の俳句2 p

[特69-115] A R 6-190

⑳ 童謡甲斐の胆わらべうたかひ 仮名垣魯文著 明治二十四年九月 東京・町田宗七(扶桑堂)発行

活版13行 17 cm 序(山田伊之助)2+口絵4+171+奥付1 p [特11-533] N R 6-206

㉑ 滑稽各国漫遊記 仮名垣魯文戯著 芳年画 明治二十四年十二月 東京・鈴木金輔(三友舎)発行

活版16行 17 cm 序(河丈紀)2+序2+口絵2+凡例附言2+仮名違片言附訛言雑字俗用集3+245+奥付1 p [特11-78] A R 6-299

明治21年『粹の技折』(明治新聞雑誌文庫)を蔵書目録で確認、ほかに11年『白門新柳記』(訓点)、22年『毒婦の行末(名も鬼蔦)』があるという。また万笈閣の近刻目録に『滑稽物見車(東京遊覧)』『傾語箋(万客対話)』『西洋器会(百化物産)』『女洋学道葉』『訓蒙倭リードル』『洋名漢字通』『英語いろは部類』『洋学進書』『通俗下情博覧』『刻苦勉強論』『東京膝栗毛(西洋土産)』『西洋膝栗毛拾遺(亜墨夜話)』『天地人五色染分』の書名がみえる。

# 万亭応賀

文政元年～明治二十三年（一八一八～九〇） 本名服部孝三郎。松亭金水、梅亭金鷲のパトロン、弘化二年『釈迦八相倭文庫』（明治四年）刊。明治期の作品の多くは河鍋暁斎の戯画と共に刊行されているが、画家、作家両者の心的世界は類似しているように思われる。——AC（柳田泉）B（岡保生）DEI（興津要）、『明治文学全集』1（略歴〔興津要〕参照）。

②②

新理解 豊稔五穀祭

万亭応賀著 暁斎画 明治五年五月、（二号）六年三月 東京・小林喜右衛門梓

和・木版9行 18cm（初号）序・彩色口絵1+25丁、（二号）扉・口絵2+25丁 [特41-105] C E R 7-129

二号末尾に「三号四号引つゞき出版仕候」とあり

②② b

賢愚 聖人肝潰志

初号 万亭応賀著 暁斎画 明治五年序 東京 和泉屋市兵衛～山本平吉（計八名）

和・木版9行 二冊19cm（上）序・彩色口絵3+9丁、（下）12丁 [二編三編予告] 明治新聞雑誌文庫

②③

和談三才図笑

万亭応賀著 暁斎画 明治六年三月 東京 小林喜右衛門（仙鶴堂）梓

和・木版14行 18cm 扉・自序2+28+広告1丁 [見返に角書「文名皆化」] [特43-513] C E R 7-58

②④

新制兔美断語

万亭応賀戯述 暁斎画 明治六年三月 東京 山崎屋清七梓

和・木版9行 22cm 扉・序1+8丁 [「つゞきニヤウチウ談を見るべし」] [特44-24] C R 7-93

②⑤

当世利口女

服部孝三郎著 暁斎画 明治六年三月 山崎屋清七梓

和・木版9行 22cm 扉1+6丁 [表紙に「第五号」の文字あり] [特56-799] C R 7-105

福沢諭吉『かたわ娘』は明治五年九月刊

②⑥

分限 智恵秤

万亭応賀著 暁斎画 明治六年五月、（二）七年三月官許、（三）十月官許 東京 小林喜右衛門

（仙鶴堂）梓

和・木版9行 22 cm (一号)扉・序1+8丁、(二号)扉・序1+8丁、(三号)扉・序1+8丁 R 7-115 126 136  
 △夫智恵才能は天よりも降ず地よりも涌ものにあらざ また国によるものにもあらざ また貴賤をへだつものにもあらねど多くは古人の殆だらけの教に執着するがゆへ終に己の明を発することなし そも世の中ハ变化するものなれば古書を読むものハ其書を自評して新智に登べし さもなく古人の糟を嘗た儘を教授或ハ蟹文字を翻訳するばかりハ是一物の名の替りをするのみにて己が智にあらぬことを本文に寓解す(序)

〔特42-676〕 C E F

②⑦ 三号に「此余談四号に続」とあり 〔表紙に「第八号」の文字あり〕  
 証拠 天上大瑣事 万亭応賀著 暁斎画 明治六年六月 東京 山崎屋清七(山静堂)梓

〔特44-99〕 C R 7-148

②⑧ 和・木版9行 22 cm 扉・序1+8丁  
 大鈍託新文鬼談 二号 万亭応賀著 暁斎画 明治六年六月序 東京 山崎屋清七梓

〔特41-116〕 C E R 7-160

②⑧ b 初号は明治新聞雑誌文庫蔵。五年一月序(序・彩色口絵3+22丁)  
 権兵衛太郎兵衛孫兵衛三兵衛論 服部応賀著 暁斎画 明治七年三月官許 東京 山崎清七出版

和・木版9行 三册合本一册 22 cm 権兵衛種蒔論8+太郎兵衛水掛論8+孫兵衛活計論8丁 明治新聞雑誌文庫

②⑧ c 必慄 於祓箱 服部応賀著 暁斎画 明治七年五月官許 東京 山崎清七出版

和・木版9行 三册合本一册 22 cm 驕人必慄筐8+吃驚懲面箱8+懲面於祓函8丁 明治新聞雑誌文庫

吉野文庫に「驕人必慄筐」(七年六月、星野松蔵版)あり

②⑨ 金庫三代記 服部応賀著 暁斎画 明治七年七月 東京 山崎屋清七板

和・木版9行 三册 22 cm (初)扉1+8+奥付1丁、(二)扉1+8+奥付1丁、(三)扉1+8+服部応賀

〔特56-844〕 C F R 7-190 201 211

新著作表題・奥付1丁

②9 b 青楼半化通 服部応賀著 暁斎画 明治七年七月官許 東京 和泉屋市兵衛、山崎屋清七(計十六名)

和・木版9行 23cm (上)8+(中)8+(下)8+奥付1丁

吉野文庫

③0 諸芸烟水練 上 服部応賀著 暁斎画 明治七年十二月官許 東京 相摸屋七兵衛板

和・木版9行 22cm 8丁

〔特56-786〕C R7-223

③0 b 異形各覧会 服部応賀著 芳年画 明治八年三月 東京 恵比寿屋庄七(文昇堂)発兌

和・木版10行 二冊21cm (一号)8+奥付1丁、(二号)8+奥付1丁

明治新聞雜誌文庫

③0 c 活論学問雀 服部応賀著 暁斎画 明治八年十一月版權免許 大坂 秋田屋太右衛門ほか計十二名発兌

和・木版10行 六冊18cm 初号(上)三号(下)まで各10丁(見返に序)〔三号(下)に次号予告〕

吉野文庫

△学問ト云モノハ梁モ柱モ影モ形モナキモノナルニ当世器物ノ如クニ是ガ漢是ガ洋ト區別スレ共其用途ニ於テハ何業ニテモ區別ハナシ 其業ノ便理ヲ以テ其学問ノ体トナルモノナレバ人ニ学問ヲス、メル者ハ第一ニ己レガ取附ク漢洋ノ柱ヲ手放シ吾智ヲ明ニシテ大道ニ独立シ世ト人情ニ貫通スルニ至ラバ見ルトコロ言処普ク物理ニ的中セザルコトナキ 是ヲ真ノ学者ト云ナリ(序)

③1 修身千代見草 初・三号 服部応賀著 暁斎画 明治八年十月官許、(三)十三年四月 東京 山崎清七出版

和・木版9行 二冊23cm (初)8丁、(三)8丁

〔特67-433〕A R7-235 246

③2 天網市虎狩 服部応賀著 暁斎画 明治十一年五月 東京 山崎清七出版

和・木版9行 23cm 8丁

〔特67-433〕 R7-257

③3 東京花毛拔 二・三号 服部応賀著 暁斎画 明治十二年十二月 東京 山崎清七出版

和・木版8行〔三号9行〕 二冊23cm (二)8丁、(三)8丁

〔特67-433〕 R7-268 279

一号は明治新聞雜誌文庫所蔵。七年七月、星野松蔵出版

③4 各覧会 三号結局 こんなもの 服部応賀著 暁斎画 明治十二年十二月 東京 山崎静七(山静堂)出版

- 和・木版10行 23 cm 8丁  
 馬鹿の大妙薬 下号 服部応賀著 暁斎画 明治十三年一月 東京 山崎清七出版  
 [特67-433] R 7-290
- 和・木版9行 23 cm 8丁 [上は吉野文庫(七年十二月官許、8丁)所蔵]  
 修禅寺温泉名所記 服部応賀纂録 暁斎画 明治十三年四月 沼津 後藤仙造出版  
 [特67-433] R 7-301
- 和・木版10行 22 cm 10+伊豆国略図・温泉功能略1丁  
 童女早学文 二号 服部応賀著 暁斎画 明治十三年五月 東京 山崎清七出版  
 明治新聞雑誌文庫
- 和・木版9行 22 cm 8丁 [此次号にハ世俗の便理を悉くしるして満尾とす]  
 柳田泉文庫に一号(明治八年二月)所蔵  
 [特67-433] R 7-312
- 明治十五年未来記 万亭応賀著 明治十四年十二月御届 東京 村上奉一(文進社)出版  
 和・木版12行 17 cm 序・口絵1+9丁  
 [特54-251] R 7-323
- 諸国温泉遊覧記 服部応賀著 国利画 明治十五年五月御届 東京 長谷川忠兵衛版  
 和・木版 18 cm 豆州の部10+相州の部10+奥付1丁  
 明治新聞雑誌文庫
- 明良双葉草 万亭応賀作 国周(初編)・周延(二〜八編)画 明治十六年六月、(八編)二十一年三月 東京  
 武川清吉・武川卯之吉(沢村屋)出版
- 和・木版 十一冊18 cm 初編(上)叙・彩色口絵4+6丁、(下)10丁、二編(上)条目・彩色口絵3+7丁、(下)10丁、  
 三編(上)条目・彩色口絵3+7丁、(下)10丁、四編(上)条目・彩色口絵2+8丁、(下)10丁、六編(上)条目・彩色口  
 絵2+8丁、八編(上)条目・彩色口絵2+8丁、(下)10丁 [特42-904] A R 7-337 351 365 379 393 409 423 438 452 466 481  
 五編(上)(下)、六編(下)、七編(上)(下)欠本。明治新聞雑誌文庫と柳田泉文庫に全十六冊所蔵
- 東景歌枕 万福天力ラフル 万亭応賀著 月耕画 明治十九年三月 東京 辻岡文助(金松堂)出版  
 和・活版13行 18 cm 目録・彩色口絵2+11+奥付1丁 [次号予告] [特43-535] A内 R 7-495

④

立私飛田小学 万亭応賀著 明治十九年七月御届 東京 児玉彌吉出版

和・木版11行 23cm 10行〔尾題「学もん大安売初号終」〕

〔特67-433〕A内

R7-513

明治17年『仁義礼智信(修身図会)』(柳田泉文庫)『虫類大議論』(岩瀬文庫)を蔵書目録で確認。『方今身代ばなし』『日本女教師』『近世惘蝦蟇』『味噌寿理男』『賞罰天カラフル』を『東京府書籍館新刊書籍目録』第一輯(13年1月序)で確認、その後散逸したものと思われる。ほかに『宝積替(七福)』『造化天心録』『ニヤアチウ談』『御幣かつぎ』『ノンベングラリ』『新工風浮世写絵』があるという。

# 梅亭金鷲ばいていきんが

文政四年～明治二十六年（一八二一～一九三） 本名瓜生政和まきやす。松亭鶴仙、梅亭蕩人、梅亭化作、瓜生熊三郎、梅亭化三。松亭金水の門に入る。安政四年『七偏人（妙竹林話）』（～文久三年）刊。明治十年「団々珍聞」「驥尾団子」の主筆。——A（山崎麓・小柴值一）DI（前田愛）E（興津要）、『明治文学全集』1（略歴）〔興津要〕参照。

④1

西洋新書 瓜生政和編輯 橋本玉蘭齋画（初）明治五年中春、（二）仲夏序、（三）仲秋序、（四）明治六年三月序、（五）十一月序、（六）明治七年三月官許、（七）明治八年五月 梅村宣和蔵梓 東京 大和屋喜兵衛（宝集堂）発兌

和・木版10行 十四冊23cm 初編(上)序・彩色地図・目録・凡例4+41丁、(下)37丁、二編(上)序(三驚宇史)・彩色地図・目録・凡例4+37丁、(下)36丁、三編(上)序(植□泰通)・彩色地図・目録4+35丁、(下)35丁、四編(上)序(橋茂)・彩色地図・目録5+仏都巴黎斯名勝一覽1枚+33丁、(下)35丁、五編(上)序(鈴木成章)・彩色地図・目録4+一八六七年巴黎斯全圖1枚+標目6+32丁、(下)34丁、六編(上)序(天籟狂夫)・彩色地図・目録4+35丁、(下)36丁、七編(上)叙(信縁生葉松石)・彩色地図・目録4+39丁、(下)36丁

〔特31-671〕 C E M © R 8-1 50 90 135 174 218 256 300 338 386、R 9-1 44 83 126

初～三編アメリカの部、四～六編フランスの部、七編イギリスの部

④1 b

究理和解 中神保訳 瓜生政和校訂 明治五年六月 寺内章明蔵 東京 大和屋喜兵衛発兌  
和・木版10行 三冊22cm (上)序(瓜生)・目録・凡例2+27丁、(中)目録1+27丁、(下)目録1+20+奥付1丁

吉野文庫

④2

説教心得艸 瓜生政和編輯 寧齋画〔明治五年?〕 東京 文璘堂發行

- ④2 b 和・木版8行 二冊18cm (乾)題字・目錄・口絵・凡例3+21丁、(坤)17丁 [特36-485] C E L R 9-165 192  
西洋見聞図解 瓜生政和編集 明治六年二月序
- 和・木版9行 三冊18cm 初編(上)題字・目錄・凡例2+20丁、(下)18丁、(二編)序(梅村清)1+題字・目錄  
・凡例2+(上)17+(下)20+奥付1丁 吉野文庫
- ④2 c 各英智史略 関吉孝翻訳 瓜生政和校訂 玉蘭齋画 明治六年初冬、(一)七月 東京 大和屋喜兵衛発兌  
和・木版10行 四冊23cm 初編(上)題字1+例言・口絵・目次4+81丁、(下)38丁、二編(上)叙・目次4+  
35丁、(下)38丁 ◎C E O 国会図書館 [特32-8]
- ④2 d 素読究理双紙 瓜生政和著 明治六年序  
和・木版5行(鼈頭10行) 19cm 序・目錄・凡例2+20丁 ◎E F 国会図書館 [特38-19]
- ④2 e 童蒙心得草 瓜生政和編集 寧齋画 明治六年序 須原屋茂兵衛丁字屋忠七 計16名発兌  
和・木版8行 四冊18cm 前集(一)序(静巖居士)・目錄3+23丁、(二)20丁、二集(上)叙・目錄3+22丁、  
(下)20丁 C E 国会図書館 [特36-489]
- ④3 芳香余談 二葉廼風 瓜生政和編輯 寧齋画 明治六年九月序 錦森堂発兌  
和・木版8行 三冊23cm (一)序(野口貞)3+26丁、(二)28丁、(三)25丁 [特38-641] ◎C E R 9-212 245 276
- ④4 西哲叢談 瓜生政和編輯 明治六年七月序  
和・木版10行 三冊23cm (一)叙・口絵・目錄5+32丁、(二)36丁、(三)28丁 [特32-994] ◎B C E R 9-304 345 384
- ④5 物之始教草 瓜生政和編集 明治六年十月序 明治学舎蔵版  
和・木版8行 二冊23cm (一)序1+題字・目錄・凡例5+37丁、(二)31丁 [特38-646] B E R 9-415 461
- ④6 狸兎月下問答 瓜生政和戯述 寧齋画 [明治六年?] 明治学舎蔵  
△西洋各国の部ハ英人「プットナム氏のものせし書より挙げど其記す所少きが故に猶増補を加ふ」(凡例)

- 和・木版8行 18 cm 序・目録2 + 21丁 [特41-119] C R 10-1
- △傍に物有り 頭を廻らし看るに兎と狸なり 各人語を倣し談話喧々欧州の議事院に國務を論ずるが如し  
 僕身を潜め耳を聳て聞に兎狸の議論倍盛んにして止す(序)
- ④7 教訓洗湯論 瓜生政和著 [明治六年] 明治学舎蔵  
 和・木版8行 二冊23 cm (上)12丁、(下)9丁 [特42-690] CE R 10-28 41
- ④8 万国百物語 瓜生政和編輯 寧齋画 [刊年不明] 東京 宮田伊助(保永堂)蔵板  
 和・木版8行 四冊19 cm 初編(一)叙・彩色地図・目録・凡例4 + 26丁、(二)26丁、二編(三)目録1 + 29丁、(四)28丁 [特32-233] ACE R 10-52 85 114 148  
 丁、「(四)28丁 [広告に「全八冊」]
- ④9 和洋合才袋 瓜生政和編集 寧齋画 明治七年六月叙  
 和・木版8行 二冊18 cm (乾)叙1 + 目録1 + 20丁、(坤)20丁 [特43-508] AC R 10-179 204
- ④9 b 蒸気車鉄道之由来 瓜生政和編輯 明治七年五月 → 明治期産業翻訳書集成⑮参照
- ④9 c 知識初歩 瓜生政和著 明治八年十二月 明治学舎蔵版  
 和・木版8行 二冊22 cm (上)叙(梅亭迂叟)1 + 目録3 + 36丁、(下)31丁 吉野文庫
- ④9 d 南海千鳥の音信 明治十五年七月 (後)九月 東京 森仙吉(鶴声社)編輯・出版  
 活版9行 二冊13 cm (前)叙(松亭鶴仙)2 + 72 + 奥付2 P、(後)68 + 奥付2 p 明治新聞雜誌文庫  
 △淡路島かよふ千鳥を名に負し幾夜寢覚のお伽にと竹翠大人が東京新誌にもものし粹なお人も不粹な君も皆  
 見の海とて深く世に評判請し愛敬者成しこと手管の筆の大団円久敷素にして居しを此度又差絵の衣裳を華  
 美に粧ひ主に心中の紅鉄髻や香水ならぬ校正に十分めかして二度の勉(叙)
- ⑤0 春色花暦 第一編 梅亭蕩人著 明治十六年二月 東京 吉田正太郎編輯・出版 秩山堂書舗発売  
 活版9行 13 cm 95 + 奥行1 p [特62-925] R 10-227

- ⑤1 浅尾 眞実競 松亭鶴仙編 吟光画 明治十六年四月、(二)五月 東京 森仙吉(鶴声社)編輯・出版  
 岩切 和・活版13行 二冊18cm (前)叙(弄花庵香痴)・口絵2+47丁、(後)55丁 [特41-86] A R 10 278 331  
 △既に新聞雜誌に出て世に浮名高き物なれども今また一小冊子と做し血気いまだ定らざる女子男児達の戒め草に物したり▽(叙)
- ⑤2 語昔 千代田刃傷 松亭鶴仙編 吟光画 明治十六年六月、(後)七月 東京 里村吉蔵編輯・出版 松江堂発兌  
 和・活版13行 二冊18cm (前)叙(古自万楼齋)・口絵1+24丁、(後)叙・口絵1+29丁 R 10 390 417  
 △諸新聞に古き騒動を温て記し却て看客をして其新きを知らしむ 就中外記五人切の如き此頃開花新聞に掲げ世に來歴を詳かにし拍手喝采の聲を得るも其儘置バ再度跡を絶んかと惜まるれば別に此一小冊子を編して永く後世に止んとする▽→II⑦⑤ [本書刊行経緯はII⑥④自叙参照] [特43-17] A
- ⑤2 b 自由万歳 偽党撲滅 阿保多羅經 松亭鶴仙編 明治十六年七月御届 東京 富田豊次郎編輯・出版 松江堂発兌  
 活版12行 18cm (第一号)20p [表紙表記「阿房陀羅經」] 明治新聞雜誌文庫
- ⑤3 実説 国定忠二物語 梅亭化作編述 吟光画 明治十六年十二月御届 東京 森仙吉編輯・出版  
 和・活版12行 18cm 叙(金鷲)・本文10丁 [特42-85] A R 10 449
- ⑤4 実説 天下茶屋警討 梅亭化作編次 月耕画 明治十七年一月御届 東京 森仙吉編輯・出版  
 和・活版12行 18cm 叙(金鷲)・本文10丁 [特42-85] A R 10 462
- ⑤5 実説 天草軍記 梅亭化作編 吟光外題画 月耕画 明治十七年一月御届 東京 森仙吉編輯・出版  
 和・活版12行 18cm 序(金鷲)・本文10丁 [特42-85] A R 10 475
- ⑤6 奇聞 備後土産稻生夜話 梅亭化作編述 吟光画 明治十七年一月御届 東京 加藤正七(旭昇堂)編輯・出版  
 和・活版12行 18cm 叙・彩色口絵2+23丁 [特43-72] A R 10 488
- ⑤7 実説 縮屋新助物語 梅亭化作編述 月耕画 明治十七年二月御届 東京 森仙吉編輯 出版

- 和・活版12行 18 cm 序(金鷺)・本文10丁 [特42|850] A R 10|517
- 横濱 菊浜風嘯高島 梅亭化作編 国松画 明治十七年四月 岩本五一編集 東京 内藤加我出版 [特41|924] A R 11|1
- 奇文 和・活版12行 18 cm 自序・彩色口絵2+22丁 [特41|924] A R 11|1
- 復讐 倭魂故郷廻錦 梅亭化作編 吟光画 明治十七年八月 東京 加藤正七編輯・出版 [特43|109] A R 11|29
- 奇譚 和・活版12行 18 cm 叙(金鷺)・彩色口絵2+24+奥付2丁 [特43|109] A R 11|29
- 滑稽立志編 梅亭化三編次 瓜生政和著述・出版 清親画 明治十七年十一月 東京 団々社発兌 [特11|190] A R 11|61
- 60 活版12行 18 cm 叙3+口絵3+奥付広告4p [特11|190] A R 11|61
- 徳川天下外記実伝 松亭鶴仙編 葛飾外題画 吟光画 明治十八年七月 東京 嵯峨野増太郎編輯・出版 [特43|37] A R 11|94
- 61 和・活版13行 18 cm 序(日月堂主人)・口絵2+50+奥付広告3丁 [特43|37] A R 11|94
- 春色娘節用 梅亭金鷺編次 明治十九年六月御届 東京 中野雅司(今古堂)編輯・出版 [特41|979] N内 R 11|153
- 62 和・活版12行 18 cm 叙・口絵2+51+奥付1丁 [特41|979] N内 R 11|153
- 妙竹 林話 七偏人 梅亭金鷺編次 明治十九年十一月翻刻(安政四年刊) 東京 武部滝三郎翻刻出版 [特71|377] A内 R 11|210 241 267 298 331
- 63 活版12行 18 cm (初編)序2+口絵5+53+(二)序(清江舎秋水)2+48+(三)序(鶴秀賀識亭)2+62+(四)序(岳亭春信)・口絵6+60+(五)序・口絵6+64p [特71|377] A内 R 11|210 241 267 298 331
- 馬鹿 馬鹿 獅々論 梅亭金鷺戯著 瓜生熊三郎編輯・発行 清親画 明治二十一年十月 東京 漫遊会発兌 [特10|331] A R 11|366
- 64 活版12行 18 cm 叙・総目録2+口絵1葉+89p [特10|331] A R 11|366
- 『滑稽討論会』明治二十六年十二月・山崎暁三郎(国華堂)版は、本書の改題本
- 品物 演説振 梅亭金鷺編 瓜生熊三郎編輯・発行 清親画 明治二十一年十月 東京 漫遊会発兌 [特28|534] A R 11|417
- 65 活版12行 18 cm 叙2+凡例2+目録・口絵4+48p [特28|534] A R 11|417
- 『滑稽大演説』明治二十六年十二月・山崎暁三郎(国華堂)版は、本書の改題本

⑥⑥

駿甲 俠客 浜の松風

梅亭金鷲編 吟光外題画 年恒・芳年・国松画 明治二十二年四月 東京 菅谷与吉(日吉)

堂)発行

和・活版18行 17cm 叙・口絵1丁+85p(43丁)

[特43-62] A R 11 448

初版は明治新聞雑誌文庫所蔵。十六年五月、森仙吉(鶴声社)編輯・出版、和・活版13行 叙・口絵3+62

+鶴声社出版目録1丁 外題・挿絵とも吟光画。

⑥⑥ b

東京 漫遊 独案内 梅亭金鷲編集・発行 清親画 明治二十二年四月 東京 漫遊会発兌

活版12行 19cm 叙2+凡例2+日本橋より諸方へ行路大略4+135+奥付広告4p

国会図書館 [特20-288]

A

明治8年『寄笑新聞』が『明治文学全集』1に翻刻(橋爪錦造作)。6年『神武天皇略御伝記』(国会図書館[特32-72])、7年『耶麻登道知辺』(国会図書館[197-280])『茶番』(岩瀬文庫)を蔵書目録で確認。ほかに『説教新誌』『欧州用文章』があるという。また⑥⑥bの広告に『休暇由来(大祭日日曜日)』がある。

染崎延房そめざき のぶふさ

文政元年～明治十九年(一八一八～八六) 本名染崎久兵衛、維新後は延房。為永春水二世。柳北漁夫、戲墨堂主人。安政二年『時代加賀見(北雪美談)』(明治十六年)刊。明治八年「平仮名絵入新聞」(のち「東京絵入新聞」)に入社し、記者として生涯終える。——A(山崎值一・小池藤五郎)B(柳田泉)DI(浅井清)E(興津要)、『明治文学全集』1(略歴〔興津要〕)参照。

⑥7

近世紀聞 染崎延房輯 永濯画 (二編)明治七年春序 (四編)夏序 (五編)八年六月官許 (六編)十二月(七編)九年三月 (八編)八月 (九編)十年五月 (十編)十一年十二月 (十一編)十三年一月 (十二編)十五年一月 東京 山中市兵衛(甘泉堂)・〔三編～十二編〕 辻岡文助(金松堂)発行

和・木版10行 二～十二編三十三冊23cm 二編(一)序・彩色口絵3+22丁、(二)25丁、(三)25丁、三編(一)序(石井竹陽)・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)25丁、四編(一)序・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)25丁、五編(一)序・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)25丁、六編(一)題字1+彩色口絵2+27丁、(二)27丁、(三)24丁、七編(一)題字・序(柳北漁父)・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)25丁、八編(一)簡端余言(柳北漁夫)1+彩色口絵2+彩色口絵1枚+26丁、(二)25丁、(三)25丁、九編(一)叙(高島藍泉)・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)25丁、十編(一)題字1+彩色口絵2+25丁、(二)25丁、(三)25丁、十一編(一)序・彩色口絵3+28丁、(二)25丁、(三)25丁、十二編(一)序・彩色口絵3+25丁、(二)25丁、(三)24丁

〔特54-125〕

R 12 1 31 59 87 120 148 176 209 237 265 298 326 355 388 417 444 477 505、 R 13 1 37 65 93 126 154 182 214 242 270 303 331 359 391 419

初編三冊は條野伝平輯、『明治文学全集』1に初編から四編まで翻刻あり

© B C E F H S T

⑥8 朝鮮事情 第一輯 染崎延房編次 寧齋画 明治七年三月 東京 丁字屋忠七・丁字屋善五郎・大島屋伝右 御門発兌

〔特31-515〕

⑥9 和・木版8行 二冊23cm (上)題字1十序2十彩色図1枚十目次1十23丁、(下)24丁 ◎AE R14-1-33

浪華史略

染崎延房・武野光吉〔二〕三編・篠田久治〔四編〕・和田定節〔五〕七編〕編輯 芳年・年一・

年久画 (一)明治七年六月官許 (二)八年六月官許 (三)十一月 (四)十年一月御届 (五)十四年八月御届 (六)九月

(七)十五年四月 東京 (一) (三)後藤忠七(文璘堂)・(四)後藤房太郎・(五) (七)武田伝右衛門出版

和・木版8行 七編十五冊18cm 初編(上)題字(関思敬)・緒言・彩色口絵4十20丁、(下)22丁、二編(上)題字・

略序(綾彦外史)・彩色口絵5十17丁、(下)23丁、三編(上)序・彩色口絵4十19丁、(下)24丁、四編(上)題字(内川

勇齋)・序(笠亭仙果)・彩色口絵4十17丁、(下)22丁、五編(上)序(曙庫斎迂史)・彩色口絵3十17丁、(下)21丁、

六編(上)題字(紅雪生)・彩色口絵3十21丁、(下)19丁、七編(上)序(松村桜雨)1十彩色口絵2十17丁、(中)14丁、

(下)16丁 [特40-618] ◎ACFS R14-60-88-113-139-165-192-219-245-270-294-318-347-369-395-412

⑦0 台湾外記 一名国性翁 染崎延房輯 永濯画 明治七年十二月官許 東野新三郎(永保堂)蔵版 [特28-607] CFT R15-1

和・木版8行 18cm 序(戲墨堂主人)・彩色口絵2十26丁

△鄭成功が台湾の事迹ハ大抵此策子に尽したり 方今我が兵彼島を進撃なすの事におゐてハ嚮に田代幹夫

子と議りその確説を参考して台湾軍記と題したる小冊子を編輯なし既にして発兌に及へり(序)

⑦1 義烈回天百首 変態百人一首第廿三冊 染崎延房編輯 永濯画 明治七年九月官許 東京 金松堂発行

和・木版11行 19cm 題字・彩色口絵・序2十50丁 [158-118-23] G R15-33

⑦2 厚化粧万年島田 為永春水作 国貞・豊国〔九〕十編〕画 慶応四年孟春序 (六)七年孟春序 (八)四年春

(九)九年孟春 (十)六年新春 東京 蔦屋吉蔵(紅英堂)蔵版

和・木版 十編二十冊(合本十冊) (一)彩色口絵2十序・本文18丁、(二)序・彩色口絵2十18丁、(三)序・彩色

口絵2十18丁、(四)序・彩色口絵2十18丁、(五)序・彩色口絵2十18丁、(六)序・彩色口絵2十18丁、(七)序・彩

色口絵2十18丁、(八)序・彩色口絵2十18丁、(九)序・彩色口絵2十18丁、(十)序・彩色口絵2十18丁〔各上下

⑦③

あり

報国ほうこくやまと魂たましい

染崎延房編

芳虎画

明治八年四月官許

東京

丸屋鉄次郎(延寿堂)出版

[851-60] G

R 15-89 119 151 182 213 243 274 305 335 364

和・木版

18 cm

(初編)

序半丁十口絵見開十本文18丁半

[特43-74] © C

R 15-394

報国やまと魂

染崎延房編

芳虎画

明治八年四月官許

和・木版

18 cm

(初編)

彩色口絵見開十序半丁十口絵見開十題字半

丁十口絵見開十18丁半

[大惣本] [207-1566]

R 15-419 443

明治5年『梵字瀧奇験利剣』(柳田泉文庫)を蔵書目録で確認。

## 岡本起泉

嘉永六年〜明治十五年（一八五三〜八二） 本名岡本勘造。貴泉。明治十年「東京魁新聞」（芳川春濤主幹）に入社、十三年に同紙廃刊後、「有喜世新聞」と「諸芸新聞」の掛持。刊行作すべてに芳川閱の署名がある。——A（石川巖）B（岡保生）DI（浅井清）E（興津要）、『明治文学全集』1（略歴〔興津要〕参照）。

⑦4

### 夜嵐阿衣花酒仇夢

岡本勘造綴 芳川俊雄閱 芳虎画 (一) 明治十一年六月御届 (二) 八月御届 (三) 九月御届  
(四) 十一月御届 東京 辻岡文助(金松堂)出版

和・木版 五編十四冊18cm 初編(上)緒言(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)欠、三編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、四編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、五編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

〔明治新聞雑誌文庫に全十五冊あり〕

〔特42-917〕 R 16 1 15 28 41 55 68 83 96 109 124 137 150 164 177

△我さきがけ新聞第三百二十号(本年五月二十八日)の紙上を以て其発端を説起し号を逐て連日掲来りし毒婦阿衣の伝ハ其実録に拠て余が戯れに筆を走らせしに凶らず看客の喝采を蒙り新紙の発売多を加ふるの榮を得たれど既に紙上に示せし如く俳優市川権十郎が嵐璃鶴たりし時同人を懲役に陥れ其身の嚴刑に処せられたる大眼目ハ只阿衣が末路の一事のみ 其生涯の奸悪を数ふれば数条の珍説奇談多端に涉り新聞の紙面に悉す能ハざるのみならず一場の説話も数号に渉るを以て看客或ハ其首尾照応を誤るの憾なきにあらねバ金松堂の主人が乞に応じ半途にして紙上の掲載を止め岡本子をして之を双紙に綴らせ爰に初編を発売せり▽〔初編緒言〕

⑦4  
b

其名も高橋 東京奇聞 岡本勘造綴 芳川俊雄閱 房種画 明治十二年二月 (三) 三月 東京 網島亀吉出版  
毒婦の小伝 九冊18cm 初編(上)序(芳川)・彩色口絵3+6丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)7丁、(中)9丁、(下)9

丁、三編(上)7丁、(中)9丁、(下)9丁

明治新聞雜誌文庫

△兼て悪事に其名も高橋於伝が履歴ハ既に府下の諸新聞にも委敷出で我東京新聞でハ第五百二十八号(本月一日)に其発端を掲げて漸く其成長を示し号を逐て今日、まだ半に至らず 此塩梅でハどれだけ続くで有うと筆を横脚へにして考がへてゐる所へ書肆島鮮堂の主人が来て謂らくド、何卒ア、あれをホ、本にして下さい……岡本子をおだてこんで漸々爰迄打ぱたいたが甘いと辛い世わたりの夜延仕事の急拵へV(序)

国立国語研究所・柳田泉文庫に七編二十一冊所蔵

⑦4 c

島田一郎梅雨日記

岡本勘造綴

芳川俊雄閱

房種画

明治十二年六月御届

(二)八月序

(三)十月序

(四)十月御届

(五)十二月序 東京

綱島亀吉(島鮮堂)出版

↓<sup>83</sup>

和・木版 五編十五冊18cm

初編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵

2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序(二斎睦中)・彩色口絵・編者序2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、四編(上)

序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、五編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

明治新聞雜誌文庫

⑦4 d

川上行義復讐新話

岡本起泉綴

芳川春濤閱

周延画

明治十四年一月御届

(二)二月序

東京 綱島亀吉

(島鮮堂)出版

和・木版 二編六冊18cm 初編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序(芳川)・彩色

口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

明治新聞雜誌文庫

⑦5

白菫阿繁顛末

岡本起泉綴

芳川春濤閱

周延画

明治十三年二月御届

(三)五月序

東京 綱島亀吉出版

和・木版 三編七冊18cm 初編(上)彩色口絵1+7丁、(中)欠、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)欠、

(下)9丁、三編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

〔特42-920〕

R 16-190 203 216 230 243 257 270

△昨年の秋我が東京新聞に号を逐て記載せし於繁の履歴ハ小生が親しく見聞せし近世の奇談なるを一時紙上に掲げしのみにて其儘にかいやうおかんハ寔におしげの物語と地口る所へ詭ひ通り島鮮堂の主人が訪来

て……当時流行の合巻に綴りてと乞るハ此方も望む所と起泉水が夜延をかけて三編に記縮めたる草稿の校正方と画割の手伝を引受し▽(芳川、初編序)

△古ハ冊子を綴るに虚を吐ねバ売れず 今ハ実を記さねバ見る人なし▽(二編序)

明治新聞雑誌文庫蔵本によると、初編(上)は序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、二編(中)9丁

76

坂東彦三俊一流 岡本起泉綴 芳川春濤閱 周延画 明治十三年四月御届 (一)六月序 (二)九月御届 東京

網島亀吉(島鮮堂)出版

和・木版 三編九冊18cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁

(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序・口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 [特42-920] R 16-283 298 311 324 339 352 365 380 393

77

沢村田之助曙草紙 岡本起泉綴 芳川春濤閱 周延画 (一)明治十三年八月序 (二)九月序 (四)十月御届 (五)十

一月序 東京 網島亀吉(島鮮堂)出版

和・木版 四編十二冊18cm 初編欠、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序・彩色口

絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、四編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、五編(上)序(芳川)・彩色口

絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 [特42-920] R 16-406 421 434 447 461 473 486 500 513 526 340 553

初編は明治新聞雑誌文庫所蔵(十二年七月御届、(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁)

78

幻阿竹噂廻聞書 岡本起泉綴 芳川春濤閱 房種画 明治十四年一月 (三)五月序 東京 網島亀吉出版

和・木版13行 三編九冊18cm 初編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序(芳川)・

彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

R 17-1 15 28 43 57 70 83 97 110

△兼て東京新聞に掲げて御評判に預りし近来の奸婦於竹の履歴ハ其跡朦朧として綽名の幻に均しく未だ判然せざる所口あれど既に聞得し噂だけを面白く書綴り又も三編読切の合巻にもせよと例の島鮮堂が需め

に應じ近頃有喜世新聞と諸芸新聞の掛持編輯に忙がしき起泉子が朝飯前の仕事に草稿を起させ余も亦報知新聞編輯の余暇夜延仕事に之を校正し倉卒にして初編を発売する事とハなりぬ(序)  
初編は古典籍課所蔵の9冊合本(839-172)により、二編三編は図書閲覧課所蔵のもの(特42-920、初編欠)による。なお、マイクロフィルム版には二編三編の合本版表紙(袋)を収録しておいた。

79

色吉原盛系禰襠いろよしはらせいしのうちかけ

岡本起泉綴 芳川春濤閱 国松画 明治十四年五月序 東京 綱島亀吉(島鮮堂)出版

[特42-920] R 17-123 138 151

80

和・木版 三冊18cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

東京に開き横浜に薫る花岡奇縁譚はなおかきえんものがたり 岡本起泉綴 芳川春濤閱 国松画 明治十五年二月御届 (三)四月序 東京 綱島亀

吉(島鮮堂)出版

和・木版 三編九冊18cm 初編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序(芳川)・彩色

口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序(芳川)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

[特42-920] R 17-164 178 191 204 218 231 244 258 271

81

思案橋暁天奇聞しあんばしあかつききぶん

岡本貴泉編輯 芳川俊雄校閲 国松画 明治十五年二月御届 東京 辻岡文助出版

和・木版 三冊18cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

[特42-917] R 17-284 298 312

△永岡久茂等が。暴拳の顛末 其妻お仙が。烈義を後まで乱さざる始終を委しく昨年中の。有喜世の紙上へものせしを。金松堂の需めに任せ。今又少しく増補して(序)

二編は明治新聞雑誌文庫に所蔵

81 b

恨瀬戸恋神奈川うらみのせとこひのかながは 岡本貴泉綴 芳川春濤閱 国松画 明治十五年二月序 (二)三月序 東京 綱島亀吉出版

和・木版 二編六冊18cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、

明治新聞雑誌文庫

82

娘浄瑠璃噂大寄むすめじやうるりうわさのおほよせ

岡本貴泉編輯 芳川俊雄校閲 国松画 明治十五年三月御届 東京 辻岡文助出版

(中)9丁、(下)9丁

83

和・木版 三冊 18 cm 初編(上)序・彩色口絵 2 + 7 丁、(中) 9 丁、(下) 9 丁  
 島田一郎梅雨日記 岡本起泉著 明治十九年七月 綱島亀吉原版 東京 西村富次郎翻刻 自由閣発兌  
 活版 18 cm 序(芳川春濤) 1 + 口絵(翠雨画) 5 + 94 + 奥付 2 + 自由閣発兌書目録 2 p  
 [特 42 | 917] R 17 | 325  
 [特 10 | 995] A R 17 | 339  
 R 17 | 365

## 松村春輔

生没年未詳。桜雨園主人、桜雨、紅雪野史、柳東陰士。「文久年間より。明治改元の際に到りし迄。国事の端に係し」、その経験によるものか、王政復古に取材した実録小説を発表。明治九年「東京新誌」の編集長。十七年以降の消息絶える。——A(柳田泉)B(興津要)DI(前田愛)E(寺横武夫)、本間久雄『明治文学史』上、『明治文学全集』1(略歴〔興津要〕)参照。

### 84 復古夢物語

松村春輔編輯 国輝〔一〕四編〕・芳虎〔四編〕・永濯〔五六編〕画 明治六年十二月、(二)七年五月、(三)十二月、(四)八年三月官許、(五)十月、(六)九年一月、(七)六月、(八)十二月 東京 武田伝右衛門(文永堂)出版

和・木版8行 八編十六冊18cm 初編(上)自序2+引用書目・彩色口絵2+19丁、(下)欠、二編(上)序・彩色口絵3+20丁、(下)22+附言1+著編目録1丁、三編(上)自序・彩色口絵5+22丁、(中)21丁、(下)23丁、四編(上)詞1+彩色口絵2+22丁、(下)23丁、五編(上)叙(神奈垣魯文)・彩色口絵5+21丁、(下)21丁、六編(上)彩色口絵2+22丁、(下)21丁、七編(上)序・彩色口絵3+20丁、(下)21丁、八編(上)緒言・彩色口絵4+20丁、(下)18丁

〔特41-269〕 © C E F Q S T R 18-1 30 58 85 117 141 167 198 224 254 278 306 330 357 381 410

吉野文庫に全十七冊、明治新聞雑誌文庫に初々三編七冊、柳田文庫に初編二冊あり

### 84 b

開化千字文 松村春輔著 深沢菱潭書 明治八年三月官許 東京 大溪平兵衛(文溪堂)発兌

和・活版4行 23cm 題字1+21+4(8行)丁 C 国会図書館〔特42-74〕

### 85

近世桜田紀聞 松村春輔編輯 浅井調瓶・中島湘湖・中村信校合 芳年画 明治八年四月 (二)十月 (三)九年

五月 東京 武田文永堂出版  
和・木版8行 三輯七冊22cm 初輯(上)序(服部誠一)2+源烈公遺墨・彩色口絵3+初編之贅言2+25丁、

(下) 25丁、二輯(上)題字・序・彩色口絵5 + 28丁、(下) 27丁、三輯(上)序2 + 彩色口絵2葉 + 序辞(細雨園春驪) 2 + 23丁、(中) 25丁、(下) 25丁  
〔特40-33〕◎ACFST R19-1 38 65 102 133 165 193

⑧6

小説 春雨文庫 松村春輔・和田定節〔三〇八編〕編輯 大久保春驪〔二編〕校訂 松村春輔〔三編〕・梅亭

金鷲〔五〇八編〕閱 永濯・吟光画 明治九年四月、(二)十年三月、(三)十一年二月御届、(四)十二年六月御届、

(五)十三年二月御届、(六)十二月御届、(七)十五年十月御届、(八)十六年十月御届 東京 松村春輔〔一〇二〕・

武田伝右衛門(文永堂)出版

〔特40-622〕ABCFT

和・木版8行 八編十六冊18cm 初編(上)序(細雨園春驪) 2 + 彩色口絵3 + 21丁、(下) 17丁、二編(上)自序・彩色口絵4 + 20丁、(下) 19丁、三編(上)序・彩色口絵4 + 21丁、(下) 19丁、四編(上)序・彩色口絵3 + 20丁、(下) 20丁、五編(上)叙・彩色口絵4 + 21丁、(下) 19丁、六編(上)叙・彩色口絵4 + 21丁、(下) 18丁、七編(上)叙・彩色口絵4 + 21丁、(下) 20丁、八編(上)叙・彩色口絵4 + 22丁、(下) 20丁

⑧7

春廼雁可禰 松村春輔編輯 永濯画 明治十年五月 東京 品川登羅(弘書堂)出版

和・木版8行 二編四冊19cm 初編(上)序(春驪)・彩色口絵4 + 19丁、(下) 24丁、二編(上)自序2 + 21丁、(下) 25

R20-1 31 51 80 102 132 154 184 207 236 258 288 310 340 364 394  
〔特40-623〕◎C R19-219 247 274 301

⑧8

落花 春風日記 桜雨園戲著 吟光画 明治十三年十二月御届、(二)(三)十四年八月、(四)(五)(六)十五年二月御届 東京

〔特40-621〕A

京 武田伝右衛門(文永堂)・大川屋錠吉〔二編から〕出版  
和・木版8行 六編十二冊18cm 初編(上)序(為永春水)・彩色口絵4 + 21丁、(下) 21丁、二編(上)自序・彩色口絵4 + 21丁、(下) 21丁、三編(上)序・彩色口絵4 + 20丁、(下) 20丁、四編(上)序・彩色口絵4 + 19丁、(下) 20丁、五編(上)彩色口絵2 + 20丁、(下) 20丁、六編(上)序・彩色口絵4 + 23丁、(下) 23丁  
R21-1 30 54 82 105 133 156 184 207 233 256 286  
明治 東京西洋床 一名怪化嘘競 桜雨迂叟戲編 吟光画 明治十四年四月序 (二)五月序 東京 辻岡文  
余沢 助(金松堂)出版 〔外題および二編は「聞多風流西洋床」〕

⑧8 b

- 和・木版11行 六冊18 cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)叙・彩色口絵2+7丁、  
 (中)9丁、(下)9丁〔三編予告〕 明治新聞雜誌文庫
- 89 転猫座敷の嗜ころびねごさしき たしなみ 初編 桜雨遊叟戯稿 明治十四年五月御届 東京 松村春輔編輯・出版  
 和・活版12行 18 cm 序(為永春水)・口絵2+20丁 〔二編予告〕 〔特41-99〕 R 22 1
- 89 b 貞操 明治烈婦伝 第一卷 松村春輔著 明治十四年六月版權免許 東京 武田伝右衛門(文永堂)出版  
 和・木版13行 18 cm 序・彩色口絵3+25丁 明治新聞雜誌文庫
- 89 c 名妓 薄月夜花廻唇うすつきよはなのくちひる 松村桜雨戯著 吟光画 明治十四年六月 東京 佐脇金次郎出版 金園堂梓  
 和・木版13行 三冊18 cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 〔二編予告〕 明治新聞雜誌文庫
- 90 抱腹奇語 初編 松村桜雨纂訂 明治十四年六月序 東京 小林鉄次郎出版(延寿堂梓) 〔特41-361〕 B R 22-26  
 和・活版8行 16 cm 序(晚翠仙史)1+22丁〔20丁欠〕
- 91 昇平 三府膝栗毛さんぶひざくりげ 松村桜雨戯作 吟光画 明治十四年六月 (二)八月序 東京 綱島亀吉(島鮮堂)出版  
 和・木版12行 三編九冊18 cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 〔特42-919〕 R 22-53 67 80 93 107 119 131 145 158
- 92 通俗 明治烈女伝 松村春輔編纂 明治十四年十月 (二)十二月御届 東京 鈴木泰三・望月誠出版 〔特28-466〕 © B  
 和・活版10行 18 cm (初編)凡例1+目錄1+42 p 〔1~4 p欠〕、(二編)凡例1+目錄1+46 p R 22-171 196
- 93 東京娘風俗 松村桜雨編 明治十五年二月 (二)十二月 東京 桑原徳勝(由己社)出版  
 活版8行 17 cm (二編)序2+52 p、(二編)50 p 〔特52-268〕 R 22-224 254
- 93 b 浮世之人情うきよのにんじやう 松村桜雨戯編 灣々堂万丸参閱 明治十六年六月 東京 浅井橋治郎出版 万字堂本店発売 明治新聞雜誌文庫  
 活版10行 19 cm 序2+59+万字堂発売書目抜萃1 p 〔続編予告〕
- 94 人情 蜀魂雲井の一声はしとこぎすくものこゝろ 下 松村桜雨著 国周外題画 国松画 明治十六年九月 東京 小林鉄次郎出版 清談

⑨5

和・活版12行 18cm 彩色口絵2十目録・広告1十42丁 〔上は柳田泉文庫所蔵〕 〔特43-79〕 R 22-284

年二十

和・活版12行

二冊18cm

(初編)

目録十自序・口絵1十23丁、

(二編)

目録十23丁

〔特41-968〕

A R 22-334-362

出版

小林鉄次郎(延寿堂)

△余等文久年間より。明治改元の際に到りし迄。国事の端に關係して。京摂東武の間を周旋せし緯歳あり。或時ハ戦場に生死を争ひ。或時ハ四国九州の島根まで時勢を探知せんが為め。往復せしハ屢なりし。然るに余等壮年し時より。好んで墨筆に遊びし故。世に珍しと憶ふ咄しハ。必ず記して文庫に秘りし物。数百卷の衆きに及べり▽〔本文末に次号予告あり〕

明治13年『国会早合点(絵入)』(国会図書館〔a313-35〕)、明治14年『明治文章軌範』(国会図書館〔66-16〕)を蔵書目録で確認。ほかに『続開化千字文』『開化千字文(行書)』『柳橋新話』があるという。

## 久保田彦作くぼた ひこさく

弘化三年～明治三十一年（一八四六～九八） 竹芝の漁夫。河竹黙阿弥門下の狂言作者。明治十二年「歌舞伎新報」の主筆。——A（石川巖）B E（興津要）、柳田泉『明治初期の文学思想』、『明治文学全集』1（略歴〔興津要〕参照）。

### 96 鳥追阿松海上新話とりおひまつかいじょうしんわ

久保田彦作編輯 仮名垣魯文閱 周延画 明治十一年一月 東京 大倉孫兵衛出版

和・木版13行 二編六冊18cm 前編(上)序(魯文)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、後編(上)序(魯文)・

彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁

〔特42-743〕C R 22-388 401 413 427 440 451

△我仮名読新聞第五百四十号客歳十二月十日を以て始めて雜報欄内に記載せし鳥追阿松の伝は間々本年一月十一日第五百六十二号に到り嗣出する事十四回未だ結局に及ばざるハ僥倖にして千町万町の衆目に触れ喝采の声価を得たる操觚者の歡喜の余りに思はず筆を走たるなり 然りと雖も春霞三筋を繋ぐ長物語ハ頗る新紙の本意に違へば其概略を次号に掲げ大団円となさんと欲すを錦栄堂の主人遺憾として乞ふて其首尾を全くせんとす▽（前編序）

後編下の末に「以下次号」。国立国語研究所・柳田泉文庫に全九冊あり。三編について国会図書館別置本が判明したので付記する。十一年三月出版御届 三編(上)序(魯文)彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9

丁〔特42-852〕

### 96 b 菊種延命袋きくのたねえんめいぶくろ

久保田彦作著 国政画 明治十一年十二月御届 三十二年四月 四九月 五十三年九月序

東京 大倉孫兵衛(錦栄堂)出版

和・木版 十七冊18cm 初編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、二編(上)序(伊東橋塘)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)諸言(岡丈紀)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)欠本、四編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、五編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、六編(上)序・彩色口絵2

十7丁、(中)9丁、(下)9丁

国会図書館〔特42-852〕

△鳥追阿松の新作から。稗史の廃れを興し。当今流行の読法に。折衷たる功績ハ。是なん久保田先醒が。

仮名読記者の余暇。硯の海の干瀉を開懇き。鋤鍬ならぬ筆頭もて。耕す文の熟実よけれバ▽(緒言)

浪枕江の島新語 久保田彦作綴 周延画 明治十三年四月御届 東京 小林鉄次郎(丸屋、延寿堂)出版

和・木版13行 三冊18cm 初編(上序・彩色口絵)2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 [特42-804] R 22-455 480 492

△その江の島に思ひ寄たる。歌舞妓の種を抄録もの鳥居が画風の絵馬。その顛末を七里が浜の。いとながくと記載せしを、丸鉄が梓にちりばめて発兌さんと乞ふに任せ。近頃流行の三編読切▽(自序)

柳田泉文庫に三編九冊あり

荒磯割烹鯉魚腸 二編下の巻 久保田彦作編 明治十四年一月 東京 青盛堂 国会図書館〔崩壊本〕

明治新聞雑誌文庫に所蔵 五冊(合本) 18cm

ほかに明治14年『俳優三十六句選(当世)』(国会図書館〔特44-224〕)を蔵書目録で確認。

じょうの でんべい  
條野伝平

天保三年～明治三十五年(一八三二～一九〇二) 山々亭有人、朧月亭有人、採菊散人、菊廼舎東籬。鏑木清方の父。万延元年『春色恋廼染分解』元治元年『春色江戸紫』慶応元年『花曆封文(三人於七)』発表。明治五年、魯文と戯作界を代表し「著作道書キ上ゲ」と題する答申書提出。七年、福地源一郎と「東京日日新聞」創刊、十九年「やまと新聞」を経営。——AC(石川巖)E(興津要)、『明治文学全集』1(略歴(興津要))参照。

98 b 藪黄鸝八幡不知 山々亭有人作 芳虎画 明治四年初春 東京 林吉蔵(蔦屋、紅英堂)出版

和・木版 六冊18 cm 初編(上)序・口絵2+8丁、(下)10丁、二編(上)序・彩色口絵2+8丁、(下)10丁、三編欠、  
四編(上)序・彩色口絵2+8丁、(下)10丁 明治新聞雜誌文庫

98 c 菊文様皿山奇談 三遊亭円朝作話 山々亭有人補綴 芳虎画 明治四年孟春 東京 若菜屋甚五郎梓

和・木版 六冊18 cm 初編(上)序・(有人)・彩色口絵2+8丁、(下)10丁、二編(上)序(有人、円朝)・彩色口絵2+8丁、(下)10丁、三編(上)序(有人)・彩色口絵2+8丁、(下)10丁  
明治新聞雜誌文庫

98 d 今朝の春三ツ組盃 三遊亭円朝作 山々亭有人綴 芳虎画 明治五年春 東京 加賀屋吉兵衛板

和・木版 六冊18 cm 初編(上)序(有人)・彩色口絵3+7丁、(下)10丁、二編(上)序(円朝)2+彩色口絵2+8丁、(下)10丁、三編(上)序(円朝、有人)・彩色口絵2+8丁、(下)10丁  
明治新聞雜誌文庫

98 阿玉ヶ池櫛月形 三編 山々亭有人・為永春水作 国政画 明治十一年十一月 東京 林吉蔵出版

和・木版 二冊18 cm 三編(上)序(戯墨堂主人)・口絵1+9丁、(下)10丁 [特42-973] R 23-115

△墨友條野有人ぬしハ近頃多事に繁くして稗史を編の虚間あらねば嚮に二編の端眉を疲腕ながら受込んで一肩助けたが喰付にて是非に嗣輯を編りてよと混雑く机の傍へ書房が挖して往たるを預り込む事半稔ばか

り……新歳発兌▽(序)

「此本ハ五編にて読切に仕り引つゞき出版いたし候」とあり。柳田泉文庫に初〜三編あり

98 e 改正東京新町鑑 條野伝平編輯 明治七年七月官許 東京 日報社発兌

和・木版 8×16 cm 題字(茂樹)・凡例1+95丁

吉野文庫・国会図書館〔特58-619〕

99 赤穂 義士 烈婦銘々伝 変態百人一首第六十五冊 弄月亭有人編輯 転々堂主人補闕 吟光補図 明治十四年八月

補刪 東京 武田伝右衛門(大島屋、文永堂)蔵

和・木版19行 19 cm 序(彩色)半丁+21丁半

〔158-118-65〕 G R 23-28

△此書を編輯して。刻成の後に。剗厥家祝融の災に罹て。卷首の二丁を灰燼となしぬ。仍て版元文永堂主人再び著者に稿を乞ども。繁忙なりとて肯ねバ。予が好古の癖あるを知り。卷端の一丁を補ひてよと請る。儘に。筆を寒夜の灯下に走らせ。有の儘を序文に換る▽(序、転々堂主人)

見返「赤穂 義士烈女銘々伝」。初版は柳田泉文庫に所蔵(明治二年、芳虎画)

100 おくみ 惣次郎 春色江戸紫 香夢亭叢書第三回 隴月亭有人補綴 月耕画 明治十六年五月 東京 和田篤太郎

(香夢亭)翻刻出版

活版9行 13 cm 出版社印1枚+増補江戸紫序 3+口絵3+223+広告5 p

〔特64-636〕 R 23-56

101 廊雀小稲の出来秋 採菊散人稿 年方画 明治十九年十二月 東京 渡辺鎌三郎(迎春堂)出版

活版12行 18 cm 序(三遊亭円朝)・彩色口絵1枚+91 p

〔特11-469〕 B内 R 23-178

△予毎号之を讀てこれを愛する事陶氏の菊を想するにも過たり。果して予のみならず。世評ハ拳てやまと新聞の外ハ無くも哉との感ありとか。利に賢き迎春堂の主人ハ。やまと新聞の承諾を得て。是を例の一小冊とせしが▽(序) 〔原稿者 広瀬鉄三郎とあり〕

⑩② 折枝の梅が香をりえ 絵入人情やまと草紙 採菊散人補綴 明治二十一年二月 (二)三月 (三)四月 広瀬鉄三郎編輯

東京 岩瀬鍋太郎(自由堂)発行

〔特54-353〕 N

活版2段17行 三冊23cm (一号)叙(野狐禅庵)1+7丁、(二号)9丁、(三号)9丁

R 23-230 242 253

△本編ハ仏国に名を得し小説家アルノー氏の著述に係るメゼリーと称する小説なり▽(まえがき)

△弊店発売の当やまと草紙ハ方今東京の諸新聞中最評判能きやまと新聞読物の中極めて高評したるものを  
拔萃し編を逐ふて発売するものにて終尾に至れば集めて一冊の美本となす▽(第一号広告)

表紙に「七冊よみ切」とあり。「やまと新聞」二十年三月二十四日〜六月四日連載。

⑩③ 残花憾葉桜のこはなうらみのはざくら 採菊散人著 年方画 明治二十一年六月 広瀬鉄三郎編輯 東京 鈴木金次郎(金泉堂)発行

活版13行 18cm 序2+口絵8+401p(2122p欠) 挿画12葉

〔21-131〕 A R 23-265

本編ハ仏国有名の小説家アドルフペロット氏の著述に係れど事ハ眼前にありし実説にして原名ハフルール  
ドクリームと号く 之を訳すれば罪の花といふことなり 然れども看客諸君に解り易き様これを我国明治  
の世に翻案し以て憾の葉桜と題けたり▽(本文)

「やまと新聞」連載

⑩④ 迷ひの夢まよひのゆめ 採菊散人補綴 年方画 明治二十二年三月 東京 鈴木金輔(三友舎)発行 金桜堂発売

活版15行 18cm 叙(梅亭鴛叟)3+口絵12+163p

〔特11-177〕 A R 24-1

△呉竹の世に千代かけて枝葉を茂らす絵入新聞紙を見るに何れも二三の続き物語ありて或ひハ大名高家の  
騒動或ひハ俠客博徒の伝記或ひハ色好む男女が痴情の様などを種々に解做して書綴れるも難波の芦ハ伊勢  
のはま萩たゞ標題の変るのみ 大同小異にして是ハくと手を打程のものハ稀なり 然るを大和新聞の続  
物を見るにひとり欧米各国の新紙小説中より別品を撰み抜き牛打童子糸操鄙乙女にも解り易かれと其地名  
を變じ其人名を改め総て皇国の説話に直し号毎に掲げ出して看客の目先を新ならしめしハ採菊山人條野大

人の発明にて師が老練に鼻を高うする所以実に此手段の魁と他の賞する所なり 就中迷の夢と題したる一話ハ仏国某の府に在たる実話を我朝に翻案して恋しいとしに結ばるゝ痴情の擧の夢に似たるを現にものなし(叙)

105

歐洲奇談

夢廻暁

菊廻舎東籬著

弥生山人(伊藤弥市)閱

清親画

明治二十二年四月

小原正太郎編輯

東京

中川米作発行 漫遊会発兌

活版15行 18 cm 序(東籬、弥市)3十口絵5十目錄2十108十奥付・広告2 p

〔特11-368〕A R 24-102

△雅友弥生山人嚮に香港留の日余に一書を寄贈せられ且謂らく這は是旅泊一睡の夢中に成たる戲墨なり翁もし之を閲して意あらは取捨校正して上梓せしハ如何ならんと 余欣然として巻を披けは英国一婦人の奇事談なり 惜かな長編未だ完からず依て其一隅を採り余が愚考を交へ兒童の読易からんことを宗とし拙き筆を顧視す今回其局を結び暁き覚へぬ(序)

105 b

とりかへばや 採菊散人稿 芳景外題画 年方画 〔明治二十二年七月、春陽堂〕

吉野文庫

105 c

毒婦ハ於延節婦ハ音羽

月雲両面鏡

採菊散人編訳

年恒画

明治二十二年六月

春陽堂

国会図書館〔特11-587〕

106

角力

朝日嶽の伝

採菊散人著

明治二十二年八月出版

東京

野口竹次郎編纂・発行

博文館発兌

〔特63-513〕A R 24-165

107

鴉の喙

採菊散人補綴

年方画

明治二十三年一月

東京

西村富治郎(自由閣)編輯・発行

〔特11-63〕A R 24-329-473

△此鴉の喙ハ外国の物語りを引違へて日本の事とせし物(序)

108

茨の花

採菊散人補綴

習古外題画

年方画

明治二十三年四月

東京 鈴木金次郎(金泉堂)編輯・発行

條野伝平

三九

活版13行 18 cm 序(夢幻散士)2 + 口絵15 + 293 p [翻案物] [特11-123] A R 25-1

⑩<sup>b</sup> 三人令嬢 [シエイクスピア原案] 採菊散人著 明治二十三年十二月 ↓ 明治期翻訳文学書全集I ⑩<sup>2</sup>

痘痕伝七郎 一名花の深山木 條野伝平著 年方画 明治二十六年二月 東京 大橋新太郎(博文館)発行 [特13-936] A R 25-160

活版14行 23 cm 彩色口絵1枚 + 序2 + 172 + 奥付広告6 p 插画1葉  
 △本編は西哲の著述に係るオロセーと云ふ有名の小説にて、黒人の軍人に白人の令嬢が想を懸けて遂に夫妻と成るといふ、一大傑作なるを猥に翻案して花の深山木と題しやまと新聞へ連載せしに……非常の愛顧を忝し、為に新聞の増加を見たるは散人が満足なるに、友人松林伯円子は之を寄席に於て口演ありたるに、是亦喝采を得て到るところ大入なりしは散人に再度満足を与ふる処なりし(序)

⑩<sup>10</sup> 佐竹三九郎 採菊散人補綴 吟光画 明治二十六年十一月 東京 西村富次郎編輯発行・池村鶴吉発行 [特11-260] A R 25-258

活版14行 22 cm 叙(秋郊老人)1 + 彩色口絵1葉 + 241 p [特11-260] A R 25-258

⑩<sup>11</sup> 荻廼上風 採菊散人著 年方画 明治二十七年四月 東京 町田宗七(扶桑堂)編輯・発行 [特9-850] A R 26-1

活版12行 22 cm 序(花の家理雄)2 + 彩色口絵1葉 + 237 p 插画17葉 [特9-850] A R 26-1

⑩<sup>12</sup> 弘法新太 採菊散人稿 年方画 明治二十七年六月 東京 町田宗七(扶桑堂)編集・発行 [特9-84] A R 26-143

活版12行 23 cm 序(花の家理雄)2 + 彩色口絵1葉 + 253 p 插画16葉 [特9-84] A R 26-143

⑩<sup>13</sup> 百物語 採菊散人著 年方画 明治二十七年七月 東京 町田宗七(扶桑堂)編輯・発行 [特8-219] A R 26-293

活版12行 22 cm 序(骨皮道人)2 + 彩色口絵1枚 + 240 p(うち82 p挿絵) [特8-219] A R 26-293

⑩<sup>14</sup> 復讐裏見刃 採菊散人著作 吟光画 明治二十九年二月 東京 西村富次郎(弘文館)編輯・発行 [特8-774] A R 27-1

活版13行 22 cm 序(露の屋菊香)2 + 彩色口絵1葉 + 159 p [特8-774] A R 27-1

△在下幼きより牌史小説を好み、貸本屋の上得意、合巻書房の上客たり、然るも以前は小説の新版たるもの、一ヶ年に続篇一版に止まり跡を読むに待遠しかりしかど、近年の小説たる、雨後の木茸に異らねど性

来の癖たるを以て大概は通読為さざるはなし。就中本篇は鶯の袖と題してやまと新聞に連載の頃より近事の好小説として再度配達の遅きを憾らむ程なりしが、書肆弘文館の主人在下と感を同ふし、同社に乞ふて上梓為し、在下に端書せよと求む、在下は帳簿に文字書の外、筆てふものを持たる事無きも、素より好む事にしあれば、辞もやらで思へる儘を端に代るとしかいふ(序)

①④ b 第一の佳人 アルノー著 採菊散人稿 明治二十九年二月—↓明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑨⑥

①② 『折枝の梅が香』の改題本

①⑤ 蟹のおかく 採菊散人著 清方・年方画 明治二十九年九月 東京 西村富次郎(弘文館)編輯・発行

活版13行 22cm 序(文廼家主人)2+口絵4+197p 挿画3葉 [特9-403] R 27-87

①⑥ 俠客 音羽平五郎 採菊散人著 年方画 明治三十二年三月 東京 鈴木金輔(金槿堂)編輯・発行

活版13行 22cm 序(山越の老父)2+口絵6+254p 挿画8葉 [特8-400] R 27-195

△或日條野先生来訪にて、咄しが江戸の俠客という事に及んだ時彼の平五郎親分の逸事を御咄し申せしに、先生忽に例の筆を以てやまと新聞に戴せしに大に喝采を得られたるを己も側で児童に読して聞しに己が御咄し申したる事の他に、先生何所で聞かれしにや己の存ぜぬ事もあり(序)

①⑦ 三人 優男仇討 採菊散人著述 年方・清方画 明治三十二年四月 東京 瀬山佐吉(順成堂)編輯・発行

活版13行 22cm 序2+口絵8+221p(うち44p挿絵) [特9-456] R 27-327

①⑦ b 天保 鬼の平五郎 條野採菊著 明治三十六年三月 東京 文明林 国会図書館(崩壊図書)

明治29年『涙の媒介』(『太陽小説』第一編)があるという。I⑥⑥bの広告に菊廼舎東籬著として『歌俳百人伝』『近世日本蒙求』『視機関(龍宮開化)』がある。

高島藍泉 たかはたけらんせん

天保九年～明治十八年(一八三八～八五) 本名瓶三郎。転々堂主人、二世柳亭種彦、三世柳亭種彦、箕山。明治五年「東京日日新聞」入社。主として「芳譚雑誌」(十一年一月～十七年十月)に作品を発表する。——ABC(柳田泉)DI (前田愛)E(興津要)、『明治文学全集』2〔略歴(興津要)〕参照。

①18 怪化百物語 くわいくわひやくものがたり 高島藍泉戯述 暁斎画 明治八年五月官許 東京 井上定保出版

〔特41-263〕 CFT R 28-128

①18 b 和・木版7行 二冊18cm (一)序・彩色口絵4+18丁、(二)21丁  
松廼落葉 一名東台戦記 前田夏繁・高島藍泉著 明治七年五月緒言 協力社蔵版  
和・木版9行 二冊23cm (上)題字(木戸公)3+叙(枕山)1+緒言2+扁額1+20丁、(下)31丁

△此書ヲ記スルニ当テ……只隊長天野八郎ガ手記スル処ノ斃休録一卷ト金杉村ナル根岸里ノ某ガ親ク見聞スル所ヲ録スルモノ一卷アルノミ(緒言) 吉野文庫・柳田文庫・国会図書館〔特40-574〕

①18 c 上野戦争実記 原名斃休録 天野八郎遺稿 高島藍泉輯録 永濯画 明治八年五月官許 文永堂発兌

和・木版8行 二冊22cm (乾)天野八郎忠告書・肖像3+凡例2+16丁、(坤)9+附録(高島)11丁 吉野文庫

①19 小説 鉄道ばなし 第一号(勝間小五郎外伝) 高島藍泉編 明治十一年七月 大阪 前川源七郎(文栄閣)出版  
活版10行 18cm 序(宇田川文海)1+9丁 〔43-385〕 R 28-52

△此ハ編者が在阪中に大坂新聞紙上に著したる五月雨物語を更に案翻し尚事蹟を詳細に糺して粹書の体裁に倣ひ毫も淫褻の事を載ず専ら勸懲の理を明らかにしたる面白を稗史にて三四編引続き出版仕候(版元)

①19 b 画引姓名字引 高島藍泉編輯 明治十二年七月——明治初期辞書集成I ②6

『姓名字引大全』(十五年六月)、『姓名歴史字引大全』(十七年五月)は本書の改題本

①19 c 巷説兎手柏 かうせつこのてがしは 転々堂主人著 芳幾画 芳年補画 明治十二年九月御届 (二)十二月御届 東京 武田伝右衛

門(大島屋、文永堂出版)

和・活版12行 二冊18cm 初編(上)彩色口絵(芳年)1+序・彩色口絵2+7丁+(下)10丁、二編(上)彩色口絵(芳年)1+序・彩色口絵2+7+(下)10丁 明治新聞雜誌文庫

①19 d

△脱走者の度会親子が孝貞を。毫のまにく編次で芳譚雜誌に載たれと。素より拙き小説なれば(序)  
松之松娘庭訓 転々堂主人編 国周・芳幾画 明治十二年十二月御届 東京 福田熊治郎(具足屋)出版

和・活版11行 三冊18cm(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁 明治新聞雜誌文庫

①19 e

俗雅 一新要文 高島藍泉著 佐瀬得所書 岸田吟香閱 明治十三年四月再版(八年九月初版) 横浜 池田孝

吉・東京 森田鉄五郎・武田伝右衛門出版

和・木版4行 23cm 序(岸田吟香)2+目次3+(上)58+(下)49+奥付1丁 ◎B 国会図書館〔特34-368〕

①19 f

梅柳春雨譚 転々堂主人編次 芳年外題画 芳幾画 明治十三年十二月(後)十四年十二月 東京 長

尾民蔵出版 愛善社発兌

和・活版12行 四冊18cm 前編(上)序・彩色口絵2+8丁、(下)10丁、後編(上)序・彩色口絵2+8丁、(下)12丁

「芳譚雜誌」(十一年十月十一日〜十二年一月十二日)に「梅柳新話」として掲載 明治新聞雜誌文庫

①19 g

岡山 紀聞 筆の命毛 柳亭種彦校正 柳亭燕枝編輯 芳幾画 明治十五年四月 東京 栗田松三郎出版

和・活版12行 18cm 序(見返)+59丁(挿絵27) ↓ ①29 明治新聞雜誌文庫

△五六本より志たゝる柳哉、と野坡が発句にあらねども、小生此ごろ故ありて、一樹の柳の根をわかち、柳亭の号を嗣しに、曾て落語家社会にも、よりて志たゝる同号あるハ、鼻祖より初代左楽に譲て、続物語を為志に因り、其枝葉なる団柳楼が、余に種本の稿を乞ひ、芳譚雜誌へ記載たる筆の命毛末長く、存する為に読切の稗史にせよとの勸に従ひ、愛善社の梓にせしこそ同じ柳の栄らん▽

①20

赤穂節義録 柳亭種彦著 吟光画 明治十五年五月(二)十七年十月 東京 高島藍泉・武田伝右衛門出版

和・木版9行 二編十冊22cm 一輯(一)序(小舟漁僊田岳)・彩色口絵・目錄・引用書目次・序6+14丁、(二)14丁、(三)17丁、(四)17丁、(五)17丁、二編(一)大石内蔵之助真跡・彩色口絵・目次5+14丁、(二)17丁、(三)16丁、(四)16丁、(五)15丁 「題簽「誠義士銘々画伝」」 [特40-31] © A B R 28-67 91 107 127 146 166 188 207 225 244

落花 慶応水滸伝 柳亭種彦著 芳幾画 明治十五年十月 東京 塚原房吉出版 愛善社発兌

清風 和・活版12行 18cm (上)序1+45丁(2728飛丁)、(下)44丁

120 c

楓時故郷の錦木 柳亭種彦戯作 芳幾・国松画 明治十六年一月 東京 伊庭真出版 愛善社発兌

和・活版12行 18cm 序(見返)+48+奥付広告2丁

明治新聞雑誌文庫

△六年以前より芳譚雑誌を助筆して一章宛の長物語を書続けしも年々に目新き趣向もなければ正本製の文

法して上野戦争後日譚を二番目狂言七幕に編し……一小冊にとり纏め歳玉ものに売出す▽(序)

121

江戸花俠客の長兵衛 柳亭種彦著 芳峯画 明治十六年二月 京都 田中貞吉(駸々堂本店)出版

和・活版2段16行 23cm 19丁

[特8-736] A R 28-262

122

三巴里之奇説 柳亭種彦著述 義権画 明治十六年二月 京都 田中貞吉(駸々堂本店)出版

和・活版12行 18cm 序(見返)+26丁+奥付・広告2丁

[特42-964] A R 28-283

△此花新聞の埋草に。未生の門人箕山といふ戲号を一寸仮枕。浪速の羈旅の夜業に。編続けたる▽(序)  
 △文運月に進み洋学日に開けて翻訳の珍書を発兌するもの寡ならずと雖も洋書を読ざる童蒙婦女子は人名地名の区別をだに弁へねば直訳ならぬ小説稗史も読に物憂く暗記に難く他人に説明も成兼るハ記述の拙なるにはあらねど洋語の記憶し憎さ故なり 茲に著す一奇説ハ仏国巴里府の事なりとて前年或人に聴置たるを石筆もて懐中紙の端に概略だけを留置たるが去る明治十五年の春親き操觚者一二名と社中を集へて各一回の奇談を演べ互ひの智識を交換し小説を編む扶とせむとて柳亭中に談会を開きしに……余ハ奇談の貯へなければ曩に聞得し仏国の男子に交ぜし女生徒の話しを……吾邦の話しに翻案たる▽(発端)

⑫3

柳亭叢書

柳亭種彦編集

明治十六年四月

(二)五月

(三)六月

(四)十月

京都

田中貞吉(駸々堂本店)出版

和・活版12行

五輯四冊

18cm

(一)応報

覚ての夢

(1ウ)18ウ

・松襲操の色

(18ウ)30丁

(二)松襲後

編(1)3ウ

・一舎時雨の笠森

(3ウ)21+奥付

編(1)3ウ

・一舎時雨の笠森

(3ウ)21

・夜半後半

(1)7ウ

・遠からん物語

ハ音羽の遊所に聞

唐紅

・流泥

・倚岸

・夜半の白波

(6オ)22

(6オ)22

・奥付

・廣告2丁

(四)夜半後半

(1)7ウ

・近へ夜も物淋

星宿の名所の廢

唐紅

・樽

・杜鵑花

(7ウ)22

(五)唐紅後編

(1)8ウ

・袖ケ浦余波

大潮

(8ウ)28

・奥付

・廣告2丁

[特43-117] A

R 28

313

348

373

399

[特43-117] A

R 28

313  
348  
373  
399  
422

⑫4

正史

続いろは文庫

柳亭種彦著

明治十六年六月

大阪

片山正義出版

和・活版10行

三冊18cm

(一)序

・彩色口絵

4+13丁

(二)17丁

(三)16丁

[特40-579]

R 29

1

21

40

⑫5

屋夜帯加茂川染

柳亭種彦編輯

吟光画

明治十六年九月

東京

富田豊次郎出版

松江堂発兌

和・活版13行

18cm

序・口絵

2+41丁

[特43-13]

A

R 29

59

⑫6

貞操

明治名婦百首

高島藍泉編輯

明治十七年一月

東京

大倉孫兵衛(錦栄堂)出版

和・木版12行

二冊13cm

(上)序

・彩色口絵

2+25丁

(下)25丁

[特58-843]

A

R 29

106

138

⑫7

貞操

卯月之花

柳亭種彦編

国松画

明治十七年四月

東京

森仙吉(鶴声社)出版

和・活版13行

18cm

序・口絵

1+27丁

[特41-871]

A

R 29

167

△絵入朝野新聞

ハ毎号ニ一回

つゝ拙き助筆

を加ふる中に

此頃稿を脱したる

卯月の花の余香

を慕ひ

鶴

声社が梓にせむと

屢々来つて望めども

忽卒杜撰の走筆

に成る新聞の雑報を

一部

の史に編

續けて

永

く遺すハ耻かしけれバ

△(序)

蝶鳥筑波裙模様

柳亭種彦著

芳幾外題画

国松画

明治十七年四月

東京

塚原房吉出版

芳譚雜誌本局

⑫8

愛善社蔵版・発兌

高島藍泉

- 和・活版12行 三冊18cm (上)序・彩色口絵2+29丁、(中)32丁、(下)36丁 [特43-15] A R 29-198 233 268  
 「芳譚雜誌」十六年六月三十日、十七年三月十五日号に「蝶鳥紫山裙模様」として連載  
 筆野 岡山紀聞 月耕画 明治十七年四月再版御届 東京 嵯峨野増太郎編輯(19)出版 鶴声社発兌  
 面影 和・活版14行 18cm 序(竹亭緑水)・口絵1+47丁 [特41-894] R 29-308

初版(明治十七年一月)は明治新聞雜誌文庫、柳田泉文庫に所蔵。「本書は119gの改作。備前岡山の池田治

政を東北の最上勝彦と改め、池田家の係累と知れる内容を抹消改変したもの」

- (130) 御伽話手遊八景 柳亭種彦著 月耕画 明治十七年六月 東京 千葉茂三郎出版 芳譚雜誌本局愛善社発兌  
 [特41-899] A R 29-360

- (130) 和・活版12行 二冊18cm (上)序・彩色口絵1+44丁、(下)47丁  
 怪談深閨屏 柳亭種彦著 国松画 明治十七年六月 東京 森仙吉(鶴声社)出版  
 [特41-899] A R 29-360

- (130) 和・活版13行 18cm 序・口絵2+55+鶴声社出版書目3丁 ↓ (130) 明治新聞雜誌文庫

- (131) 花兄 柳亭種彦著 国梅画 明治十七年十二月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版  
 [特43-58] A R 30-1

- (132) 和・活版12行 18cm 序・彩色口絵2+34丁  
 名器の茶入 女夫鬚操競 柳亭種彦述 月耕・国松画 明治十八年三月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版  
 名妓の古跡 和・活版12行 二冊18cm (上)序・彩色口絵2+28丁、(下)35丁 [特43-91] A R 30-41 76

- (133) 和・活版12行 二冊18cm (上)序・彩色口絵2+55丁、(下)54丁  
 黑白染分韁 柳亭種彦稿 月耕画 明治十八年四月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版  
 [特41-947] A R 30-115 177

△新版の草双紙ハ。臘尾から初春に限りしを。開化進歩の文運に小説稗史も自由を得たれば。定まる時期も夏過て。秋でも冬でも新版を続々販売す其中に。本社ハ毎月二三種の。発兌を約して開業せし。月日も浅きに老舗と成しハ花主諸君の庇蔭と社員が勉強他に優て。摺彫なども精工に。実価も廉き故なるべし(稟白、種彦)

⑬④ 貞烈 小夜時雨 柳亭種彦著 月耕画 明治十八年十二月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版

和・活版12行 18 cm 序・彩色口絵2 + 30 + 出版書目1 + 奥付1丁

[特41-963] A内 R 30-234

⑬⑤ 対模様荻の尾花 柳亭種彦作(著述遺族人高島瓶三郎) 童玉画 明治十九年九月 東京 仁木政信(翠松堂)

出版 辻岡文助・林吉蔵発兌

和・活版12行 19 cm 序(地藏庵主)・口絵2 + 25丁

[特44-507] A内 R 30-272

⑬⑥ 巷説兎手柏 故柳亭種彦著 耕作画 明治十九年七月(別製本) 東京 千葉茂三郎(共隆社)翻刻出版

和・活版12行 18行 序・口絵2 + 46 + 出版書目1 + 奥付1丁

[特12-731] A内 R 30-303

⑬⑦ 春色黄金花 柳亭種彦戲編 秀月画 明治十九年十月(別製本) 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版

活版12行 18 cm 叙・彩色口絵2丁 + 89 p (45丁) [弘方外題画]

[特10-920] A内 R 30-355

△是ハ柳亭大人が近日芳譚雑誌へ奇絶の筆を揮ハれたる猫の物語りV(⑬⑧の広告)

⑬⑧ 怪談深閨屏 柳亭種彦著 国松画 明治二十三年十一月 東京 足立庚吉翻刻発行 礫川出版会社発行

初版は十七年九月、柳田泉文庫に所蔵(和装本)

[特11-90] A R 30-407

ほかに明治11年『五月雨物語(絵本)』、13年『尾上梅幸怪談話』、『賞集花の庭木戸』、14年『近世四大家画譜(筆椿露隆)』(国会図書館(65-164))、17年『朝顔垣残秋月』、『猫のにしき』がある。るといふ。⑬⑨の広告に『梅月春未和歌山』、『旅枕名所譚(吾妻の鶯浪花の梅)』の書名がある。

# 宇田川文海

嘉永元年（昭和五年）一八四八—一九三〇）本名鳥山棄三。除々庵主人、運甕書屋主人、半痴居士。明治六年「遐邇新聞」主筆、八年「浪花新聞」創刊、以後「大阪日報」「大阪新報」「魁新聞」「大阪朝日新聞」「大阪毎日新聞」の記者として執筆活動をする。——A（石川巖）B（岡保生）D I（浅井清）E（明石利代）G（西田長寿）、『明治文学全集』2（略歴〔興津要〕）参照。

- ⑬⑨ 西南拾遺 宇田川文海編輯・出版 小室信介閱 明治十二年七月（二）八月（五）十一月 大坂 〔特41-265〕◎A  
和・活版12行 三冊18cm（一）序・口絵2+11丁、（二）11丁、（三）（四）欠、（五）14丁 R 31-1-17-32  
柳田泉文庫に全五冊所蔵
- ⑭⑩ 雁信壺の碑 朝日新聞ぬきかき 明治十五年九月（一）（三）十月（四）十一月 京都 浅野米次郎編輯・出版  
和・活版12行 18cm（一）20丁、（二）19丁、（三）20丁、（四）11丁 〔特43-389〕 R 31-49-71-92-114  
広告に「読切合本近日出版」とあり
- ⑭① 大汐 三津晒白浪 上 宇田川文海閱 明治十五年十二月 大坂 林市平編輯 出版 岡島真七発兌  
和・活版2段16行 23cm 諸言1+21丁 〔年信画〕 〔特43-937〕 A R 31-127  
異聞
- ⑭② 椿説打岸浪 初編 宇田川文海校正 芳峯画 明治十六年三月 京都 内藤久人編輯・出版 駈々堂本店発兌  
和・活版12行 18cm 緒言（見返）+18丁（34乱丁） 〔広告「全部五冊」〕 〔特67-391〕 A R 31-152  
奇縁井出の下帯 宇田川文海校正 年信画 明治十六年十月 京都 内藤久人編輯・出版 駈々堂本店発売
- ⑭③ 和・活版13行 18cm 41+奥付広告3丁 〔芳景外題画〕 〔特30-522〕 A R 31-173  
天明 伏見義民伝 宇田川文海校正 芳峯画 明治十六年十一月（二）十七年二月 京都 内藤久人編輯・出版  
騒動

駁々堂本店発兌

和・活版13行 18 cm (初編)序(見返、柳亭種彦)+24+奥付広告2丁、(二編)序(見返、天香逸史)+24丁

[特43-77] A R 31-19 248

①45 浮萍断續 夢乃手枕

宇田川文海校正 芳峯画 明治十六年十二月 京都 内藤久人編集・出版 駁々堂本店発兌

[特43-112] A R 31-275

①46 孝子復讐実録

宇田川文海校正 芳峯画 明治十六年十二月 京都 内藤久人編輯・出版 駁々堂本店発兌

[特41-942] A R 31-373

①47 勤王佐幕 巷説二葉松

宇田川文海校正 芳峯画 明治十七年一月 大坂 上田捨吉編輯・出版 駁々堂発兌

[特41-944] A R 31-427

二編は明治新聞雑誌文庫に所蔵(十七年二月、56丁)。「朝日新聞」(十六年十月十六日)十七年一月二十五

日)に連載

①47 b 実録小芝の山風

宇田川文海校正 芳峯外題画 光孚画 明治十七年二月 大坂 上田捨吉編輯・出版

明治新聞雑誌文庫

①48 新編淀の車

一名猿猴お申 宇田川文海校正 貞広外題画 芳峯画 明治十七年五月 大阪 福島幾太郎編

輯・出版 駁々堂書店発兌(蔵梓)

[特11-495] A R 32-1 61

和・活版12行 二冊18 cm(上)序(天香)1+54丁、(下)61丁

①48 b 朝日新聞(十七年新春)に「猿猴

阿申 新年第一筆」と題して掲載。 新街夜作楽 宇田川文海校正 明治十七年六月 大坂 福島幾太郎編輯・出版 駁々堂発兌(梓)

明治新聞雑誌文庫

①49 北国奇談 櫓の橋

宇田川文海著 年恒外題画 芳峯画 明治十七年九月 内藤久人原版 松田勝太郎(法木書屋)

宇田川文海

翻刻出版

和・活版12行 18 cm 序(見返)+75+奥付・広告2丁

[特43-51] A R 32-126

△この檐の橋ハ予が筆を執て朝日新聞に掲げたるものV(序)

初版は柳田泉文庫に所蔵(初々三編、十五年七々九月、内藤久人出版)

150

雲間月

宇田川文海校正 国松画 明治十八年五月 大阪 福島幾太郎編輯・出版 駸々堂本店発兌(蔵梓)

活版13行 19 cm 序1+口絵3+177+奥付1+新刊発兌書目2 p

[特10-299] A R 32-205

151

新編三枝物語

宇田川文海校閱〔小宮山桂介の作という〕 芳景外題画 芳峯画 明治十八年九月 中村善

兵衛編輯 大阪 和田庄蔵(文宝堂)出版

活版13行 18 cm 序(運甍書屋主人)2+口絵4+225+奥付広告2 p

[特11-55] A R 32-300

△これの物語ハ義の農 信の商 勇の貴族の三人の秀傑が三つの名譽を全ふする趣向にて其題号を真の友  
といふなる泰西の古詩を基礎にし之にあらぬ蛇足を添へて一部の小説となしたるものにて則ち原詩の意に  
ちなみて三枝といふ名をばつけたるなりV(序)〔朝日新聞掲載〕

151 b

佳劇 断腸花

スタッフオード著 宇田川文海訳 明治二十年八月——明治期翻訳文学書全集I 61

152

同窓美談 青年之友

初学の巻 宇田川文海著 月耕画 明治二十年十二月序 金港堂蔵

活版12行 19 cm 自序3+目次2+156 p 插画2葉

[23-109] A R 32-428

153

政治小説 中原の鹿

宇田川文海著 信一画 明治二十一年九月 大阪 赤川孫兵衛出版

活版12行 19 cm 自序6+目次2+229+正誤2 p 插画8葉

[38-2] A R 33-1

△此書ハ客年八月余ガ有馬浴亭避暑中ニ作ル所ニシテ、雪尾、月岡、花輪、ノ三少年ガ各其長枝ヲ挾デ一  
女優ヲ争フノ事ヲ借り、暗地裏ニ当時ノ政治社会ヲ写照シ、聊カ諷誠スル所アラント欲スV(自序)

- ⑮④ 恐多くも新年 雪埋松 宇田川文海著 明治二十一年十一月 東京 森仙吉(鶴声社)発行  
御題をその儘に 活版16行 18cm 自序・口絵4 + 288 + 奥付1p [17-100] AN R 33-140
- ⑮⑤ 『雪中松』明治二十四年五月・菅谷与吉(日吉堂)版は、本書の改題本〔挿絵吟光画〕  
汝所好 宇田川文海著 芳豊画 明治二十一年十二月 大阪 大淵濤(駸々堂本店)発行  
活版13行 19cm 口絵2 + 168 + 奥付1p 挿画2葉 [12p逆綴] [特13-748] A R 33-289
- ⑮⑥ 花嫁 宇田川文海著 信一画 明治二十二年一月 大阪 大淵濤(駸々堂本店)発行  
活版13行 19cm 口絵1 + 148p 挿画2葉 [奥付の著作者加須屋寿賀蔵] [特10-987] A R 33-381
- ⑮⑦ 狂花 宇田川文海著 明治二十二年四月 大阪 岡本仙助(岡本書房)発行  
活版14行 18cm 口絵2葉 + 145p [特11-62] A R 34-1
- ⑮⑧ 銀釵 宇田川文海著 明治二十二年五月 大阪 大淵濤発行 駸々堂本店発売  
活版13行 18cm 326 + 奥付1p [特10-398] A R 34-79
- ⑮⑨ おもひきや 宇田川文海著 明治二十二年七月 大阪 岡本仙助発行 偉業館発売  
活版14行 19cm 口絵16 + 167 + 奥付1p [特11-589] A R 34-245
- ⑮⑩ 貧福 宇田川文海著 明治二十二年七月 東京 大淵濤発行 駸々堂本店発売  
活版13行 19cm 口絵2 + 221 + 奥付1p [特11-621] A R 34-341
- ⑮⑪ 士族の商業 宇田川文海著 芳豊画 明治二十二年九月再版 大阪 大淵濤発行 駸々堂本店発売  
活版13行 18cm 口絵2 + (上)208 + (下)165 + 奥付1p 挿画5葉 [特29-561] V R 35-113
- ⑮⑫ お鈴 宇田川文海稿 年恒画 明治二十五年二月 大阪 飯井万助発行 明文館発売  
活版14行 22cm 41p(21丁) + 奥付1丁 挿画4葉 [特11-242] A R 35-203
- ⑮⑬ 小説 叢書 かひよせ 宇田川文海著 年峯・年恒画 明治二十五年二月 大阪 岡島真七(宝文館)発行

活版12行 19 cm 定規(見返)+はしがき2+烈女勝子伝64+愛婦21+おしかけ髻25+霞外花32 p 挿画2  
葉 [特10-37] A R 35-235

△本書は宇田川文海先生の著作に係る小説を蒐集したる冊子にして毎号三種以上を掲載する者とす 本誌  
は毎月一回定時刊行す(定規) 『近代文学研究叢書』31に十一冊刊行記載

164 白菊 宇田川文海著 明治二十五年十一月 大阪 飯井万助発行 明文館蔵版 駸々堂発売

活版13行 19 cm 165 [33 34 p欠]+奥付1 p 挿画4葉 [特10-50] A R 35-311

165 造船学士 宇田川文海著 信一画 明治二十五年十一月 大阪 飯井万助発行 明文館蔵版 駸々堂発売

活版12行 19 cm 123+奥付1 p 挿画2葉 [特28-69] A R 35-405

165 b 新編烏帽子折 小説百家選第九・十卷 宇田川文海著 明治二十七年六月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版2段12行 26 cm (九卷)口絵1葉+88(1)~88 p +口絵1葉+菊一文字(市川新蔵)32+口絵1葉+新

宇治川(江見水蔭)15+広告1 p、(十卷)口絵1葉+永室守(漣山人)12+口絵1葉+烏帽子折(続)91(13)

103 p)+口絵1葉+深編笠(中村花瘦)22+広告3 p [十卷は二十七年七月] G 国会図書館 [34-220]

165 c 短編 明治文庫 第十四編 宇田川文海著 明治二十七年七月 東京 大橋新太郎(博文館)編集・発行

小説 活版15行 23 cm 彩色口絵(年方)1葉+目次1+167+奥付広告3 p 三康図書館・国会図書館 [73-10]

収録作品○瓜の痕 ○葉末の露 ○本院信夫摺 ○万金丹 ○竹生島 ○胸算用 ○滑稽演劇 犢鼻褌 ○藤袴

○和氣清磨(正本製)

同叢書第十六編(二十七年九月)に ○但馬行李(紀行)41 p を所収

165 d 契冲阿闍梨 少年文学三十二編 宇田川文海著 明治二十七年十一月 東京 大橋新太郎(博文館)発行

肖像(見返)+口絵1葉+緒言2+目次2+III+奥付広告9 p A 国会図書館 [特47-601]

166 報談 電信技手 続き三幕 宇田川文海著 信一画 明治二十八年二月 大阪 梅原忠蔵発行

①66  
b

活版12行 18cm 序詞2+95+奥付1p 挿画2葉

[特29-448] A

R 35-474

喜寿記念 宇田川文海著 大正十四年八月 大阪 室谷鉄腸(宇田川翁喜寿記念会)発行

活版23行 22cm 題字(村山龍平)1葉+喜寿記念祝賀会記念撮影1葉+口絵(松洲、松濤)1葉+緒言3+

目次2+新聞記者になるまで16+朝日新聞創刊以前の大坂の新聞22+挿絵(米僊)1葉+阿闍梨契沖100+狂

雲子64+豊太閤と千利休42+祝賀会の顛末31+跋(室谷)1+奥付1p 挿画2葉

明治新聞雜誌文庫

明治14年『春霞筑波曙』(柳田文庫)、19年『朝桜日本魂』(国会図書館〔913・6-A 924・2〕)、  
21年『写真』(国会図書館〔特13-753〕)、22年『小説ありのまゝ』(柳田文庫)、31年『大阪繁  
昌誌』(国会図書館〔79-54〕)、昭和5年『午歳出生の二大偉人日蓮上人織田右府』(柳田文  
庫)を所蔵目録で確認。ほかに、明治17年『浪華夢蘆荻一節』『朧月小松原』、21年『懇親会』、  
22年『蓮の露』、41年『余が見たる天理教』、44年『嗚呼教祖』があるという。また、①4①5①の  
広告に『新編疎籬の薜花』『珍説芦辺鶴』『怠惰勉強心組織』Ⅲ⑩の広告に『雪竹伏見曙』の  
書名がみえる。



第II部 自由民権期編



# 戸田欽堂

嘉永三年〜明治二十三年（一八五〇〜九〇） 本名戸田三郎四郎氏益、維新後欽堂を称す。狐窟情仙、鉄研情史。美濃大垣藩主戸田氏正の庶腹の生れ。明治四年渡米し洗礼を受ける。——B（鶴月洋）DEI（浅井清）、柳田泉『政治小説研究』上参照。

①

## 論事矩

セボン著

戸田欽堂訳・出版 鈴木信校正

(中)(下)伴新三郎補訳

明治十二年六月

(中)十六年三月

(下)九月 東京 聚星館発兌 (中)(下)宮島儀三郎出版

(卷之一)和・木版10行 23 cm 目録1+凡例1+76丁、(中下)活版11行 19 cm (中)目録1+99+(下)目録2

+107+奥付2 p

〔5-121〕A B R 1-1-83 135

△此書ハ千八百七十六年英国倫敦府刷行ノ原名サエンス、プライメールス、ロジックト称シ有名ノ博士ゼボン氏ノ著ス所ナリ√(凡例)

②

## 花柳粹史

狐窟情仙・瓢痴醉士(永沢仲之亮)編纂・出版 明治十三年一月、(三)三月 東京 聚星館売捌

和・活版2段19行 三冊24 cm (一)自序2+12+あとがき1 p、(二)15 p、(三)花柳粹史発兌会ノ景況1

十口絵1+13 p

〔特44-320〕C R 1-1-193 203 212

③

## 情海波瀾

戸田欽堂著

寧齋画

明治十三年六月

東京

吉岡保道(聚星館)出版

〔特51-901〕B

活版10行 18 cm 成島柳北手翰3+序(三輪信次郎)2+口絵2+目次1+43+奥付広告2 p

R 1-1-222

④

## 薰兮東風英軍記

四幕

戸田鉄研著作

河竹黙阿弥校正 清親画

明治十五年十二月

東京 増田三郎出版

和・活版2段16行 23 cm 20丁

〔特67-409〕A R 1-1-253

△浪華の蘆ハ伊勢の浜荻 所かはれば物の名もまして万里の海原を隔てし国の古事来歴変はる人情世体を

バ容易に説て婦幼輩へさとしも早きお伽草思ふ心も生読の蟹はふ文字を翻訳して脚色も拙き筆端演劇杯と

御披露申せどもV(序)

⑤ 嬉笑珍話 浮世粹蕩夫 第一号 狐窟情仙戯著 清親画 明治十八年十一月 東京 松林重太郎出版

和・活版13行 23cm 9丁

[特67-432] A内 R1-274

⑥ 調世 吾妻忍びず 一名裏借屋合壁雜譚 狐窟情仙戯作 清親画 明治二十年十二月 東京 神戸甲子二郎

(顔玉堂)出版

[特11-318] A

活版12行 19cm はしがき(笹の家主) 4十目錄2十彩色口絵1葉+112十奥付広告18p 挿画3葉 R1-286

△おのれ、刎頸の交情ある、狐窟情仙ぬしは、小説の著述に名あり、凡そ著述するに、五ツの富を得されは、雄編はなしかたきとかや、一に学才に富み、二に蔵書に富み、三ツに記臆に富み、四ツに青年に富み、五ツに閑静に富み、此五富は、情仙子は、何れも具備せらる、学問は和漢を兼、かつ米国に、長く遊学して、彼の国の学を修め、ことに能く政治情態に通し、等閑ならぬ才子なり、書籍は和漢洋の三種の書は、文庫に満ち、記臆は素より、年いまた三十に足らて、駒込の片隅に卜居し、世事を放擲ち、風月を友とせらるV(はしがき)

③の広告に『鉄研詞藻』『酒史』が近刻とある。

## 宮崎夢柳

安政二年～明治二十二年（一八五五～八九） 本名宮崎富安。坂崎紫蘭らと詩文を談じ、山内容堂に詩才を愛される。明治三年上京、十三年「高知新聞」記者。十五年再び上京「自由新聞」に入り、「絵入自由新聞」「自由燈」に執筆。『鬼啾啾』を秘密出版し、出版条例違反で入獄。——AB（柳田泉）DI（前田愛）E（木村毅）、飛鳥井雅道『天皇と近代日本精神史』参照。

⑦ 勤王 高峰の荒鷲 夢柳居士編述 芳年画 明治十六年八月（二）九月 東京 宏虎童（絵入自由出版社）出版

活版13行 18cm （前編）緒言・彩色口絵・目録3+42丁、（後編）序（花笠文京）・彩色口絵2+29丁 R2-149

△曩にハ同志と共に絵入自由新聞紙を発行し読易きの文章見易きの図画以て下等社会の提醒誘導に従事したりき 然るに未だ余輩の心に慊らざるものあるハ何ぞや 我国人文の開化実に見るべく著述出版の業日一日より盛んなりと雖ども奈んせん 未だ欧米諸洲の如く其の政治世運に關し下等社会の読易く見易き稗史小説の著述出版あらざるを於是余輩ハ亦奮発興起絵入自由出版会社を創設し自から我国の政治世運に關したる稗史小説家となり所謂読易き者を著述出版して益す／＼下等社会の提醒誘導に従事せんと欲す

（緒言）

〔特43-6〕 A

⑦ b 仏蘭西 自由の凱歌 デューマ著 宮崎夢柳意識 明治十五年十月——明治期翻訳文学書全集Ⅱ 50

⑦ c 一滴 憂世の涕淚 キング著 宮崎夢柳演義 明治十七年三月御届——明治期翻訳文学書全集Ⅰ 24

⑦ d 虚無党 鬼啾啾 夢柳居士著 明治十八年七月序〔旭活版所〕

活版12行 19cm 序（紫瀾漁長、魯文）2+緒言4+232p

△余曩きに仏蘭西革命記自由凱歌一滴千金憂世涕淚等諸篇を著はし之れを世に公けにせしが幸ひに読者の

吉野文庫

評奨を辱なふせり 因りて復た将さに他の政治上の稗史を稿せんとせしも之れが好材料なきに苦しみ居たりしに頃日偶ま地底の秘密と題し彼の全世界に向つて至大至強の感觸を与へ人々の注意を喚起したる魯国虚無党の形情を記せし一書を得たり 抑モ此の書ハ一千八百八十二年即ち我が明治十五年の春三月英京倫敦に於て魯人ピ、レウロツフ氏の手記せしものなり……直ちに全篇を訳出せんと欲す 而して又た心竊かに憚かるところあり果さず 遂に篇中両三人の事跡を抜萃敷衍し且つ近日西字新聞の伝ふるところを湊合して茲に重ねて此の稿を起しぬ(緒言) 『明治文化全集』第21巻、『明治文学全集』第5巻に翻刻』

## ⑧

大阪事件志士列伝

上中 宮崎夢柳著 明治二十年八月、(中)十二月 大阪 小塚義太郎・龍野周一郎出版

活版11行 二冊18cm (上)序(板倉中、菊地侃二)6+目次1+110+跋(龍野周一郎、小塚義太郎)2+奥付

広告2p 肖像(大井憲太郎、稲垣示、稲垣良之助、田代季吉、窪田常吉、赤羽根利助、氏家直国、館野

芳之助、山本憲)9葉、(中)序(馬城山人)4+目次2+114+奥付広告2p 肖像(景山英子、落合寅一、新

井章吾、魚住滄、井山惟誠、久野初太郎、川村潔、武藤角之助、橋本政次郎、大矢正夫、石塚重平、小林

樟雄)12葉

[25-372] A R 2-83 156

## ⑨

芒の一と叢

宮崎夢柳著 信一画 明治二十一年五月出版 大阪 大淵濤発行 駸々堂本店蔵・発売

活版12行 18cm 口絵1葉+132+奥付1p 挿画一葉 [特11-136] A R 2-244

## ⑩

史談 義勇兵

宮崎夢柳著 明治二十一年十二月 大阪 岡本仙助(盛業館)発行

活版13行 19cm 緒言2+269(233p白紙)+奥付1p [17-124] A R 2-317

△本編は原と仏国有名の小説家、俄勃牢の記述に係り……之れを東雲新聞紙上に訳載せし(緒言)

## ⑩ b

史談 自由の凱歌

デユマ著 宮崎夢柳訳述 明治二十一年十二月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑧

ほかに、明治15年『冤枉乃鞭笞』、17年『鮮血の花』があるという。

坂崎 斌

嘉永六年〜大正二年(一八五三〜一九一三) 土佐藩主侍医耕芸の次男。鳴々道人、鏡水漁人、紫瀾漁長、馬鹿林鈍翁。明治七年、愛国公党結成に参画。十三年「高知新聞」編集長。十七年「自由燈」創刊、論説欄担当。——D(川田浩) E(前田愛) G(山本大) I(本多浩)、柳田泉『政治小説研究』上参照。

⑩ 汗血千里駒

坂崎鳴々道人原稿 雑賀柳香補綴 年信・芳年・国松外題画 年信・信一画 明治十六年七月(三)十月 東京 芝定四郎(撰陽堂)出版

活版13行 三冊18cm (前編)序1+目次1+32+跋(雑賀)1+奥付広告1丁、(後編)序(南翠、見返)+目次1+35丁、(続編)目次1+42+奥付広告1丁 [特41-919] A R3-14079

△土陽新聞の記者に其人ありと識られし馬鹿林純翁とハ世を茶にした飯の名実ハ坂崎斌君がものせられし南海第一の伝奇天下無双の人傑故坂本龍馬君の伝を這回撰陽堂の主人が発刊する趣きにて予に補綴せん事を乞ふ……予幼年の頃京師に遊び不図此駒乃ち龍馬君に邂逅して高諭を授し事あり(跋)

十六年五月に宇田川文海校『天下無双人傑 汗血千里駒』初編「特41-919」あるも書庫にて不明。「土陽新聞」十六年一月〜九月掲載

⑪ b 南山皇旗の魁

初編 烏々道人稿 信一画 明治十七年五月 土佐 積小堂 柳田泉文庫

⑫ 他山之石

北越遺聞 和18cm 34丁 「この項『柳田泉文庫目録』による」——⑬ [特10-283] ©OA R3-127

⑫ b 『照鏡』

活版13行 18cm 序・口絵4+133p 挿画2葉(破損有) 中村芳松(鐘美堂)版は、本書の改題本「特22-380」

坂崎 斌

- 活版12行 19cm 勝海舟肖像1 + 題字(後藤暘谷)3 + 序10 + 138 + 奥付1 + 大成館発行書目8p 吉野文庫・国会図書館〔19-116〕
- ⑬ 南海之勤王 佐々木甲象著 明治二十四年六月 高知 小島寅三郎・小川代次・村岡栄助発行  
活版13行 19cm 題字(中島信行)3 + 口絵1葉 + 武市坂本中岡吉村四氏贈位の祭祀10 + 例言2 + 目錄4 + 146 + 奥付2p 〔68-38〕AN R3 201  
△此書モト烏々道人ノ起稿ニ係ル故アリテ道人僅々十数回ニシテ擱筆ス 予其完結セサルヲ惜ミ譏劣ヲ顧ミズ更ニ近世史乗、公私ノ文書民間ノ伝説等ヲ参考シテ此ノ書ヲ作ル其稿ヲ脱セシハ明治十七年十一月ニシテ爾来久シク筐底ニ蔵ム 〔南山皇旗の魁〕の改題本という
- ⑬ b 林有造氏旧夢談 鏡水漁人著 明治二十四年八月 東京 青木恒三郎(嵩山堂支店)発行  
活版12行 19cm 林有道肖像1葉 + 序(末広重恭、志賀重昂、三宅雄二郎)6 + 152 + 奥付1p 吉野文庫・国会図書館〔68-65〕
- ⑬ c 陸奥宗光 紫瀾漁長著 明治三十一年六月 東京 大橋新太郎(博文館)発行  
活版14行 23cm 小序2 + 凡例1 + 口絵4葉 + 目次8 + 344 + 奥付広告8p 吉野文庫・国会図書館〔79-121〕
- ⑬ d 鯨海酔侯 坂崎斌著 明治三十五年三月 東京 田中福馬(高知社)発行  
活版14行 23cm 誅辞(山内豊信)1葉 + 口絵10葉 + 山内豊信年譜5 + 山内子爵家略系1 + 目次5 + 総論2 + 419 + 自跋2 + 奥付1 + 広告10p 吉野文庫・国会図書館〔93-148〕
- ⑬ e 小坂本龍馬 坂崎鳴々人原稿 雜賀柳香補綴 明治四十二年三月 高知 片桐仲蔵(片桐開成社)発行  
活版13行 19cm 序(紫軒生)1 + 肖像1葉 + 252 + 奥付広告2p G 国会図書館〔32-389〕
- ⑬ f 維新土佐勤王史 瑞山会(代表土方久元)編纂 大正元年十一月 東京 坂本嘉治馬(富山房)発行  
活版14行 23cm 総目次2 + 図版目次2 + 口絵3葉〔13点欠か〕 + 人名録18 + 武市瑞山年譜略7 + 凡例3

十目次46＋挿入版標目3＋千三百＋附録武市瑞山在京日記49＋瑞山会来歴2＋會員名簿2＋奥付広告4  
P 挿図32葉〔2葉欠〕  
G 国会図書館〔334―234〕  
△而して各殉難者伝記編纂の事は、土方直行専ら之を担当し、更に坂崎斌に嘱し、右伝記を根拠として、再び之を編纂脱稿せしめ、名を「維新土佐勤王史」と題す▽（瑞山会来歴）

小室信介 こむろしんすけ

嘉永五年（明治十八年（一八五二）八五） 旧姓小笠原氏、明治八年小室信夫の養子になる。案外堂主人。明治十五年四月、岐阜にて「板垣死ストモ自由ハ亡ビズ」と題して演説。十六年自由新聞社に入社し、翌年「自由燈」創刊に参画。——DI（山本正秀）E（野山嘉正）G（原田久美子）、柳田泉『政治小説研究』上、越智治雄『近代文学成立期の研究』参照。

⑭

東洋民権百家伝

一名日本義人伝 小室信介編輯 明治十六年八月（二）十七年一月（三）六月 東京 大橋忠

孫出版 土屋忠兵衛（東京）・岡島真七（大坂）・青木恒三郎（大坂）・太田権七（京都）発兌

和・活版11行 九冊19 cm 初編(上)題字(中島信行) 3 + 緒言 4 + 例言 2 + 引用書目 1 + 目次 1 + 24丁、(中)目次 1 + 48丁、(下)目次 1 + 37 + 奥付 1丁、二編(上)題字(陸奥宗光) 3 + 序 1 + 口絵 2 + 緒言 5 + 引用書目 1 + 例言 3 + 目次 3 + 20丁、(中)目次 1 + 50丁、(下)目次 1 + 39 + 奥付 廣告 2丁、三編(上)口絵(芳年) 2 + 例言 1 + 引用書目 1 + (中)目次 1 + 44丁、(下)目次 1 + 43 + 奥付 1丁 〔二編以降標題「東洋義人百家伝」

〔65-66〕 A R 4-1 39 91 133 175 229 274 314 362

⑮

勤王為経 民権為緯

新編大和錦 壇上強平編輯・出版 芳瀧画 明治十六年九月 京都 太田権七発売

活版12行 二冊18 cm (一号)23丁、(二号)21 + 奥付・廣告 1丁

〔特41-993〕 A R 5-1 27

「日本立憲政党新聞」(明治十六年八月十一日～十一月十一日)に掲載

⑯

自由艶舌女文章

案外堂主人稿 芳年画 明治十七年九月 東京 斎藤家寿家編・出版 自由燈出版局発売

和・活版13行 二冊18 cm (前)序詞(胡蝶園主)・彩色口絵 2 + 序 2 + 43丁、(後)39 + 奥付 1丁

R 5-52 104

「自由燈」(明治十七年五月十一日～七月二十三日)に掲載

〔特41-974〕 A

⑰

第一遊清記

小室信介著 明治十八年一月 東京 山中喜太郎出版 自由燈出版局売捌

和・活版12行 題字・口絵3 + 59 + 奥付1丁

[67-46] A R 5-147

△予ノ第一期ノ支那行ノ目的ハ清仏ノ戦況ヲ視察スルニ在リタリ 故ニ其ノ始メテ東京ヲ発シテ彼地ニ向  
ヒタルハ明治十七年ノ八月廿七日ニシテ彼ノ仏艦ガ福州ニ於テ清人ト戦端ヲ開キタルノ警報到着セル後僅  
カニ数日ノ間ニ在リシ(本文)

⑱

興亜  
綺談

夢恋々

安外堂主人著

宇宙散人補綴

明治二十五年一月

東京

飯田鎮雄著作・発行

春陽堂発売

活版12行

19 cm

緒言6 + 口絵1葉 + 285 + 奥付広告2 p

[68-168]

R 5-213

「自由新聞」(明治十七年四月六日～六月十八日)に掲載

矢野のふみお  
矢野文雄

嘉永三年（一八五〇）〜一九三二）龍溪。明治九年「郵便報知新聞」入社。一時任官したが十五年同紙に復帰し、社長に就任。立憲改進黨の結成に参画し、同年三月結党。——AC（高須芳次郎）B（柳田泉）DI（前田愛）E（畑有三）F（松田稷）H（飛鳥井雅道）、『明治文学全集』15（越智治雄編、年譜・参考文献〔福島タマ〕）『日本現代文学全集・講談社版』3（年譜〔岡保生〕）参照。

①9 西洋言行録 矢野文雄纂輯 明治七年二月序 東京 和泉屋市兵衛（甘泉堂）

和・木版10行 二冊23cm (上)凡例1+標目3+33丁、(下)35丁 [特35-421] ©CEO R6-141

△此書ハ許多ノ英書ヲ拔萃抄訳セシモノナレハ編中記スル所ノ事年紀相同シカラス▽（凡例）

②0 英米礼記 矢野文雄訳 明治十一年五月 東京 丸屋善七売捌

活版10行 18cm 序2+凡例2+目次2+102+奥付1p [36-118] I R6-79

△此書ハ米國ノ紳士礼法及ヒ英國ノ男女礼法ト題セル二書ヲ対照輯訳シテ一部トナセシ者ナリ▽（凡例）

②1 人権新説駁論 矢野文雄著 明治十五年十二月 東京 畑野林之助出版

活版10行 19cm 序2+83+奥付1p [19-66] A R6-136

△人権新説ノ世ニ出ルヤ書ヲ我カ報知社ニ寄セテ其説ノ当否ヲ論センコトヲ請フ者少カラス 時ニ藤田兄

ハ漫遊シテ北陸ニ在リ 犬養尾崎ノ二兄モ亦タ大阪ニ在リ 而シテ箕浦兄モ此時亦タ近県ノ招聘ニ応ス

是ニ於テ乎余立論ノ責ニ当リ十一月三日ヲ以テ其駁論ヲ試シカ次テ東京ノ諸新聞社モ亦タ皆ナ之ヲ論シ遂

ニ各社ノ間ニ於テ當時ノ一問題トナレリ▽（序）

加藤弘之著『人権新説』（十五年十月）の第三版（十六年一月）緒言「此書初版刊行以来今日ニ至ル迄未ダ僅

ニ七十日ヲ出デザルニ論者ノ之ヲ駁撃スルコト頗ル盛ニシテ既ニ人権新説駁撃新論 石川正美 人権新説駁論

集 梶木甚三 人権新説駁論集 中村尚樹 人権新説駁論 矢野文雄 天賦人権弁 植木技盛 等陸續刊行スルニ至レリ」

氏編集 氏編集 氏著述 氏著述

②② 名士 經国美談 龍溪学人纂訳補述・出版 佐藤蔵太郎助筆 至一画 明治十六年三月 (後)十七年二月 報

知新聞社發兌 丸善書籍店・博聞本社売捌 [後編・若林珪藏筆記]

活版12行 二冊17cm (前)序(栗本匏庵)4+自序6+凡例7+引用書目2+人物・地名2+目錄4+332+

正史摘節(沉紫生漢訳)8+跋(藤田鳴鶴)2p、(後)序(依田百川)6+序(鳴鶴)4+自序6+人名地名4+

目錄5+519+跋(森田思軒)2+速記法ノコトヲ記ス2+奥付1p 挿画28葉 [32-43] A R 7-1 217

②③ 訳書読法 矢野文雄著・出版 明治十六年十一月 報知社發兌

活版12行 19cm 序(吉浦生)2+小引1+例言2+目次2+110+奥付1p [特30-62] ◎AO R 6 182

△世上読ム可キノ書ハ限リ無クシテ之ヲ購フノ資力ハ限リ有リ 是ニ於テカ書籍周覽ノ結社起ル 周覽ノ

結社トハ若干ノ士人相結テ少額ノ財ヲ醸出シ衆力ヲ合シテ許多ノ書ヲ購入シ社中ノ人順次ニ之ヲ周読スル

ノ法ナリ 英米ニ之ヲ「シルキュレーチン、ライブラリー」ト云フ 同郷鶴谷ノ諸友相謀テ是ノ社ヲ結フ

余乃チ為メニ鄙見一篇ヲ草ス(小引)

②④ 演説 組立法 矢野文雄著 明治十七年九月再版(五月初版) 東京 丸家善七出版

活版10行 19cm 自序3+117+奥付廣告2p [25-188] A R 6 247

△是ノ演説法ナル者ハ余カ明治九年阿波徳島ノ英学校ニ在ルニ当リ試ニ起草シテ生徒ニ示シタル著ニテ明

治十年東京ニ帰ルニ及ヒ其当否ヲ識者ニ質サントテ之ヲ同年ノ報知新聞ニ記載セシコトアリ(自序)

②⑤ 日本文体文字新論 矢野文雄著・出版 明治十九年三月 東京 報知社發兌

活版12行 19cm 自序2+例言1+目錄1+245+奥付廣告2p [810-9-Y 555 n] R 48 1

②⑥ 周遊雜記 上 矢野文雄著 明治二十年三月三版(十九年七月初版) 東京 報知社發兌

活版12行 18cm 自序11+目錄1+466+奥付廣告3p [302-3-Y 555 s] V R 6 312

△英國滯留中余ハ不幸ニシテ時々輕痾ニ羅リ自ラ執筆スルヲ難シタリシニ幸ニ家弟武雄氏ト同ク此ニ在ル

アリ 又森田思軒氏ノ近ク来着スルアリシカハ乃チ武雄氏ニ請フテ余ノ口述スル所ヲ筆記シ毎日二時間ヲ以テ右筆記ノ時間トナシ一月下旬ヨリ四月上旬ニ至ルマテ八十余日ヲ積ミテ始テ是稿ヲ成スヲ得タリ 然ル後思軒氏ニ請フテ其字句ヲ修正添削シ四月中旬余カ大陸ニ発スルニ先チテ之ヲ日本ニ郵送スルヲ得ルニ至レリ(自序)

②6 b 波新 烈女之名譽 矢野龍溪訳 明治二十年三月→明治期翻訳文学書全集Ⅰ ④8

②6 c 一驚 世界一大奇聞 中沢順三編輯 明治二十年五月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ ①62

②6 d 報知 浮城物語 矢野龍溪著・発行 清親画 明治二十四年一月再版 東京 報知社発兌 文昌堂専売

活版12行 19 cm 序(森田思軒、蘇峰、鷗外、中江篤介、犬養毅)31+自序3+目次6+緒言2+129+奥付4+長島出版書目8 p 挿画8葉

吉野文庫

△矢野文雄君嘗て郵便報知新聞に掲げし所の小説〔明治二十三年一月〜三月〕を彙て「浮城物語」と題号して出版せん(序、中江)

日本近代文学館に三版(二十五年四月)あり。初版(二十三年四月)は国会図書館〔38-170〕にあるが、崩壊図書となっている。『明治文学全集』15に翻刻。→③1

②7 西遊漫記 随筆雑纂 龍溪居士著 明治二十四年十一月 東京 久世久(報知社)発行

活版14行 20 cm 目次8+西遊漫記130+想起録163+奥付1 p 〔68-130〕A R 8-1

②8 矢野龍溪時事意見 独逸、瑞西、四級団保険法概要、日本小作人統計概要 明治三十五年四月 東京 金田一良三編纂・発行 東京堂書店発売

活版14行 22 cm 序(編者)2+序3+目録2+46+奥付1 p 〔92-165〕G R 8-162

△龍溪先生、支那ヨリ帰朝シテヤ幾ント三年、静寂、聞クコトナシ、先生ヲ知ル者、皆之ヲ怪ム、本年一

月、先生ノ時事意見ナルモノ始テ大坂ノ新聞紙上ニ現ハル、果然、社会将来ノ一大問題ナリ√(编者序)  
△本年一月、余ノ京師ニ遊フヤ、大坂毎日新聞社ノ京都支局員、先ツ第一ニ来訪シテ、何カ時事問題ニ関スル意見ヲ聴キタントノ所望アリ√(序)

②9 新社会 矢野龍溪著 明治三十五年十一月十六版(七月初版) 東京 宮川保全(大日本図書株式会社)発行

活版12行 22cm 自序2+注意2+目次2+292+奥付2+広告6p

[93-249] V R 8-193

②9 b 通俗新社会 矢野龍溪著 明治三十六年六月 東京 宮川保全(大日本図書株式会社)発行

活版12行 19cm 序2+目次2+242+奥付2p

G 国会図書館 [96-269]

△拙著新社会は、現今欧米の有様と諸学者の説とを参照し、未来の変化を描き出したる書にて、未だ充分に尽せる者にはあらねども、成るべく広く世に閲読せしめたと考へ……之を通俗に改むるに就ては、同社「大日本図書」の木村氏が大に手伝はれたるは余の深く謝する所なり√(序)

②9 c 社会主義全集 矢野文雄講話 田川大吉郎輯 明治三十六年九月再版(同月初版) 東京 石尾信太郎発行

活版13行 23cm 序2+目次2+193+奥付1p

V 国会図書館 [特70-385]

△拙著新社会は、余の社会主義に於る富士山頂のみ、其の説く所、簡短、知り易きに似たれども、之を構成するの理論を極むれば、困範広大にして百事に関連する……此書を構成するの山脚に於る、亦た之を推考せずと云ふを得ず√(序)

②9 d 世界に於ける 日本之将来 矢野龍溪著 明治三十八年三月五版(初版二月) 東京 東為雄(近事画報社)発行

活版12行(鼈頭付) 22cm 自序2+目次3+174+奥付広告9p

明治新聞雑誌文庫

③0 出鱈目の記 矢野龍溪著 明治三十八年九月 東京 東為雄(合名会社近事画報社)発行

活版12行 18cm 序1+目次20+298+奥付広告2p

[98-177] G R 9-1

「近事画報」改題誌「戦時画報」に連載

③1 新訂 浮城物語 龍溪子戯著 明治三十九年一月 東京 東為雄(合名会社近事画報社)発行

活版14行 22cm 自序2+目次5+彩色口絵1葉+314+奥付広告2p [30-235] G R9-169

△子が此書を草せしは、明治二十二年にして、回顧すれば已に十七年前に在り、而て其間我國の進歩は、実に驚くべく悦ぶべき者多し、当時予は窃に邦人の海事海軍思想の幼稚にして、且つ海外冒険の気力に乏しきを慨し、多少の刺激を与へんとて起稿せしもの則ち此書なり▽(自序)

③1b 閑話集 矢野龍溪著 明治三十九年十二月 東京 国木田哲夫(独歩社)発行

活版12行 序1+目次6+262+奥付1p 明治新聞雜誌文庫

△昨三十八年刊行せし「出鱈目ノ記」以後の「デタラメ」を輯て本集とし。之を閑話集と名づく▽(序)

③2 不必要 龍溪著 明治四十年九月 東京 和田静子(春陽堂)発行 [特11-257] G R9-336

③2b 龍溪隨筆 矢野龍溪著 明治四十四年九月 東京 伊東芳次郎(東亜堂書房)発行

活版11行 19cm 序(井上哲次郎、犬養毅、蘇峰山人、愕堂市隱、雪嶺迂人、森林太郎)17+自序2+目次18+216+正誤1+奥付2+広告4p 明治新聞雜誌文庫

△本年の春、東京日々新聞と、東京毎日電報とを合併して、大阪毎日新聞社之を経営す、余も同社に相談役たるの故を以て、其の門出を賑わす為め、義勇兵として、隨筆の奇稿を為すこととなれり▽(自序)

③2c 龍溪閑話 矢野文雄著 大正十三年十二月再版(十一月初版) 大阪 荒木利一郎(大阪毎日新聞社)発行

活版12行 19cm 目次4+178+奥付広告4p 明治新聞雜誌文庫

③2d 安田善次郎伝 矢野文雄撰 大正十四年七月 東京 安田保善社発行

活版13行(鰐頭付) 序(武井守正)2+序3+口絵26葉+目次32+568+安田家の家系4十年譜27+跋(石黒直憲)2+奥付1p 明治新聞雜誌文庫・国会図書館 [534-99]

藤田茂吉

嘉永五年〜明治二十五年（一八五二〜九二）旧姓林氏。鳴鶴、聞天楼主人。明治四年矢野文雄の助けにより上京。八年「郵便報知新聞」に入社し、主筆となる。十五年二月、立憲改進黨の結成に参画。――A（高須芳次郎）B（松村定孝）DI（植手通有）E（榎林澗二）、柳田泉『政治小説研究』下参照。

③③

国会論 藤田茂吉著 明治十二年八月御届 東京 箕浦勝人編輯・出版 報知社・丸屋善七発兌

活版10行 20cm 緒言6+79+奥付1p

〔24-9〕 B R 10-1

△我儕ノ国会論ニ於ケル数年以来固ク執リテ変セサルノ説ナリ 当初其論題ノ初メテ社会ニ現ハル、ニ当テヤ我儕亦其主唱者ノ一人タルヲ自信スルナリ 抑モ民撰議院論ノ初メテ社会ニ現ハシハ今ヲ距ル五年前明治七年ノ初メナリ（緒言）

③④

文明東漸史 藤田茂吉著・出版 明治十七年九月 報知社発兌

活版12行（鼈頭付） 19cm 口絵2+序（中村正直、栗本鯤）15+自序7+凡例3+引用書目3+目錄2+内編264+外篇序（森田文蔵）4+目次1+外編209+跋（高銳一）2+奥付1p

〔特20-500〕 A O R 10-49

△明治八年余、初メテ新聞ノ業務ニ従事シテヨリ身ヲ世波ノ動揺セル中ニ置キ心ヲ時事ノ変遷セル間ニ馳セ身心閑ヲ得サルコト茲二十年 日夜奔馬ニ鞭テ行路ヲ疾駆スルノ想アリ 安ンゾ能ク深心精慮シテ著述ニ従事スルヲ得ンヤ 時ニ著作シ或ハ訳述スル所アルモ皆新聞紙ニ登セテ之ヲ公ニセリ 故ニ囊底復タ世ニ見ス可キノ余稿ヲ存セザルナリ 而ルニ数年前少シク思フ所アリテ西洋諸邦ニ干涉セル本邦ノ旧記ヲ捜索シテ之ヲ抄録セリ……本史ニ於テ余ハ最モ渡辺華山、高野長英等ノ事跡ニ力ヲ用ヒタリ 是レ微意ノ存スルモノアルニ由ルナリ（自序）

③④ b

諷世 繫思談 リットン著 尾崎庸夫訳 藤田茂吉佐訳纂評 明治十八年十二月――明治期翻訳文学書全集I ③①

藤田茂吉

③⑤ 済民偉業録 前編 藤田鳴鶴著・出版 明治二十年三月 東京 集成社書店発売

活版12行(鼈頭付) 18cm 題字(古梅居士) 1+目次4+542+跋(矢野龍溪) 3+奥付2+聞天楼叢書広告2

+集成社発売書目11p 挿画9葉 森田思軒・矢野龍溪・孤峰 犬養木堂評 [159・2-H971s] R 48 | 134

③⑥ 観風叢話 上 藤田茂吉著 明治二十三年五月 東京 原亮三郎(金港堂)発行

活版11行 15cm 題字(大隈重信) 4+自序2+324+著作目録5+奥付1p [71-26] A R 10 | 314

△余海外の遊を思い立ち諸友の賛助を得て征途に上るに際し報知社諸友ハ余に托するに漫遊中見聞せる事柄を報告すべき務を以てせり……上編ハ風俗、政治の話なり 之に遊記数章を加ふ 下篇ハ商売、製造、学芸、美術の話述る筈なり▽(自序)

ほかに、明治16年『麻吉侯情話(仏国某州領主)』の訳書があるという。

# 高瀬真卿

安政二年～大正十三年（一八五五～一九二四） 本名真之介。高瀬巳之吉、高瀬紫峰、菊亭静、竹亭静、鉄窓嘯史、春雨堂主人、羽臯隠士、天賜苑主人。ほかに小柳津親雄（柳窓）、高瀬松吉（小山松吉）、近藤東之助の名にても著作を発表。明治九年「甲府日々新聞」、十年「観風新聞」、十一年「仙台日々新聞」、十二年「宮城日報」、十三年「東北新報」、十四年「東北毎日新聞」などを編集、発行。——G（鈴木暎一）、柳田泉『政治小説研究』上参照。

③⑦ 熊本伝報録 鈴木幸三編輯 明治九年十月御届 (一)十一月御届 東京 樋口徳造（又新舎）出版 [特56-770]

和・木版10行 21cm (一)7+奥付1丁、(二)7+奥付1丁、(三)7+奥付1丁 C F Q R 11-1120

③⑧ 稽滑 国会夢物語 小柳津親雄著・出版 高瀬真之介閱 明治十四年二月 東北新報社 [特29-600] R 11-31

和・活版12行 17cm 10+奥付1丁

③⑨ 稽滑 天狗討論会 小柳津親雄編輯・出版 高瀬真之介閱 明治十四年六月 東北新報社 [特43-685] B R 11-45

和・活版12行 18cm 緒言1+11+奥付1丁 笹島蜻洲評

△曩に著したる国会夢物語は一寸浮んだ俄案じ全く以て世の諸君子に見て貰ひたい主意にはあらねどようした事か非常なる愛顧を蒙り二千余部の発売あり……是れ偏に国会の貴き所以にして諸君子が国会を希望したもふ徴とや言んか 去れば夢物語の第二篇は……なぜ出版せぬ事よと御催促（緒言）

④① 各社新聞雑誌評判記 高瀬巳之吉著・出版 菊水亭静人閱 明治十六年二月 東京 共同社発兌 活版12行 18cm 序2+目録1+49+奥付広告5p [表紙「全国新聞雑誌評判記」] [特29-378] A R 11-61

④② 新三政党穴探 初編 小柳津柳窓著 菊水亭静人閱 明治十六年二月 東京 笹川文治郎出版 活版12行 18cm 序（蘭竹草堂主人）2+目録1+49+跋（笹川雪窓）1+奥付2p [特17-446] A R 11-94

△余之を一読するに滑稽を以て主とし。多くは戯作体に出づるが如し。然れども文中頗る高尚の政治論ありて。恰も泥中に玉を置くの思ひあり。居士常に政治書を読ミ好んで時事を談ず。其倦むに至って。戯むれに此等の書を著す。故に居士の戯作たる尋常一様掃溜戯作者輩の識見なく。主義なきの書と同一視すべからず。加ふるに菊水亭先生の筆を加ふるあり▽(跋)

- ④2 閻魔王判決録 高瀬巳之吉戯述・出版 菊水亭静閣 明治十六年二月 (二)五月 東京 共同社発兌

活版12行 二冊18cm (一)序3+目録1+53+奥付広告5p、(二)序2+目次2+51+奥付広告5

p〔二編目次には菊亭静戯著とあり〕 [特52-293] A R 11-125-160

- ④3 二十三年未来記 柳窓外史著 菊亭静閣 明治十六年三月 東京 横田兼太郎出版 今古堂発兌

活版12行 18cm 序(菊亭静)10+目録1+48+奥付広告2p [特29-356] R 11-193

- ④4 滑稽新話 明治流行噓八百 菊亭静戯著 明治十六年四月 (二)十月 東京 高瀬巳之吉編輯・出版 續文舎発兌

活版12行 18cm (一編)自序2+目次1+56+跋(松田青城)2+奥付広告4p、(二編)序2+58+奥付広

告4p [特52-197] R 11-230-268

△友人蘭竹草主人一日余が菊亭に來りて謂て曰く 君が近頃書きたる大王判決録新聞雜誌評判記の二書共 同社より発刊せり 彼書たる抑も何の爲にして書きたるや……此即ち一代の興廢千秋の感慨の繋る所なり 鼎革以來時移り物換り十年の旧夢揚洲に依約し一片の勸場鞠て茂草となるト言ふの意を以て答ふ▽(序)

- ④5 珍談雜煮餅 竹亭緑著述 明治十六年四月 高田実編輯 東京 栗野忠雄(金松堂)出版

活版12行 18cm 序(菊亭静)2+緒言2+目次1+36+奥付1p [特47-566] A R 11-303

- ④6 滑稽新話 書生肝粒誌 菊亭静著〔奥付は田中一郎著〕 明治十六年四月 東京 横田兼太郎出版 今古堂発兌

活版12行 18cm 序2+目録1+55+奥付1p [特49-570] © A R 11-326

- ④7 時事新話 明治乗合船 柳窓外史著 太田五洲閱 明治十六年六月 東京 横田兼太郎出版 今古堂発兌

- 活版12行 18cm 序2 + 69 + 奥付2p  
〔特28-603〕◎A R 11-362
- ④8 明治新話 抱腹奇談 晴亭柳窓戲述 菊亭静校訂 明治十六年七月 東京 横田兼太郎出版 松江堂發兌  
活版12行 18cm 69 + 奥付2p  
〔特10-330〕 R 12-1
- ④9 明治紀聞 赤穂の復讐 水亭清編 菊亭静閱 明治十六年八月 (下)九月 東京 高瀬松吉(太平堂書房)出版 〔特43-98〕  
和・活版13行 二冊18cm (上)叙・口絵1 + 24 + 奥付1丁、(下)叙(見返) + 26 + 奥付1丁 A R 12-42 70
- ⑤0 明治英名伝 第一編 高瀬松吉著 出版 明治十六年八月 東京 續文舎發兌  
活版12行 18cm 序(菊亭静)2 + 目錄2 + 126 + 奥付2p  
〔特20-556〕V R 12-100  
△菊亭附言本編二篇三篇已ニ腹稿ヲ在セリ▽(本文末)  
目錄——名家伝(徳川慶喜、嶋津久光)、学士伝(福沢諭吉、加藤弘之)、才子伝(福地源一郎、守田勘弥、岸田吟香)、滑稽伝(成嶋柳北、総生寛、忍峽稜威兄、小西甚之助)、弁士伝(沼間守一、馬場辰猪)、叛臣伝(江藤新平、前原一誠)、刺客伝(武市熊吉、嶋田一郎、相原尚聚)
- ⑤1 運輸会社 船中演説会 柳窓外史著 深志五洲閱 明治十六年十月 東京 横田兼太郎出版 今古堂・松江堂發兌  
活版12行 18cm 序(深志)2 + 目次2 + 84 + 奥付2p  
〔特10-645〕◎A R 12-170  
『明治乗合船』④7に「福島自由党员、河野広中言行話」を増補したもの
- ⑤2 雲井龍雄実伝 徳川回復嚀龍浪 秋亭実著 菊亭静校閱 岡西繁三郎編輯 明治十六年十一月 東京 高瀬真之助  
(太平堂書房)出版
- ⑤3 和・活版13行 23cm 叙(菊亭高真卿)・彩色口絵1 + 28 + 奥付広告2丁  
〔特54-27〕A R 12-219  
勤王実伝 桜田血染の雪 菊亭静著 明治十七年四月再版 東京 高瀬松吉(太平堂書房)編輯・出版
- ⑤3 b 和・活版13行 23cm 叙・目次1 + 27丁 (発売人、丸山・村上)  
〔54-31〕A R 12-254  
感化修身談 高瀬真卿(真之介)編輯・出版 明治十七年四月 (二)十月 (三)十八年三月 東京 太平堂書房

蔵版・(三)感化心学会蔵

和・活版11行 三冊23cm (一)題字(小原重哉)3+序(石井邦猷)2+凡例・引用書目1+23丁、(二)凡例

1+24丁、(三)題字(石沢雅)1+凡例1+22丁

A 国会図書館〔特35-312〕

⑤4 尊攘紀聞筑波夢

菊亭静著 月耕画 明治十七年七月 東京 小林隣三編輯・出版 太平堂書房発兌

〔特43-2〕 R 12 285

⑤5 和・活版12行

18cm 題字(山岡鉄舟)1+緒言1+目錄1+44丁

筑波水滸伝 菊亭静著 年信画 明治十七年十一月 東京 横田兼太郎編輯・出版 今古堂発兌

〔特43-24〕 R 12 335 384 433

⑤6 俗通 近代殉難事蹟

菊亭静編述 高瀬真卿校閲 明治十八年五月 京都 井楽甚三郎(鳳城楼)翻刻

活版13行 18cm 題字(山岡鉄舟)2+序(柳亭耕夫)1+口絵4+引用書目1+凡例2+目錄2+78+奥付

〔特10-857〕 A R 13 1

⑤7 宗教競進会

菊亭静編述 高瀬真卿校閲 明治十八年六月 東京 青木国次郎(文宝堂)編輯・出版

活版12行 18cm 題字(田島象二)2+競進会評論・口絵・目次3+44+奥付廣告6

⑤7 b 感化啓蒙

高瀬真卿(真之介)編輯・出版 明治十八年七月 東京 感化心学会蔵版 道五書房発兌

和・木版10行 二冊22cm (上)凡例・引用書目1+目錄1+19+奥付廣告1丁、(下)緒言・引用書目1+

A内 国会図書館〔特35-628〕

⑤7 c ポツカス翁

想夫恋 ボツカスヲ著 佐野尚訳 菊亭静校 明治十九年十月

⑤7 d 伊国

鴛鴦奇観 ボツカスヲ著 近藤東之助(菊亭静)訳 明治二十年二月

⑤7 e 泰西

密夫の奇獄 ボツカスヲ著 近藤東之助訳 明治二十年二月

↓明治期翻訳文学書全集Ⅱ①60

⑤8 錦之御旗にしぎのみはた 菊亭静著〔奥付高瀬恭助〕 明治二十年三月 東京 覚張栄三郎(明三閣)出版 〔特10-841〕 A 内

活版13行 18 cm 題字(山岡鉄舟)2 + 緒言3 + 目録4 + 序(春雨楼)1 + 口絵3 + 192 + 奥付1 p R 13-114

△余去る年の春信濃に遊びて別処の温泉に浴する三週間山間の僻地交友に乏しく日夜無聊偶々旅亭の主人蔵する処の「五条一撥始末」なるものを見て忽然胸中架空の現象を生し遂に本伝を草するの端緒を開けり後ち上田に遊び上州を遊歴するに至り旅亭に泊する毎に筆を走らして第一章より第十二章に至る数十葉を草す 帰京するに第十三章以下を記して初て前編を完結す▽〔緒言〕

⑤9 桜田後日譚さくらだごじつものがたり 菊亭静著述〔奥付近藤東之介〕 明治二十年十一月 東京 加藤勘七出版 今古堂発売 〔特46-870〕 N R 13-222

活版12行 17 cm 叙1 + 口絵2 + 目録1 + 59 + 挿画2 + 奥付1 p

△十六年癸申の秋、十月余戯れに桜田血染の雪一冊を著す、該書たる読書の余興に出でたりと雖も、専ら正史に拠り、実伝を旨として、多少の参考の書をも引用したれば、世上に有ふれたる小説稗史の類にハあらざりき、さればにや頗る世人の愛読する所となりて、本年の秋に至るまでに既に五千五百余部を發行するに至れり矣▽〔叙〕

⑥0 立志鳳鑑 美少年録 菊亭静著〔奥付近藤東之助〕 明治二十年十一月 東京 石渡賢八郎(イーグル書房)出版

活版12行 18 cm 題字(中村弘毅)2 + 緒言2 + 口絵1葉 + 152 + 奥付2 p 挿画6葉 〔特11-311〕 A R 13-260

⑥1 前將軍 葵の嫩葉あひのわかば 菊亭静著 秀湖画 明治二十三年二月 東京 辻岡文助(金松堂)發行

活版13行 18 cm 巻首(天趣散士)3 + 口絵3葉 + 127 + 奥付1 p 挿画7葉 〔特10-815〕 A R 13-350

⑥1 b 故老 水戸史談 高瀬真卿述 明治三十八年九月 東京 高瀬真卿(株式会社中外図書館)發行

活版13行 22 cm 題字(久元)3 + 叙(竹亭禧)3 + 烈公賛辞2 + 口絵6葉 + 自序4 + 凡例2 + 目次2 + 188 + きのふの夢62 + 続きのきのふの夢56 + 奥付1 p G 国会図書館〔99-142〕

明治19年『感化志林』第一冊(国会図書館〔特15-215〕)『孝の道』〔特67-305〕『恕字解』〔特67-305〕、43年『刀剣談』〔96-478〕、44年『刀剣鑑定備考』〔249-31〕、45年『鑑刀必携(袖中)』〔339-51〕を蔵書目録で確認。④広告に『住谷の讐討(筋違紀聞)』、『明治秘事談』、⑤広告に『古文孝経(凶入解釈)』、『明治三美人(光彩生門)』、⑤b広告に『日本の大患』あり。真卿が主宰した雑誌「刀剣と歴史」に自伝「羽阜半面録」が連載されている。

## 須藤南翠

安政四年〜大正九年（一八五七〜一九二〇） 本名光暉。土屋南翠、楊外堂主人、土屋郁之介、土屋郁、古蒼楼、坎坷山人、彩幻道人。明治十一年「有喜世新聞」に入社、十六年発行停止のため、三月「開花新聞」発足、十七年「改進黨新聞」と改名し改進黨機関紙となる。二十五年「大阪朝日新聞」に招かれ関西に移住。――A（高須芳次郎）B（柳田泉）D I（西田長寿）E（浅井清）H（飛鳥井雅道）、柳田泉『政治小説研究』中、本間久雄『明治文学史』下、『日本現代文学全集・講談社版』3（年譜・参考文献〔二木慶〕）参照。

⑥2

新説 黄金の花籠

宣秀・豊宣・芳宗画 明治十八年五月 東京 丸山幸次郎編集・出版 寛栄社上梓 木村巳

之吉・村上真助発兌 和・活版12行 18 cm 序(松亭鶯痴)・口絵3+85丁

〔特41-945〕A R 14-1

⑥2 b

「改進黨新聞」(明治十七年十二月〜十八年二月)に掲載 繪本近世日本年契 土屋郁之介編輯 明治十六年五月版權免許 東京 清水嘉兵衛(清宝堂)出版

明治新聞雜誌文庫

⑥2 c

銅版13行 18 cm 一帖(序1+口絵1+28折) 口絵国松・挿絵国梅画 從一位大勳位 誠忠義伝 芝定四郎編纂 土屋郁之介訂正 国松画 明治十六年七月 大坂 芝定四郎出版

吉野文庫

⑥2 d

和・活版13行 18 cm 序(土屋郁)1+岩倉公之誌1+奥付1丁 結城合戦花鋏形 楊外堂主人著作 豊宣画 明治十八年十一月 東京 野村銀次郎出版

A内 国会図書館〔特10-869〕

活版13行 19 cm 緒言(醉花生)1+口絵6+249+奥付1 p 「改進黨新聞」に掲載

⑥3

春色日本魂

楊外堂主人著 芳年画 明治十九年四月 東京 伊藤倉三(金盛堂)翻刻 法木徳兵衛原板

須藤南翠

活版12行 18 cm はしがき1十口絵3十196十奥付2 p

〔特10-351〕 A内 R 14-93

「開花新聞」(十七年五月-八月)に掲載。初版は十八年五月、明治新聞雜誌文庫所蔵

⑥4

正札附玉河晒布

前名遠砧音菊月 楊外洞主人著作 豊宣画 明治十九年五月 東京 覚張栄三郎(明三堂)

・上田屋)出版

〔特41-982〕 N内

和・活版13行 二冊18 cm (一)序(桐原捨三)1十自叙・口絵・目錄3十62丁、(二)59丁

R 14-198 268

△此の三年か程に昔語千代田刃傷、新藁阿皆心黒髪、新説黄金の花籠、梅の下風、結城合戦花鋏形などいへる戯墨の江湖にや愛られけん 書肆の私しに刷行して外史には更に訂正をも需めず市に利を售たるものありたり 格てさへ入らぬものを斯く翻刻せらるゝは外史に於ても誠に怡悦しき事なれども体裁を作らず 過誤を正さず然らでだに拙なきものを……千代田刃傷、結城合戦等の如き首尾全かざるに於ておや 唯外史の訂正を自らせるものハ東勝堂の茨木阿瀧粉白糸、漸進堂の春色日本魂、実録神奈川政談〔未刊〕探鑑風扇竹〔未刊〕及び此書あるのみなり……外史自ら訂正増補しつる標目にとて正札附とは題しぬ 此の布元経糸ハ西洋に行ハるゝポリチカルノヴェル〔政治小説〕に倣ひ緯糸は人情反覆の常なきに象りたれども擢の目も細密ならて投抒の運び最と純けれバ地合ハ仁田山紬にも劣りつらん▽〔自叙〕

「改進新聞」(十八年十月-十二月)に掲載

⑥5

天誅組養之旗拳

南翠著 芳宗画 明治十九年九月 東京 覚張栄三郎(上田屋)出版

〔特10-854〕 A内

活版13行

19 cm 序(春永情史)・口絵4十223十奥付1十上田屋稗史小説出版書目2 p

R 14-331

⑥6

雨牌 緑叢談

南翠外史稿 豊宣画 明治十九年十月 改進黨蔵版 大阪 岡本直蔵拔萃・印刷

活版13行 18 cm 題字1十口絵1十序1十(上)121十(下)121 p

〔特13-551〕 A内 R 15-1-69

△外史末だ教の庭に在りつる頃米人リーバー氏が著はず所の自治論 (Self Government) 一名Civil Liberty) を読みて聊か感ずる所ありつる儘を筆に止め一篇の小説として其が儘に筒底に蔵めたりしが頃日社会の気

運を觀るに良や目を政治上に注ぐ者多かるを以て政治小説 (Political Novel) の如きも大に密接の關係を有つの傾きあるやに思考せらるゝより偶ま筐裏に探り之を把出し……其主旨専ら中央集權と地方分權との問題に係れるとは雖も皮相よりして味ひなば通編繪て情史ならざるハなく退いて之が氣骨を味へば滿卷悉とく政論ならざるはなし (序)

⑥7

茨木阿龍紛白糸

土屋南翠著述

明治十九年十一月 東京

鈴木金次郎翻刻 岩城勝藏原版

活版14行 18cm 叙詞1 + 口絵3 + 74 + 奥付広告2p

〔特10-481〕A内 R15-133

明治十六年八月・岩城勝藏(東勝堂)出版の初版は明治新聞雜誌文庫に所藏(活版12行 18cm 叙詞・彩色 口絵2 + 49丁 国松画)

⑥8

春曉  
攪眠

癡人之夢

南翠外史戲著

国松画

明治二十年二月 東京

木村莊二郎(晚青堂書店)出版

活版12行 18cm 藏版印1葉 + 序(春のや主人)4 + 自序4 + 口絵3 + 191 + 奥付3 + 広告16 + 正誤7p 挿

画10葉

〔特10-782〕A内 R15-176

△小説の種類多かるが中にも最も六かしきハアレルゴリイなり バニヤンの「ピルグリムプログレス」ハ  
広く泰西に行はれて其名ハ今日まで轟きたれどそれだに無宗者の眼をもて見れば節を拍つ程とハ覺えずか  
し……南翠大人の文章の流麗なる其想像の豊富なるこれらは今更にいふにしも足らねど幾多の窠兀たる政  
事上の利害を巧に小冊子の中に藏めて絶えて其痕を皮相に現ぜず (序・春のや)

⑥9

一笑

新粧之佳人

南翠外史著述

明治二十年三月序

古蒼楼藏版 正文堂發兌

活版12行 19cm 序(思軒)4 + 自序6 + 目錄2 + 362 + 評(月廼家圓)2p 彩色挿画4葉

〔23-2〕A R15-313

⑦0

雛黃鸝

南翠外史著・出版

月耕画

明治二十年一月 東京

朝野文三郎(正文堂)發兌

活版12行 17cm 目次4 + (上)206 + (下)192 + 奥付1p 挿画7葉

〔22-183〕A R16-115

⑦1

社会  
現象

うつし絵

彩幻道人戲著

南翠外史刪潤・發行

明治二十一年五月 東京

朝野文三郎(正文堂)発売

⑦2 活版12行 18cm 149+奥付1p 挿画4葉 [特22-578] A R 16-221  
 写<sup>処</sup>真<sup>世</sup> 緑<sup>り</sup>叢<sup>り</sup>談<sup>くさたん</sup> 南翠外史著 月耕画 明治二十一年五月 (後編)六月 東京 野口幾太郎(万里堂)・朝野文三  
 郎(正文堂)発行

活版13行 二冊19cm 目次2+著作の主旨及び凡例15+330+評林14+奥付1p、(後編)序6+凡例五則2  
 +目次2+316+奥付1p 挿画14葉 [21-125] A R 17-1206

△本書ハ固と卷を成す為めに記述せしものにあらず 予が本務たる改進新聞紙上に日々記載せるものにて  
 ……本書ハ始め<sup>雨窓</sup>漫筆<sup>漫筆</sup> 録叢談と題せり▽ (凡例)

「雨窓漫筆」の(上)発端2+14頁を「処世写真」の発端・第一回1+26頁に、「雨」の(下)121頁を「処」の329  
 330頁に書き直し、前編の尾とする。△続編ハ前編の局を結びてより一年五月を経て稿を継▽ (凡例)

⑦3 活版12行 18cm 117+奥付1p 挿画4葉  
 活版12行 18cm 117+奥付1p 挿画4葉  
 活版12行 18cm 117+奥付1p 挿画4葉

⑦4 活版13行 18cm 自叙4+彩色口絵2葉+302+後書(橋園小史、竹沢義肇、月のやまとか)5+穴探(滴天  
 頑仙)30+後書(著者)6+正誤4+奥付1p 挿画8葉  
 活版13行 18cm 自叙4+彩色口絵2葉+302+後書(橋園小史、竹沢義肇、月のやまとか)5+穴探(滴天  
 頑仙)30+後書(著者)6+正誤4+奥付1p 挿画8葉

△著者が脚色を運らしたるハ明治十八年十二月の事にして翌十九年一月四日初めて第一回の筆を執り爾来  
 卒稿卒刷して四月十四日の改進新聞に局を結びしなり▽ (後書)

⑦5 活版18行 二冊17cm (一)序(古自万楼斎)・口絵2+20丁、(二)20丁 [特43-17] N R 18-199-222  
 活版18行 二冊17cm (一)序(古自万楼斎)・口絵2+20丁、(二)20丁 [特43-17] N R 18-199-222

和・活版18行 二冊17cm (一)序(古自万楼斎)・口絵2+20丁、(二)20丁 [特43-17] N R 18-199-222

⑦6 活版18行 二冊17cm (一)序(古自万楼斎)・口絵2+20丁、(二)20丁 [特43-17] N R 18-199-222  
 活版18行 二冊17cm (一)序(古自万楼斎)・口絵2+20丁、(二)20丁 [特43-17] N R 18-199-222

籠<sup>こ</sup>飼<sup>ひ</sup>鷺<sup>くひす</sup> 南翠外史著 月耕画 明治二十二年六月再版(一月初版) 東京 花井卯助(共和書店)・西村富次

郎(自由閣)・内藤加我(全桜堂)発行

活版15行 18cm 緒言2+246+奥付1p

〔特11-169〕A R18-245

△さて現今の世を見渡すに婦女子の地位も大いに進みて下等社会の者すらも稀にハ花と実を備へし愛たき女流のなきにもあらで此の人情を写さんにハ為永主義の眼を以て咄嗟に之れを綴るべからず 然とて時流の不消化なる文字を以て写す時ハ淑女の真価を貶すべし 然れば氣骨を新にして進歩世界の精神を備へ彼の嫺雅なる皮相を仮りて写し出さバ幾分か優美のものを下さるか敢果なき事を憑みとなし籠飼の鶯てふ筆すさみの巻を世に售ることハなせりV(緒言)

⑦ 唐松操 <sup>からまつみさを</sup>南翠外史著・発行 年恒画 明治二十二年六月 東京 文昌堂・盛化堂発兌

活版13行 19cm 自叙2+目録1+355+奥付2p 插画8葉

〔特10-998〕A R19-1

⑦ b 隠君子 <sup>いんくんし</sup>〔こぼれ松葉〕南翠外史著 年恒画 明治二十二年八月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版13行 二冊合本19cm (上)序2+例言3+目録1+157+奥付1+(下)目録1+151p 插画8葉 吉野文庫

△この小説は明治二十一年八月一日以来の改進黨新聞に連載したるものV(例言)

〔こぼれ松葉〕は一・二卷『隠君子』三卷『みなし児』四・五卷『旭章旗』六・七卷『満春露』八・九卷『行路難』が二十二年八月から二十三年四月までに出版されたという。

⑦ c みなし子 <sup>みなしこ</sup>こぼれまつ葉 南翠外史著 桃水外題画 年恒画 明治二十二年九月 東京 和田篤太郎発行

活版13行 19cm 例言2+127+奥付1p 插画4葉 日本近代文学館

△此小説ハ明治二十年九月「曦の旗風」の筆を投じ將に「緑簑談後談」を草せんとするの間に於て起草したるものにて新聞紙にハ「断鴻異契」と題したり 今改めて「みなし児」と題すV

⑦ d 新編破魔弓 <sup>ばんしんくわく</sup>(『第一国民小説』所収) 南翠外史著 明治二十三年十月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑧⑧

⑦ e 万春楽 <sup>ばんしゅんらく</sup> 須藤南翠著 恒茂画 明治二十三年七月 (下)八月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版13行 二冊合本19cm (上)138+(下)64+冬木立<sup>ふゆこたち</sup>34+異裡子<sup>かへりうらのひごらも</sup>日衣<sup>ひぎ</sup>32+奥付1p 挿画6葉

明治新聞雜誌文庫

⑦⑦ f

冬木立は「新小説」二十二年十二月号、異裡子日衣は同二十三年一月号に掲載  
臥待月<sup>ふしまちづき</sup> 聚芳十種第四卷 南翠外史著 永洗画 明治二十四年四月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

日本近代文学館

⑦⑧

江戸自慢男一疋<sup>えどじまんをとこいっぴき</sup> 南翠外史著 永洗・芳柳画 明治二十四年五月 東京 原亮三郎(金港堂)発行

活版13行 19cm 口絵1葉+126+奥付広告2p

[22-305] A R 19-205

⑦⑧ b

罔両<sup>あやも</sup> (『第二国民小説』所収) 南翠外史 明治二十四年十月→明治期翻訳文学書全集I⑩⑤

⑦⑧ c

朧月夜<sup>おぼろつきよ</sup> 南翠外史著 年恒・永洗ほか画 明治二十五年九月訂正四版(二十二年十一月初版) 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版14行 20cm 目次・人物2+92+奥付1p

日本近代文学館

⑦⑨

荒海実一<sup>あらかみじついち</sup> 坎珂山人筆記 南翠外史校訂 米僊画 明治二十五年九月 東京 和田篤太郎出版

活版15行 22cm 彩色口絵1葉+緒言3+203p

[43-125] A R 19-260

△読者諸君 小生は改進新聞の小説に孕り坎珂山人の筆に誕生し鉛型の為めに保育せられ読者諸君の愛顧に頼つて生活したる荒海実一であります……以上述べた処は前談『行路難』の大要であります、爾後の境遇は之より口演致すであります▽(緒言)

⑧①

土佐日記千曳磐<sup>とさ日記ちびきいはま</sup> 南翠外史著 吟光画 明治二十六年一月 東京 三井新次郎(金桜堂)編纂・発行

活版12行 21cm 序(兼葭生)・口絵6+196+奥付1p

[43-169] A R 19-369

⑧②

薰衣香<sup>くんのえかう</sup> 南翠外史著 吟光画 明治二十六年一月 東京 内藤加我(金桜堂)編輯・発行

活版12行 22cm 序(兼葭生)2+彩色口絵1葉+236+奥付1p

[43-177] A R 20-1

『野路の花』三十三年四月 内藤加我(金桜堂)版は、本書の改題本〔特8-82〕

- ⑧2 試金石 南翠外史著 明治二十六年二月 東京 内藤加我(金桜堂)編輯・発行  
活版12行 22cm 彩色口絵1葉+265+奥付1p 彩色挿画3葉 [43-195] A R 20-126
- ⑧3 江戸小町 南翠外史著 吟光画 明治二十六年三月 東京 西村富次郎編輯・発行 金桜堂発売  
活版12行 22cm 序(夢幻散土)・口絵6+目錄2+304+奥付1p 挿画6葉 [特9-859] A R 20-271
- ⑧4 文学狂 南翠外史作 明治二十六年五月 大阪 梅原忠蔵(図書出版株式会社)発行  
活版13行 22cm 序・彩色口絵4+144+奥付4+広告8p [913-6-Su665b] R 21-1
- ⑧4b 「改進黨新聞」(二十四年十一月)掲載の「非文人」を改題出版  
常陸帯 小説百家選第八卷 南翠外史著 [明治二十七年五月] 東京 和田篤太郎(春陽堂)出版  
活版2段12行 26cm 口絵1葉+156p 挿画1葉 G 国会図書館 [34-220]
- ⑧5 忠孝美談 蒼の復讐 南翠外史著 明治二十八年十二月 東京 三井新治郎編輯・発行  
活版12行 22cm 序(竹堂主人)・口絵4+196+奥付1p [特9-745] R 21-89
- ⑧6 当世息子 須藤南翠著 国松画 明治二十九年十一月 大阪 大淵涉(駸々堂)発行  
活版13行 23cm 写真1葉+彩色口絵1葉+197+奥付1p [特8-287] A R 21-192
- ⑧6b 玉帚 (明治小説文庫第二編所収) 南翠外史 明治三十一年一月 東京 博文館発行  
活版15行 22cm 82p(216+297p)、他に「肖像画」(ゴリゴリ作、一葉亭四迷訳)など収録 三康図書館
- ⑧6c 女塚 (明治小説文庫第六編所収) 南翠外史 明治三十一年五月 東京 博文館発行  
活版15行 22cm 22p(189+210p)、他に広津柳浪「小舟嵐」など収録 三康図書館・国会図書館 [73-10]
- ⑧7 ぬれぎぬ (春陽文庫第四編) 南翠著 明治三十年十月 尾崎徳太郎編輯 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行  
活版13行 19cm 南翠肖像1葉+208+きのふけふ10+広告14+奥付1p [76-64] G R 21-296

⑧⑧ **髪結松** かみゆひまつ 南翠外史著 明治三十三年十一月 大阪 大淵涉(駁々堂)発行

活版13行 23cm 彩色口絵1葉+274+奥付1+広告6p

[87-127] G R 22-1

⑧⑨ **間一髪** 南翠著 明治三十八年十月 東京 金尾種次郎(金尾文淵堂)発行

活版14行 22cm 序1+彩色口絵1葉+232+奥付2+金尾文淵堂出版書目8p

[99-202] G R 22-146

△小説の君に別れまつりてより。已に十年を経たり。故情尚忘じ難く、再び玉の御手に頼らばやとて、試みに編を作り、即ち一本を亡友森田思軒にさぐぐ(序)

「東京朝日新聞」(三十八年三、五月)に掲載

⑧⑨ **小行春** こくはる (『ふた昔』所収) 須藤南翠著 半古画 明治四十年六月 東京 博文館発行

活版17行 23cm 34p(73~106p) 『ふた昔』は「文芸倶楽部」博文館創業二十週年記念増刊

三康図書館

⑨⑩ **榎木淵** 須藤南翠著 半古画 明治四十一年三月 東京 今津隆治(如山堂書店)発行

活版17行 22cm 彩色口絵1葉+228+奥付広告4p

[特11-262] G R 22-273

「福岡日々新聞」(四十年六月)に掲載

⑨⑩ **ゆるさぬ関** 古愚莽主人著 明治四十一年九月 東京 前川又三郎(梁江堂)・大阪 杉本要発行

活版 23cm 口絵(名取春川)1葉+彩色口絵(清方)1葉+387+奥付広告12p

国会図書館 [26-468]

「東京朝日新聞」(四十年十二月、四十一年四月)に掲載

⑨⑩ **愚禿親鸞** 教祖伝記叢書 須藤光暉著 明治四十二年十一月 東京 金尾種次郎(金尾文淵堂)発行

活版13行 22cm 親鸞真筆1葉+題字(大谷光瑞)1葉+題句(大谷光演)1葉+題詩(前田慧雲)1葉+序

(南條文雄)4+自序4+凡例3+目次4+口絵5葉+彩色口絵(中沢弘光)8葉+口絵5葉+272+附録本願

寺聖人親鸞伝絵18+年表24+跋(佐々木月樵)6+奥付4p

G 国会図書館 [330-3]

⑨⑩ **空海** 教祖伝記叢書 須藤光暉著 明治四十三年九月 東京 金尾種次郎(金尾文淵堂)発行

活版13行 22 cm 弘法大師真蹟風信帖4葉十尺牘(土宜法龍)1葉十題字(密門宥範)1葉十彩色口絵(藤原信実)1葉十口絵34葉十彩色口絵(中沢弘光)8葉十空海の書法(内藤湖南)10十緒言16十目次6十413十あとがき2十略年譜22十奥付2 p

⑨e

法然上人 教祖伝記叢書 須藤光暉著 明治四十四年二月 東京 金尾種次郎(金尾文淵堂)発行

G 国会図書館 [330-3]

活版13行 22 cm 口絵6葉十題字(山下現有、勝川相善、堀尾貫務)3葉十口絵12葉十彩色口絵(中沢弘光)8葉十口絵14葉十書名に敬称を用ふる事に就きて5十例言4十目次6十321十元久法語(聖覚法印)19十巻頭収録書画解説22十略年譜28十奥付2 p

⑨f

蓮如上人 教祖伝記叢書 須藤光暉著 明治四十五年二月 東京 金尾種次郎(金尾文淵堂)発行

G 国会図書館 [330-3]

活版13行 22 cm 慧燈大師真蹟〔欠〕十題字(大谷光瑩、大谷光明)2葉十題詩(前田慧雲)1葉十序(南條文雄)5十例言4十目次4十口絵4十彩色口絵(中沢弘光)8葉十口絵5葉十334十謡曲国府津(蓮如作)5十伝燈略系6十略年表26十順礼行20十跋(佐々木月樵)6十奥付2 p

G 国会図書館 [330-3]

明治27年『文人懺悔物語』(日本近代文学館)、大正元年『明治天皇御伝』(国会図書館 [348-7])、3年『日蓮上人』[324-398]、『親鸞聖人』[324-405]、『石山合戦』[348-181]、5年『大僧正天海』[324-512]を蔵書目録で確認。ほかに「こぼれ松葉」第四・五卷『旭章旗』(明治22年)第六・七卷『満春露』(23年)第八・九卷『行路難』(23年)、30年『英一蝶』、大正2年『浮木舟』、7年『新妻』があるという。なお、伝記として須藤真金編『南翠伝』大正十五年一月序(肖像2葉十序1十目次1十南翠伝9十著作表7十南翠伝について8 p)がある(『明治新聞雑誌文庫蔵』)。

はつとりせいいち  
**服部誠一**

天保十二年〜明治四十一年（一八四一〜一九〇八）撫松居士。明治九年九春社を興し「東京新誌」「吾妻新誌」を創刊。また「広益問答新聞」「中外広問新報」「江湖新報」「内外政事情」など創刊した。A（石川巖）B（石丸久）D I E（前田愛）、興津要『明治開化期文学の研究』、『明治文学全集』4（塩田良平編、年譜）  
・参考文献〔大野光次〕参照。

- ⑨1 東京新繁昌記 服部誠一著 明治七年四月 (二)六月 (三)八月 (四)十月 (五)十二月 (六)九年四月 東京 稲田  
政吉(山城屋、奎章閣)出版  
和・木版10行 六冊22cm (初編)目録1+39丁、(二)目録1+41丁、(三)39丁、(四)目録1+41丁、(五)目録1+40丁、(六)41丁 [特31-83] C R 23-1 45 89 132 178 222
- ⑨2 勸懲繡像奇談 第一編 撫松居士纂評・出版 明治十六年十月 東京 九春社発兌 [特41-110] A  
和・活版11行 二冊19cm (上)序・口絵・目次7+29丁、(下)55+正誤1+奥付広告4丁 R 23-268 312
- ⑨3 第二世 夢想兵衛蝴蝶物語 前編 撫松居士戯著 明治十七年一月 東京 丸谷新八出版 [特40-64] A  
和・活版12行 二冊23cm (上)序・口絵4+33丁、(下)40+奥付・九春社発兌書目4丁 R 24-1 42
- ⑨3 b 泰西活劇 春窓綺話 スコット著 服部誠一纂述・出版 明治十七年一月→明治期翻訳文学書全集I ②3
- ⑨3 c 東京柳巷新史 一名情の世界 撫松居士戯誌 明治十九年五月 東京 早矢仕民治(叢書閣)出版  
和・木版10行(鼈頭付) 二冊23cm (上)口絵・序(依田百川)4+自序4+目録1+41丁、(下)47+奥付1
- ⑨3 d 世界進歩 第二世紀 ロビダー著 服部撫松訳述 明治十九年六月→明治期翻訳文学書全集II ⑥3  
明治新聞雑誌文庫

⑨4 二十三年 国会未来記 服部誠一著 明治十九年十二月(十月初版) 東京 小林喜右衛門(仙鶴堂)出版

活版12行(鼈頭付) 18 cm 序(依田百川) 5 + 目次 4 + 口絵 1葉 + 223 + 跋(春のや朧) 3 + 奥付 6 p 挿画 3

葉〔末広鉄腸・丸山名政・高田半峯・知足軒・春塘批評〕

〔26-260〕 V R 24-90

⑨4 b 文学小説 連理談 リットン著 服部撫松纂述 明治二十年二月——明治期翻訳文学書全集 I ④6

⑨5 花文園 春告鳥 撫松居士戯著 明治二十年三月 東京 塩治芳兵衛・東生鉄五郎出版

〔26-113〕 A 内 R 24-224

⑨6 教育小説 稚児桜 撫松居士著 明治二十年六月 東京 河出亀三郎出版 成美堂発兌

〔26-187〕 A R 25-1

活版12行 18 cm 序(中川元) 4 + 目次 2 + 161 + 跋(日下部三之介) 2 + 奥付 2 p 挿画 3 画葉

⑨7 二十世紀 新亜細亜 一名明治百年記 上編 撫松居士著 明治二十一年四月 東京 佐々木猛・桑原徳三郎発行

活版12行 19 cm 題字(大鳥圭介) 2 + 序(安川繁成) 7 + 目録 3 + 口絵 1葉 + 209 + 奥付 1 p 挿画 6 葉

〔21-67〕 A R 25-102

⑨8 支那未来記 服部誠一著 明治二十八年三月 東京 小林喜右衛門・杉本七百丸 榊原友吉・長島恭三郎・

目黒甚七発行

活版12行 19 cm 自序 4 + 目次 2 + 277 + 奥付 1 p

〔72-203〕 A R 25-232

明治14年『東京新繁昌記』後編(国会図書館〔特31-84、書庫にて不明〕、27年『民法辞解(伊呂波別)』〔44-269〕、『商法辞解(伊呂波別)』〔45-26〕、28年『明治新撰祝文軌範』〔特19-24〕、29年『孫呉講義(尚武評論)』〔108-115〕を蔵書目録で確認。ほかに明治14年『二橋春話(近体奇説第一編)』、28年『征清独演説』、35年『作文全書(中等教科)』があるという。また稿本「明治字彙(新撰熟語)」(山田忠雄所蔵、『近代国語辞書の歩み』下参照)がある。

すえひろ しげやす  
末広重恭

嘉永二年～明治二十九年（一八四九～九六） 鉄腸居士、子儉。なお、末広政憲が同一人物か否か特定できないが収録する。明治八年「東京曙新聞」編集長、十月「朝野新聞」の編集長に迎えられる。十四年国友社、自由党、十六年独立党の結成にかかわる。二十三年「国会」を創刊し主筆となる。——ABC（柳田泉）DI（末広恭雄）E（浅井清）F（松田稷）G（前田愛）H（飛鳥井雅道）、柳田泉『政治小説研究』中、『日本現代文学全集・講談社版』（年譜・参考文献〔岡保生〕）、⑬⑭「附新聞経歴談」参照。

⑨⑨ 英京倫敦新誌 横瀬文彦口訳 末広重恭筆記 明治十三年十一月 東京 稲田政吉（奎章閣）出版

和・木版9行 18cm 38+奥付1丁

〔特32-256〕◎B R26-1

⑩⑩ 独立政党論 末広重恭演説 明治十六年十月（一）十七年二月 東京 大庭宗吉（万春堂）編輯・出版

活版12行 18cm（一）33+奥付1p、（二）序（見返）+24p 〔特29-694〕AV R26-4364

△此論題ノ朝野新聞ニ出ヅルヤ数十日ノ后チ始メテ自由新聞ニ二日ノ社説ト為シ攻撃セラレシカトモ一モ取ルニ足ラズト 然レトモ近日ノ中末広君再ヒ論駁トシテ演説セラル、由▽（附言）

△本書ハ物ハ必要ヨリ出ヅルト云フノ論題ナレトモ其主意ニ於テハ敢テ反対スル所ロナキヲ以テ茲ニ独立政党論第二トナシテ出版ス▽（卷二一序）

「独立政党の必要なるを論ず」（「朝野新聞」十六年九月二十六日～二十九日）、「物は必要より出ず」（同、十二月十三日～十五日）〔鵜飼新一『朝野新聞の研究』による。以下同紙の月日特定は同じ〕

⑩⑩b 印度征略史 マコーレー著 末広重恭訳述 明治十八年九月→明治期翻訳文学書全集I ②⑧

⑩⑩ 二十三年未来記 末広重恭著 月耕画 明治十九年六月再版（三月初版） 東京 原田庄左衛門（博文堂）出版  
和田篤太郎（春陽堂）発兌

活版12行(鼈頭付) 18 cm 序2 + 口絵1葉 + (上)50 + (下)68 + 奥付6 p

[特13-365] A内 R 26-80

「朝野新聞」掲載の「夢ニナレナレ」(十八年十一月三日〜二十八日)を改題出版。

102 政治小説

雪中梅 鉄腸居士著・出版 明治十九年八月 (下)十一月 東京 原田庄左衛門(博文堂)出版・製本

大阪 松村九兵衛(文海堂)・梅原亀七(曉曦堂)発兌

活版10行(鼈頭付) 18 cm (上)題辞(鉄腸居士)9 + 序(二宮孤松)7 + 発端8 + 目錄2 + 135 + 後記1 + 正誤

2 p、(下)序(尾崎行雄)6 + 目錄2 + 183 + 奥付5 p 挿画9葉 [特13-505] © A O内 R 26-150-241

△箱根避暑中書林の請に任せ此書を印刷に付せしめ帰京後之を一閱するに校正の疎漏なるより頗ぶる誤字多きのみならず画図に至りてハ概ね余の意に協はず且つ書中の事實に背違する者あり 因つて急に之を更正せしめんと欲せしに已に五千部余も刷立しとして再三懇願を為すに因り已むを得ず其の発売を許し本文中誤謬の最も甚きものを挙げて之を巻尾に掲げ書画の如きハ再版のときに於て之を改正することと為したり(後記)

二十年四月、松田卯兵衛翻刻版——(上)活版12行(鼈頭付) 18 cm 題字(末広政憲)6 + 序7 + 発端10 + 72

p 挿画5葉 [国会図書館 特13-505]

102 b

政治小説 雪中梅 末広鉄腸著 明治二十三年五月訂正増補合本第六版 東京 青木恒三郎(嵩山堂)出版

活版13行(鼈頭付) 19 cm 訂正増補序4 + 序(尾崎行雄・二宮孤松)11 + 発端7 + 目錄3 + 220 + 奥付広告4 p

挿画12葉 鳴海文庫 R 26-348

103 時事小説

落葉のはき寄せ 鉄腸居士戯著 明治二十年三月 東京 小林義則(文学社)出版

活版11行(鼈頭付) 19 cm 序(田口卯吉)5 + 147 + 奥付1 p 挿画3葉 [26-103] A内 R 28-1

日本近代文学館に同年同月出版の内藤加我(金桜堂)版あり。見開き2 pの口絵あり。

104 近世欧洲事情 末広重恭・菊地広治編纂 明治二十年四月 東京 小林義則(文学社)出版

末広重恭

活版12行 18 cm 129 + 正誤 2 + 奥付 1 p 挿画 4 葉 [33-242] A 内 R 27-1  
 政治小説 花間鶯 鉄腸居士著・発行 楓湖・月耕画 明治二十年四月 (中)九月 (下)二十一年三月 東京 原亮

三郎(金港堂)発兌

活版11行(鼈頭付) 18 cm (上)政事は小説と執れか難き21 + 目次 2 + 142 + 奥付 1 p、(中)自序 5 + 目次 2 + 188 p (奥付欠)、(下)題字 9 (鉄腸・香亭) + 目次 2 + 171 + 奥付 1 p 挿画 14 葉 (野村胡堂寄贈) 日本近代文学館  
 △編者が明治二十年一月浅草井生村楼ニテ為シタル演説ハ雪中梅花間鶯ヲ著ス主意ニ関係スル所アルヲ以テ之ヲ掲ゲテ此書ノ緒言ニ代フ(上の緒言)

吉野文庫に二十五年十二月合本再版あり(活版13行鼈頭付 18 cm 目次 4 + (上)90 + (中)120 + (下) + 106 + 奥付 1 p 挿画 6 葉)。国会図書館の初版〔26-118〕は、崩壊図書『明治文学全集』6 に復刻。

⑩五 二十三年後未来記 末広居士(末広政憲)著 明治二十年七月 大阪 小川新助(畜善館)出版

[特 11-106] A R 27-79

⑩六 b 活版12行(鼈頭付) 18 cm 自序 2 + 口絵 1 葉 + 70 p

説小 雨中花 末広鉄腸・二宮孤松訳 明治二十年十一月 ↓ 明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑩三

七(曠曦堂)発兌「続編で、松村九兵衛(文海堂)発兌に加わる」

活版10行(鼈頭付) 二冊 19 cm 序(象二郎、東海散士) 12 + 題言 3 + 53 + 後序(学堂、徳富猪一郎) 3 + 奥付 5 + 博文堂発兌書目 9 p、(編編)緒言 7 + 38 + 奥付 5 + 広告 10 p [25-408] A R 27-123 173

△余は去月十一日浅草井生村楼に於て政略の由て定まる所を知れと云ふ論題にて一場の演説を為せしが楼上立錐の地なく刻限前より聴衆を拒絶せしを以て門内に入るを得ずして空く帰りしもの数千人の多きに上れり……其演説の順序を追ひ更に一二段を増加し之を口授して筆記せしめ之を小冊子と為し現今の政事社会と名けて世に公にすることとはなりぬ(題言)

⑩⑦ 軋轢の原因 一名中正論 末広重恭著 明治二十一年二月 東京 原田庄左衛門(博文堂)発行

活版12行 19cm 序2+85+奥付1p

[25-72] A R 27-207

△昨年十二月二十六日の夜保安条例の実施に際し余の退去人たるを免かれしは世間にて意外のこととなすと聞く……中正論十二論を草して朝野新聞紙上へ掲載せしが〔二十一年一月十四日と二十七日〕……二三の修正を加へ軋轢の原因と名け之を一小冊子となして世に公にすることとはなれり▽(序)

⑩⑦ b 政事上之放逐人 千里風煙 チッソー、アメロー著 鈴木力訳 末広重恭・西村時彦補訳 明治二十一年二月

↓明治期翻訳文学全集Ⅱ⑦⑧

⑩⑧ 政治小説 治外法憲 情話編 末広政憲著 明治二十一年三月 大阪 小川新助出版 木谷博書堂発兌

活版12行 19cm 序4+口絵1葉+発端8+目錄3+66+奥付1p 挿画3葉

[特29-452] A R 27-257

⑩⑨ 政治小説 雨前の桜 鉄腸居士戯著 明治二十一年八月 東京 原田庄左衛門(博文堂)・和田篤太郎(春陽堂)発行

活版11行 19cm 123+奥付広告3p 挿画5葉

[23-195] A R 27-311

⑩⑩ 国民急務 大同団結之理由 末広重恭演述 天野確郎筆記 明治二十二年五月 広島 串本康三発行

活版12行 18cm 17+奥付1p

[特49-567] N R 28-87

⑩⑪ 我国之内政外交 末広重恭著 明治二十二年六月 原田徳三郎蔵版 東京 北原九十郎(博文堂書店)発兌

活版10行 19cm 序(北原九十郎)5+94+奥付1p

[特15-574] A R 28-100

△今年二月先生欧米ヲ一週シテ帰り大同団結諸氏ト新富座ニ於テ意見ヲ公衆ニ告ク……此書即チ当日ノ演説筆記ナリ▽(序)

⑩⑫ 鴻雪録 末広鉄腸著 明治二十二年七月 東京 博文堂書店発行

活版12行 18cm 目錄4+165+奥付3p 挿画10葉

[17-207] A R 28-154

△余ノ英国ニ止マル半年去ツテ仏国ニ赴キタリ 其ノ龍動ニアツテ見聞セシ事件ハ一月一回乃至二回朝野

新聞ニ通信センノミニテ一々之ヲ記載セズ 迹ヨリシテ之ヲ追思スレバ茫乎トシテ霧中ニ花ヲ看ルガ如キ  
想アリ▽

①③ 啞の旅 末広鉄腸戯著 明治二十七年六月訂正合本(前編二十二年十二月、後編二十四年二月、続編九月)

東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版13行 19cm 自序3+前44(23 24 p欠)+後134+続130+奥付広告2 p 挿画8葉 [68-92] A R 28-256 283 354

①④ 闇夜鴉 末広鉄腸記述 明治二十三年三月 大阪 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版13行 19cm 203+奥付1 p 挿画8葉

[21-257] A R 29-1

①⑤ 何をか政党と云ふ 末広重恭演説 明治二十三年四月 大阪 青木恒三郎(嵩山堂)編輯・発行

活版12行 18cm 34+奥付1 p

[特29-554] A R 29-115

①⑥ 南洋の大波瀾 鉄腸居士著 明治二十四年六月出版 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版12行 18cm 序4+口絵1葉+324+奥付1 p 挿画10葉

[68-37] A R 29-137

△余ノ前年西洋に遊ぶや魔尼羅の一紳士と相識る……此の紳士は窃かに群島の独立を謀りて成らず捕はれて獄に下らんとし脱して海外に走れり 余が為めに西班牙政府殖民政略の其の当を失ひ群島人民の激動する有様を説き人をして悲忿慷慨せしむ▽(序)

①⑦ 玉手函 末広鉄腸戯著 年信画 明治二十四年九月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版10行 19cm 口絵1葉+103+奥付1 p

[特10-335] A R 29-333

①⑧ 黄金の花 鉄腸居士戯作 年信画 明治二十四年十月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版10行 18cm 口絵1葉+131+奥付1 p

[68-90] A N R 30-1

①⑨ 第二帝国議会ノ一大要件 末広重恭演説 明治二十四年十月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版12行 18cm 緒言2+25+奥付1 p

[特29-492] R 30-71

△此書ハ余ガ去日福嶋県下若松ニ於テ為シタル演説ヲ筆記セシ者ナリ 国会新聞ノ紙上ニ全文ヲ掲載セシトシ故アリ果サズ……思フニ大津事件ニ関スル内閣ノ方針ハ当時緊急命令ノ施行アリシガ為メ世人多ク其顛末ヲ詳ラカニセズ▽（緒言）

⑩ あらしのなごり 鉄腸居士著 年信画 明治二十四年十一月 東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版10行 19cm 緒言2 + 152 + 奥付1p 挿画2葉 [68-131] A R 30-90

△此書ハ「南洋大波瀾」の拾遺なり▽（緒言）

⑪ 失策又失策 末広重恭著 明治二十五年二月出版 東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版12行 19cm 緒言2 + 72 + 奥付1p [68-174] A R 30-174

△余ハ第二期議會ノ有様ニ憤激シ意ヲ政事上ニ絶チ永ク寂寞ノ浜ニ放浪セントスレトモ灯下酒ヲ酌ンデ胸中ニ澆ケハ不平ノ氣鬱勃シテ起リ自ラ抑ユベカラズ 遂ニ紙上ニ吐露シテ一篇ノ論策トナス▽（緒言）

⑫ 政治小説 南海の激浪 鉄腸居士著 年信画 明治二十五年九月 東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版12行 19cm 口絵1葉 + 緒言4 + 229 + 奥付1p 挿画3葉 [33-126] A R 30-215

△頃日偶ま時事に感ずる所あり 政治小説を著ハさんとし以為らく山家氏の伝記の如き藉りて以て胸中の不平を吐露し風雨慘澹たる天地を摸写するに足れりと 遂に其稿を起し之を南海の激浪と名く 嚮きに之を神戸日報に掲げ更に大に修正を加へて再び世に公けにすることとなれり▽（緒言）

⑬ 東亜之大勢 末広重恭著 明治二十六年一月 東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版12行 19cm 例言1 + 225 + 奥付広告4p [304-Su 671 t] R 30-343

⑭ 北征録 附北遊草 末広重恭著 明治二十六年二月 東京 青木恒三郎（嵩山堂）発行

活版12行 19cm 口絵1葉 + 131 + 北遊草12 + 正誤2 + 奥付広告4p 挿画6葉 [31-7] V R 34-1

△此書ハ著者ガ東亜漫遊中見聞セシ事件ヲ細大洩ラサズ記載セシ者ニテ「東亜之大勢」ノ発兌ニ当リ合本

トナサントセシガ枚数ノ多キニ過グルヲ以テ已ムヲ得ズ別冊トナセリ 東京ノ出発ニ始マツテ神戸ノ帰航ニ終リ浦潮ヲ始メ朝鮮ノ京城諸港支那芝罘天津ノ形勢事情ヲ記載シ間々交ユルニ議論ヲ以テス▽(広告)

⑫5 政事 明治四十年の日本 鉄腸居士著 年信画 明治二十六年五月 (後)七月 東京 青木恒三郎発行

活版13行(鼈頭付) 二冊18cm (前編)彩色口絵1葉+197+奥付広告4p、(後編)口絵1葉+211+奥付広告4p 挿画3葉 [70-65] A R 32-113

⑫6 政治小説 大海原 鉄腸居士著 米僊画 明治二十七年八月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版14行 23cm 口絵1葉+自序4+序3+287+奥付1p [44-292] A R 31-89

△偶ま旧著「南洋大波瀾」「あらしのなこり」の二著に修正を加へて一部の書と為▽(自序)

⑫7 政治小説 戦後の日本 鉄腸居士著 明治二十八年十二月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版13行 22cm 自序2+彩色口絵1葉+144(1920p欠)+奥付広告4p [45-272] A R 31-241

△余此書を起草し中途にして病に罹りしを以て全篇未だ完結に至らず 然るに書肆嵩山堂来り速に発兌せん事を請ふて已まず 因て先づ前編の稿本を授け修正を村松柳江子に托し直に之を世に公にせしむ▽(序)

⑫8 政治小説 戦後の日本 後編 村松柳江著 永洗画 明治三十年七月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版13行 22cm はしがき2+彩色口絵1葉+160+広告8+奥付1p [45-272] G R 31-321

△政治小説戦後の日本は故末広鉄腸居士が最後の傑作なり、否な近代政治小説中有数の名著なり。惜哉、筆を後編に着くるに至らずして溘焉遠逝の客とはなられたりき▽(はしがき)

⑫9 鉄腸叢書 政海之過去 故人末広重恭著 明治三十二年一月 東京 青木恒三郎(嵩山堂)編輯・発行

活版14行 22cm 肖像1葉+故末広重恭氏小伝17+国会開設の前後90+二十三年未来記上37+下50+口絵

3葉+鴻雪録122+奥付広告2p [84-7] G R 32-228 239 288 306 334

⑬0 政治小説 落葉のはき寄せ 附新聞経歴談 鉄腸居士戯著 年方画 村松恒一郎編輯 明治三十三年六月 東京

青木恒三郎(嵩山堂)発行

活版13行 22 cm 序(田口卯吉)4 + 彩色口絵1葉 + 118 + 新聞経歴談70 + 後序(村松)2 + 奥付広告2 p

[87-17] G R 32-398-463

⑬①

悲風  
暴雨

世路の残月 末広鉄腸稿案・栗本彦七編輯・発行 明治三十四年十二月 東京 嵩山堂発売

活版12行(贅頭付) 19 cm 序文(高橋謙齋)1 + 七言古詩1 + 目次6 + 115 + 奥付1 p [30-71] G R 32-503

△小説の一たび流行してより読者みな卑猥悪徳の書を好み、青年の志氣に萎微したりき、故末広鉄腸居士  
茲に見る所あり筆を執り不幸中途にして黄泉に逝けり 鹿鳴居士大に之を遺憾とし其遺志を継ぎ本朝の野  
史中、最も奇にして美なるものを採り来り、精気ある文筆もて縦横に叙述し、読者一読して奮興するに足  
るものあり▽(序文)

⑬①  
b

時文大観 第三卷 鉄腸文集 明治四十三年八月 東京 畑金吉(時文大観刊行会)編輯・発行

吉野文庫

活版12行 15 cm 趣意書3 + 鉄腸小伝(大日本人名辞書より転載)2 + 目次4 + 284 + 奥付1 p

△新謂大新聞記者の手に成れる政治論文の粹を薈め、之を時文大観と名け、其第一卷には柳北文集・其第  
二卷には鋤雲文集といふが如く大家各個の文集を發行す▽(趣意書)

「入社の際」(八年十月)から「帝政党の近況」(十六年六月)までの時文四十編収録

⑬①  
c

鉄腸遺稿 末広重恭著 大正七年二月 京都 末広重雄編輯・発行

活版10行 二冊24 cm (上)題字(狩野喜)1 + 序(靱山逸)2 + 例言(重雄、恭二)1 + 明治詩話一則2 + 卷一

47丁、(下)卷二15 + 卷三20 + 先府君行略(重雄)5丁 G 国会図書館 [10-225]

ほかに、明治17年『懔然集』があるという。

坪内逍遙

安政六年（昭和十年（一八五九）—一九三五）本名勇藏のち雄藏。春のやおぼろ。十一歳のとき名古屋へ一家が移住、貸本屋大惣に通う。明治九年東京大学に入學、高田早苗らと相識る。立憲改進黨の立場で明治十年代後半、政治小説を發表。逍遙については、この時期のみ取り扱う。——AC（高須芳次郎）B（坪内士行）DI（河竹繁俊）EH（稲垣達郎）F（斎藤一寛）G（榎本隆司）、大村弘毅『坪内逍遙』、『明治文学全集』16（稲垣達郎編、年譜〔清水茂〕・参考文献〔畑実〕参照。

⑬2

一讀  
三歎  
当世書生氣質

春のやおぼろ戯著 国峰・葛飾・桂舟画 明治十八年六月 (三)七月 (五)八月 (七)九月

(九)十月 (三)十一月 (四)十二月 (六)十九年一月 東京 間野秀俊出版 晚青堂出版

和・活版14行 十七冊24cm (一)はしがき・彩色口絵2+7+奥付1丁、(二)9+奥付1丁、(三)10+奥付1丁、(四)11丁、(五)11丁、(六)10丁、(七)10丁、(八)11丁、(九)緒言・彩色口絵3+10丁、(十)9丁、(十一)10丁、(十二)10丁、(十三)11丁、(十四)11丁、(十五)10丁、(十六)10丁、(十七)11丁

〔特52-721〕A内 R33-114263952657789102117128140152165178190201

⑬2 b

春風情話 スコット著 橋頭三訳述 明治十三年四月——明治期翻訳文学書全集I⑩ 早稲田大学演劇博物館

⑬2 c

該撒 自由太刀余波鋭鋒 シェイクスピア著 坪内雄蔵訳 明治十七年五月——明治期翻訳文学書全集I②6

⑬2 d

開卷 悲憤 慨世士伝 リットン著 逍遙遊人翻訳 明治十八年二月——明治期翻訳文学書全集I②7

⑬2 e

新磨妹と背かゞみ しんみがきいもせ 春の舎おぼろ戯著 吟光画 明治十八年十二月 (三)十九年一月 (五)三月 (七)四月 (九)五月 (二)七月 (三)八月版權免許 十九年十月合本御届 東京 児玉永成出版

和・活版14行 十三冊合本二冊23cm (上)はしがき・彩色口絵3+66丁、(下)74丁 A内

合本のため撮影困難、収録できず、国会図書館請求番号〔特11-220〕

⑬<sup>33</sup> 内地 未来の夢 春のや主人著 年恒画 明治十九年四月 (三)五月 (五)六月 (七)七月 (八)八月 (九)九月 東京  
山本金蔵・間野秀俊出版 晚青堂発兌

和・活版14行 十冊24cm (一)彩色口絵・附言2+緒言3+6丁、(二)11丁、(三)11丁、(四)12丁、(五)

11丁、(六)12丁、(七)11丁、(八)10丁、(九)12丁、(十)11丁 〔特52-720〕AN内 R34-115284155688295107121

⑬<sup>34</sup> 諷 京童 春の屋おぼろ戯作 国松画 明治十九年六月 大阪 日野九郎兵衛(日野商店)出版

活版10行 18cm 序(天台道士)1+はしがき2+口絵1葉+101+奥付広告7p 〔913・6-Tu651k〕 R34-134

⑬<sup>34</sup> b 泰西女文 夫伝の内 朗蘭夫人の伝 「グレース姉妹著」 春廼屋隴訳述 明治十九年十月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅱ ⑬<sup>91</sup>

⑬<sup>34</sup> c 可憐嬢 坪内雄蔵述著 明治二十年十二月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅰ ⑬<sup>65</sup>

⑬<sup>35</sup> 賈金つかひ 春のやおぼろ著 明治二十一年八月 大阪 大淵濤発行 駈々堂本店発売

活版12行 19cm 序1+口絵2葉+緒言4+116+奥付1p 〔特31-747〕A R34-202

△カサリングリーン女史が嘗て綴りたる物語のうち探偵の話といふ一篇あり これは全くの小説か又は  
事実に基きたる話かそれを判断するも益なければ言はず 原書はXYZと名づけたるが或時走り読に通読  
せしに小説としての価値はさておき事蹟の上よりいへば面白きこと限なし▽(緒言)

△此書は嘗て或る新聞「読売新聞」(二十年十一月〜十二月)に掲載せしもの▽(序)

⑬<sup>36</sup> 松のうち 春の舎おぼろ著 年恒画 明治二十一年八月 大阪 大淵濤発行 駈々堂本店発売

活版12行 19cm 序1+136+奥付1p 挿画2葉 「読売新聞」(二月〜二月)に掲載 〔特13-766〕A R34-268

⑬<sup>36</sup> b 細君 (『第一国民小説』所収) 春の屋主人著 明治二十三年十月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅱ ⑬<sup>88</sup>

九岐 晰

生没年不詳。仙橋散士、土潔、長洲樵史、竹の家主。

⑬37 羅馬国史 卷一 九岐晰訳述 明治六年秋 尚古堂発兌

和・木版10行 22cm 叙2十凡例2十目次3十46丁〔目次は卷之十二まで〕〔特31-607〕◎C

R 35-1

△此書ハチャンブル氏ノ羅馬史ニ就テ訳出スル▽（凡例）

⑬38 小供の心得 九岐晰著 明治十二年一月再版（十一年十月初版） 東京 望月誠（思誠堂）出版

活版9行 18cm 緒言3十凡例1十目次2十65十奥付1p 〔特46-614〕I

R 35-58

⑬39 桜の晩開 九岐晰戯著・出版 明治十二年六月御届 東京

活版9行 15cm 緒言2十30p 〔特53-476〕

R 35-101

⑬40 身代の番人 一名破産予防法 九岐晰著 明治十二年十二月 東京 望月誠（うさぎや誠）出版

活版8行 16cm 叙3十目次3十58十奥付1p 〔特26-858〕◎B

R 35-123

⑬40 b 繪本 鷲塚 皐児 回島 記 片山平三郎口訳 九岐晰筆記 明治十三年八月→明治期翻訳文学書全集I ⑪

⑬41 俗通 国会の主意 附日本国会方法論 九岐晰著 明治十三年八月 東京 望月誠（兎屋誠）出版

活版9行 18cm 題字2十34十奥付1p 〔特20-63〕◎B

R 35-159

⑬42 和・活版10行 18cm 20丁 竹の家主編 明治十六年三月 東京 桑原八郎次（由己社）出版

〔特43-118〕A

R 35-182

△此草紙ハ本月一月某新聞に登録したりける事実を脚色の種子とし編述せるものにして記者が故意に作り設けたる妄誕の類にあらず▽（序）

⑬43 政海 艶話 国会後の日本 仙橋散士著 明治二十年一月 大坂 此村庄助（欽英堂）・松村九兵衛（文海堂）出版

①44  
b  
活版13行 18 cm 序(菊地純) 4 + 序 4 + 目次 2 + 口絵 1 葉 + 150 + 奥付 4 p 挿画 5 葉 [26-107] A 内 R 35-205  
小人世界 仙橋散史著 明治二十年八月序

活版12行 18 cm 序(兼堂主人、末広鉄腸) 8 + 緒言 3 + 目次 2 + 171 p 挿画 3 葉 [22-113] A R 35-302  
△余嘗テ我が邦貧富懸隔ノ甚シキト民間事業ノ振ハザルトヲ痛感シ一部ノ小説ヲ著シテ世に公ニス 題シ  
テ小人世界ト云フ(九岐晰、III<sup>㉑</sup>) 『新日本の商人』序

①44  
b  
贈正三位 陸軍大将 西郷隆盛君生存記 仙橋散史晰著 明治二十四年四月 東京 井ノ口松之助出版  
活版13行 19 cm 肖像 1 葉 + 題字(西郷北洲) 4 + 200 + 奥付広告 8 p 挿画 3 葉 → ①45 吉野文庫

①45  
b  
夢想兵衛魯國譚 仙橋散史晰著 明治二十四年六月改題(四月初版) 井ノ口松之助(魁真楼)出版

活版13行 18 cm 肖像 1 葉 + 題字(北洲) 4 + 口絵 1 葉 + 200 + 奥付広告 8 p 挿画 3 葉 [特71-380] N R 35-405  
活版13行 22 cm 彩色口絵 1 葉 目次 2 + 202 + 奥付 1 p A 国会図書館 [特8-411]

高等 探偵 電話の詐偽 仙橋散史晰著 年信画 明治二十八年十月 大阪 大淵涉(駸々堂)発行  
明治24年『博物の友(教育談海)』(国会図書館〔特64-152〕)を蔵書目録にて確認。ほかに『小学庭訓』『三体作人階梯(小学)』『水滸後伝(通俗)』『日本事情』『民事訴答文例』『作文教科書』の刊行が予定されていたらしい。

## 田島象二 たじましようじ

嘉永五年（明治四十二年）一八五二（一九〇九） 本姓伊達氏。江門処士、醉多道士、河東処士、任天居士。明治十年「団々珍聞」入社、「妙々雑俎」「同楽相談」主宰、十五年「読売新聞」主筆。——B（興津要）DI（浅井清）E（和田繁二郎）、本間久雄『明治文学史』上、三好行雄「風狂の反近代」（『国文学解釈と教材の研究』昭和六十三年六月号）参照。

⑭⑥

### 耶穌一代辨妄記

田島象二著編・蔵版 永濯画 明治七年四月（二）十一月 東京 和泉屋半兵衛発兌

和・木版10行 四冊23cm 初編（上）題字1＋序8＋凡例3＋目錄・地図2＋耶穌氏系図1＋彩色口絵3＋

上帝及び日曜日の激言4＋17丁、（下）28＋普告1丁、二編（上）序1＋凡例・節目・彩色口絵・普告4＋27

丁、（下）24＋跋言1＋奥付1丁

[852-42] R 36-134 180 212 249

△余今茲にニウスタスキメント及び美国グートリッ氏の万国史其他各書に就て耶穌が履歴を輯め尋常通俗の小説書に倣ひ一代記を著し事々弁妄の章を網羅し以て婦児の観に供し憤得て之を先入の主になさしめんと欲す（凡例）

⑭⑥

### 裁判紀事

田島象二編纂 明治八年四月 東京 星野松蔵（耕文堂）擁版

和・木版10行 23cm 題字2＋緒言・目次4＋29丁

吉野文庫・国会図書館〔特39-41〕

⑭⑥

### 耶穌教意問答

田島象二著編・蔵版〔明治八年五月〕 東京 江島喜兵衛（万笈閣）售行

和・木版10行 二冊23cm（上）題字2＋口絵・緒言1＋36丁、（下）35＋奥付2丁

吉野文庫・国会図書館〔特35-732〕

⑭⑦

### 新約全書評駁

加利利馬太遺伝書 田島象二襲訳評 明治八年六月 東京 任天書院蔵版

和・木版10行 三冊23cm（上）辞2＋緒言2＋総評8＋36丁、（中）40丁、（下）34＋跋1丁

R 36-1 96

[7-36] C F G T

△原本ハ米国新約克出版ト。満清上海ニ於テ訳スル者ニ係ル。語意ハ即チ英国ニ拠リ。文字ハ即チ清字ニ法ル。但シ満清本渾テ三版。……故ニ三本ヲ斟酌シテ。語意ニ穩当ナルニ從フ(緒言)

①48 奇書 書林之庫 田島象二戯述・画 明治九年七月 (二)十年二月 東京 若林喜兵衛(玉養堂)出版 [特56-761]

和・木版9行 四冊23cm 初編(上)題字1+序3+凡例・口絵3+大約節目1+19+唐山俗語字解1丁、

(下)22+字解1+広告奥付2丁、二編(上)42+字解1丁、(下)17+字解1+奥付1p CFS R 36-278 310 337 388

①49 明治中興雲台図録 田島象二図画・脩纂 明治十年一月凡例 東京 高橋栄二郎出版

和・木版 26cm 題字1+目次2+凡例1+30+奥付1丁 [特67-193] CHOS R 36-405

①49 b 明治中興凌煙図録 田島象二編輯・図画 明治十年二月 東京 小笠原美治(弘令社)出版

和・木版 26cm 題字1+御製2+人名目錄2+27+奥付1丁 明治新聞雜誌文庫

①49 c 郵便 雅俗文通自在 田島象二編輯 明治十年七月 東京 加藤忠兵衛(大栄堂)出版

和・木版5行 16cm 叙2+品目・郵便規則摘要5+44丁 ◎C 国会図書館 [特38-860]

①49 d 明治偉臣金玉音譜 田島象二編輯・図画・出版 明治十年九月 東京 玉養堂發行

和・木版 26cm 例辞1+御製2+在昔1+目次2+38丁 C 国会図書館 [特56-418]

①50 明治中興憾旧編 田島象二著・画・出版 明治十二年三月 東京 若林喜兵衛(玉養堂)発兌

和・木版 25cm 題字1+叙2+目次・凡例2+32丁 [特32-27] AO R 36-445

①51 花柳事情 醉多道士戯著 増田繁蔵編輯 明治十三年十二月 沢佐与出版 弘令社発売

和・木版9行 三冊18cm (上)題字1+序6+口絵3+凡例2+目錄2+34丁、(中)35丁、(下)22+跋

(総生寛)1+奥付1丁 [特32-772] B R 37-1 52 92

△此書ハ道士が七八年間巨多の光陰と財産とを浪費乱用し彼の狂句に所謂「吉原が明るくなれば家ハ暗」の謂にて此が為め何も彼も皆茶ア浮雲に帰し赤貧乏となり果たる時身体と俱に残りたる花柳の事情乃ち無

形の所有物を一切合切列べ立たるなれば憶測及び伝聞等の説ハ毫末も記載せず(凡例)

- ①52 西国烈女伝 第一編 田島象二抄訳編纂 明治十四年五月 小笠原美治(弘令本社)出版

活版11行 18cm 序(美治)4+凡例4+目次2+110+奥付4p

[特18-975] B O R 37-119

△此書ハ西洋諸国に有名なる大家の編輯せられし書及び近頃印行する内外の新聞等種々の書に就て……女子の伝を抄訳纂輯せし者にて其出処及び原書ハ一々之を挙げず(凡例)

本文末に「第二編 七月出版」、仏国シヨヂャアとロウランド夫人の掲載予告あり

- ①53 『婦女立志 欧州美談』十九年十二月・広野仲助(広知社)版は、本書の改題本(吉野文庫所蔵)

- ①52 b 情舌冷集 田島象二選輯 明治十四年五月 東京 小笠原美治(弘令社)出版

和・木版 二冊15cm (上)序2+題字・口絵2+凡例1+24丁、(下)24丁

明治新聞雑誌文庫

- ①52 c 校学生徒通 一名学問道しるべ 田島象二著 明治十四年十一月 東京 小笠原美治(弘令社)出版

和・木版9行 二冊18cm (上)序1+凡例1+目録2+27丁、(下)21+奥付1丁

吉野文庫・国会図書館 [特36-364]

- ①53 東京妓情 醉多道士戯著 増田繁蔵編輯 明治十六年十月 東京 東生亀治郎出版

和・木版9行 三冊19cm (上)題字1+叙3+序(小室屈山)3+凡例3+口絵・目次3+21丁、(中)28丁、

(下)37+奥付1丁

[特32-776] R 37-187-224-255

- ①53 b 本朝俠客伝 醉多道士編纂 増田繁三郎編 吟光画 明治十七年十月 東京 加藤正七出版 旭昇堂発売

活版12行 18cm 題字4+俠客論4+六方詞(一世柳亭種彦)・口絵5+卷中人名録3+口絵5+凡例1+

引用書目1+145+附録9+奥付広告8p 挿画15葉 A 国会図書館 [特13-257]

- ①54 任天居士漂流記 田島象二戯著 明治十八年一月 東京 青木国次郎(文宝堂)出版

活版9行 18cm 緒言2+図1+117+広告2+奥付2p

[特10-445] © A R 37-295

『人類攻撃禽獸国会』十八年六月・青木国次郎版は、本書の改題本(国会図書館〔特28-631〕)

⑬4 b 貴女 大全女用文姫鏡 上 田島任天編纂 吟光画 明治十八年十一月

和・木版 23 cm 題字(下田歌子)1+序・彩色口絵・目錄6+71丁

⑬4 c 哲学大意 田島任天著 明治二十年十二月 名古屋 三浦兼助(其中堂)出版

活版12行 18 cm 緒言2+29+奥付2 p

◎NO 国会図書館〔特49-628〕

⑬5 未来 仏教滅亡論 田島任天著 明治二十一年五月 名古屋 三浦兼助發行 東京 佐藤乙三郎發兌

活版12行 19 cm 序4+凡例3+標目1+108+奥付2+佐藤成文堂出版書15 p

〔25-604〕A R 37-362

⑬6 諷諭 放言 どーする 任天居士戲著 明治二十一年六月 名古屋 木田吉太郎・三浦兼助發行 東雲堂發兌

活版12行(鼈頭付) 19 cm 題字1+序28+凡例4+目次1+37+跋8+奥付廣告2 p 〔特28-726〕A R 37-432

⑬6 b 大倭 燕の山ぶみ 醉多道士訳述 芳景画 明治二十三年三月 東京 西村富次郎(自由閣書店)發行

活版13行 18 cm 序詞・口絵8+401+奥付1 p 挿画30 p A 国会図書館〔特13-755〕

⑬6 c 別天地 醉多道士著 景方画 明治二十四年九月 東京 集文館發行 名古屋 東雲堂売捌

活版13行 20 cm 序4+序詞4+118+奥付廣告2 p A 国会図書館〔特26-902〕

⑬6 d 小説文語錦繡 任天居士著述 芳景画 明治二十五年六月 東京 西村寅二郎發行 名古屋 東雲堂売捌

活版13行 23 cm 序4+凡例2+目次4+128+奥付廣告2 p A 国会図書館〔7-104〕

⑬6 e 標註 日本仏法史 田島象二撰 山岡鉄舟・鳥尾得庵校閲 明治三十年八月増補再版(二十五年三月初版)

増補 名古屋 三浦兼助(其中堂書店)發行

活版11行(鼈頭付) 19 cm 題字(得庵)2+序(鉄舟)4+サト一書翰4+沿革一覽表6+汎論4+凡例4+

引用書目2+235+奥付1+跋(石谷居士)2+其中堂蔵版目錄12 p 吉野文庫

△此書モト英国人エルネスト、サトウ氏ノ為ニ作ル(凡例)

明治21年『哲学問答』（国会図書館〔19146〕を蔵書目録で確認。ほかに8年『取引用文（商業小学）』、16年『平賀源内実記（近世奇才）』、18年『芸娼妓評判記』、22年『二人妾』があるという。また⑤の広告に『雲台図録』『金玉音譜』『憶旧録』『凌煙図録』につづく維新叢書の続刊として『暦代聖像図伝』の予告がある。

織田純一郎

嘉永四年〜大正八年(一八五二〜一九一九) 旧姓若松氏、丹羽氏。明治三年英国留学、七年帰国。同年三条公恭指導役として英国に再留学し、十年帰国。十七年「京都滋賀新報」に入社、その後「朝日新聞」「寸鉄」「社会新報」の主筆となる。——ABC(柳田泉)DI(浅井清)E(太田三郎)G(西田長寿)、柳田泉『明治初期翻訳文学の研究』参照。

①57b 英 龍動新繁昌記 マレイ著 丹羽純一郎訳述 明治十一年四月→明治期翻訳文学書全集I⑥

①57c 仏 巴里斯新繁昌記 ガリグナニイ著 丹羽純一郎訳述 明治十一年九月→明治期翻訳文学書全集II④②

①57d 欧 奇 花柳春話 リットン著 丹羽純一郎訳 明治十一年十月→明治期翻訳文学書全集I⑦

①57 俗 日本民権精理 丹羽純一郎著・出版 明治十二年四月 東京 坂上半七発兌

[22-202] B R 38-1

△余嚮ニ日本民権真論ヲ著シ自カラ以為ラク善ク其真ヲ記シ時弊ヲ破ルト……爾来三数月、偶マ旧稿ヲ開ヒテ之ヲ閱ミスルニ其真論ノ未タ理ヲ究メ精ヲ尽サムル所多シ矣▽(緒言)

①58 俗 日本民権真論 丹羽純一郎著 明治十二年六月再版 東京 高橋源吾郎出版 坂上半七発兌

[32-4] R 38-110

①58b 欧 奇 奇想春史 リットン著 丹羽純一郎訳 明治十二年六月→明治期翻訳文学書全集I⑧

①58c 俗 日本国会論 織田純一郎著・出版 明治十三年二月 東京 坂上半七発兌

吉野文庫・国会図書館 [a 313-168]

①59 俗 時弊論 初編 織田純一郎著 明治十三年十一月 東京 太田信義発兌

- 活版12行 18cm 緒言4+目録2+139+二三編予告1+奥付2p [25-31] A B R 38 168
- ①59 b 現行 治罪法手続 松永源七著 織田純一郎校正 明治十五年一月 東京 内沢安次郎出版  
 活版12行 19cm 緒言1+目次1+141+奥付2p B 国会図書館〔特29-163〕
- ①59 c 治罪法註釈 織田純一郎註釈 明治十五年三月四版(十二年十一月初版) 東京 坂上半七出版  
 活版13行 20cm 序(西岡逾明)13+緒言4+目録5+752+奥付広告2p B 国会図書館〔30-53〕
- ①59 d 刑法附則註釈 織田純一郎註釈 明治十五年三月 東京 坂上半七出版  
 活版13行 20cm 緒言4+目次1+168+奥付2p B 国会図書館〔29-53〕
- ①59 e 国勢論 織田純一郎著 明治十五年十一月 東京 坂上半七出版  
 活版10行 19cm 緒言3+目録1+195+奥付2p 吉野文庫
- ①60 政治難易論 織田純一郎著・出版 明治十六年三月 東京  
 活版10行 19cm 序2+目次1+108+奥付1p [特15-59] A R 38 246
- ①60 b 通俗花柳春話 リットン著 織田純一郎訳述 明治十六年十一月→明治期翻訳文学書全集I②1
- ①61 行幸 大阪紳士 織田純一郎戯著・出版 明治二十年三月 大阪 赤志忠七(忠雅堂)発兌  
 奇事 活版10行 18cm 序8+口絵1葉+189+奥付1p 挿画4葉 [26-99] V R 38 307
- ①62 政事家社会 織田純一郎著 貞広画 明治二十年十月 大坂 大淵浪出版 駁々堂本店発兌  
 活版10行 18cm 叙3+口絵1葉+目録2+125+奥付1p 挿画2葉 [25-460] A R 38 420
- △頃者偶然エンデミオンを読むに英国上流社会の状態を記す 余以為く是れ余が常に欲する所の小説なり  
 宜しく之に倣ふて一篇の小説を作るべしと是に於て草稿を起すの意を決せりV(叙)
- ①62 b いさ子 ウード著 織田純一郎訳 明治二十二年十月→明治期翻訳文学書全集I②2

- ①62 c 日清韓交渉録 織田純一郎著 明治二十八年六月 東京 石塚糸藏(文海堂)・河出静一郎(成美堂)発行  
活版12行 19 cm 凡例3 + 目次8 + 地図1葉 + 530 + 奥付1 p 地図1葉 A 国会図書館〔68-418〕
- ①62 d 〔濠洲クインスラランド巡回報告〕 織田純一郎報 明治二十七年三月 外務省通商局第二課発行  
活版17行 25 cm 報告第一回(二十六年九月)8 + 第二回(十月)28 + 第三回(二十七年二月)19 p 〔クイン  
スラランドへの日本人移民に関する調査報告〕 A 国会図書館〔産-94〕

ほかに『英国立憲政典』『自由權利之説』(以上、明治16年6月版權書目)、『小学歴史(日本  
部外国部)』『監獄則註釈』『刑法註釈』の刊行が予定されていたという。

ひさまつ よしのり  
久松義典

安政二年〜明治三十八年（一八五五〜一九〇五） 黒林勉士、狷堂野史、昨非楼主人。桑名藩執政の子。明治十五年立憲改進黨に加盟し、「郵便報知新聞」に入社。二十三年国會議員選挙に落選し「北海道毎日新聞」の主筆となつて渡道。——DI（清水茂）E（稲垣達郎）参照。

163 b

西泰雄辯大家集

ウイレルム オキスホルド  
維廉・阿斯福編纂

久松義典訳述

沼間守一校閲

明治十二年十月

（統）十二月

東京

岩

崎好正（巖々堂）出版

活版10行 二冊18 cm

（正）序（中村正直）3

十凡例2十目次2十肖像・口絵4十奥付2 p、（統）肖像2

十緒言4十目次3十189十奥付2 p

164

吉野文庫・日本近代文学館

△此書ノ原本ハ美国人維廉、阿斯福ノ撰述ニ係リテ其名ヲ「セニオル、スピイカア」（長老弁士ノ義）ト題シタリノ右原書中ヨリ議論功業最モ傑出セル古今弁士ノ論説ヲ抄訳シテ其肖像ヲ摸シ兼テ他書ニ就テ其小伝ヲ録セリ（凡例）

163 c

新小学読本

久松義典編纂

菱潭書

明治十三年二月

東京

原亮三郎（金港堂）出版

和・木版 二冊23 cm

（一）36丁、（二）46丁

〔卷三欠〕

東書文庫

163

万国史略

久松義典編纂

明治十三年十月

栃木

山中八郎（集英堂）出版

和・木版10行 四冊23 cm

（一）凡例1十目次3

十小引2十35十奥付広告2丁、（二）目次1十43十奥付広告

2丁、（三）目次1十36十奥付広告2丁、（四）目次1十41十奥付広告2丁

〔特31-654〕◎B R 39-1 47 96 138

△此書ハ西洋ノ歴史数部ヲ参酌シテ其要ヲ抄訳シ初学ヲシテ博ク万国ノ事蹟ヲ知ラシメント欲スルナリ

163 d

学校総理論

イカルシヤム  
維克爾暹著

久松義典訳・出版

明治十四年七月

東京

金港堂・栃木

集英堂発売

活版12行 18 cm

口絵1十例言3十目次1十115十奥付1 p

C

国会図書館〔262-1〕・東書文庫

△斯書ハ美国ノ学士維格爾暹氏ノ撰者ニ係リタル「スクール、エコノミー」(学校経営論)中ノ一篇学校総  
理論ヲ摘訳シタルモノナリ▽(例言)

163 e

啓蒙修身学 久松義典纂輯 明治十四年十一月 東京 森小三郎(聚成堂)出版

和・木版 八冊23 cm (一)例言2 + 目錄1 + 8丁、(二)12丁、(三)17丁、(四)15丁、(五)22丁、(六)22丁、

(七)24丁、(八)25丁

◎B 国立教育研究所附属図書館

164

改正  
刪補 雄辯大家集 久松義典纂訳 明治十五年十月 東京 岩崎好正(巖々堂)出版

活版12行 18 cm 肖像4 + 序(中村正直)4 + 例言2 + 目次1 + 200 + 奥付広告8 p

[32-188] A R 39-185

△本書ハ旧版正統編中ヨリ英ヲ摘ミ精ヲ擢キテ大家ノ遺稿ヲ纂輯シ且ツ画像ヲ精鑄シタルモノニシテ前後

ニハ弁説総論、弁説術及ヒ集会ニ関セル諸要件ヲ採録セリ▽(広告)

165

西泰  
辯談典型 久松義典纂訳 明治十六年十一月改題 東京 岩崎好正(巖々堂)出版

活版12行 18 cm 肖像4 + 例言2 + 200 + 奥付広告8 p

[特19-842] ◎AO R 39-304

166

西泰  
革命史鑑 久松義典纂訳評点 明治十九年四月合本〔十五年一月初版〕(続)十八年五月 東京 岩崎好正

(巖々堂)出版

[32-67] AV R 40-198 183 262 358 464

活版11行 二冊18 cm (正)巖々堂印1葉 + 肖像4 + 序1 + 序(藤田茂吉)4 + 例言2 + 目次1 + (上)175 + (中)169

+ (下)113 + 奥付1 p、(続)巖々堂印1葉 + 肖像3 + 例言2 + (一)181 + 口絵2 + (二)204 + 口絵3 + (三)178 + 奥付2 p

〔日本近代文学館(社会文庫)に初版の正編上中下、続編二三の五冊所蔵〕

167

偶評  
壯烈譚林 仏ルイ・アドルフ・ナイエル原著 英ウイルレム・グレイトバッチ英訳 久松義典纂訳 明

治十九年一月 京都 内山亀太郎(改進堂)・山鹿福三郎出版

活版11行 18 cm 題字2丁 + 緒言2 + 目次4 + (上)93 + (下)51 + 奥付2 p 挿画1葉 [32-262] A内 R 41-1

168

代議  
政談 月雪花 久松義典著・出版 月耕画 明治二十年一月 (後)十月 東京 集成社売捌

活版12行 二冊20cm (前)序(矢野龍溪)3+自序4+例言3+目次1+119+奥付2+集成社発兌書目7p、  
 (後)序3+目次2+208+批評(野村文夫、吉田熹<sup>六</sup>)1+奥付1p 挿画9葉 [33-150] A内 R 41-87 170  
 △欧米各国議院ノ典例ヲ紀述スルニ止マルモノハ本邦實際ノ事情ニ疎濶ニシテ冷淡枯燥ニ失シ易シ 又一  
 個人ノ私擬案ニ係ルモノハ往々闕典アリテ他ノ信憑ヲ厚クスルニ足ラズ 因テ著者ハ先ツ英、法、白、  
 米、瑞、葡、澳、匈、蘭、伊、希諸邦ノ現行制度ヲ取調ヘテ而後之ヲ本邦ノ實際ニ応用スルノ考案ヲ立テ  
 且ツ二三政友ト謀リテ試ニ之ヲ編中ニ組織セリ(例言)

①69 南溟偉蹟 前編 久松義典著 月耕画 明治二十年九月 東京 原亮三郎(金港堂)出版

活版12行 19cm 序2+目次2+201+奥付1p 挿画4葉 [22-104] A R 41-292

①70 商海狂瀾 久松義典訳補・出版 明治二十年十一月 東京 集成社書店発兌

活版12行 18cm 口絵1葉+序6+目次4+166+奥付2+集成社発兌書目17p [25-457] A R 42-1

△予性史癖アリ 幼時曾テ鬻舎ニ在ルノ日英国史中ノ“South sea scheme”テフ課題ニ対シテ応問セシ事  
 アリ 頃日曝書ノ際偶々該事蹟ヲ想起セシヨリ Cassell's Illustrated History of England ヲ執テ之ヲ読  
 ムニ紀事頗ル詳明ニシテ該事蹟ノ起因ハ本ト仏国ノ“Mississippi or West India Company”ニ在ルコト  
 ヲ示シタリ 因テ更ニ仏国史ニ就テ之カ要領ヲ審ニシ消暑閑居ノ日試ニ自ラ其顛末ヲ口訳シテ之ヲ筆記者  
 ニ授ケ稿成ルノ後彼此点綴。参互錯綜シ多少ノ刪潤ヲ加ヘテ此書ヲ成シタリ(序)

①71 国憲綱領述義 前篇 久松義典著 明治二十二年二月 富山 中田清兵衛(中田書店)発行

活版11行 19cm 序3+116+奥付1p [25-622] A R 42-103

△今茲七月予富山に客遊し日に富山日報の事務を幹理し兼て各地政友と相往来す 其の朝夕談論する所の  
 ものは自治分権の説に非れば国憲綱領の問題なり(序)

①72 近世社会主義評論 久松義典著 [明治二十三年十月] 文学同志会出版

活版14行 21cm 自序(昨非楼主人)6+例言2+目次10+268p

[特70-431] V R 42-167

△明治三十二年十二月より翌年四月迄に稿を成したるもの▽(例言) [刊年月は日本近代文学館本による]

- ①73 社会研究新論 久松義典著 明治三十四年二月 東京 大月隆(文学同志会)発行

活版3+本書の概意1+目次12+219+奥付1+文学同志会出版図書目録14+売捌所6p [90-56] R 42-313

△本書は。米国博士スモール。ヴィンセント両氏著社会研究結論に拠り。他の三四の新刊書を参酌して。

綱領を立て。これが講究と説明は。専ら本邦現時の事実によらんことを勉め。眼前の光景。当面の問題より革を著けたり▽(序)

- ①74 社会小説 東洋社会党 久松狷堂著 明治三十四年五月 東京 大月隆(文学同志会)発行

活版15行 23cm 口絵1葉+写真(社会党結党の跡)1葉+目次4+208+奥付広告21p [90-189] G R 43-1

- ①75 最近国家社会主義 久松狷堂著 明治三十四年六月 東京 大月隆(文学同志会)発行

活版15行 22cm 目次5+176+奥付1+文学同志会出版図書目録16p [特70-382] V R 43-123

- ①76 殖民偉蹟 久松義典著 明治三十五年九月 東京 福永文之助(警醒社書店)発行

活版12行 19cm 目録4+168+奥付1+警醒社広告3p [96-58] G P 43-226

- ①77 社会学問答 久松狷堂著 明治三十六年三月 東京 大月隆(文学同志会)発行

活版13行 20cm 序4+目次3+146+奥付1+文学同志会出版目録5p [特70-435] V R 43-318

明治12年『体育親書』リーランド述、訳(国会図書館(特23-783))、13年『弗氏生理書補遺』

ホニチソン著、訳(国会図書館(35-62))、25年『北海道新策』(国会図書館(28-109))、26年

『北海道通覧(開拓指鍼)』(国会図書館(44-19))、35年『社会学講義』『社会学と事業』、36

年『社会学と哲学』(以上、社会文庫)を蔵書目録で確認。そのほか明治12年『文則明弁』、18

年『英和辞書』『惨状観察員報告』があるという。①64 広告に『政党盛衰鑑(英国)』がある。

## 柴しば 四朗しろう

嘉永五年（大正十一年（一八五二）—一九二二） 東海散士。明治十二年、岩崎家の出資にてアメリカへ留学。十八年帰国。二十一年「大阪毎日新聞」主筆、「経世評論」創刊。——A（高須芳次郎）B（柳田泉）DEGI（前田愛）F（松田穰）、柳田泉『政治小説研究』上、『日本現代文学全集・講談社版』2（年譜・参考文献）（二木慶）参照。

一一四

①78

佳人之奇遇 東海散士著・出版（一）十九年三月初版（十八年十月初版）（三）四月再版（一月初版）、（五）八

月（六）二十年二月（七）十二月（八）二十一年三月（九）二十四年十一月（十）十二月（十一）三十年

七月（十三）九月（十五）十月 東京 原田庄左衛門（博文堂）発兌

和・木版10行（鼈頭付） 八編十六冊24cm（一）引（隈山）1＋自叙3＋口絵1葉＋37丁、（二）38＋後書（金玉均）1＋奥付広告5丁、（三）序（後藤象次郎）4＋40＋奥付1丁、（四）38＋跋（望洋居士）1＋奥付3丁、（五）序（芳暉園主人）10＋38＋広告奥付3丁、（六）序（得菴居士）2＋44＋奥付1丁、（七）百字引（鈕叔平）2＋題詩（泉南鉄硯）3＋38＋跋（天台道士）1＋奥付1丁、（八）序（梧楼）2＋44＋奥付1丁、（九）叙（広沢安任）2＋序2＋37＋奥付広告2丁、（十）46＋奥付広告2丁、（十一）序（耕雲散人）3＋39丁、（十二）43＋奥付1丁、（十三）36丁、（十四）38＋奥付1丁、（十五）35丁、（十六）41＋跋（雲外道士）4＋奥付1丁 挿画36葉

[187-173] A R 44-1 50 130 156 205 265 322 375、R 45-1 54 109 158 208 252 298 347

本書は古典籍課に二揃えあるが、共に挿図に欠あり、マイクロフィルム版にて補完した

△散士幼ニシテ戊辰ノ変乱ニ遭逢シ全家陸沈迺遭流離其後或ハ東西ニ飄流シ或ハ筆ヲ投シテ軍ニ從ヒ違々草々席暖ナルニ暇アラス 既ニシテ笈ヲ負テ海外ニ遊ヒ専ラ實用ノ業ニ志シ経済、商法、殖産ノ諸課ヲ修ムルニ汲々タリシヨリ殖産利用ノ心日ニ長シテ花月風流ノ情日ニ消シ文ヲ練リ詩ヲ咏スルノ余閑ニ乏シ然レトモ多年客土ニ在リ国ヲ憂ヘ世ヲ慨シ千万里ノ山海ヲ跋涉シ物ニ触レ事ニ感シ発シテ筆トナルモノ積

テ十余冊ニ及ヘリ 是レ皆偷閑ノ漫録ニシテ和文アリ漢文アリ時ニ或ハ英文アリテ未タ一体ノ文格ヲ為サ  
ス 今年帰朝病ヲ熱海ノ浴舎ニ養ヒ始テ六旬ノ閑ヲ得タリ 乃チ本邦今世ノ文ニ倣ヒ之ヲ集録削正シ名ケ  
テ佳人之奇遇ト云フ(自叙)

①79 東洋之佳人 東海散士著 明治二十一年一月 東京 原田庄左衛門(博文堂)出版 大坂 隴曦堂発売

和・木版10行(鼈頭付) 23 cm 序(鉄腸居士) 3 + 題這(泉南鉄硯) 5 + 14 + 叙(西村時彦) 3 丁 挿画1葉

[10-119] A R 46-1

①80 埃及近世史 東海散士編・発行 明治二十二年十一月 東京

活版11行(鼈頭付) 19 cm 序(隈山居士) 7 + 緒言1 + 参考書目1 + 目次3 + 556 + 奥付2 + 広告2 p 挿画

[21-233] A R 46-34

①80 b 研究  
叢書

春花秋月 柴東海散士・陸羯南・福本日南・落合直文・小中村義象・谷口鹿洞述 明治二十九年十一月

東京 塩沢梅(陸軍受驗講義録編輯所)発行

活版13行 19 cm 例言1 + 目錄2 + 264 + 奥付1 p [17編収録中、東海散士の文は「東北漫遊紀行」(1)と

28 p)と「東海散士祭馬場辰猪君」(201)と202 p)の二編] A 函会図書館 [68-493]

①81 日露  
戦争

羽川六郎 東海散士著 明治三十六年十二月三版(十一月初版) 東京 太田資順(有朋館)発行

活版20行 15 × 23 cm 序1 + 彩色地図1葉 + 目次3 + 406 + 日露戦艦表1葉 + 奥付4 p 鳴海文庫 R 46-333

牛山良助 うしやまりようすけ

生没年不詳。良介、鶴堂、鶴林散士。

①82 b 政治小説 梅蓄余薫 ばいらいよくん スコット著 牛山良助意識 明治十九年十二月→明治期翻訳文学書全集 I ④4

①82 c 新訳 魯敏遜漂流記 デフォー著 牛山良助訳 明治二十年三月→明治期翻訳文学書全集 I ④9

①82 d 雙鸞春話 さうらんしゆんわ デイズレーリ著 牛山良助意識 明治二十年三月序→明治期翻訳文学書全集 I ⑤0

①82 社会小説 日本之未来 牛山良助著述 藤沢平司校補 明治二十年五月 (後)十一月 東京 和田篤太郎出版

活版12行 二冊18 cm (前)自叙4 + 凡例3 + 173 + 奥付1 p、(後)目錄3 + 口絵1葉 + 298 + 書後(蟠松居士) 6 + 奥付1 + 春陽堂書目新版報告6 p 挿画8葉 [26-56] R 47-1101

△本書ハ代議政体ノ得失地方自治ノ是非多数党ノ弊害議員撰挙ノ悪弊女子参政權ノ可否国会政党ノ狀況等其他社会ニ顕出スル未来ノ現象ヲ故ラニ筆ヲ二百年ノ後ニ仮リ……之レヲ論出シタルナリ▽(凡例)

①83 日本新世界 牛山良介著述 藤沢平司校閱 明治二十年五月 東京 佐藤乙三郎出版 [26-121] A内 R 47-275

活版12行(鼈頭付) 18 cm 序(天石居士、梧堂素夫)7 + 凡例3 + 179 + 奥付1 p 挿画4葉 △本編ハ日本ノ未来ハ必ラズ実業的ノ社会ニ豹変スベキヲ想像シ殖産興業ヲ以テ一編ノ経ト為シ……未来ニ起ル社会ノ現象ヲ緯ト為シテ試ミニ新世界ノ状態ヲ織リ出セリ▽(凡例)

①84 英和対訳 西洋落語 牛山良介編纂訳述 明治二十年六月 東京 佐藤乙三郎出版

活版(和英対照) 17 cm 序(梧堂素夫)2 + 81 + 正誤1 + 付録10 + 奥付1 p [84-78] A内 R 47-433(左開き)

①84 b 改正 万國史直訳 彼得巴来著 牛山良助直訳 明治二十年十月 東京 佐藤乙三郎(成文堂)出版

活版13行 19 cm 自序3 + 485 + 奥付1 p A 国会図書館 [特20-66]

# 小宮山桂介

安政二年（昭和五年）一八五五（一九三〇）天香逸史、醒々居士。明治十年「観風新聞」、十三年「朝野新聞」、十四年「大阪日報」、二十年「浪華新聞」、二十一年「東京朝日新聞」の主筆となる。——B（村松定孝）DI（木戸清平）E（野山嘉正）、柳田泉『政治小説研究』下参照。

## ①85 新編黄昏日記

醒々居士稿 貞広画 明治十八年三月 大坂 福島幾太郎編輯・出版 駈々堂発兌

和・活版12行 18cm 序・彩色口絵2+72+駈々堂発兌稗史出版書目2丁

〔特41-991〕A R 47-434

△新編黄昏日記ハ一種の情史なり 其脚色を仏蘭西の稗史家歴山徳あれきさんどる、戎馬じうまの物せし小説に取り換骨奪体以て我國の人情を写せしものなり▽（序）

## ①85 b

沙吉比 羅馬盛衰鑑 河島敬蔵・小宮山天香戯訳 明治十九年九月——明治期翻訳文学書全集I ③9

## ①85 c

慨世史談 断蓬奇縁 小宮山桂介訳述 明治二十年六月——明治期翻訳文学書全集II ⑦3

## ①86

涙之谷なみだのたに 卷一 天香外史著 明治二十一年三月 東京 原亮三郎（金港堂）発行

活版12行 19cm 序1+73+正誤2+奥付広告2p 挿画2葉

〔21-41〕 R 47-513

△この書は他の一小稗と共に著者が昨秋避書中の板面書なり その一部を嘆の垣と云ひ又この一部を涙の谷といふ 「谷」は五女子を仮りて社会の裡面に対する感情を写さんことを願ひ「垣」は五男子を仮りて社会の外面に対する感情を写さんとの冒険を試みたるものなりき 然るに爾来いさゝか障る由ありて「垣」は暫らくその発行を見合することとなし又此一部さへ今日に至りて僅かに先づ其第一巻を板行し後巻発行の運命を下する一犠牲に供せらるゝ有様となりたるこそ返すくも薄幸の冊子なれ▽（序）

## ①87

夢幻 明治二十八年九月 大阪 浜本伊三郎（明昇堂）著作・発行 研山外題画

小宮山桂介

活版12行  
21cm  
口絵1葉+74+奥付1p

一一八

[特11  
|748  
]A

R  
47  
|566

第Ⅲ部 政治小説編



① 名広沢辺萍 なひろさきざわべのうきくさ 京文舎文京〔渡辺義方〕著述 仮名垣魯文校閲 国政画 明治十三年二月出版御届 東京

辻岡文助(金松堂)出版

和・木版 六冊18 cm 初編(上)序言・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、一編(上)序(いろは新聞社長金花猫翁)・彩色口絵2+7丁、(中)9丁、(下)9丁  
〔特42-912〕 R 1-1 16 29 42 55 68

△明治の新政幕府の苛酷圧制を掃攘し伴食の宰相鉄面御史を一洗し以て言路洞開の今日に至らしむるハ社稷の名臣王位の才真に是の当を得るに依れり 芳名広々天下に潤沢を布き廟堂に参政する人維新創業に冠たるも豺狼道を横断矇雲明月を覆ふの災厄あり 嗚呼天変地妖も亦造物の然らしむる者歟 凡愚嘆ずるに余りありと 余が机下の壯士渡辺文京彼の顛末を筆記して本社新聞毎号に掲載する処書肆金松堂切に乞て別に合巻の小冊に製し既に初編の発兌を報ず(二編序)

② 世海乗合船 せかいのりあひぶね 総生寛著 明治十三年十月 東京 飯田登久(竹天堂)出版

活版12行 18 cm 31+奥付1 p  
〔特54-714〕 R 1-81

③ 龍宮 奇談 黒貝夢物語 こくかひゆめものがたり 第一編 風頼子(仲田豊太郎)述・出版 明治十三年十月 東京 風頼舎発兌

和・活版10行 18 cm 序(黒海子)1+序・口絵3+11丁  
〔特29-599〕 R 1-102

④ 魯帝弑逆記 大久保常吉編輯 明治十四年四月 (二)六月 東京 法木徳兵衛(漸進堂)出版

和・活版12行 二冊 19 cm (一)論ニ亜歴山第二世(甲田良)2+38+奥付広告3 p、(二)自序2+39〔39  
〔特30-74〕〕◎ A B R 1-121 147  
〔42 p欠〕+奥付広告4 p

⑤ 虚無党ノ事情并ニ新皇帝即位ノ次第等読者ヲシテ一目瞭然タラシメント欲ス△  
鳳縁情誌 嘯風狂生(一宮猪吉郎)著 明治十四年五月 大阪 山田又次郎出版

活版12行 18 cm 自序5+目次1+51+奥付1 p  
〔特52-347〕 B R 1-176  
△彼ノ生意気ノ論ヲ高壇ニ演シ新聞ニ掲ゲ頻リニ民権自由ヲ唱ヘ盛ニ政事ノ得失ヲ談シ慨世憂国ヲ以テ自

ラ任スルノ士ト雖トモ細カニ之ヲ嚼味スレバ多クハ是レ博名釣利ノ一味ニ過キス 欧米諸邦ハ文明開化ヲ以テ自ラ誇ルトイヘトモ彼ノ弱ヲ助ケ強キヲ摧クノ口実ハ虎狼ノ心以テ世界ヲ吞噬セント欲スルノ利己主義ニ過キス……我ハ揚々乎トシテロニ民権自由ヲ唱ヘ立憲議會ヲ談センヨリ寧ロ俗人ハ俗人ヲ守ルニ若カズ▽(自序)

- ⑥ 世当 言逆論 政体篇 清水卯三郎(瑞穂屋)著述・出版 明治十五年一月 東京

活版12行 18cm 序(清水静宇) 4 + 78 + 正誤 1 + 奥付 2 p

〔31-79〕 B R 1-210

- ⑦ 文明 開化 地獄極楽一週記 大久保夢遊(常吉)戯著 明治十五年二月 東京 法木徳兵衛(漸進堂)出版

〔特28-681〕

- ⑦ b 良政府談 モア著 井上勤訳 明治十五年二月→明治期社会科学翻訳書集成 I ⑦2

活版12行 19cm 題字(撫松、愛花) 4 + 序(魯文、醒夢居士) 4 + 自序 2 + 口絵 2 + 45 + 奥付 廣告 7 p

R 1-257

- ⑧ 月氷 奇遇 艶才春話 菊亭香水(佐藤蔵太郎)著 明治十五年四月 (中)七月 東京 大角豊治郎(春山堂)出版

〔特13-615〕

- ⑨ 自由の花 板垣公の変報 宇和平輔編輯・出版 明治十五年四月 大阪

活版12行 17cm 3丁

〔特29-570〕 A R 1-371

△抑そも公ハ四月五日岐阜町玉井屋の旅館に投ぜられ同六日午後一時濃飛自由党の請ひによりて同地中教院に於て開ける懇親会に臨まれ同行竹内綱内藤魯一及び立憲政党的小室信介等の諸氏も共に臨会して各々其の思想を演舌し喝采拍手も盛んにして大に興を催ほせしが午後六時三十分頃に至り板垣君の一行ハ先ず席を辞して玄関に立出られたり▽(本文)

- ⑨ b 仏国革命 自由党魁 真段郎蘭伝 アポット著 門田平三訳 明治十五年四月→明治期翻訳文学書全集 II ③

- ⑩ 正四位板垣公実伝 東洋自由の魁 野田与三次編・出版 国松画 明治十五年五月 (下)八月 東京 開成社発売

活版12行 二冊 18cm (上)序(自由山人) 8 + 39 + 奥付 1 p、(下)36 + 奥付 3 + 廣告 1 p

〔特52-341〕 R 1-378 405

⑪ 民権 板垣君近世紀聞 中島市平編輯 東洋太朗(彩霞園柳香)校閲 国政・年恒画 明治十五年六月御届 東京 辻岡文助(金松堂)出版

和・木版 五冊18 cm 初編(上)序(東洋太朗)・彩色肖像2+7丁、(中)9丁、(下)9丁、三編(上)序(中島痴童)・

彩色肖像2+7丁、(中)9丁、(下)欠〔明治新聞雜誌文庫所蔵本によれば、二編(上)序・彩色口絵2+7丁、(中)

9丁、(下)9丁、三編(下)9丁〕

〔特42-916〕 R 2-116 30 44 58

⑪ b 自由之葉 蝴蝶紀談 第一編 上田秀成著 明治十五年九月 東京 城重源次郎出版 温故社発兌

和・活版 19 cm 序(東洋太朗)・自序3+目錄1+38丁

明治新聞雜誌文庫

八余が友蝸石園上田秀成氏ビーコンスフィールド及びワルデエツフ両氏が鑿に做ひ今度蝴蝶紀談を新著す  
善く方今内外の事情に通曉する実に政治学楷梯の小説書たる事を保証す 今日政治家たるもの須く稗史  
小説と雖も一読して意を此間に注ぎ其自由の榮たるを識るべし(序)

⑪ c 虚無党退治奇談 ヴェルニエ著 川島忠之助訳 明治十五年九月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ(49)

⑪ d 露国虚無党事情 西河通徹訳 明治十五年九月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ(135)

⑪ e 哲爾自由譚 シラー著 山田郁治訳 明治十五年十月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ(110)

⑫ 民権膝栗毛 初編 蛮蝨舎蘇山(木田清三郎)戯著・出版 晁斎画 明治十五年十月 東京 海田金平出版

和・木版 二冊19 cm (上)口絵・題字(醉多道士)2+序1+緒言2+17丁、(下)24丁 〔特40-628〕 R 2-72 99 B

⑬ 絵入人情 自由新話 花笠文京(渡辺義方)編輯 芳年画 明治十六年二月 (二)三月 (三)八月 東京 師岡国・松井

忠兵衛・島田雅太郎出版 〔特40-132〕 A

和・活版 13行 四冊23 cm (一)吹雪の花笠10+合鏡心妍醜13+カーネット、ウオルスレーの伝2+奥付2

丁、(二)吹22+合12+ガ1+奥付1丁、(三)吹4+合17+奥付1丁、(四)合16+奥付1丁 R 2-126 156 186 212

⑭ 永代惨話 文化の夢 菊亭香水(佐藤蔵太郎)編輯 明治十六年八月 東京 浅井真蔵(万字堂)出版

- 活版12行 18 cm 自序3 + 口絵5 + 96 + 万字堂発売書目5 + 奥付1 p [特30-419] A R 2-233
- 阿国自由廼錦袍 桜田百衛遺稿 舟雪居士校閲 芳年画 明治十六年九月 東京 坂部安之助出版 [11-991] A
- 福島自由の夜譚 前編 簗輪勝編輯 東洋太郎訂正 年恒画 明治十六年九月 東京 辻岡文助出版 R 2-294
- 和・活版12行 18 cm 題字・彩色口絵2 + 序(東洋太郎)1 + 42 + 奥付1丁 [特70-335] V R 2-364
- △該書や新刑法發布以降始て開廷せられたる高等法院の公判乃ち自由党の河野広中氏以下が国事犯の顛末を編輯したるものなり√(序)
- 油断吃驚叢談 醉月仙史(酒井忠誠)著・出版 明治十六年十月 東京 九春社発行
- 活版12序 18 cm 序(夢遊)・口絵4 + 72 + 奥付1 p [特22-369] A R 2-416
- 見光自由燈 一名卑屈の目ざまし 中野了随著 明治十六年十月 東京 高橋種(鶴鳴堂)出版 R 3-1
- 活版12行 18 cm 30 + 奥付1 + 鶴鳴堂出版発売書目1 p [特29-595] A R 3-1
- 経世鉄烈奇談 フェヌロン著 伊沢信三郎訳 明治十六年十二月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅱ ⑤2
- 政党春鷲囀 ビーコンスフィールド著 関直彦訳 明治十七年三月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅰ ②5
- 才人堂雪美談 花笠文京(渡辺義方)編輯 芳年・芳宗画 明治十七年三月 東京 宏虎童出版 絵入自由出版
- 和・活版13行 18 cm 序詞(案外堂)・彩色口絵2 + 23 + 福字堂発売書目4 + 奥付2丁 [特41-940] A R 3-21
- 悲風世路日記 菊亭香水著 年参画 明治十七年六月 東京 石原信三郎(東京稗史出版社)出版 [特11-674] A
- 活版11行 19 cm 序(近藤治友)4 + 自序2 + 目錄9 + (上)65 + (中)55 + (下)71 + 奥付広告12 p R 3-55
- なお、本書には文事堂(十八年)、精文堂(二十年)、石川正七(二十年)、偉業館(二十年)の各版あり

『訂正増補 惨風悲雨世路日記』二十八日十一月・大阪 偉業館出版(活版13行 22cm 訂正増補序4十序(近藤治友)2十序2十目次6十口絵1葉十前編129十後編61十奥付1p)は鳴海文庫蔵本によると、三十八年五月

までに三十九刷刊行されている

- ②0 b 白露革 自由邂逅矢 ベルヌ著 井上勤訳 明治十七年十月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑤8  
命外伝

- ②1 滑稽 清仏船栗毛 伊東専三・川上鼠文〔三〕五編〕戯作 年恒画 明治十七年十月 (二)十一月 (三)十八年五月  
笑談

月東京 三嶽寛隆・松成伊三郎(松成堂)出版  
〔特41-996〕A R3 174 192 215 237 259

- ②1 b 活版12cm 五冊19cm (初)序詞1+15丁、(二)20+奥付1丁、(三)自叙1+19丁、(四)20丁、(五)20丁  
英国 回天綺談 加藤政之助訳 明治十八年十月→明治期翻訳文学書全集Ⅰ②9

- ②1 c 嘲俗 繫思談 リットン著 尾崎庸夫訳 明治十八年十二月→明治期翻訳文学書全集Ⅰ③1

- ②2 当世娘性質 四文字舎半笑戯作 歌川国松編輯・出版・画 宇田川文海校閲 明治十九年一月 大阪 巨文堂発兌

- 活版12行 19cm 口絵6十序(宇田川)2+82+奥付広告3p  
〔特11-70〕A内 R3 281

△吾友四文字舎半笑能く理窟を言ひ能く滑稽を言ふ男なり 頃来東洋の大勢に就き感ずる所ありて当世娘氣質の著あり 蓋理窟を洒落て言ひ滑稽を真面目に言ひたる者なり 日本絵入新聞社に投じて其紙面に掲げしが……寓意を愛で趣向を喜び面白ひの評判江湖に噴々たり……時に明治十八年十二月十五日夜朝鮮に

事ありて吾日本政府より使臣を遣派さるゝ旨東京より電信にて通知ある折しも▽(序)

- ②3 仏国女傑 如安実伝 自由の新花 朝倉禾積編輯・新宮巍校閲 明治十九年一月 東京 丁卯堂発兌

活版12行 19cm 序(道家大門)2+25+奥付1p  
〔特49-395〕A内 R3 331

- ②4 高野長英諭迷物語 香夢楼主人(加藤栄)編輯・出版 明治十九年六月 東京 金桜堂・鶴声社蔵版

- 活版12行 18 cm 例言・口絵4 + 134 + 奥付1 p  
〔特22-432〕A内 R 3-349
- ②⑤ 近代悲憤 烈士伝 草のや忍(飯田熊治郎)編蒐 明治十九年八月 東京 松成伊三郎(松成堂)出版  
活版12行 二冊18 cm 序(破鐘狂夫)2 + 152 + 奥付2 p、(後)76 + 奥付2 p  
〔特20-398〕A内 R 4-185  
所収の「美豪君之伝」は柳田泉によると、宮崎夢柳が「絵入自由新聞」に発表した作品「薔薇の露」という。序に「草のや子の友某氏が曾てものしつ某NEWSに出されしもの有り」とある。
- ②⑤ b 近代悲憤 烈士伝 草のや忍編蒐 明治十九年七月合本 東京 松成伊三郎(松成堂)出版  
活版12行 18 cm 序2 + (前)152 + (後)76 + 附録女傑如安君之伝30 + 広告1 + 奥付2 p  
鳴海文庫 R 4-129
- ②⑤ c 三英双美 政海の情波 ビーコンスフィールド著 渡辺治訳 明治十九年十月 → 明治期翻訳文学書全集I ④⑩  
②⑤ d 葎籜群馬嘶(むしろはたぐんまのいななき) 彩霞園柳香(雑賀豊太郎) 明治十九年十月別製(十五年六月御届) 東京 辻岡文助(金松堂)出版
- 活版12行 18 cm 序(猫々道人)1 + 口絵5 + 82 + 広告6 + 奥付1 p (鈴木茂三郎寄贈本) 日本近代文学館
- ②⑥ 樊噲夢物語 一名新平民回天談 杉浦重剛立案 福本誠筆記 明治十九年十月 東京 井上蘇吉出版  
活版11行 19 cm 31 + 奥付2 p  
〔25-177〕A内 R 4-274
- ②⑦ 蜃気楼(しんきろう) 「著者未詳、宇田川文海か」 山川霍吉拔萃・出版 明治十九年十二月 大阪  
活版15行 18 cm 題字1 + 口絵1葉 + 310 + 奥付2 p 〔船井・吉岡発兌〕  
〔特11-320〕A内 R 4-295
- ②⑧ 新潟奇聞娘演説 為永栄二演説 藤井源太郎筆記 国松画 明治二十年一月 大阪 岡島真七出版  
活版13行 20 cm 序詞(為永春水)2 + 序(魯文)3 + 口絵2 + 例言1 + 序詞(藤井)3 + 口絵5 + 258 + 跋(浜中聳山)2 + 奥付4 p  
〔特11-94〕A内 R 5-1
- △近頃娘演説と仮に題し都鄙となく近遠となく談笑諷刺の心もて世に広く舌耕せる為永栄二となん呼ぶ戯

れて笑気なる男ありける 往る安政のはじめ余が湯島妻恋岱に草の宿りせる頃ゆくりなく訪も来て戯作の道ふみも習はむと懇ろに乞たりしを余は当時他に教ふべき技倆もなければ辞して同業二世為永春水大人が許に紹介その門弟の中乞に入れ大人が先師の別号狂訓亭を譲らしめ戲号为永栄二とぞ名乗らせける其本姓は宮崎氏にて父は玉石琢磨をもて業となし旧く日本橋木原店の市に住めり 栄二一度父の業を嗣ぎ玉石方円の工凡庸にあらで世に賞美されしが性放逸不覇とかくに職工商業の営みに反けはじめ俳諧を一具庵一具叟に学び一琢いさると号し画は二藤三拙の門に遊びしかど無下に拙しとして描筆を断し後三世の教訓亭と号し戯作人情本を綴らむと机上に寄りしかど強飲酒癖の為に長く筆硯に親むに飽き遊蕩日夜に募るより遂に父の授産を破り飄々然として故里を去り旅中に在て邯鄲の夢を楽み世事百談普く人情の厚薄を探り得て暗記し胸中万語の貯へあれば行所として席を設け聴衆の限りを集へ娘演説の名称を題として売講間断なく就中京阪尾の三地最も声価高しと聞しが惜べし天一個の滑稽者を滅ずるの時ありて今年夏のはじめの方不  
如帰となける鳥の最かなしくも死出の田をさの人とハ成れりV(十九年八月、序)

②9

才人 流離奇談 鳴洋散士(熊谷確資)著 桂舟画 明治二十年一月 東京 水野幾太郎(栄泉堂)出版

活版12行 18 cm 題字(藤村雄弑) 4 + 序(関義一) 2 + 口絵 2 + 総目録 6 + 167 + 奥付 廣告 4 p 挿画 5 葉

[33-189] A内 R 5-148

③0

明治 夢想兵衛開明物語 米巒笑史(石橋中和)戲編 明治二十年一月 大坂 寺井与三郎(寺井書店)出版

活版12行(鼈頭付) 18 cm 自叙 2 + 略図 1 葉 + 71 + 奥付 2 p 挿画 5 葉 [33-209] A内 R 5-255

③1

二十 国会道中膝栗毛 香夢亭桜山(名倉亀楠)著 明治二十年一月 大阪 和田庄蔵(文宝堂)出版

銅版10行 11 cm 自序・口絵 2 + 40 + 奥付 1 丁 [特61-635] N内 R 5-309

③2

革命 英国奇談 北越樵夫(村松熊太郎)著 明治二十年二月(十九年十一月権免許) 東京 高橋平三郎出版

余波 洋版13行 三冊合本一冊 18 cm 自序 6 + (一) 20 + (二) 25 + (三) 129 + 合評(築山直忠) 5 + 奥付 1 p 挿画 4

葉

〔特52-380〕V R 6-11747

△我国近年翻訳ノ業学生社会ニ頻リニ行ハル、ヨリ或ル社会ニ於テハ靡然トシテ其ノ泰西諸国ノ小説家ノ手ニ成ル所ノモノニシテ其ノ脚色ノ新奇ナルト其ノ文辞ノ幽微ナルトニ眩惑シ小説院本ヲ称スレハ直ニ(紗くすびーあ)ヲ説キ史伝文章ヲ論スレバ故ラニ(女んそん。麻こふれい)ヲ賛シ以テ美術的ノ全勝ヲ占メタルガ如クニ意思シ筆スレバ必ラズ之レニ模倣シ殆ド泰西小説ニ不訓ナル読者ヲシテ我国小説稗史ノ外ニ亦タ一種ノ小説稗史アルガ如クニ推断セシムルニ至リタリ

33

軍書  
狂夫

午睡之夢

南柯亭夢筆(杉山藤次郎)戯著

月耕画

明治二十年三月

東京

内藤加我(金桜堂)出版

活版12行

18 cm

自序13+凡例10+口絵4+目録7+254(9798破)+奥付2 p

〔26-58〕A内

R 6-107

△余新聞社を退きて著作の職に移り之を専門の業とすること既に数年 此間余が手に成る著書大小合して百有余種あれど是を以て糊口の具となせしにより……我本然の意想を記すこと能はず 其稍々我が意見奇想を記するものハ今日に至て唯僅に黄金世界新説と本書の二種に過ぎず(凡例)

34

政海  
波瀾

官員氣質

田中清風著 愛花仙史閱

弘方画

明治二十年三月

東京

千葉茂三郎(共隆社)出版

活版13行

18 cm

版權免許印1葉+序(紅夢楼)4+170+奥付広告5 p 挿画6葉

〔22-9〕A内

R 6-258

35

地獄  
極楽

怪化の夢

前編

舍魚堂主人流外(芳川延輔)戯著

明治二十年三月

東京

富田直二郎(明進堂)出版

活版15行

18 cm

序(当百迂史)・口絵6+81+奥付2 p

〔特11-8〕A内

R 6-358

36

西南  
追討

五月雨日記

菊亭主人(佐藤蔵太郎)著作

明治二十年三月

大分

添島又作(八風堂)出版

活版13行(鼈頭付)

20 cm

自序2+目録1+42+奥付1 p

〔特52-194〕A内

R 7-1

37

俗通

佳人之奇遇

石心鉄腸子著

花木宗忽編輯

明治二十年三月

大坂

赤松市太郎出版

駸々堂本店発兌

活版12行

18 cm

序文4+口絵1葉+発言4+107+奥付1 p 挿画1葉

〔特10-269〕AO内

R 7-29

38

一読  
一驚

明治奇談

上卷

春永情史(久永廉三)編述・出版

明治二十年三月

東京

和田篤太郎(春陽堂)・朝野

文三郎(正文堂)発売

活版10行 19 cm(袋綴) 序1+口絵5+53+別録17+卷末に一言3+奥付1 p

〔特10-326〕 A内 R 7-95

38 b 才子 奇遇之夢 中村柳塢纂訳 明治二十年三月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ 192

39 断腸之余滴 梅影隠士(成等常照)著 明治二十年四月 大坂 大淵浪出版 駸々堂本店発売

活版10行(鼈頭付) 18 cm 序(宇田川文海)8+自序9+163+奥付広告11 p 挿画3葉 〔22-12〕 A内 R 7-138

△是ハ此民権家を以て曾て世に芳名を伝えたる成等常照氏の著に係る政治小説断腸之余滴と云ふものなり  
常照氏吾国人民政治の思想日に冷淡に趣き或ハ会社を起し或ハ事業を企て上下交利を征るに汲々として又  
政党の必用を説き国会の準備を議する者無きに至りし今日社会の状況に対し慷慨の心止み難く満腔の心血  
を筆頭に漏したるものにて所謂一字一涙一句一嘆彼の近來世に賞与さるゝ佳人之奇遇と梢相肖たる書なり  
りV(序)

40 内地 雑居 街の噂 一名油断大敵 吸霞仙史(飯塚栄太郎)著 明治二十年四月 東京 塩治芳兵衛(東京改良小説  
出版会)出版 〔塩田良平(『明治文化全集』第4巻解題)によると、服部誠一の作品という〕

活版12行 18 cm 序(服部誠一)5+口絵1葉+目次2+99+奥付2 p 挿画2葉 〔特47-207〕 A内 R 7-240

41 時勢走馬燈 一名親父肝潰誌 菊地香鬚著述 月耕画 明治二十年四月 東京 片岡馨出版 鶴鳴堂発売

活版12行 17 cm 序(片岡)・口絵4+目次2+50+奥付2 p 〔特52-342〕 A内 R 7-308

42 政治 小説 未来之警鐘 上編 前川虎造著・出版 明治二十年四月 和歌山・打田村

活版14行 19 cm 59+奥付1+正誤1 p 〔特47-565〕 A内 R 7-341

43 三春 落花 獄裏ノ夢 何有野史(河野広中)著 明治二十年四月 東京 岡安平九郎(イーグル書房)出版  
△嗚呼此極如何ナル珍事ヲ現出スルヤ否ヤ又タ并ニ社会党ノ樹立如何ハ後編出版ノ時ニV(著者謹告ス)

- 活版10行 18 cm 版權所有印1葉+河有野史之像1葉+112+奥付2 p [26-100] A内 R 7-377
- 俗通 佳人之奇遇 大東萍士(土田泰蔵)著 明治二十年四月再版 東京 青柳国松出版 鶴声社発兌 吉野文庫
- 活版12行(鼈頭付) 18 cm 序(服部誠一)5+自序5+183+奥付広告11 p 挿画4葉
- 明治二十年二月版權譲受。国会図書館に二冊(183、204 p)あるも調査時製本中にて未見〔特8-131〕
- ④3 c 五日 英雄之肝胆 ユゴー著 野田藤吉郎訳 明治二十年四月――明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑦⑩
- ④3 d 政治小説 佳人之血涙 ベルヌ著 井上勤訳 明治二十年四月――明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑦⑪
- ④4 屑屋くすやの籠かご 天囚居士(西村時彦)著 明治二十年五月 (後)二十一年五月 東京 原田庄左衛門(博文堂)出版
- 活版12行 18 cm(前)自序2+緒言5+口絵1葉+目録1+180+奥付6 p、(後)自叙3+緒言6+目次1+201+奥付2 p 挿画13葉 [特10-991] A O内 R 8-112
- ④5 新帝国策 北村三郎著 明治二十年五月 東京 池部活三(興文社)出版
- 活版11行(鼈頭付) 19 cm 題字(鳥尾小弥太)4+序(匏菴、無辺俠禅)4+目次5+口絵1葉+(一)86+口絵1葉+(二)202+跋4+奥付2 p 挿画6葉 [33-239] A内 R 8-241 306
- ④6 内地雑居 經濟未来記 松永道一稿 明治二十年五月 東京 和田篤太郎(春陽堂)出版
- 活版12行 18 cm 出版社印1葉+序(天野崧村)6+凡例2+目録2+114+奥付1 p [26-86] A内 R 9-1
- ④7 芳草花園 春洒曙 花の舍狂風(夏目助太郎)述 明治二十年五月 東京 秋元房治郎出版 朝野文三郎(正文堂)・杉本八百丸(幹香堂)・東生鉄五郎(明治書房)専売
- 活版11行 18 cm 口絵1葉+自序3+目次2+120+奥付2 p 挿画4葉 [特10-276] ◎A O R 9-67
- ④8 海外遺聞 慨世偉蹟 北越樵夫(村松熊太郎)稿 明治二十年五月 東京 高橋平三郎(精文堂)出版 [特11-428] ◎A O R 9-143
- 活版12行 18 cm(背皮) 叙(臥龍醉夫)2+序(武村乘山、小島半湖生)4+219+奥付1 p

△北越樵夫即チ村松久磨太郎君ハ性固ト粗暴事ニ顧ミサルノ人ナリ 乙酉ノ春余山陰山陽ノ地方ニ遊ビ昨年京ニ歸リ偶マ君ト東台ノ下ニ宴ス「この時『英国奇談』を閲す」……其ノ後チ君思フ所アリテ相陽萩野ノ有士者ノ召聘ニ応シ爾後面接セザル茲ニ数閱月偶マ君出京シ寒梅ノ娜々タル三月ノ始初再ビ墨陀ノ湄ニ

飲ス 君余ニ贈ルニ亦タ一小冊子ヲ以テス 余開ヒテ之レヲ見レバ即チ慨世偉蹟ト題シ(序)

④9 後世浮世態 高橋基一著・出版 月耕画 明治二十年六月 東京 富田彦次郎(東崖堂)出版 精文堂発売

活版12行 18cm 緒言5+附言2+(一)~(一七)257+奥付1+正誤1p 挿画12葉 [32-184] A R 9 | 262

⑤0 政治小説 大岡名譽政談 鈴川源十郎之伝 石塚猪男三編輯 芳国画 明治二十年六月 大阪 柏原政次郎(柏原書店)出版 大阪同志出版会社発売

銅版16行 13cm(袋綴) 題字(胆伯散士)・口絵2丁+107+奥付1p

⑤1 東洋之新天地 初編 月孫桂士(田鍋安之助)著・出版 清親画 明治二十年六月 東京 後凋閣発売 [特64-899] N R 10 | 1

和・活版11行(鼈頭付) 19cm 自序14+緒言1+目次2+135+奥付6+正誤2p 挿画2葉 A [22-42] R 10 | 60

⑤2 今の譽黒旗軍記 流鶯散史(谷口政徳)編述 月耕画 明治二十年六月 東京 辻岡文助(金松堂)出版

活版11行 18cm 序(鶴陰山樵)1+口絵3+76+奥付1+出版書目10p 挿画2葉 [特20-340] R 10 | 149

⑤2 b 社会進化 世界未来記 ロビダ一著 蔭山広忠訳 明治二十年六月——明治期翻訳文学書全集Ⅱ(72)

網繆瑣談 朝夷六郎著 清親画 明治二十年七月 東京 小池綸叟(後凋閣)出版

⑤3 活版10行(鼈頭付) 19cm 口絵1+自序3+134+奥付2+広告1p 挿画5葉 [23-114] A R 10 | 204

⑤4 悲壯慘憺 昂駒之蹄 中村弼著・出版 加納維一郎評 清親画 明治二十年七月 東京 木村莊二郎(晚青堂)出版

活版12行(鼈頭付) 18cm 出版社印1葉+序(尾崎行雄)2+口絵4+目次2+110+奥付1+広告5p 挿画3葉 [25-394] A R 10 | 287

⑤5 真如之月 蓮竹狂夫(鹿目丑彦)著 月耕画 明治二十年七月 東京 浅井精一郎(精文堂)出版

政治小説 明治二〇年

- ⑤6 活版13行 18 cm 自序5 + 論説目次1 + 目錄2 + 口絵2 + 168 + 奥付1 p 挿画7葉 [25 | 318] A R 11 | 1  
 自由の犠牲 景山英女之伝 独善狂夫(清水太吉)編・出版 明治二十年七月 東京 成文堂発兌  
 女権の拡張
- ⑤7 活版12行 18 cm 景山英肖像1葉 + 序(無文字の翁)2 + 45 + 奥付2 p 挿画1葉 [特29 | 566] N R 11 | 104  
 政治小説 二十三年夢幻の鐘<sup>むげんかね</sup> 秋風道人(内村義城)著 明治二十年八月 東京 上田捨吉出版 駢々堂本店発兌
- ⑤8 活版12行(鼈頭付) 18 cm 口絵1葉 + 緒言15 + 目錄3 + 204 + 奥付1 p 挿画1葉 [25 | 368] A R 11 | 135  
 政治論談 破窓之風琴 凌耐居士〔辻治之助〕戯述 明治二十年八月叙 東京 春陽堂
- ⑤9 活版11行(鼈頭付) 18 cm 出版社印1葉 + 題字(天台道士)2 + 叙(依田百川)4 + 口絵1葉 + 94 p〔奥付欠〕挿画1葉 [25 | 406] A R 11 | 257  
 青天霹靂史 島本仲道著 明治二十年八月 東京 今橋巖出版
- ⑥0 活版12行 18 cm 大塩後素肖像1葉 + 題字2 + 序(後藤象二郎、中島湘煙)11 + 引用書目2 + 132 + 題大塩平八郎伝後並序(礮稻綺道秀)4 + 奥付2 p [25 | 370] A R 11 | 311  
 政治小説 大岡仁政録 越後伝吉之伝 杉浦熊吉編輯 明治二十年八月 大阪 柏原政次郎(柏原書屋)出版
- ⑥0 b 銅版15行 13 cm 題字(奇遊散人)・口絵2 + 110 + 奥付1丁 [特64 | 662] N R 12 | 1  
 政治小説 妻の嘆 コリンズ著 井上勤訳 明治二十年八月 ↓ 明治期翻訳文学書全集I ⑥0
- ⑥1 献金余聞天保紳士 鉄筆將軍(大矢森之助)戯著 明治二十年九月再版 東京 関田倉吉(盛春堂)出版
- ⑥2 活版10行(鼈頭付) 17 cm はしがき2 + 118 + 奥付2 + 広告1 p 挿画1葉 [特11 | 971] ◎ A O R 12 | 61  
 寓意小説 室之梅 楓水居士(殿木三郎)著 吟光画 明治二十年九月 東京 鈴木金次郎(金泉堂)出版
- ⑥3 活版11行(鼈頭付) 18 cm 序(宮崎三昧)3 + 自序3 + 口絵1葉 + 目次3 + 110 + 奥付1 p 挿画4葉 [25 | 410] V R 12 | 128  
 雪窓佳話 翠松影 春峽僊史(安西権五郎)著・出版 亦夢居士閱 明治二十年九月 (三)十月 東京 駕雲館発兌

- 活版12行 三冊合本一冊18cm 題字(巖谷一六)3+序(藤井狷菴)4+自序4+(一)23+(二)41+正誤1+(三)14(7丁)+奥付2p 挿画1葉 [25-374] A R 12-198 218 238
- 64 女権美談 文明之花 南柯亭夢筆(杉山藤次郎)戯著 月耕画 明治二十年九月 東京 内藤加我出版 [特10-829] © A O R 12-248
- 65 政治小説 芳園之嫩芽 松木董宣著 明治二十年十月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版 [25-423] A R 12-337
- 66 政治小説 日本前途之意見書 一名未来之預言 岡道明卿(岡三慶)著・出版 明治二十年十月 東京 神戸甲子二郎(顔玉堂)出版 錦榮堂発兌 R 13-1
- 67 政治小説 深山桜 擊壤庵夢遊(大久保常吉)著 国松画 明治二十年十一月 東京 菊地辰三(銀花堂)出版 [特13-514] A R 13-97
- 68 百鬼夜行 社会仮粧舞 愛花仙史(三木貞一)戯著 明治二十年十一月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版 [特10-824] V R 13-181
- 69 近世士 浪華之縲綫 上篇 花廼家ひさご(太田貞治郎)編・出版 明治二十年十一月 東京 日新社発兌 活版12行 18cm 題字(末広鉄腸)6+評言(春のや朧)2+自叙7+口絵1葉+目次3(乱丁)+146+奥付3 +新刊広告3p 挿画5葉 [特13-609] A R 13-271
- 70 法理小説 百難錦 柳下亭美登利(西岡儀三郎)著述 明治二十年十一月 東京 水野幾太郎(栄泉堂)出版 [特10-488] A R 14-1
- 71 政治小説 情波 寝やの月 東洋奇人(高安亀次郎)著 明治二十年十一月 東京 内田喜三郎(吟松堂)出版

- 活版12行 18 cm 武田芳子肖像1葉+序(天外居士)3+目次1+110+自跋2+奥付広告7 p 挿画8葉  
〔扉は「閨の月」〕  
〔特10-426〕 A R 14-113
- ⑦2 愛知 岐阜 未来の面影 前編 磯北野史(鍵谷龍男)著・出版 月耕画 明治二十年十一月 東京 原亮三郎(金港堂)出版
- 活版11行(鼈頭付) 19 cm 題字(香川東洲)2+序(斯波有造、依田百川)6+例言2+目次2+口絵2葉+  
152+跋(礮稻綺道秀)3+後のはしがき(林里子)3+奥付1 p 挿画3葉  
〔23-99〕 A R 14-195
- ⑦3 明治 政談 陰語破鬼胆 一名胆隕ノ政談 岡道明卿(岡三慶)楽書・出版 栗原後凋苦校 明治二十年十一月 東京  
神戸甲子二郎(顔玉堂)出版
- 活版12行 19 cm 序2+目次2+149+奥付広告17 p 挿画3葉  
〔25-462〕 A R 14-294
- ⑦4 社会乃余憤はらし 一名建国新論 天綱子(原田種生)著・出版 明治二十年十一月 東京 両文社(東京絵  
入新聞発行所)発兌印刷 兎屋誠売捌
- 活版10行 19 cm 題字(乾坤長者)2+序1+57+奥付1 p  
〔25-471〕 A R 14-388
- ⑦5 奇遇之幻燈 香夢楼(岩本吾一)編次 著作道人校閲 馮雪郷主人再校 吟光画 明治二十年十一月 東京  
鈴木金次郎(金泉堂)出版
- 活版12行 19 cm 序(著作道人)2+目次2+170(3738飛頁)+奥付1 p 挿画10葉  
〔特10-376〕 A R 15-1
- ⑦5 b 字血 回天之弦声 シラー著 蘆田東雄訳 明治二十年十一月→明治期翻訳文学書全集Ⅱ(16)
- ⑦6 政海 波瀾 梅花薫 残夢道人(賀古保五郎)著 明治二十年十二月 東京 日山豊次郎出版 青野友三郎・金桜堂発  
兌
- 活版10行(鼈頭付) 18 cm 題字(中江篤介)1+序(笠原道宇)3+自序17+目次4+口絵2+114+奥付3+  
天章閣売捌書目1 p  
〔特10-424〕 A R 15-109

△日本ノ文明開化ハ自國ニ於テ製産セズシテ他國ニ施テ製産スルモノナレバ之カ為メニ弊害ヲ生ズルコト  
 二アリ 一ハ偽品ヲ以テ真品トナルコト 一ハ外部ノ多ク開ケテ内部ノ未ダ開ケザルコト是ナリ……我國  
 ノ文明開化ハ西洋人カ船舶ニ載セテ来リシ物品ニ始マルモノナレハ心思ノ改良ハ遅クシテ不充分ナルコト  
 ハ自然ナラサルヲ得ス 故ニ第一ニ開クルモノハ衣服ニシテ衣服ヨリシテ食物ニ及ヒ食物ヨリシテ居所ニ  
 及ヒ居所ヨリシテ思想感覺ニ及フ 故ニ思想ノ改良ハ最モ后ニ位スルモノナリ 然レトモ形態ノミ進ミテ  
 思想進マザレバ文明開化ハ頗ル高価ニシテ利益少ナキモノト謂フベシ(自序)

77 口から滑稽政談 中野了随著 明治二十年十二月序 鶴鳴堂藏版  
 活版13行 18cm 序(竹葉舎晋升)2+目次2+44p(49p以降欠損) [特49-95] N R 15-188

78 血涙 国民の元氣 睨天逸史(谷口政徳)纂訳補述 明治二十一年一月 東京 鈴木金次郎(金泉堂)出版  
 活版12行 18cm 瑞西独立小史10(乱丁)+例言2+目録3+(前)101+(後)116+奥付広告3p 挿画8葉

△本書は国民の元氣と題し瑞西国独立の顛末を記述せしものなり 而して書中の事實は概ね正史に拠りて  
 少く演義したるに過ぎざれば彼の空中に樓閣を構へし仮作ものと同じからず

79 俗通 経国美談 安田倉三著 月耕画 明治二十一年一月(二十年七月初版) 東京 村形吉作(永昌堂)出版  
 活版12行 18cm 出版社印1葉+序3+口絵1葉+目次4+144+奥付2p 挿画4葉 [特12-74] A R 15-352

80 政治小説 国民の涙 『真誠の政治家』二十二年一月・永昌堂版は、本書の改題本〔国会図書館 特11-174〕  
 活版12行 18cm 東洋狂史(久永廉三)著述 明治二十一年一月 東京 神戸甲子二郎(顔玉堂)出版  
 活版12行 18cm 目録2+66+奥付3+広告13p 挿画2葉 [特11-317] A R 16-1

81 剛胆の少年 竹田左膳著 土方勝一評 月耕画 明治二十一年一月 東京 村形吉作(永昌堂)出版  
 活版12行(鼈頭付) 19cm 叙2+口絵1葉+目次3+135+奥付1p 挿画2葉 [特13-767] A R 16-52

82 志士 感激 欧米太平記 福井淳編輯 明治二十一年一月 東京 柏原政次郎(与民社)発行

- 活版13行 18 cm 自序3 + 目録8 + 口絵1葉 + 166 + 奥付1 p 挿画4葉 [特10 | 643] A R 16 | 132
- ⑧3 英國革命 姿の夜桜 松の舎主人(高安亀次郎)纂訳 明治二十一年二月 東京 辻岡文助(金松堂)出版 [特13 | 563] A R 16 | 235
- 活版12行 18 cm 序(落花道人)3 + 目録3 + 155 + 奥付1 p 挿画8葉 [特13 | 563] A R 16 | 235
- ⑧4 現今 政治家の狼狽 咄々子(南雲源之助)著・発行 二月 東京 伊藤誠之堂・大坂 柳原喜兵衛売捌 活版12行 18 cm 序(天囚居士)5 + 42 + 奥付1 + 広告5 p [特29 | 625] N R 16 | 338
- ⑧5 建白問答夢物語 奔雷道人(奥村金次郎)手記 明治二十一年二月 東京 佐藤乙三郎(成文堂)出版 活版12行(鼈頭付) 18 cm 緒言2 + 63 + 奥付1 p [特29 | 613] N R 16 | 370
- ⑧6 独立美談 東洋開化之魁 雷霆散士(小樽由太郎)著 年英画 明治二十一年二月 東京 千葉茂三郎(共隆社)出版 活版13行 18 cm 出版社印1葉 + 序4 + 目録2 + 133 + 奥付1 + 広告10 p 挿画5葉 [25 | 507] V R 17 | 1
- ⑧7 禰子も 政事の世の中 一名国会の支度 岡三慶楽著 赤岡縫作謹校 明治二十一年二月 柳河梅次郎・神戸 甲子二郎(顔玉堂)発行 活版11行(鼈頭付) 18 cm 引3 + 62 + 奥付1 p [特29 | 393] A R 17 | 82
- ⑧8 壮士之夢 竹外居士(山崎勇之助)著 明治二十一年二月 東京 石川伝吉発行 活版13行 18 cm 序2 + 91 + 奥付3 + 広告1 p [特10 | 495] A R 17 | 122
- ⑧9 裁判小説 秋暮嘆 岡野碩著 明治二十一年二月 東京 和田篤太郎(春陽堂)出版 題字(山田眞南)3 + 緒言3 + 347 + 奥付1 p 挿画1葉 [21 | 9] A R 17 | 174
- ⑨0 一読三嘆 飛鳥川 松の家みどり(松木董宣)著 年英画 明治二十一年二月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行 活版13行 18 cm 出版社印1葉 + 自序3 + 目録1 + 131 + 奥付12 p 挿画6葉 [特10 | 638] A R 17 | 357
- ⑨1 新日本の商人 内村義城著 明治二十一年二月 大阪 大淵濤・林竹二郎出版 駉々堂 玉山堂書店発売 活版11行 18 cm 序(九岐晰)2 + 目次2 + 110 p (1 | 16 p欠損) + 奥付1 p [特30 | 192] A O R 18 | 1

- ⑨1 b 政治小説 小人国発見録 スウィフト著 鳥尾岩太郎訳 明治二十一年二月→明治期翻訳文学書全集I 68
- ⑨1 c 政事上之放逐人 千里風煙 チツソー、アメロー著 鈴木力訳 明治二十一年二月→明治期翻訳文学書全集II 78
- ⑨2 蘇国美談 深窓之月 尚白散史(篠野乙次郎)著編 香夢楼校補 明治二十一年三月 東京 早瀬清(正札屋)発行  
活版12行 18cm 序(南柯亭夢覚)・口絵・目次8+155+奥付広告3 [特10-641] A R 18-62  
△尚白散史夙に欧米の事情を学知し西歴中を涉猟して以て蘇蘭土恢復に係る勤王孝士の伝を編む 其書中に記する処ハ皆な忠臣義士貞婦の事跡にして高陸の名族ジョナサンに従ひ逐に国賊仇敵たる偽王マクベスを初め逆臣ブルークを誅戮して以て蘇国を復し太子を立て国王を帰せしめ高陸を平定するの美談を飾文に綴りV(序)
- ⑨3 鴻雁一声 深窓の月光 松の家みどり著 明治二十一年三月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行  
活版13行 18cm 自序4+目録2+19+奥付1p 挿画4葉 [特11-302] A R 18-150
- ⑨4 既往未來 金蘭花縁 雪の屋だるま(匹田鋭吉)戯著 明治二十一年三月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行  
活版13行 18cm 出版社印1葉+はし文5+目録1+108+奥付2+広告12p [特11-400] A R 18-238
- ⑨5 保安条例後日の夢 半溪老漁(岡本純)著 明治二十一年三月 東京 井ノ口松之助(魁真楼)発行  
活版13行 19cm 叙(松蔭散士)6+目次2+口絵1葉+170+跋(凌雲子)2+奥付1p 挿画4葉 [特52-715] A R 18-319
- ⑨6 鮮血 大日本民権史 東洋狂史(久永廉三)著輯 明治二十一年三月 東京 覚張栄三郎(上田屋)発行  
活版10行(鼈頭付) 18cm 谷干城肖像1葉+自序5+目録6+123+奥付1p [特20-42] A R 19-1  
△民権自由ヲ主張シ或ハ政談演説ニ或ハ新聞ニ雑誌ニ其言論ヲ明晰ニシ天下ノ人心ヲシテ激動ナサシメタルハ吾輩彼ノ明治十二三年ノ交ヨリ盛シナルハナカリシト云フモ敢テ過言ニ非ラス 此間政党團結其他種

々雑多是レ亦或ハ激シ或ハ感シタルコトモアリシナル可シ 故ニ自由党ノ政論激烈ナリシ折ハ圍ニ下リ  
 呻吟セシ者モ不少 且真個ニ相関セサル者モ其随伴トナリシモアレリ 歲月ハ止メント欲スルモ止マルモ  
 ノニ非ラス 春秋夏冬相代謝スル殆ト六閱年ヲ經過シタル今日トナリ又社会ハ俄カニ政論ヲ主張スル時期  
 トハ成レリ矣▽(自序)

- 97 志士淑女之想海 繡江居士(辻治之助)著 明治二十一年三月 東京 和田篤太郎(春陽堂)発行

活版12行 19 cm 序(後藤象二郎、依田百川、竹窓棚橋)13 + 自序2 + 251 + 後書2 + 跋(塵の屋くるふ、林  
 包明)8 + 奥付1 + 広告6 p [131 ~ 134 p 破れあり] [21 | 49] A R 19 | 74

- 97 b 英国 奇聞 政党情話 ブライト著 八木半治訳 明治二十一年三月 → 明治期翻訳文学書全集 I ⑦②

- 98 雷吼 奇聞 爆裂弾 一名政治家の目覚し 中野了随著 明治二十一年四月 東京 村形吉作(永昌堂)発行

活版10行 18 cm 序3 + 26 + 奥付1 p [特49 | 54] N R 19 | 216  
 △近来商業世界が寝入て不景気なるより之が影響を及ぼせしものにや政治社会も亦不活潑を極めたるが如  
 し 殊に保安条例発布以来は一層甚だしきを加へ世の政治家は恰も氣絶して正体なきものゝ如し 誠に歎  
 息の至りなり▽(序)

- 99 仏国 命余波 国会之瑕瑾 一名路易第十六世死刑顛末 (仏) 亜、木覇英著 水谷由章訳・発行 明治二十一年四月

活版12行 19 cm 題字(尾崎忠治、中村正直)7 + 序(依田百川)3 + 訳述スルノ序2 + 路易第十六世肖像1  
 葉十ミラボー略伝21 + 馬里安多亜尼多肖像1葉(上)153 + (下)165 + 奥付2 p 插画5葉 [21 | 54] A R 19 | 235

- 100 米政 新話 烈女之勳功 蘭厓散史(長井常)著編・発行 吟光画 明治二十一年四月 東京 文泉堂支店発行

活版13行 18 cm 序(文廼家ひろし)・口絵5 + 目錄3 + 146 + 奥付1 p [特11 | 199] A R 20 | 1

- 101 寓意 小説 逆鱗余聞 藤崖野史(村上昇平)著 清親画 明治二十一年四月 東京 大倉孫兵衛発行



- 活版12行(鼈頭付) 17 cm 自叙4+口絵1葉+目錄1+108+跋(南城外史)2+奥付1 p R 21-62
- ⑩ 日本将来之運命 内村義城稿 橋本剛毅参訂 明治二十一年四月 大阪 赤松市太郎発行 駉々堂発売  
活版11行 19 cm 目錄1+133+奥付1 p [17-115] A R 21-126
- ⑪ 書生之肺肝 関西居士(根岸道)戯述 明治二十一年四月 静岡 三浦定吉(擁万堂書店)発行  
活版13行 19 cm 自序3+127+奥付広告2 p [特10-496] A R 21-198
- ⑪ b 明治社会 壮士の運動 内村義城稿・発行 明治二十一年四月 大阪 翔雲堂発売  
活版12行 18 cm 目次1+102+奥付1 p (鈴木茂三郎寄贈)日本近代文学館  
時事小説 室の早咲 上編 一名当世婦人のいましめ 松江釣史(高橋達郎)戯著 月耕画 明治二十一年五月 東京 原亮三郎(金港堂)発行 [21-90] A R 21-268
- ⑬ 自由酒義 政痴学 文の屋主人(安井常次郎)著 鼻下長老校閱 明治二十一年五月 大阪 安井兵助(文欽堂)発行  
活版12行 18 cm 52〔910 p上辺一字目印刷不良〕+奥付1 p [特51-439] N R 21-343
- ⑭ 新日本之佳人 上編 先春窩主人(桜井鎌造)編 明治二十一年五月 名古屋 木田吉太郎(東雲堂)発行  
活版11行 19 cm 自序(梅廼家かをる)3+78+奥付1 p [25-610] A R 21-373
- △己れ幼なきより小説を好み年紀十五の頃よりして筆を玩べること已に七年 少なからぬ経験を踏み来りながら其割合には筆拙なく才に乏しきことはも産れ附ならば詮方なし(自序)
- ⑮ 志士宴会 臙月夜 痴囊狂夫(真木幹之助)著・発行 清親画 明治二十一年五月 東京  
活版13行 19 cm 自序1+口絵5+71+奥付1 p [特10-419] A R 22-1
- ⑮ b 奸雄の末路 リットン著 吉田熹六訳 明治二十一年五月—明治期翻訳文学書全集I ⑦⑤
- ⑯ 未見世の夢 尺寸廬主人(寺内章明)戯著 月耕画 明治二十一年六月 東京 辻本秀五郎(尚書堂)発行

- 活版12行 19cm 題字2十目次1十188十奥付広告4p 挿画6葉 [21-118] A R 22-43
- ①17 政海 十九世紀の暗礁 久永廉三著述 赤松鸞城漫評 明治二十一年六月 大阪 大淵濤發行 [特47-542] A R 22-158
- 活版12行(鼈頭付) 18cm 序(南城外史)7十目次2十口絵1葉十79十巻後(陳陶袁)2十奥付1p R 22-158
- ①18 改選 田舎紳士 文廼家たより(須永金三郎)作 春のや主人校閲 明治二十一年六月 東京 山本常次郎發行
- 活版12行 18cm 序(春の家主人)1十いひわけ1十目録1十38十奥付1p [特52-705] A R 22-211
- ①19 天破 活雷偉蹟 竹芝民史(岡三慶)著 明治二十一年六月 東京 柳河梅次郎・神戸甲子二郎(顔玉堂)發行
- 活版12行 19cm 目次2十序2十凡例2十137十奥付1p 挿画4葉 [21-148] A R 22-262
- △向ニ刊行スル所ノ日本前途之意見書ト險語破鬼胆禰子モ釈氏モ政治ノ世ノ中ノ三書ハ、皆政談ナリ、独リ此ハ然ラスト雖トモ、参看セハ則チ補フ有ル焉(凡例)
- ①20 才子 濟民之華 横矢松千代著述 明治二十一年七月 大阪 田中万助(光玉堂)發行
- 活版13行 20cm 題字(勝麟太郎)1丁十自序3十序3十173十奥付2p 挿画3葉 [特13-669] A R 22-350
- △散士十八歳(明治十七年)飄然笈を負ふて東都に遊ぶ 固より我が帝都は世界三都の其名に恥ぢず……其後土陽の山間に退隠し門生教授の暇戯に此の才子佳人濟民之華を著したり(序)
- ①21 哲学 小説 觸躰之慷慨 東洋狂史(久永廉三)著述 明治二十一年七月 大坂 赤松市太郎發行 駸々堂発売
- 活版12行 18cm 序4十目録2十47十奥付1p [特50-912] N R 23-1
- ①22 才子 政海廼写真 玉ノ家湖秀(石橋三造)編著 明治二十一年七月 大阪 田中太右衛門・此村庄助發行
- 活版13行 19cm 序4十目録4十137十奥付1十福老館出版書目1p 挿画4葉 [特11-502] A R 23-31
- ①23 枯骨の扼腕 志賀祐五郎著 年恒画 明治二十一年七月 大阪 大淵濤發行 駸々堂梓・発売
- 活版12行 19cm 題字2十口絵1葉十緒言2十目録2十148十奥付1十駸々堂本店出版目録概要4p 挿画 [特11-316] A R 23-115

△此書呶々五万言曩ニ我が愛スル東雲新聞ニ掲載シテ之ヲ世ニ公ニセンガ復タ更ニ一冊子ト為シタル所以ノモノハ書肆駸々堂ノ請ヒアルニ因テナリ▽(緒言)

⑫4 政治小説

自由晒華 前編 坂下亀太郎著・発行 明治二十一年七月 新潟・巻村 北一舎発行

活版12行(鼈頭付) 20cm 序(岡鹿門、梧堂仙史)6+自序2+緒言1+目録2+154+奥付1p 挿画2葉

〔特13-693〕A R 23-204

△余は固と草奔乃一書生天下に向つて何の不平の事もあらず 何の求むる所もあらず 然れとも頭を回らして日本の雲行を眺むれば百万感慨胸に溢るゝを如何せん 是本書の著ありし所以なり▽(自序)

△今日ハ繁多の日本なり 商業政治文学宗教工芸教育衛生風俗凡て百般の事一々説かんと欲すと雖も此小冊子と繁劇なる社会ハ余をして之を説き罄すの好機会を与へざりき 不日閑を偷んで之を演繹すべし▽

(緒言)

⑫5 国会組織

国民大会議 植木枝盛著 明治二十一年七月 大阪 青木恒三郎発行

活版12行 18cm 自序4+凡例5+目次1+142+奥付1p

〔21-211〕AG R 23-295

△本編は我日本に於て明治二十三年の前に当り国会組織法を討論する一種の大会議を開興し六百有余の同會議員が該會議場に国会組立の重要な件々を問議討論したること有りとは假想し空中に案を構へて筆を把る所とす▽(凡例)

⑫6 政党史

新日本の娘艶舌 久永廉三著 山縣佳亮評 明治二十一年八月 大阪 大淵濤発行 駸々堂蔵・発売

活版12行 19cm 序2+自序3+口絵1葉+目録4+132+奥付1p 挿画2葉 〔特11-343〕A R 24-1

⑫7 自由鏡

醉死道人(小林雄七郎)著 月耕画 明治二十一年八月 東京 原亮三郎(金港堂)発行

活版12行 二冊18cm (一)題字2+序(鴻爪醉人、兆民居士)7+口演3+目次2+171(96乱丁)+奥付1p、(二)目次2+257+奥付1p 挿画10葉 〔17-27〕A R 24-80-189

- ⑫⑧ 挿画 慷慨書生之涙 卷之一 佐藤穆龔著・出版 明治二十一年八月 東京 月華堂・天賜堂合録  
活版13行(鼈頭付) 19 cm 序(大沼沈山) 4 + 題言(市川光範) 3 + 跋(中村忠誠) 1 + 凡例 5 + 100 + 奥付 1 p  
挿画 1 葉 [特 21 | 446] A R 25 | 1
- ⑫⑨ 征鴻 孤島の明月 柴の舎とぼそ著 小石書屋主人閱 明治二十一年八月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行  
序(小石書屋主人) 3 + 目録 3 + 143 + 奥付 1 p 挿画 4 葉 [17 | 43] A R 25 | 66
- ⑬⑩ 浮世 一睡夢 佐伯半鼻稿 岡野半牧閱 芳峯画 明治二十一年九月 大阪 大淵濤発行 駸々堂発売  
警譚 活版13行 19 cm 口絵 1 葉 + 169 + 奥付 1 p [特 11 | 315] A R 25 | 148
- ⑬⑪ 剛胆之書生 角藤定憲著述 明治二十一年九月 大阪 吉田伊太郎(大華堂)発行  
活版13行 18 cm 序(栗原亮一、森健吉) 4 + 目録 2 + 93 + 奥付 2 p [特 10 | 806] A R 25 | 237
- ⑬⑫ 佐幕慨談 山東居士(佐藤尚友)著 芳宗画 明治二十一年九月 東京 片岡忠三郎・泰山書房発行 [特 10 | 838] A  
活版12行(鼈頭付) 19 cm 題字 2 + 序(半峰居士) 5 + 緒言 3 + 目次 2 + 204 + 奥付 1 p 挿画 15 葉 R 25 | 293
- ⑬⑬ b 革命 英雄之世路 チャンダアス著 阿部秀吉訳 明治二十一年九月 → 明治期翻訳文学書全集Ⅱ⑧  
余聞 決闘 文之友 尺寸廬主人(寺内章明)著・発行 雷同山人評 明治二十一年十月 東京 辻村尚書堂発売  
奇談 活版12行(鼈頭付) 19 cm 自叙 2 + 目次 2 + 168 + 奥付 広告 2 p 彩色挿画 2 葉 [25 | 520] A R 26 | 1
- ⑬⑭ 地獄 義勇の壮鬼 成仏居士戯著 骨皮道人校閱 年英画 明治二十一年十月 東京 千葉茂三郎発行  
奇聞 活版12行 18 cm 序(骨皮道人) 5 + 口絵 2 + 序(蓮台山人) 3 + 目録 2 + 152 + 奥付 1 p [特 11 | 839] A R 26 | 99
- ⑬⑮ 世 薩長土 黄蘗逸史(阿部千代松)著・発行 基春画 明治二十一年十月 大阪 葆光舎発行  
寓意 活版12行 19 cm 序 2 丁 + 目録 4 + 124 + 奥付 1 p 挿画 3 葉 [特 11 | 652] A R 26 | 184
- ⑬⑯ 經濟 金貸氣質 昔廼人成(前田健次郎)稿 国松画 明治二十一年十月 大坂 大淵濤発行 駸々堂発売  
小説 活版12行 19 cm 序 2 丁 + 目録 4 + 124 + 奥付 1 p 挿画 3 葉 [特 11 | 652] A R 26 | 184

- 活版12行 18 cm 題字(末広鉄腸)5 + 序5 + 171 + 奥付1 p  
〔特10 | 334〕 A R 26 | 261
- 政治小説 総理大臣 志賀祐五郎著 国峰画 明治二十一年十月 大阪 大淵濤発行 駸々堂本店  
活版12行 19 cm 口絵1葉 + 118 + 奥付広告5 p 挿画2葉  
〔特11 | 399〕 A R 26 | 355
- 独立自治 日本人民 得能正通著 明治二十一年十月 大阪 大淵濤発行 駸々堂発売  
活版12行 18 cm 自序3 + 目次1 + 50 + 奥付1 p → 明治前期地方自治制刊行物集成<sup>(156)</sup>  
〔特69 | 294〕 A R 26 | 428
- 町村制度 未来之夢 雨香散史(唐端清太郎稿) 明治二十一年十月 大阪 大淵濤発行 駸々堂発売  
活版12行 18 cm 156 + 奥付1 p  
〔特69 | 294〕 A R 26 | 428
- 二十二年 滑稽議員 竹天道人(総生寛)編輯 明治二十一年十月 東京 岡安平九郎(岡安書輔)発行  
活版13行 19 cm 緒言2 + 目次2 + 口絵2 + 127 + 奥付広告3 p  
〔特47 | 199〕 A R 27 | 1
- 奇才 好男児 花の家ぶき著 紅雪散史閱 明治二十一年十月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行  
活版13行 18 cm 序(紅雪散史)9 + 目録1 + 201 + 奥付1 p 挿画4葉  
〔特10 | 248〕 A R 27 | 72
- 青年の進路 桜峰居士(佐藤良之助)著 月耕画 明治二十一年十月 東京 辻本秀五郎・辻本九兵衛発行  
活版12行 二冊19 cm (前)序(末松謙澄)3 + 自序2 + 目録2 + 170 p、(後)自序4 + 目録1 + 163 + 奥付1 p  
〔17 | 85〕 A R 27 | 185 284
- 夢幻現象 政海之破裂 北海散士(井口元一郎)著 芳洲画 明治二十一年十一月 大阪 浜本伊三郎発行  
活版12行 19 cm 自序4 + 口絵1葉 + 74 + 奥付1 p  
〔19 | 126〕 A R 27 | 376
- 昆太利物語 デイズレリー著 福地源一郎・塚原靖訳 明治二十一年十一月 → 明治期翻訳文学書全集I<sup>(86)</sup> b  
〔19 | 126〕 A R 27 | 376
- 都の錦 吉田魁光編纂 宮崎夢柳校閲 信一画 明治二十一年十二月 大阪 岡本仙助発行 盛業館発売  
活版14行 18 cm 94 + 奥付1 + 新刻書目1 p  
〔特10 | 437〕 N R 28 | 1
- 明治新聞雑誌文庫

- ①44 社会 真影 走馬燈 半溪老漁(岡本純)著 吟光画 明治二十一年十二月 東京 井ノ口松之助(魁真楼)発行  
 題字(市川団洲)2+目錄2+序2+彩色口絵1葉+142+奥付広告4 p 彩色插画10葉 [特11-830] A R 28-53
- ①45 居酒屋之娘 天囚居士(西村時彦)著 明治二十一年十二月 福田栄造発行 金盛堂蔵版  
 活版10行 18 cm 自序2+116+奥付1 p 插画2葉 [特11-342] N R 28-155
- ①46 佳人之薄命 梅の家かゝる(桜井鎌造)著 芳景画 明治二十一年十二月 名古屋 木田吉太郎(東雲堂)発行  
 活版13行(鼈頭付) 19 cm 口絵1葉+192+奥付1+東雲堂新版廣告3 p [特10-402] A R 28-223
- ①47 旧弊 口論会 竹天道人(総生寛)著 習古画 明治二十一年十二月 東京 岡安平九郎(岡安書輔)発行  
 活版13行 18 cm 緒言(黠仏子)2+口絵3+目錄6+174+奥付廣告2 p [特13-3] N R 28-326
- ①48 二十世紀 戦争予言 日本之花 北海散士(井口元一郎)稿 芳洲画 明治二十二年一月 大阪 浜本伊三郎発行  
 活版12行 18 cm 目錄2+口絵1葉+76+奥付1 p [特52-182] A R 29-1
- ①49 世界 進歩 剛胆ノ世渡 香夢亭桜山(名倉亀楠)著・発行 明治二十二年一月 大坂 昭文館・安井兵助・中島徳兵衛専売  
 活版12行 22 cm 序(天外居士)3+67+目次2+奥付1+昭文館新版發行書目1 p [特46-953] A R 29-46
- ①50 警世 奇案 無根草 尺寸廬主人(寺内章明)戯著 大有画 明治二十二年三月 東京 辻本秀五郎発行 [特12-777] A R 29-90
- ①51 鬼念仏 活版12行 19 cm はしがき3+目次2+196+奥付1+尺寸廬主人近著小説目錄1 p 插画6葉  
 活版12行 19 cm 題字(夢柳)2+序4+144+奥付廣告10 p [特11-662] A R 29-208
- ①52 憲法 講談 政海の波 上篇 雨香散史(唐端清太郎)著 明治二十二年四月 大坂 大淵濤発行 駁々堂発売

- 活版13行 19 cm 口絵1葉+120+奥付1 p 挿画1葉  
〔特13 | 642〕 A R 29 | 293
- ⑮③ 憲法発布大典賑 清水義郎編輯 明治二十二年四月 東京 牧金之助発行  
銅版 18 cm 口絵(観音開き)とも15丁  
〔特39 | 792〕 A R 29 | 360
- ⑮④ 日本 新波瀾 佐々木龍著 明治二十二年五月 大阪 此村彦助(黎光堂)発行  
活版13行(鼈頭付) 19 cm 題字(中江兆民)2+題言(近藤元粹)2+緒言5+凡例2+252+奥付3 p 挿画  
5葉  
〔特10 | 993〕 A R 29 | 374
- ⑮⑤ 英傑 偉勳 日本の刀光 上編 天外散史(外村讓)著・発行 基春画 明治二十二年五月 大阪 駈々堂発売  
活版12行(鼈頭付) 18 cm 序2+目錄3+口絵1葉+168+奥付1 p 挿画5葉  
〔特29 | 449〕 A R 30 | 1
- ⑮⑥ 市区改正 後日の東京 半溪老漁(岡本純)著 明治二十二年五月 東京 井ノ口松之助(魁真楼)発行  
活版12行 19 cm 自叙2+目次1+口絵1葉+112+奥付1 p 挿画3葉  
〔特13 | 726〕 A R 30 | 109
- ⑮⑦ 『未来の都』二十三年一月・鈴木金次郎版は、本書の改題本〔国会図書館蔵 特11 | 5〕  
霹靂一声 二橋散士(高橋又太郎)著 明治二十二年六月 東京 前田ひさじ発行 松成伊三郎発兌  
活版13行 19 cm 例言2+226+奥付4 p 挿画2葉  
〔特13 | 738〕 A R 30 | 174
- ⑮⑧ 新社鶉 紅雪散人戯稿 清親外題画 年英画 明治二十二年六月 東京 千葉茂三郎(共隆社)発行  
活版13行 18 cm 序5+目錄1+152+奥付1 p 挿画4葉  
〔特10 | 284〕 A R 30 | 300
- △第二十世紀日本社会の未来記で。前古未曾有の自治制度のスッパ抜きで御座る▽(序)  
⑮⑨ 薩長土肥 小林雄七郎著 明治二十二年六月 東京 大橋佐平(博文館)発行  
活版12行 20 cm 緒言2+目次1+123+奥付1 p  
〔19 | 174〕 A R 30 | 390
- ⑮⑩ 近世奇談東洋才子伝 尺寸廬主人(寺内章明)戯編 明治二十二年六月 東京 辻本治三郎発行  
活版12行 18 cm 目次2+163+奥付2+尚書堂新刊書目3 p 挿画4葉  
〔特10 | 323〕 A R 31 | 1

①61 義世 夷嬢の誉 前編 市川重吉著・発行 清親画 明治二十二年八月 東京 金港堂発兌 [特13-686] A

活版13行 19 cm 口絵1葉+叙(塩谷珍太郎)3+自序3+目次2+135+奥付1 p 挿画3葉 R 31-98

△一日客あり 予に謂つて曰く 聞く君頃日夷女の誉てふ小説を著述し將に世に公けにせんと 顧ふに北海道夷人の小説たるや未だ之れあるを見ざるなり……顧みれば明治十六年の春即ち予十五歳のとき単身北海に渡航し示来五年間彼地にありて同地が當時に於けるの現象を見るにつけ感慨の衷情已がたく浅学不才加ふるに年少未だ世上の経験に富まざる身をも顧みず嗚呼がましくも当時文学社会に噴々たる小説を著述し以て世に公けにするに至れり(自序)

①62 民権 房陽奇聞 一名民事のさきがけ 三尾重定編次 加藤又市搜訂 明治二十二年八月 東京 水野幸発行

活版13行 19 cm 題字(高木静斎)1+序(吉田謹爾)2+彩色地図1葉+口絵1葉+詩歌2+口絵説明2+小引2+凡例1+目次2+96+跋(根岸定宜)1+卷中人名姓氏2+引用書目1+参考書類1+奥付1 p 挿画5葉 [特28-611] A R 31-180

①63 世界共和美談 前編 躍淵居士(酒卷貞一郎)著・発行 明治二十二年八月 東京 柳川梅次郎発売

活版10行(鼈頭付) 19 cm 序(後藤象次郎、栗林蓀湖)3+自序6+凡例5+目錄2+195+題字3+奥付1 p (神舞園主人点評) [特16-443] A R 31-247

①64 雄偉 貧書生 枯骨道人(鈴木勇次郎)著 明治二十二年九月再版(六月初版) 東京 高橋種(鶴鳴堂)発行

活版12行 18 cm 緒言2+目次1+56+奥付1 p [特50-890] A R 31-367

①65 女子 蟹中楼 広津柳浪稿 清親画 明治二十二年十月 東京 大原武雄発行

活版15行 18 cm 序1+口絵3+209+奥付1 p [特11-7] A R 32-1

①66 政治小説 東京絵入新聞(二十年六月~八月)に掲載 「東京絵入新聞」(二十年六月~八月)に掲載 条約改正 初編 洪柿園主人(塚原靖)著 明治二十二年十一月 東京 石塚徳次郎(文海堂)出版

- ①67 活版13行 19 cm 彩色口絵1葉+序2+204+奥付1 p  
空蟬物語 鶴谷外史(佐藤蔵太郎)著 蘆月・華春・信一画 明治二十二年十二月 大坂 大淵濤発行 駸々  
堂発兌 [特29-451] A R 32-111
- ①68 活版13行 18 cm 68 p(34丁)+奥付広告2丁 挿画3葉  
二十年 候補者の夢 逢水漁史(安西与四郎)著 清親画 明治二十二年十二月 東京 田中正太郎発行 [特11-126] R 32-218
- ①69 活版12行 18 cm 序(鳳龍庵主人)1丁+自序1丁+41 p(21丁)+奥付1丁  
党派軋轢 一筆庵主人著 芳年画 明治二十三年一月 東京 鈴木金次郎発行 [特43-541] N R 32-264
- ①70 活版12行 18 cm 序4+口絵10+143(うち挿絵28 p)+奥付1 p  
三一読 海島王 海鶴仙史(日置政太郎)著 明治二十三年二月 東京 飯岡貞(文林堂書店)発行 [特10-477] A R 32-291
- ①71 活版12行 19 cm 序(依田百川、市村瓊)2+70+奥付1 p  
江藤新平 佐賀の夜嵐 平尾夢外(貞一)著述 耕一画 明治二十三年二月 東京 岡安平九郎発行 [特10-489] A R 32-373
- ①72 活版12行 18 cm 自叙2丁+口絵3葉+169(85丁)+奥付1 p  
よもや草紙 加藤紫芳著 明治二十三年二月 東京 金子豊吉編輯・発行 金桜堂発売 [特47-171] A R 33-1
- ①73 活版12行 18 cm 緒言4+口絵1葉+一年後64+87+奥付1 p 挿画2葉  
政談むすめ演説 東洋狂史(久永廉三)戯著 溪鶯女子筆記 周延・芳宗画 明治二十三年二月 東京 野村 銀次郎発行 [特11-591] A R 33-99
- ①74 活版10行 17 cm 序・口絵4丁+40 p(20丁)+奥付1丁  
壮士の浮沈の革命 花笠文京著 宗信画 明治二十三年三月 東京 戸田為次郎(文事堂)編輯・発行 [特10-264] A R 33-187
- ①75 活版13行 18 cm 自序1丁+口絵2丁+169(うち挿絵29 p)+奥付1 p  
新編月雪花 梅の家かをる著 田中悟堂評 芳景・年方・国英画 明治二十三年三月 東京 木田吉太郎 [特11-69] A R 33-214

(東雲堂) 発行

[特 11 | 91] A

①76 活版12行(鼈頭付) 18 cm 東雲堂印1 + 口絵3 + 179(171) 179 p 乱丁) + 奥付1 p 挿画5葉  
変窟蟻の世界 笹の家すゝめ(三枝保之)著・発行 明治二十三年五月 東京 R 33 | 305

①77 活版12行 18 cm 自序2 + 口絵2 + 120 + 奥付1 p 挿画1葉  
優勝劣敗三人鑑 前編 周粹仙史(関寅造)著 明治二十三年五月 長野県西長倉村 関謙三郎発行 [特 11 | 553] A R 34 | 1

①78 活版12行 18 cm 序2 + 48 + 奥付2 p  
悲憤 撰拳人後日の夢 久永廉三著・発行 明治二十三年六月 京都 田中治兵衛発売 [特 50 | 306] A R 34 | 67

①79 活版12行 18 cm 序(江口三省)2 + 自序4 + 目録1 + 附録空に郭公ほととぎす12 + 奥付1 p [特 15 | 740] ◎ A O R 34 | 97  
経国 風雨渡江 岳東蟬史(江口高邦)著・発行 年英・梧齋画 明治二十三年九月 東京 春陽堂発売 [特 52 | 183] A O R 34 | 143

①80 活版12行 18 cm 目録1 + 序1 + 74 + 奥付1 p 挿画3葉  
国会 議員の風味 一山百文(斎藤仁平)著・発行 明治二十三年十一月 大阪 [特 50 | 523] A R 34 | 192

①81 活版12行 20 cm 叙1 + 目録1 + 50 + 奥付1 p  
積雪 自由之松 前編 翠風山人(川島利太郎)著 宗一画 明治二十三年十二月 彦根 常森右左雄(丁新堂)発行 望湖園蔵版 [特 22 | 600] A R 34 | 223

①82 題字4 + 自叙3 + 題字1 + 97 + 奥付1 p 挿画2葉  
議員の電撃 水野鉄椎(正香)著・発行 明治二十四年二月 滋賀県膳所村 (東京 天怒閣発行) [特 18 | 755] A R 34 | 284

活版12行 19 cm 題字(天台道士)1 + 題詞(桜洲山人)3 + 序(玄骨子)1 + はしがき(真似彦)1 + 緒言2 + 目次2 + 82 + 跋(日曜居士)1 + 広告2 + 奥付2 p [特 10 | 625] A R 34 | 340

①83 政治小説 美人の刺客 野村莊之助著 芳房画 明治二十四年七月 東京 高橋房治(九春堂)発行  
活版13行 19 cm 序(愛花)2 + 口絵1葉 + 115 + 奥付1 + 九春堂蔵版書籍低廉祝売広告2 p [特 10 | 625] A R 34 | 340

- ①84 渾沌世界 桑島蚕造著 明治二十四年八月 東京 大門鉄太郎(松英堂)発行 朝陽堂発売  
活版15行(鼈頭付) 19 cm 序(奥平周作、大庭鯤鵬、小野黙仙)7 + 自序3 + 目次1 + 例言1 + 70 + 奥付1  
〔19 | 258〕 A R 34 | 405
- ①84 b 悲憤 才女伝 伊東武彦著訳・発行 明治二十四年九月 横須賀 三省社本部発行  
活版13行 18 cm 題字3 + 目次并要件索引12 + 178 + 稟告1 p + 奥付1 p (鈴木茂三郎寄贈) 日本近代文学館  
ローラン、ジャンヌ・ダルクなど二十名の伝記
- ①85 白玉蘭(別名壮士) 山田美妙斎著 米僊画 明治二十四年十月 東京 青木恒三郎(青木嵩山堂)発行  
活版12行 19 cm 口絵1葉 + 204 + 奥付1 p 〔68 | 108〕 A R 35 | 1
- ①86 時事 鉄道未来記 西河鬼山(通徹)・吉本秋亭(義秋)著 明治二十四年十二月 大阪 安田官次郎発行  
活版12行 19 cm 自序4 + 目次1 + 口絵1葉 + 90 + 奥付1 p 挿画2葉 〔特10 | 517〕 A R 35 | 107
- ①87 名家 国会胆潰 東瓢亭自選散人輯 明治二十五年一月 大阪 赤志忠七編輯・発行  
活版10行 13 cm 序(三麤道人)4 + 62(31丁) + 編纂の口上2 + 奥付1 p 〔特66 | 818〕 A R 35 | 161
- ①88 明治の花 城南逸史著 基春画 明治二十五年五月 大阪 中村芳松発行  
活版12行 19 cm 口絵1葉 + 目録4 + 124 + 奥付1 p 挿画2葉 〔特11 | 396〕 A R 35 | 199
- ①89 政治 近世泰西美談 藤懸永治著 江阪疆近評 明治二十五年十二月 東京 戸田直秀発行 細川芳之助・細川清助・若林茂一郎出版  
活版12行(鼈頭付) 19 cm 題字(中村敬宇)3 + 序(愛花)3 + 口絵2 + 目録2 + 310 + 奥付1 p 挿画8葉 〔42 | 157〕 A R 35 | 273
- ①90 議員の黒白 天外山人(松廼舎あるじ)著 明治二十六年四月 大阪 中村芳松(鐘美堂)発行  
活版14行 21 cm 自序2 + 123 + 奥付1 p 〔特10 | 374〕 A R 36 | 1
- ①90 b 政治 染分衣 作者不詳 桂舟・年方画 明治二十六年五月 中根叔編輯・発行

活版14行 21cm 前編110＋後編50＋奥付1p 挿画4葉

吉野文庫

「都の花」第81号～97号〔二十五年四月～十二月〕に掲載の合綴本

① 慨世美談 嘲花散史(石田義信)著・発行 月耕画 明治二十六年七月 東京

活版13行 19cm 題字2＋口絵2＋231＋奥付1p [特13-307] A

R 36-69

② 政治小説 蝸牛 漣山人(巖谷季雄)著 国松画 明治二十六年十二月 大坂 大淵涉(駸々堂)発行

活版13行 21cm 題詩(野口弑)1＋彩色口絵1葉＋203＋奥付1＋駸々堂新刊書籍目録8p [44-122]

R 36-187

ほかに、明治13年『国勢夢想記』(岸甚咲著、供泉社)『自由の弦(瑞西独立)』(斎藤鉄太郎訳)『愛国一夜談』(神村忠起著、国会図書館蔵〔特69-13〕)、明治14年『秋の詠統物語』(加藤富三郎著、綿喜)『烈女之疑獄(魯国奇聞)』(杉田策太郎抄訳、由己社、国会図書館の目録にあるが書架になし)、明治16年『自由美談(新珍奇聞)』(吉本義秋著、時事出版社)『内幕話(近事奇談)』(渡井新之助著、栗田競錦社)、明治17年『今浄海六波羅譚』(幻々道人著、稗史館)、明治18年『世界ノ燈(仏蘭西国瑞彪豪氏全伝)』(嶺林太郎著、国会図書館の目録にあるが、書架になし)『報国纂録(慷慨義烈)』(植木枝盛著、日本近代文学館蔵)『地獄伝信記(滑稽道中)』(木葉散人著)、明治20年『世界列国之行末』(高安亀次郎著、金松堂)『政海之運動(才子佳人)』(高安亀次郎著、吟松堂)『蓋世偉談(泰西名士)』(渡辺虎太郎著、東雲堂)『鉄騎之心(政治小説)』(石尾一郎助著、博文堂)『鶯宿梅(政治小説)』(内村義城著、駸々堂、柳田泉文庫蔵)『東京未来繁昌記』(大久保常吉著、春陽堂、国会図書館の目録にあるが書架になし)『独嘯談(慨世驚俗)』(岡野碩著、晚青堂)『青年鏡(百練千磨)』(北水山人著、晚青堂)、明治21年『女権の反対』(頑々居士著、共隆社、国会図書館〔特11-665〕調査時製本中)『新平民(開明世界)』(松の家みどり著、共隆社、国会図書館〔特10-611〕調査時製本中)『花吹雪

〔志士後談〕（佐伯半鼻著、国会図書館蔵〔Y D 5 1 特 13 1 751〕・柳田泉文庫蔵）『今世之佳人（政治小説）』（池畔逸夫著、中村芳松）『突天漢（寓意放言）』（太田貞次郎著、岡本）『新任吉物語』（玲瓏山客著、文京堂）『壯士之覚悟（中原逐鹿）』（奥村金次郎著、成文堂）『壯士之立志』（井口元一郎著、明昇堂）『清英阿片之騒乱』（東洋漁人著、清暉閣）、**明治22年**『東方新世界』（依田民権子著、潔枝社）『天下好男子』（安西権五郎著、文明堂）『天爵大臣』（太田貞治郎著、藤谷虎三、国会図書館蔵〔特 47 1 525〕調査時製本中）『改悔之破壊（夢幻現象）』（井口元一郎著、明昇堂）、**明治23年**『美人の艶舌』（西村天外著、自由閣）、**明治24年**『政党美談』（依田書学海著、『明治文学全集』86解題〔秋庭太郎〕による）などがあるという。これらの未見図は、おおむね柳田泉の著作・年表などに、その書名が発表されているものである。

# 索 引

## 著者索引——校閲者・序跋等の筆者を含む

一、雅号、出自、住所は当該出版物の記載から採録した。本名のみ研究書・辞典等から補ったものがある。

一、生没年は、利用の参考にと考え、凡例に記した辞典および『近代人物号筆名辞典』（近代人物研究会編、柏書房刊）より転載した。

一、☆印を付したものは、奥行に住所が記されていないことを示す。

## あ

赤岡立行(縫作) 甲斐国 校Ⅲ 87 105

赤志忠七(東瓢亭自選散人) 大阪市東区本町四丁目三十一

番屋敷 Ⅲ 107

赤松鸞城(鶴鳴) 評Ⅲ 117

浅井調瓶 校合Ⅰ 85

朝夷六郎 神奈川県平民 浅草区西鳥越町三番地 Ⅲ 53

朝倉禾積 岡山県土族 府下北豊島郡金杉村三百五十番地

寄留 Ⅲ 23

阿部千代松(黄麻逸史) 岡山県備中国浅口郡占見新田町二

百三十九番邸 Ⅲ 135

天野泓村 序Ⅲ 46

天野八郎 Ⅰ 110 c

綾彦外史 序Ⅰ 69

アルノー Ⅰ 102 114 b

安西権五郎(経世、春峡僊史) 神奈川県平民 東京府下本

郷区湯島四丁目三番地寄留 Ⅲ 63

安西与四郎(逢水漁史) 東京市日本橋区浪花町十七番地寄

留 Ⅲ 106

飯田熊治郎(草のや忍、破鐘狂士) 東京府平民 芝区二本

榎町一丁目二十四番地 Ⅲ 25 25 b

飯塚栄太郎(吸霞仙史) 静岡県土族 東京府下麻布区飯倉

五丁目十四番地寄留 Ⅲ 40

イカルンヤム(美国、維克爾暹) Ⅱ 103 d

井口元一郎(北海散士) 丹後国加佐郡舞鶴松陰町十九番屋



十番地寄留 ⑬⑭ 大阪府下東区道修町二丁目二番屋

敷 ⑬⑭⑮⑯⑰⑱ 大阪府東区道修町二丁目二十

四番屋敷 ⑲⑳ 大阪府大阪市東区堀三丁目七十七番

屋敷 ⑲⑳ √ Ⅲ ⑳ 序Ⅰ ⑲⑳ Ⅲ ⑳ 閱Ⅲ ⑳

内川勇斎 題字Ⅰ ⑳

内村義城(秋風道人、武雷山人) 東京府平民 大阪府東区

農人橋二丁目四十四番地寄留 Ⅲ ⑳ 大阪府南区桃

谷町一番地寄留 Ⅲ ⑲ 大阪府北区堂島中一丁目十

五番地 Ⅲ ⑲ 大阪東区内久宝寺町二丁目二十二番

地 Ⅲ ⑲ b

梅の家かゝる → 熊谷確資

梅村 清(静巖) 序Ⅰ ⑳ b

宇和平輔 大阪府平民 南区久左衛門町三十七番地 Ⅲ ⑲

雲外道士 跋Ⅱ ⑲

江口三省 序Ⅲ ⑲

江口高邦(岳東蟬史) 東京麻布区鳥居坂町五番地 Ⅲ ⑲

江阪疆近 評Ⅲ ⑲

桜洲山人 題詞Ⅲ ⑲

大久保驪(梳翠) 序Ⅰ ⑲

大久保春驪(細雨園) 序Ⅰ ⑲ ⑳ ㉑

大久保常吉(夢遊、擊壤庵、嘉永六) 大正一三 神奈川縣

平民 牛込区市ヶ谷田町一丁目十七番地福井皆方寄留

Ⅲ ④ ⑦ ⑥⑦ 序Ⅲ ⑰

大隈重信(天保九) 大正一一 題字Ⅱ ⑳

太田貞治郎(焉然居士、花廼家ひさし) 京都府平民 東京

府湯島切通坂町三十七番地寄留 Ⅲ ⑲ 大阪東区曾

根崎新地三丁目百九番屋敷 Ⅲ ⑲

大鳥圭介(如風、天保三) 明治四四 題字Ⅱ ⑲

大沼沈山(文政元) 明治二四 序Ⅰ ⑲ b Ⅲ ⑲

大庭鯤鵬 序Ⅲ ⑲

大橋乙羽 → 高橋又太郎

大矢森之助(鉄筆將軍) 埼玉縣平民 本郷元富士町二番地

Ⅲ ⑥①

岡 三慶(道明卿、竹芝民史) 東京府平民 本郷区湯島天

神町三丁目三番地 Ⅲ ⑥⑥ ⑦③ ⑧⑦ ⑩④ ⑪⑨

岡 丈紀(河丈紀、河原英吉、?) 明治二三 Ⅰ ⑪ 序

Ⅰ ① ②① ②② b 校Ⅰ ④

岡 鹿門(千仞、天保四) 大正三三 序Ⅲ ⑲

岡西繁三郎 東京府平民 下谷区竹町四十番地 編Ⅱ ⑵

岡野 碩 福岡縣士族 下谷区下谷仲町十四番地 Ⅲ ⑲

岡野半牧(嘉永元) 明治二九 閱Ⅲ ⑲

岡本起泉 Ⅰ ⑲ ⑳ ㉑ 八第六大区一小區深川富岡門前町六

十一番地 ⑲ ⑲ b 麴町区一番丁三十七番地 ⑲ b

⑲ c 麴町区一番町六十一番地 ⑲ ⑲ ⑲ ⑲ ⑲ 校

田祝町二番地 ⑦⑧⑨⑩⑪⑫

岡本 純(半溪老漁) 東京府麴町区麴町元園町一丁目十九番地 Ⅲ ⑬⑭⑮

オキスホルド、ウイルレム(維廉、阿斯福) Ⅱ ⑯b

奥平周作 序Ⅲ ⑰

奥村金次郎(奔雷道人) 愛知県平民 京橋区南伝馬町一丁目二番地 Ⅲ ⑱

尾崎忠治(大審院長) 題字Ⅲ ⑲

尾崎行雄(愕堂市隠、学堂、安政五ノ昭和二〇) 序Ⅱ ⑳b

磯稻綺道秀(蘆鶴逸史) 序Ⅲ ㉑ 跋Ⅲ ㉒

織田純一郎(旧姓丹羽氏) Ⅱ ㉓ノ㉔ 八東京府土族・東京浅草区地方今戸町八十四番地 ⑮⑯ 京都府平民・東京府下北品川二百七十九番地寄留 ⑰c 東京日本橋区呉服町十一番地太田信義方止宿 ⑱ 東京本所区亀沢町二丁目十五番地 ⑲c ⑲d ⑲e ⑲f 大阪府下北区中島三丁目三番地寄留 ⑲g ⑲h 北豊島郡日暮里村元金杉千七十九番地 ⑲i ㉖

小野黙仙 序Ⅲ ⑲a

小野涼亭 序Ⅰ ㉗

小原重哉(天保七ノ明治三五) 題字Ⅱ ㉘b

小柳津親雄(柳窓外史) 長野県土族 宮崎県下仙台区大町

四丁目五番地寄留 Ⅱ ㉙㉚ 東京神田五軒町一番地寄留 Ⅱ ㉛㉜ 本郷三組町三十一番地寄留 Ⅱ ㉝㉞

高瀬真卿

か

香川東洲 題字Ⅲ ㉟

鍵谷龍男(磯北野史) 岐阜県土族 麴町区有楽町一丁目五番地 Ⅲ ㊱

鶴陰山樵 序Ⅲ ㊲

賀古保五郎(残夢道人) 石川県土族 石川県金沢区上伝馬町四十三番地 Ⅲ ㊳

笠原道宇(風化醉史) 序Ⅲ ㊴

加須屋寿賀蔵(静処散士) 大阪府西成郡野里村百二番地 Ⅰ ㊵

勝麟太郎(海舟、文政五ノ明治三二) Ⅱ ㊶b 題字Ⅲ ㊷

加藤 栄(香夢楼主人) 東京府土族 牛込区山吹町十三番地 Ⅲ ㊸

加藤紫芳(天保子、山の手の梅顛沙弥、安政三ノ大正一一) 浪華曾根崎 Ⅲ ㊹

仮名垣魯文 Ⅰ ㊺ノ㊻ 八横浜桜木町七丁目第十二号地

① 神奈川平民・第一大区二小区桜木町四丁目十二番地 ② 東京府平民・宿所京橋区出雲町四番地

- (仮名読新聞社中) ⑩⑩b⑩c 日本橋区米沢町一  
 丁目六番地 ⑩e 京橋区新富町七丁目 ⑰ 京  
 橋区新富町六丁目十一番地 ⑱▽ 序I ⑧④⑨⑥ II ⑦d  
 III ⑦②⑧ 閱I ⑨⑥ III ①  
 加納維一郎(銅谷居士) 評III ⑤④  
 狩野 喜 題字II ⑬c  
 鹿目丑彦(蓮竹狂夫) 旧会津、東京府平民 京橋区築地二  
 丁目三十六番地 III ⑤⑤  
 ガボリオー II ⑩⑩  
 唐端清太郎(雨香散史) 兵庫県赤穂郡加里屋町七十二番地  
 III ⑬⑩ 同二十八番邸 III ⑬⑫  
 臥龍醉夫 叙III ④⑧  
 川上鼠文(謂一郎) 東京下谷区下谷竹町一番地 III ⑳  
 川島利太郎(南海翠風山人) 大津町字四ノ宮町十番地金沢  
 方寄留 III ⑱⑱  
 河 丈紀(鉄舟)→岡丈紀  
 河竹黙阿弥(文化二三→明治二六) 校正II ④  
 乾坤長者 題字III ⑦④  
 菊地侃二 序II ⑧  
 菊地 純(三溪学人、文政二→明治二四) 序II ⑭③  
 菊地信太郎(香鬚) 東京府士族 神田区岩本町十八番地  
 III ④①
- 菊亭香水→佐藤蔵太郎  
 岸田吟香(天保四→明治三八) 序I ⑱e  
 木田清三郎(蛮触舎蘇山) 群馬県士族 群馬県下北甘楽郡  
 富岡町百六十六番地 III ⑫  
 北原九十郎 序II ⑩①  
 北村三郎(紫山) 東京府平民 東京府下京橋区山下町十三  
 番地 III ④⑤  
 橘園小史 後書II ⑦④  
 木戸孝允(天保四→明治一〇) 題字I ⑱b  
 奇遊散人 題字III ⑥⑥  
 桐原捨三(翠鳩居士) 序II ⑥④  
 金 玉均 後書II ⑱⑧  
 グードリッチ II ⑭⑥  
 九岐 晰 II ⑬⑦→⑭⑤ △大分県平民・京橋区加賀町一番地  
 ⑬⑩ 東京芝区愛宕下町二丁目二番地寄留 ⑬⑨ 小  
 石川区新諏訪町二十一番地 ⑭④ 東京府平民・今川  
 小路一丁目二番地 ⑭① 芝区日影町一丁目一番地  
 ⑭② 大坂東区北久宝寺町一丁目八番地寄留 ⑭③▽  
 序III ⑨①  
 日下部三之介(大日本教育会幹事) 跋II ⑨⑥  
 久保田重信(鳶峯) 序I ①  
 久保田彦作 I ⑨⑥→⑨⑦ △東京第二大区三小区松宿下丁四



彩霞園柳香(広岡豊太郎、東洋太郎、安政四〜明治三五)

大坂府平民・東京々橋区宗十郎町十七番地寄留 III ①

東京府平民・京橋区宗十郎町十七番地 III 25 d ☆

II ⑬ e 序 III ⑪ b ⑬ 関 III ⑪

西郷北洲 題字 II ⑭ b ⑮

斎藤仁平(一山百文) 大坂府平民 大坂府東成郡清堀村番

外百二十二番屋敷寄留 III ⑩

佐伯久作(半鼻、江南斎) 大坂府東成郡玉造岡山町三百七

十九番地 III ⑬

三枝保之(笹の家すゝめ) 東京府士族 東京市浅草区松葉

町八十二番地 III ⑩

酒井忠誠(酔月仙史) 東京府士族 東京京橋区三十間堀二

丁目一番地寓 III ⑰

坂(阪)崎 斌 II ⑪ ⑬ 入土佐の人・宮城県磐城国刈田

郡白石町六百五十三番地 ⑫ b 東京市芝区南佐久

間町二丁目十八番地寄留 ⑬ b 東京市芝区愛宕下

町三丁目三番地 II ⑬ d ✓ 序 II ⑦ d

坂下亀太郎(愛柳散史) 新潟県平民 新潟県西蒲原郡巻村

第三百三十七番地 III ⑫

酒巻貞一郎(躍淵居士) 東京々橋区木挽町二丁目十三番地

寄留 III ⑬

桜井鎌造(梅廼家かをる、先春窩主人) 愛知県名古屋区長

島町二丁目 III ⑭ ⑮

桜田百衛(百華園、?〜明治一六) III ⑮

笹川雪窓 跋 II ④

佐々木月樵 跋 II 90 c 90 f

佐々木甲象 高知県高知市帯屋町十四番地 II ⑬

佐々木龍(広陵散士) 広島県安芸沼田郡北下安村五十七番

屋敷 III ⑮

篠野乙次郎(尚白散史) 岡山県士族 麴町区内幸町二丁目

一番地寄留 III 92

笹の家主人 序 II ⑥

サトウ、アーネスト 書翰 II ⑮ e

佐藤蔵太郎(菊亭香水、鶴谷外史、傲霜、安政二〜昭和一

七) 大分県士族 東京々橋区采女町二十一番地 III ⑧

東京府京橋区木挽町一丁目六番地浅井重光方 III ⑭

東京日本橋区若松町二十二番地 III 20 大分県豊後

国南海部郡佐伯村三百七十三番地居住 III 36 ☆ III

⑯ 助筆 II 22

佐藤尚友(山東居士、文久三〜?) 山形県士族 神田区今

川小路一丁目一番地吉村延方寄留 III ⑮

佐藤穆龔(古閑野逸) 福島県平民 東京神田区今川小路二

丁目十一番地寄留 Ⅲ 120

佐藤良之助(桜峰居士) 鹿兒島県土族 麴町区元園町一丁

目五十番地 Ⅲ 141

三驚宇史 序 I 41

三龜道人 序 III 107

山東直砥(三栗居士、天保一一〇明治三七) 序 I 7 c

三遊亭円朝(天保一〇〇明治三三) I 98 c 98 d 序 I 101

塩谷珍太郎 叙 III 161

志賀重昂(矧川漁長、文久三〇昭和二) 序 II 13 b

志賀祐五郎(庶莫漫士) 大阪府東区西横堀一丁目十一番地

Ⅲ 123 137

篠田久治(笠亭仙果、久次郎、天保八〇明治一七) 第五大

区七小区上野町一丁目十二番地 編集 I 69

柴 四郎(東海散士) II 179 〃 181 〓 福島県土族・東京市本

郷区駒込富士前町十八番地 170 (-) 神田区駿河台東

紅梅町十五番地 170 (二) 牛込区牛込早稲田南町三十

七番地 170 (六) 青森県土族・牛込区牛込東五軒町三

十九番地寄留 170 (七) 179 東京市本郷区神明町三百六

十六番地 170 (九) 東京市麴町区有楽町三丁目二番地

170 (出) 福島県土族・東京府北豊島郡下駒込村千三百

六十八番地寄留 180 〓 序 II 106

芝定四郎 大坂府平民 東京々橋区南伝馬町一丁目十番地

寄留 編 II 62 c

柴の舎とぼそ Ⅲ 129

斯波有造 序 III 72

島本仲道(天保四〇明治二六) 高知県平民 神田区中猿楽

町十七番地寄留 Ⅲ 59

清水卯三郎(瑞穂屋、文政二二〇明治四三) 東京府平民

日本橋区本町三丁目二十番地 Ⅲ 6 〓 産業 184 189

清水太吉(独善狂夫) 東京神田区小川町十番地 Ⅲ 56

清水義郎 本所区外手町二十二番地 Ⅲ 153

下田歌子(安政元〇昭和一一) 題字 II 154 b

秋郊老人 序 I 110

自由山人 序 III 10

舟雪居士 閱 III 15

城南逸史(小久保喜七(慶応元〇昭和一一四)か) Ⅲ 188

條野伝平(山々亭有人) I 98 〓 117

成仏居士 Ⅲ 134

新宮 巍 校閲 III 23

醒夢居士 序 III 7

末広重恭(鉄腸) II 99 〓 〓 麴町区内幸町一丁目一番地

99 愛媛県土族・麴町区内幸町二丁目一番地 101 102

103 104 b (上) 106 東京(市)芝区琴平町三番地 104 b

(下) 107 108 111 112 113 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 東京府

- 士族 住所不記<sup>110</sup> 大阪府下西成郡曾根崎村二千六百
- 八番屋敷寄留 <sup>114</sup> V 序II <sup>13</sup> b <sup>144</sup> <sup>179</sup> 題字III <sup>69</sup> 題字
- III <sup>136</sup>
- 末広政憲 岐阜県士族 大阪府南区内安堂寺町二丁目四十
- 六番地 II <sup>105</sup> <sup>108</sup>
- 末松謙澄(安政二)大正九) 序III <sup>141</sup>
- 杉浦熊吉 岐阜県平民 大阪西区南堀江下通一丁目十番地
- III <sup>60</sup>
- 杉浦重剛(天台道士、安政二)大正一三) 東京府平民 小
- 石川久堅町二十一番地 III <sup>26</sup> 序II <sup>134</sup> 跋II <sup>176</sup> 題
- 字III <sup>59</sup> <sup>182</sup>
- 杉山藤次郎(南柯亭夢筆) 東京府平民・埼玉県平民 神田
- 区五軒町三番地 III <sup>33</sup> <sup>64</sup>
- 鈴木幸三 東京府平民 第四大区九小区小日向水道端二丁
- 目二十三号地 編II <sup>37</sup>
- 鈴木成章 序I <sup>41</sup>
- 鈴木 信 校正 II <sup>1</sup>
- 鈴木勇次郎(枯骨道人) 静岡県平民 日本橋区蛸殻町二丁
- 目一番地寄留 III <sup>164</sup>
- 角藤定憲(慶応三)明治四〇) 岡山県備前国津高郡野々口
- 村四番地 III <sup>131</sup>
- 須藤南翠 II <sup>62</sup> <sup>90</sup> ^東京府平民・浅草区浅草西仲町二
- 十一番地 <sup>62</sup> b 赤坂区赤坂氷川町八番地 <sup>64</sup> 初
- 京橋区南八丁堀一丁目二十三番地 <sup>64</sup> <sup>68</sup> 京橋区築
- 地一丁目三番地 <sup>70</sup> <sup>71</sup> <sup>72</sup> <sup>73</sup> <sup>74</sup> <sup>76</sup> <sup>77</sup> <sup>79</sup> 日本橋区通四
- 丁目五番地 <sup>77</sup> f 大坂府東成郡野田村四百八十四
- 番屋敷 <sup>84</sup> 東京市赤坂区赤坂檜町六番地 <sup>90</sup> c <sup>90</sup>
- d <sup>90</sup> e <sup>90</sup> f V 序II <sup>11</sup>
- 須永金三郎(文廼家たより、慶応二)大正一二) 牛込区早
- 稲田南町四十一番地 III <sup>118</sup> 序I <sup>115</sup>
- 関 思敬(雪江) 序I <sup>69</sup>
- 関 寅造(周粹仙史) 平民 長野県小県郡県村百三番地
- III <sup>177</sup>
- 関 義一(蘭亭) 序III <sup>29</sup>
- 関 吉孝 I <sup>42</sup> c
- ゼボン II <sup>1</sup>
- 泉南鉄硯 題詩II <sup>176</sup> <sup>179</sup>
- 染崎延房(為永春水) I <sup>67</sup> <sup>73</sup> ^東京府士族・第五大区
- 二小区浅草西鳥越町甲ノ二番地 <sup>67</sup> 六 京橋区築地一
- 丁目十七番地 <sup>67</sup> 七 V 序I <sup>89</sup> <sup>98</sup> III <sup>28</sup>
- た
- 高木静斎(香骨) 題字III <sup>167</sup>
- 高瀬恭助 東京府士族 本郷区両門町十二番地住 II <sup>58</sup>

- 高瀬真卿 II ③⑦⑧ (名儀人である岡西繁三郎、小柳津親雄、近藤東之介、高瀬恭助、高瀬松吉、高瀬巳之吉、高田実、田中一郎はそれぞれの項参照) 〱東京府土族・日本橋区小伝馬町二丁目十二番地 ⑤② 東京京橋区元数寄屋町二丁目一番地 ⑤③ b 東京木挽町二丁目十二番地 ⑤③ b 本郷区湯島三組町三十一番地 ⑤③ b (三) ⑤⑦ b √
- 高瀬松吉 東京府土族 本郷区湯島三組町三十一番地 II ④⑨ ⑤⑦ ⑤③
- 高瀬巳之吉 東京府平民 本郷区弓町一丁目一番地 II ④⑩
- 同十三番地 II ④② 本郷区三組町三十一番地 II ④④
- 高田早苗(半峰居士、万延元〱昭和一三) 序 III ③②
- 高田 実(秋亭実) 東京府平民 東京府下谷区仲御徒町一丁目十三番地 II ④⑤
- 高橋基一(嘉永三〱明治三〇) 東京府土族 赤坂区赤坂台町二十八番地 III ④⑨
- 高橋謙斎 序 II ③①
- 高橋達郎(松江釣史) III ①②
- 高橋又太郎(大橋乙羽、二橋散士、明治二〱三四) 山形県平民 府下日本橋区葺屋町六番地寄留 III ①⑤
- 高島瓶三郎(藍泉著述遺族人) 静岡県土族 北豊島郡千束村五百十三番地 I ①③⑤
- 高島藍泉 I ⑨⑩ I ①⑩〱①③ 〱第一大区十五小区木挽町二丁目五番地 ①⑩ ①⑨ e 静岡県土族・東京第一大区十五小区南茅場町三十八番地 ①①⑨ 同四十番地 ①①⑨ c ①①⑨ d 東京京橋区弥左衛門町一番地 ①①⑨ f ①②① (一) ①②⑥ ①②⑦ ①②⑧ ①③① b 北豊島郡千束村五百二十二番地 ①③① (三) ①③③ ①③④ √
- 高安亀次郎(東洋奇人、松の舎主人) 茨城県平民 常陸国鹿嶋郡宮中村百四十一番地 III ⑦① ⑧③
- 田川大吉郎 輯 II ②⑨ c
- 田口卯吉(安政二〱明治三八) 序 II ①⑩ ①③①
- 武井守正 序 II ③② d 〱産業 ①①⑥ ①①⑦
- 竹沢義肇 後書 II ⑦④
- 竹田左膳(復軒) 本郷区本郷元町一丁目三番町 III ⑧①
- 武野光吉 久右衛門町一番地 編集 I ⑥⑨
- 武村乘山 序 III ④⑧
- 田島象二 II ①④〱①⑤ 〱府下第四大区四小区本郷二丁目十番地寄留 ①④⑥ c 東京浅草芝崎丁二十二番地 ①④④
- 東京府平民・東京第六大区四小区深川西六間堀町二十番地 ①④⑧ ①④⑨ ①④⑨ c ①④⑨ d 神田区五軒町十六番地 ①④⑨ b ①⑤② b ①⑤② c 本郷区湯島妻恋町九番地 ①⑤① 神田区五軒町二十番地 ①⑤③ b ①⑤④ 愛知県名古屋区裏門

- 前町四百二十一番戸寄留 ⑮ c ⑮ 名古屋区南鍛冶  
 屋町三十二番戸 ⑮ V 題字Ⅱ ⑤⑦ Ⅲ ⑫  
 橘 茂 序Ⅰ ④①  
 龍野周一郎 跋Ⅱ ⑧  
 伊達千広(享和三)明治一〇) 序Ⅰ ⑦ c  
 田中一郎 長野県平民 本郷区三組町五十三番地 Ⅱ ④⑥  
 田中悟堂 評Ⅲ ⑦⑤  
 田中政一郎(清風) 佐賀県士族 京橋区木挽町九丁目七番  
 地 Ⅲ ③④  
 田鍋安之助(月孫桂士) 福岡県平民 芝区浜松町一丁目十  
 五番地後藤平作方寄留 Ⅲ ⑤①  
 谷 干城(有待楼主人隈山、天保八)明治四四) 引Ⅱ ⑦⑧  
 序Ⅱ ⑧⑩  
 谷口政徳(流鶯散史、睨天逸史) 東京府士族 下谷区仲御  
 徒町三丁目四十八番地 Ⅲ ⑤② ⑦⑧  
 為永栄二(狂訓亭、?)明治一九) Ⅲ ②⑧  
 竹亭緑水 序Ⅰ ⑫⑨  
 チャンブル Ⅱ ⑬⑦  
 袖海居士 緒言Ⅰ ⑩  
 著作道人 序Ⅲ ⑦⑤  
 塵の屋くるふ 跋Ⅲ ⑨⑦  
 塚原 靖(渋柿園、嘉永元)大正六) 東京市芝区南佐久間  
 町二丁目二番地 Ⅲ ⑩⑥  
 月廻家圓 評Ⅱ ⑥⑨ 後書Ⅱ ⑦④  
 築山直忠 評Ⅲ ③②  
 辻治之助(繡江居士、凌耐居士) 東京府士族 神田区皆川  
 町一番地 Ⅲ ⑨⑦ ☆Ⅲ ⑤⑧  
 土田泰蔵(大東萍士) 東京府平民 麻布飯倉五丁目十四番  
 地 Ⅲ ④③ b  
 坪内逍遙 Ⅱ ⑬②) ⑬⑥ 八東京府平民・東京本郷区真砂町十  
 八番地 ⑬② ⑬③ e ⑬④ ⑬⑤ ⑬⑥ V 序Ⅱ  
 ⑥⑧ ⑨④ Ⅲ ⑪⑧ 評Ⅲ ⑥⑨ ↓翻訳文学Ⅰ索引参照  
 露の屋菊香 序Ⅰ ⑪④  
 寺内章明(尺寸廬主人) 東京府平民 東京本郷区本郷弓町  
 一丁目九番地 Ⅲ ⑪⑥ ⑬③ ⑬④ ⑬⑤ ⑬⑥ ⑬⑦ ⑬⑧ ⑬⑨ ⑬⑩ ⑬⑪ ⑬⑫ ⑬⑬ ⑬⑭ ⑬⑮ ⑬⑯ ⑬⑰ ⑬⑱ ⑬⑲ ⑬⑳ ⑬㉑ ⑬㉒ ⑬㉓ ⑬㉔ ⑬㉕ ⑬㉖ ⑬㉗ ⑬㉘ ⑬㉙ ⑬㉚ ⑬㉛ ⑬㉜ ⑬㉝ ⑬㉞ ⑬㉟ ⑬㊱ ⑬㊲ ⑬㊳ ⑬㊴ ⑬㊵ ⑬㊶ ⑬㊷ ⑬㊸ ⑬㊹ ⑬㊺ ⑬㊻ ⑬㊼ ⑬㊽ ⑬㊾ ⑬㊿  
 天外山人(松廻舎あるじ) Ⅲ ⑩⑨  
 天外居士 序Ⅲ ⑦① ④⑨  
 天趣散士 序Ⅱ ⑥①  
 天石居士 序Ⅱ ⑧③  
 天籟狂夫 序Ⅰ ④①  
 土居光華(弘化三)大正七) 序Ⅲ ⑮  
 徳富蘇峰(猪一郎、文久三)昭和三二) 序Ⅱ ②⑥ d ③② b ⑩⑥  
 得能正通(虎山樵夫) 広島県備後国安那郡湯野村九十六番  
 邸 Ⅲ ⑬⑦ b

戸田欽堂 東京府士族 北豊島郡下駒込村九百三十一番地

II ①②③④⑤⑥

殿木三郎(楓水居士) 東京府平民 日本橋区樽正町七番地

III ⑥②

外村 讓(天外散士) 滋賀県大津境川町十二番地 III ⑮⑮

鳥尾小弥太(得庵、弘化四〇明治三八) 関II ⑮⑤ e 序II ⑮⑧

題字III ④⑤

な

ナイエル、ルイ・アドルフ(仏) II ⑮⑦

内藤湖南(慶応二〇昭和九) II ⑤⑨ d

長井 常(蘭匡散史) 兵庫県士族 神田区佐柄町二十一番地 III ⑩⑩

地 III ⑩⑩

中江篤介(兆民、弘化四〇明治三四) 序II ②⑤ d 題字III ⑦⑥

⑮⑤ 序III ⑮⑦

中神 保(定齋) I ④① b

中川 元(文部視学官) 序II ⑤⑥

永沢仲之亮(瓢痴醉士) 北豊島郡下駒込村九百三十一番地

II ②

中島市平 日本橋区通三丁目五番地 III ⑪⑪

中島湘烟(俊子、文久三〇明治三四) 序III ⑤⑨

中島湘湖 校合I ⑧⑤

中島信行(長城、弘化三〇明治三二) 題字II ⑮⑮⑭

中島端藏(肌香夢史) 東京府下谷区上野桜木町二十二番地

修禅院方寄留 III ⑩⑩

仲田豊太郎(風頼子) 東京府平民 下谷区下谷山伏町十七番地 III ③③

番地 III ③③

中野了随(自由狂人) 群馬県士族 群馬県上野国南甘楽郡

阪原村百十四番地 III ⑮⑮ 東京日本橋区本石町一丁目二十六番地高橋幾次郎方同居 III ⑤⑨⑩⑩ ☆III ⑮⑦

中村忠誠(桜溪逸人) 跋III ⑮⑩

中村 弼 新潟県士族 神田区駿河台西紅梅町十二番地 III ⑤④

中村弘毅(元老院議官) 題字II ⑥⑥

中村 信(雨亭) 校合I ⑧⑤

中村正直(敬宇、天保三〇明治二四) 序II ③④ ⑮③ b ⑮④ 題字 III ⑤⑨ ⑮⑧

名倉亀楠(香夢亭桜山、自由散人) 和歌山県士族・大坂府

士族 大坂南久太郎町四丁目三十三番地寄留 III ③①

大坂南区玉屋町二番地 III ⑮④

南雲源之助(咄々子) 東京府平民 神田区竪大工町一番地 III ⑧④

夏目助太郎(花の舎狂風) 福井県平民 東京浅草区新片町

三番地好見祐次方寄留 III ④⑦

三番地好見祐次方寄留 III ④⑦

成等常照(梅影隠士) 大坂府平民 大和国高市郡小網村第

五十番地 Ⅲ 39

成島柳北(天保八)明治一七) 序Ⅰ 9 Ⅱ 3 緒言Ⅰ 10

南城外史 跋Ⅲ 109 序Ⅲ 117

西岡儀三郎(鷺南、柳下亭美登利) 神田区小川町一番地六

ノ部三十二号青戸チカ方寄留 Ⅲ 70

西岡逾明 序Ⅱ 159 c

西河通徹(鬼山、安政三)昭和四) 愛媛県士族 大阪府西

成郡北野村四百十一番屋敷寄留 Ⅲ 106

西村茂樹(文政一一)明治三五) 題字Ⅰ 98 e

西村時彦(天囚居士、乾坤獄裏人、慶応元)大正一三) 鹿

児島県士族 東京日本橋区蛸壳町三丁目十一番地寄留

Ⅲ 44 145 序Ⅱ 179 Ⅲ 84

西森武城(骨皮道人) (文久二年)大正二年) 序Ⅲ 134

日曜居士 跋Ⅲ 182

二宮孤松(慶応元)大正五) 序Ⅱ 102

沼間守一(天保一四)明治二三) 関Ⅱ 163 b

根岸定宜 跋Ⅲ 162

根岸 道(関西居士) 静岡県駿河国有渡郡静岡鷹匠町二丁

目七十三番地 Ⅲ 111

野口 式(寧斎、慶応三)明治三五) 題字Ⅲ 192

野田与三次 東京府平民 浅草区福井町二丁目五番地 Ⅲ

⑩ 浅草区福井町一丁目十九番地 Ⅲ 10 (下)

野村莊之助(鹿傍居士) 千葉県平民 Ⅲ 183

野村文夫(雨莊、天保七)明治二四) 批評Ⅱ 168

は

梅亭迂叟 叙Ⅰ 49 c

梅亭鷺叟 叙Ⅰ 104

梅亭金鷺(瓜生政和、松亭鶴仙) Ⅰ 41) 66) 入東京府士

族・瓜生政晴父・第四大区八小区小石川指ヶ谷町百二

十九番地 49 c 東京小石川区指ヶ谷町七十三番地

60 64 65 66 b V 関Ⅰ 86

橋本剛毅(太平山人) 訂Ⅲ 110

馬城山人(大井憲太郎) 序Ⅱ 8

服部誠一 Ⅱ 91) 98) 入福島県士族・東京第五大区四ノ小

区練堀町十五番地寄留 91 本郷区湯島天神町一丁

目四番地 92 93 93 c 94 95 96 府下北豊島郡金杉村百

二十二番地 97 麴町区一番町六番地 98 V Ⅲ 40

序Ⅰ 85 Ⅲ 40 43 b 題字Ⅲ 7) 翻訳文学ⅠⅡ索引

花笠文京→渡辺義方

花木宗忽(石心鉄腸子) 岡山県平民 大坂府西成郡上福島

村五百四十番地寄留 Ⅲ 37

花の家ぶゞき Ⅲ 140

- 花の家理雄 序Ⅰ<sup>111</sup> 112  
 浜中聳山 跋Ⅲ<sup>28</sup>  
 林 包明(嘉永五〜大正九) 跋Ⅲ<sup>97</sup>  
 原田種生(天綱子) 福岡県士族 東京府本郷帝国大学構内  
 五番館寄留 Ⅲ<sup>74</sup>  
 伴 新三郎 Ⅱ<sup>1</sup>  
 蟠松居士 書後Ⅱ<sup>182</sup>  
 晚翠仙史 序Ⅰ<sup>90</sup>  
 日置政太郎(海鶴仙史) 東京府士族 東京市牛込区細工町  
 九番地 Ⅲ<sup>170</sup>  
 鼻下長老 校閲Ⅲ<sup>105</sup> 113  
 匹田鋭吉(雪の屋だるま) 牛込区下戸塚町八番地寄留 Ⅲ<sup>94</sup>  
 久永廉三(春永情史、東洋狂史、学棠) 宮城県平民・東京  
 府京橋区南鞆町十八番地寓 Ⅲ<sup>38</sup> 東京芝区露月町  
 十三番地奥谷方 Ⅲ<sup>80</sup> 同十一番地寓 Ⅲ<sup>96</sup> 大  
 和国添上郡奈良高畑町五十八番地 Ⅲ<sup>106</sup> 奈良県添  
 上郡奈良公納堂町二十二番地 Ⅲ<sup>108</sup> 109 121 同二十一  
 番地 Ⅲ<sup>117</sup> 126 京都市下京区魚棚通室町東入上柳町  
 第十番戸 Ⅲ<sup>178</sup> ☆Ⅲ<sup>173</sup> 序Ⅱ<sup>65</sup>  
 久松義典 Ⅱ<sup>163</sup> 177 八東京府士族・神田区駿河台北甲賀  
 町七番地 163 b 163 c 163 d 163 e 下野国下都賀郡朽木町  
 寄留 163 d 東京神田区駿河台南甲賀町八番地 164  
 165 東京下谷区西町二十四番地 166 大坂北区老  
 松町三丁目四十六番地 166 統 大坂東区常盤町一丁  
 目二十番地寄留 167 芝区愛宕町三丁目四番地 168  
 169 東京麴町区飯田町四丁目二十四番地 168 後 170  
 東京本郷区弓町一丁目十八番地 171 栃木県栃木町  
 大町 173 174 175 177  
 土方久元(瑞山会、天保四〜明治七) Ⅱ<sup>13</sup> f 題字Ⅱ<sup>61</sup> b  
 平尾貞一(夢外居士) Ⅲ<sup>171</sup>  
 平田思成 書Ⅰ<sup>6</sup>  
 広沢安任 叙Ⅱ<sup>178</sup>  
 広瀬鉄三郎 Ⅰ<sup>101</sup> 編輯Ⅰ<sup>102</sup> 103  
 広津柳浪(文久元〜昭和三) Ⅲ<sup>165</sup>  
 福井 淳 大阪府平民 同府下東区石町一丁目十四番地  
 Ⅲ<sup>62</sup>  
 福本 誠 (青天布衣、日南、安政四〜大正一〇) 北海道  
 平民 小石川武嶋町十三番地斎藤深次郎方 Ⅲ<sup>26</sup>  
 藤井源太郎 島根県平民 愛知県名古屋区伏見町二丁目百  
 十一番地寄留 Ⅲ<sup>28</sup>  
 藤井狷菴 序Ⅲ<sup>63</sup>  
 藤懸永治 京都府南桑田郡馬路町九十一番戸 Ⅲ<sup>189</sup>  
 藤田茂吉(鳴鶴) Ⅱ<sup>33</sup> 36 八東京芝区南佐久間町二丁目

十三番地 ③③ 東京日本橋区浜町二丁目十三番地

③④ 日本橋区薬研堀町三十三番地 ③⑤ 東京市日

本橋区兜町四番地 ③⑥ √ 序Ⅱ ②② ①⑥⑥ → 翻訳文学Ⅰ

索引

藤村雄式(雪城) 題字Ⅲ ②⑨

総生 寛(竹天道人、滑稽道人、天保一二~明治二七) 東

京神田区錦町一丁目六番地 Ⅲ ② ☆Ⅰ ① Ⅲ ①③⑨ ①④

跋Ⅱ ①⑤

文廻家ひろし 序Ⅲ ①⑩

睥睨居士(鳳龍庵主人) 序Ⅲ ①⑥

ベロツト、アドルフ Ⅰ ①⑩

芳暉園主人 序Ⅱ ①⑦

望洋居士(雪後) 跋Ⅱ ①⑦

ま

前川虎造(元治元~昭和元) 和歌山県平民 那賀郡打田村

百番地 Ⅲ ④②

前田健次郎(夏繁、昔廻人成、天保一二~大正五) 東京府

下谷区御徒士町一丁目三十五番地 Ⅲ ①③⑥ ☆Ⅰ ①⑧ b

真木幹之助(痴囊狂夫、嘉永六~大正一四) 東京府平民

東京麴町区飯田町四丁目二十一番地 Ⅲ ①⑤

卷 菱潭(深沢菱潭、弘化三~明治一九) 題字Ⅰ ⑤ 書Ⅰ

⑥ ⑦ c ⑦ d ⑧ b Ⅱ ①③ c

松木董宣(嵐峯、松の家みどり) 長野県士族 東京府下芝

区桜田太左衛門町七番地寄留 Ⅲ ⑥⑤ ⑨⑩ ☆Ⅲ ⑨③

松田青城 跋Ⅱ ④④

松亭鶯痴 序Ⅱ ⑥②

松永源七 東京府平民 日本橋区呉服町十五番地 Ⅱ ①⑤ b

松永道一(南柯) 埼玉県平民 東京牛込区白銀町二十八番

地 Ⅲ ④⑥

松村春輔 Ⅰ ⑧④ ~ ⑨⑤ 八山県平民・東京(第一大区十三

小区) 浜町二丁目十一番地寄留 ⑧④ ⑧⑤ ⑧⑥ ⑧⑦ 府下日

本橋区蛸殻町二丁目七番地寄留 ⑧⑧ (一) 府下京橋区

南鍋町一丁目一番地寄留 ⑧⑧ (二) ⑧⑧ b ⑧⑨ ⑧⑨ b ⑧⑨ c ⑨① ⑨②

⑨③ ⑨③ b ⑨④ ⑨⑤ √ 序Ⅰ ⑥⑨

真似彦 序Ⅲ ①⑧

万亭応賀 Ⅰ ②② ~ ④④ 八静岡県平民 ②⑧ b ②⑧ c 下谷区

西町三番地寄留 ③① ③③ ③④ ③⑤ ③⑤ b ③⑥ ③⑦ ③⑦ b ③⑧ 静岡県

沼津西条町三百三十五番 ③② 浅草区西三筋町五十

二番地 ③⑨ ④① √

三尾重定(旭窓) 神田区五軒町十九番地 Ⅲ ①⑥

三木貞一(愛花、紅夢楼主人、文久元~昭和八) 千葉県平

民 芝区桜田本郷町四番地寄留 Ⅲ ⑥⑥ 序Ⅲ ③④ ⑧③ ⑧④

題字Ⅲ ⑦ 閱Ⅲ ⑩

水谷由章(大審院翻訳官) 東京府士族 東京府小石川区宮

下町十二番地 Ⅲ 99

水野正香(鉄椎) 滋賀県士族 滋賀県近江国滋賀郡膳所村

字中庄第二百十三番屋敷 Ⅲ 102

南 新二(谷村要助、天保六〇明治二八) 序Ⅰ 100

箕輪 勝 山梨県平民 神田区錦町一丁目十番地寄留 Ⅲ

16

三宅雄二郎(雪嶺迂人、万延元〇昭和二〇) 序Ⅱ 13 b 32 b

宮崎三昧(安政六〇大正八) 序Ⅲ 62

宮崎夢柳 Ⅱ 7 10 〆東京府平民・神田区表神保町三番

地 7 9 大阪府北区中之島三丁目二番地止宿 8

大阪北区堂島浜通六十一番屋敷 10 Ⅴ Ⅲ 25 序

Ⅲ 15 閱Ⅲ 14 15 〆翻訳文学Ⅱ索引

三輪信次郎 序Ⅱ 3

夢幻散士 序Ⅰ 106

陸奥宗光(弘化元〇明治三〇) 題字Ⅱ 14

村上昇平(藤蜷野史) 広島県平民 浅草区田原町二丁目二

十番地 Ⅲ 101

村松恒一郎(柳江、元治元〇昭和一五) Ⅱ 126 編Ⅱ 130

村松熊太郎(北越樵夫) 神奈川県士族 東京麴町区有楽町

三丁目二番地日々谷英学校寄留 Ⅲ 32 神奈川県相

模国愛甲郡下荻野村七番地 Ⅲ 48

村山龍平(嘉永三〇昭和八) 題字Ⅰ 160 b

目賀田龍夫(溪鶯) 筆記Ⅲ 100

初山 逸 序Ⅱ 131 c

森 健吉 序Ⅲ 131

森林太郎(鷗外、文久二〇大正一一) 序Ⅱ 26 d 32 b

森田文蔵(思軒、文久元〇明治三〇) 跋Ⅱ 22 序 26 d 34 69

や

八重の屋主人 Ⅲ 100

安井常次郎(文の屋主人) 京都府下京区第六組松ヶ枝町四

十四番戸寄留 Ⅲ 113

安川繁成 序Ⅱ 97

安田倉三 士族 千葉県上総国夷隅郡大多喜村四十九番地

Ⅲ 79

矢野文雄(龍溪) Ⅱ 19 32 〆大分県士族・東京第二大区

二小区南佐久間町二丁目九番地寄留 20 府下芝区

南佐久間町二丁目十三番地寄留 21 22 23 24 25 東京

本所区中ノ郷瓦町一番地 26 東京赤坂区表三丁目

二番地 26 d Ⅴ 序Ⅱ 160 跋Ⅱ 35

山岡鉄舟(天保七〇明治二二) 題字Ⅱ 54 56 58 校閲Ⅱ 156 e

山縣佳亮(鶴堂) 評Ⅲ 126

山川霍吉 兵庫県平民 摂津国神戸区神戸浜宇治野町六十

七番邸 Ⅲ 27

山越の老父 序Ⅰ 116

山崎勇之助(竹外居士) 東京本所区北二葉町二十七番地

Ⅲ 68

山田伊之助 序Ⅰ 20

山田奠南 題字Ⅲ 89

山田美妙齋(明治元~四三) Ⅲ 185

横瀬文彦 小石川区新小川町二十二番地 Ⅱ 99

横矢松千代(後彫散士) 高知県士族 大阪府東区島町二丁目十一番地寄留 Ⅲ 120

目十一番地寄留 Ⅲ 120

芳川俊雄(春濤、弘化元~大正二三) 閱Ⅰ 74~83

芳川延輔(流外、舍魚堂主人) 埼玉県士族 浅草区東三筋

町五十番地寄留 Ⅲ 35

吉田魁光 大阪西区幸町五丁目四十一番地 Ⅲ 143

吉田熹六(韜庵、万延元~明治二四) 批評Ⅱ 160

吉田謹爾 序Ⅲ 162

吉本義秋(秋亭) 愛媛県士族 大阪府西成郡北野村四百十

一番屋敷寄留 Ⅲ 186

依田百川(学海、天保四~明治四二) 序Ⅱ 22 23 c 24 Ⅲ 58

(72) (97) (99) (170)

ら

雷同山人 評Ⅲ 133

落花道人 序Ⅲ 83

蘭竹草堂主人 序Ⅱ 41

柳亭燕枝(团柳楼) Ⅰ 119 g

柳亭耕夫 序Ⅱ 56

蓮台山人 序Ⅲ 134

鹿鳴散士 Ⅱ 131

わ

若菜貞爾(孤蝶園、嘉永六~大正七) 福岡県平民 芝区烏

森町一番地寄留 Ⅰ 12 13 序Ⅰ 10 c

若林珪蔵(安政四~昭和二三) 筆記Ⅱ 22

脇田房吉(洒落齋居士) 大阪府平民 東区淡路町二丁目四

十番地 Ⅲ 105

和田定節 東京府士族 下谷区坂本町一丁目十四番地 Ⅰ

第五大区八小区浅草北田原町三丁目六番地 Ⅰ

府下本所区北二葉町二十番地 Ⅰ 86 (六) 下

谷区坂本町一丁目十四番地 Ⅰ 86 (七)

渡辺義方(花筭文京、京文舎文京、安政四~大正一五) 大

坂府平民 日本桥区横山町二丁目十七番地 Ⅰ 10 d

Ⅲ ① 芝区日蔭町一丁目寄留 Ⅲ 13 京桥区加賀

町十一番地 Ⅲ 19 ☆Ⅱ 174 序Ⅱ 7

# 画家索引

四画 月 一七三  
 五画 弘 永 半 広 石 玉 年 米 光 至 芳  
 六画

八画 吟 秀 国 周 房 宗 松 信 春 貞 恒 宣  
 九画

十画 研 桂 一七四  
 十一画 耕 華 清 基 習 梧 景 童 暁 楓  
 十二画  
 十三画

十四画 義 楯 葛 寧 翠 蘆  
 二十画

一、目録掲載書の外題画家・挿絵画家のうち、判読できた画家名を画数順に配列した。  
 一、雅号は収録書に署名・印刷してあるもののみ掲げた。  
 一、本索引を作成するに際し、大野静方著『浮世絵と版画』（昭和十七年、大東出版社）  
 狩野寿信『本朝画家人名辞書』（明治四十一年十一月第十九版、大倉書店・荒木矩編  
 『大日本書画名家大鑑』（昭和五十一年一月、第一書房）を参考図書として利用した。

月耕(尾形氏、「絵入朝野新聞」等に挿画を描く) I 39

〔54 55 57 金鷲〕 100 〔129 130 132 133 藍泉〕 152 II 〔70 72

76 南翠〕 101 104 b 166 169 III 33 41 49 52 55 64 72 79 81 112 115 127 141

191

弘方 I 137 III 34

弘光(中沢氏) II 〔90 c 90 d 90 e 90 f 南翠〕

永洗(藻斎、富岡氏、永濯高弟) II 〔77 f 78 79 c 南翠〕 120

永濯(鮮斎、小林氏、狩野永恵門人、彦根井伊侯抱絵師、

「都の花」「風俗画報」に執筆) I 10 c 70 71 〔84 86 87

春輔〕 118 c II 74 146

半古(梶田氏、幕臣) II 90

広重(三世、立斎) I 1 10

石亭 I 7 b

玉蘭斎(橋本氏) I 41 42 c

年一(芳年門人) I 69

年久(清宮氏) I 69

年方(応斎、水野氏、本姓野中氏、芳年門人、明治18年頃

「やまと新聞」の挿画全部担当) I 〔101 103 104 105 b 107 108

109 111 112 113 115 116 117 伝平〕 165 c II 130 III 104 175 190 b

年英(右田氏、芳年門人、「東京朝日新聞」社員として小説

挿絵担当) III 86 90 134 158 179

年参(亭斎、芳年門人) III 20

年信(仙斎、山崎氏、芳年門人、一時土佐の新聞社に入社

し挿絵担当) I 141 143 II 11 55 〔117 118 120 125 鉄腸〕 145 b

年恒(可雅楽人、稲野氏、本姓武部氏、芳年門人、「大阪

毎日新聞」の挿画担当) I 12 162 163 II 〔77 77 b 77 c 78

c 南翠〕 133 136 III 11 16 21 124

年峯(筒井氏、芳年門人) I 163

米僊(久保田氏、鈴木百年門人、「国民新聞」の画報担当、

明治期産業翻訳書集成(19著) I 166 b II 79 126 III 185

光孚 I 147 b

至一(亀井氏) II 22

芳年(一魁斎、大蘇、月岡氏、国芳門人。明治15年「絵入

自由新聞」に携され、のち「やまと新聞」に執筆)

I 9 30 b 66 69 85 119 c 119 f II 7 11 12 14 16 III 13 15 19 169

芳虎(孟斎、錦朝楼、歌川氏、本姓笹本氏、国芳門人)

I 4 73 74 84 〔98 b 98 c 98 d 伝平〕

芳宗(一松斎、本姓新井氏、芳年門人) II 〔62 65 南翠〕

III 19 132 173

芳房 III 183

芳柳(二世、五姓田氏、本姓倉持氏、ワグマンに学ぶ)

II 78

芳国(野村氏) III 50

芳洲 III 142 143

- 芳峯(旭亭、武部氏、芳梅門人) I 121 [142 144 145 146 147 147 b 148 149 151 文海] III 130
- 芳幾(一蕙齋、蕙齋、落合氏、国芳門人、「東京日日新聞」社員、明治8年「東京絵入新聞」創刊) I [1 2 13 14 18 魯文] [119 c 119 d 119 f 119 g 120 b 120 c 120 藍泉]
- 芳景(後藤氏、芳瀧門人) I 105 b 143 151 II 156 b 156 d III 146 175
- 芳豊 I 155 161
- 芳瀧(一黙齋、歌川氏、本姓中井氏) II 15
- 吟光(松亭、松齋、安達氏) I [51 52 53 55 56 59 61 66 金鷲]
- 翠 [86 88 88 b 89 c 91 春輔] 99 110 114 120 125 154 II [75 80 81 83 南翠] 132 e 153 b III 75 100 144 [I 120 の奥付に、東京府平民 京橋区南鍋町一丁目居住とあり]
- 秀月(望齋) I 137
- 秀湖(長峰氏、赤水の子、楓湖門人) II 61
- 国利(歌川氏、本姓山村氏、三世豊国門人) I 37 b
- 国松(一応齋、歌川氏、父国鶴門人) I 58 [79 80 81 81 b 82 起泉] 94 95 [120 c 127 128 130 b 132 133 藍泉] 151 II 11 [62 b 62 c 67 68 66 南翠] 134 III 10 22 28 67 136 192
- 国周(一鶯齋、豊原氏、本姓荒川氏) I 38 94 119 d
- 国英 III 175
- 国貞(梅蝶楼、竹内氏、三世国政のち二世国貞) I 72
- 国政(梅堂、本姓竹内氏、四世国政のち三世香蝶楼国貞) I [10 b 10 c 10 e 魯文] 96 b 98 III 1 11
- 国峰(梅蝶楼、勝田氏) II 132
- 国峰(一陽亭) III 137
- 国梅(歌川氏) I 131 II 62 b
- 国輝(一曜齋、山田氏) I 84
- 周延(揚州、橋本氏、国周門人、幕臣) I 38 [74 d 75 76 77 起泉] 96 97 III 173
- 周重(守川氏、国周門人) I 10 d
- 房種(村井氏、桜齋) I 74 c 74
- 宗一 III 181
- 宗信 III 174
- 松洲(斎藤氏) I 166 b
- 松濤(政岡氏) I 166 b
- 信一(藤原氏、年信門人) I [153 154 165 166 文海] II 9 11 III 143 167
- 春川(名取氏) II 90 b
- 春香(梅花園) I 13
- 貞広(昭皇) I 144 II 162
- 恒茂 II 77 e
- 宣秀 II 62
- 研山 II 187

桂舟(多気氏) II 132 III 29 190 b

耕一(尾形氏) III 171

耕作 I 136

華春 III 167

清方(鏑木氏、年方門人、條野伝平の子) I 115 117 伝平

II 90 b

清親(小林氏、ワグマンに学ぶ、幕臣) I 60 64 65 66 b

金鷲 165 166 II 4 5 6 欽堂 26 d III 51 53 54 101 115 159 161

165 166

基春(本姓林氏、年基門人) III 135 155 168

習古 I 108 II 12

梧齋 III 179

景方 II 156 c

童玉 I 135

暁齋(惺々齋、河鍋氏) I 1 2 3 5 6 6 b 7 7 c 魯文

22 22 b 23 24 25 26 27 28 28 b 28 c 29 29 b 30 30 c 31 32 33 34

35 35 b 36 応賀 110 III 12

楓湖(松本氏、菊地容齋門人) II 104 b

豊国(四代、一陽齋、歌川氏) I 72

豊宣(歌川氏、祖父国貞門人、「改進新聞」の挿画を描く)

II 62 62 d 64 66 南翠

義権(此花亭) I 12

楯彦(菅氏) I 166 b

葛飾 I 61 II 132

寧齋(石塚氏) I 42 42 e 43 46 48 49 金鷲 68 II 3

翠雨 I 83

蘆月(中川氏、蘆洲門人) III 167

## 出版人・発行人索引

- 一、発兌人もできるだけ採録し、ここに収める。明治期刊物には著者が出版人を兼ねているものも多いが、本稿では著者索引に収録するものは省く。
- 一、本稿は主に収録書の奥付から作成する。それ故、住居・寄留地は当該出版物刊行時のそれである。ただし、刊行時とは版權申請時か、許可時か、発兌時か、未だ調査ができてない。ご教示を乞う次第である。
- 一、☆は住所不載の図書であることを示す。

### あ

- 愛善社 東京京橋区銀座二丁目十二番地芳譚雜誌仮本局
- 青野友三郎 東京京橋区南槇町十四番地 Ⅲ 76
- 青柳国松 千葉県平民 東京日本橋区浜町二丁目十二番地 Ⅲ 43 b
- 赤川孫兵衛 大阪府平民 大阪府下東区北浜二丁目二十七番地 I 153
- 赤志忠七(忠雅堂) 大阪東区本町心齋橋北入十二番地 Ⅱ 161 大阪市東区本町四丁目三十一番屋敷 Ⅲ 187
- 赤松市太郎 兵庫県平民 大坂府東区今橋二丁目二十六番地 Ⅲ 37 108 109 110 121
- 青木国次郎(文宝堂) 東京府平民 日本橋区本石町二丁目十六番地 Ⅱ 57 154
- 青木恒三郎(嵩山堂支店) 大阪府平民 大坂安堂寺町四丁目 Ⅱ 14 大阪市南区安堂寺橋通四丁目六十一番地 Ⅲ 125 同二百四十番屋敷 Ⅱ 114 115 東京市京橋区南伝馬町二丁目三番地寄留 Ⅱ 13 b 117 同十四番地 寄留 Ⅱ 113 118 119 120 121 122 123 124 125 Ⅲ 105 東京市日本橋区通一丁目十七番地 Ⅱ 127 128 129 130 131
- 秋元房治郎 東京府平民 浅草区橋場町十八番地 Ⅲ 47
- 秋田屋太右衛門 大坂 I 30 c
- 浅井橋治郎 東京府平民 東京府京橋区木挽町一丁目六番

- 地 I 93 b
- 浅井重光(万字堂) 京橋区木挽町一丁目六番地 I 93 b
- 浅井真蔵(万字堂) 東京府平民 東京府京橋区木挽町一丁目六番地 III 14
- 浅井精一郎(精文堂) 東京府平民 日本橋区村松町七番地 III 55
- 旭活版所 II 7 d
- 朝野文三郎(正文堂) 東京京橋区南鞘町十八番地 II 70 71
- 72 73 III 38 47 ☆II 69
- 東 為雄(近事画報社) 東京市京橋区五郎兵衛町二十一番地 II 29 d 30 31
- 足立庚吉 東京府平民 本郷区下駒込村百六十一番地 I 138
- 荒木利一郎 大阪府豊能郡箕面村平尾四九九 II 32 c
- 飯井万助 大阪市南区西櫓町十二番屋敷 I 162 164 165
- 飯岡 貞(文林堂書店) 東京市神田通新石町十番地 III 170
- 飯田鎮雄 東京市日本橋区箔屋町三番地 II 18
- 飯田登久(竹天堂) 東京神田区錦町一丁目六番地 III 2
- 偉業館 I 159
- 池田孝吉 横浜弁天通三丁目 I 119 e
- 池部活三(興文社) 東京府平民 東京府下日本橋区馬喰町二丁目一番地 III 45
- 池村鶴吉 東京市本郷区台町三十二番地 I 110
- 井沢菊太郎 東京府平民 芝区愛宕町三丁目五番地 I 15
- 石尾信太郎(現代社) 東京市芝区西久保巴町五十三番地 II 29 c
- 石川伝吉 京橋区本材木町三丁目七番地 III 88
- 石塚桑蔵 東京市京橋区銀座三丁目十五番地 II 162 c
- 石塚徳次郎(文海堂) 東京市麴町区三丁目十九番地 III 166
- 石原信三郎(東京稗史出版社) 群馬県平民 東京京橋区南伝馬町三丁目十三番地 III 20
- 石渡賢八郎(イーグル書房) 東京府神田区佐久間町三丁目十三番地 II 60
- 和泉屋市兵衛 芝神明前 I 22 b 芝三島町 I 29 b
- II 19 → 山中市兵衛
- 和泉屋半兵衛 東京日本橋四日市 II 146
- 和泉屋吉兵衛 東京芝大神宮前 I 8 b ☆I 7 d
- 伊藤岩次郎(誠之堂) 神田区西福田町一番地 III 64
- 伊藤倉三(金盛堂) 東京府平民 日本橋区蛸殻町三丁目一番地 II 63
- 伊東武左衛門 東京府七族 芝区桜田本□丁三パンチ I 16
- 伊東芳次郎(東亜堂書房) 東京市神田区鍛冶町八番地 II 32 b

- 稲田政吉(山城屋、奎章閣) 東京府平民 東京第一大区八ノ小区銀坐三丁目二十番地 II 91 京橋区銀坐三丁目六番地 II 99  
 伊庭 真 東京府土族 下谷区仲徒町一丁目十二番地 I 120 c  
 井上定保 第六大区八小区南本所石原町七十五番地 I 118  
 井上蘇吉(沢屋) 東京府平民 東京神田裏神保町一番地 III 26  
 井ノ口松之助(魁真楼) 東京市京橋区南大工町九番地 II 144 b 145 III 144 156 東京府麴町区元園町一丁目十九番地 III 95  
 今橋 巖 高知県土族 麴町区下六番町二十六番地寄留 III 59  
 今津隆治(如山堂書店) 東京市日本橋区上楨町十番地 II 90  
 井染甚三郎(鳳城楼) 京都府平民 下京区第十三組鍵屋町第十三番戸ノ内二号 II 56  
 岩城勝藏(東勝堂) 芝区浜松町二丁目二十五番地 II 67  
 岩崎茂兵衛 埼玉県南埼玉郡北青柳村 III 104  
 岩瀬鍋太郎(自由堂) 日本橋区馬喰町三丁目十四番地 I 102  
 岩崎好正(巖々堂) 広島県土族 神田区雉子町三十二番地 II 163 b 164 165 東京府平民・東京神田区淡路町一丁目一番地 II 166  
 上田捨吉 京都府平民 大阪府南区末吉橋通三丁目十五番地寄留 I 147 147 b III 57  
 内沢安次郎 東京府平民 日本橋区西河岸町十二番地 II 150 b  
 内田喜三郎(吟松堂) 東京府平民 神田区鍛冶町二十二番地 III 71  
 内山亀太郎(改進黨) 京都府平民 下京区第十九組植松町四十九番戸 II 167  
 梅原亀七(朧曦堂) 大坂東区備後町四丁目十一番地 II 170  
 梅原忠藏(図書出版株式会社) 大阪府大阪市東区備後町二丁目百二十一番屋敷 I 166 大阪市東区北久太郎町四丁目番外一番屋敷 II 84  
 江島喜兵衛(万笈閣、椀屋) 東京本石丁二丁目角 I 1 2 3 5 6 6 b 7 c 東京府下本石町二丁目九番地 II 146 c  
 榎本直衛(勸文堂) 東京府土族 本所区横綱町一丁目五番地 I 11  
 恵比寿屋庄七(文昇堂) 東京小舟町三丁目 I 30 b  
 塩治芳兵衛(東京改良小説出版会) 大坂府平民 東京京橋

区桶町三十一番地寄留 II 95 III 40

大門鉄太郎(松英堂) 東京牛込区岩戸町二十番地 III 184

大川屋錠吉 東京府平民 府下浅草区三好町七番地 I 88

大倉孫兵衛(錦栄堂) 東京府平民 東京第一大区六小区通

一丁目十九番地 I 96 96 b 126 III 101

大阪同志出版会社 大阪東区唐物町四丁目 III 50

大阪毎日新聞社 大阪市北区堂島二丁目三六 II 32 c

大角豊治郎(春山堂) 東京々橋区采女町二十一番地 III 8

太田権七 西京新京極蛸薬師下 II 14 15

太田資順(有朋館) 東京市麹町区富士見町二丁目三番地

(有朋館・本郷区本郷四丁目八番地) II 181

太田信義 東京府平民 東京日本橋区呉服町十一番地 II

159

大溪平兵衛(文溪堂) 東京 I 84 b

大月 隆(文学同志会) 東京市神田区錦町一丁目十番地

II 173 174 175 177 ☆ II 172

大橋佐平(博文館) 東京日本橋区本町一丁目十二番地 III

159

大橋新太郎(博文館) 日本橋区本町三丁目八番地 I 106 109

165 c 165 d II 13 c 66 b 66 c 69 b

大原武雄 小石川区指ヶ谷町百四十番地 III 165

大橋忠孫 京都府土族 東京府下南葛飾郡小梅村七十七番

地寄留 II 14

大庭宗吉(万春堂) 東京府平民 芝区桜川町八番地 II 100

大淵 濤(駸々堂本店) 大阪府南区末吉橋通三丁目十五番

地 I 155 156 II 9 135 136 III 91 117 123 126 130 136 137 137 b 138 152

東京市日本橋区上槇町八番地 I 160 大阪府南区末

吉橋通三丁目十九番地 I 161 同三番邸 I 158 III

167 ↓ 駸々堂本店

大淵 浪 京都府平民 大坂府南区末吉橋通三丁目十五番

地 II 162 III 39

大淵 涉(駸々堂) 大阪府南区末吉橋通四丁目八十六番屋

敷 II 86 88 145 b III 192

小笠原美治(弘令社) 神田区五軒町十八番地 II 149 b 151 152

157 b 157 c

小川新助(畜善館、政進圃) 大阪府平民 大阪府南区安堂

町二丁目五十八番地 II 105 100

小川代次 高知市本町筋百四十一番地 II 13

岡島真七(宝文館、宝玉堂) 大阪府平民 大阪府東区本町

四丁目百五十四番屋敷 I 141 163 II 14 大阪府下東

区本町四丁目五十九番地 III 28

岡本仙助(岡本書房、盛業館) 大阪東区唐物町四丁目十二

番地 I 157 II 10 III 144 151 大阪府東区北久太郎町

四丁目百二十八番屋敷 I 159

岡本直蔵 大阪府平民 東区北久太郎町二丁目四十四番地

II ⑥⑥

岡安平九郎(岡安書輔、イーグル書房) 埼玉県平民 東京

神田区佐久間町三丁目十三番地寄留 III ④③ ①③④ ①④⑦

神

田区栄町十番地 III ⑦⑦

落合三雄(文勢堂) 神田区猿楽町一丁目六番地 I ①⑧

## か

改進黨 II ⑥⑥

海田金平 東京府平民 東京神田区新銀町二十一番地 III

⑫

外務省通商局第二課 II ①② d

加賀屋吉兵衛(青盛堂) 两国広小路 I ⑨⑧ d

覚張栄三郎(明三堂、上田屋) 新潟県平民 日本橋区本石

町二丁目十六番地 II ⑥④ ⑥⑤ 東京府平民・同番地

II ⑤⑧ III ⑨⑥

鶴鳴堂(高橋種) 東京日本橋区十軒店四番地 III ④①

☆ III ⑦⑦

柏原政次郎(柏原書店、与民社) 大阪府平民 同府下西区

安波堀一丁目五十五番地 III ⑤⑤ 南区塩町三丁目十

九番地 III ⑥① ⑧②

片岡馨(春水) 福井県土族 芝区芝口一丁目十五番地

III ④①

片岡忠三郎 東京府平民 京橋区三十間堀二丁目九番地

III ①③②

片桐仲蔵(片桐開成社) 高知市種崎町百八十二番地 II ①③

e

片山正義 愛媛県平民 大阪東区北久太郎町一丁目七番地

寄留 I ①②④

加藤勘七 日本橋区矢ノ倉町十四番地 II ⑤⑨

加藤正七(旭昇堂) 東京府平民 日本橋区檜物町八番地

I ⑤⑥ ⑤⑨ II ①③ b

加藤忠兵衛(大栄堂) 東京府平民 東京人形町通り住吉町

一番地 II ①④ c

金尾種次郎(金尾文淵堂) 東京市神田区西今川町二番地

II ⑧⑨ 東京市麴町区平河町五丁目五番地 II ⑨① c ⑨① d

⑨① e ⑨① f

金子豊吉 日本橋区元大工町十五番地 III ①⑦②

河出亀三郎(成美堂) 岐阜県平民 岐阜県岐阜米屋町/東

京々橋区木挽町九丁目三十三番地寄留 II ⑨⑥

河出静一郎(成美堂支店) 東京市日本橋区本材木町一丁目

二十一番地 II ①⑥② c

菊地辰三(銀花堂) 東京府平民 京橋区竹川町十八番地

III ⑥⑦

- 木田吉太郎(東雲堂) 愛知県名古屋区本町六十八番戸 II  
 ⑬⑤ III ⑬④ 東京々橋区中橋和泉町四番地 III ⑬⑤  
 ↓東雲堂
- 木谷博書堂 大阪府平民 大阪府下西区北堀江通り四丁目  
 四番地 II ⑬⑧
- 北原九十郎(博文堂書店) 東京京橋区三十間堀二丁目一番  
 地 II ⑬⑪ ⑬⑫
- 木村莊二郎(晚青堂書店) 東京府士族 神田区同朋町二十  
 二番地 II ⑬⑧ ⑬⑫ ⑬⑬ ⑬④
- 木村己之吉 下谷区北大門町五番地 II ⑬②
- 共同社 東京南鍋町二丁目十三番地 II ⑬④ ⑬②
- 協力社 I ⑬⑩ b
- 玉養堂 東京蛸壳街一丁目水天廟外五番地 II ⑬④ d
- 錦森堂(石川治兵衛) I ⑬③
- 金田一良三 東京市京橋区三十間堀三丁目十番地 II ⑬②
- 串本康三 広島県平民 広島県安芸国広島市字播磨屋町二  
 番邸寄留 II ⑬⑩
- 久世 久(報知社) 日本橋区薬研堀町三十三番地 II ⑬⑦  
 ↓報知社
- 国木田哲夫(独歩社) 東京市芝区桜田本郷町十七番地 II  
 ⑬① b
- 栗田松三郎 東京京橋区南槇町七番地 I ⑬⑨ g
- 栗野忠雄(金松堂) 平民 東京府芝烏森町一番地 II ⑬⑤
- 桑原徳三郎 福島県士族 府下北豊島郡金杉村百二十二番  
 地寄留 II ⑬⑦
- 桑原徳勝(由己社) 広島県平民 京橋区加賀町十二番地  
 I ⑬③
- 桑原八郎次(由己社) 東京京橋区加賀町十二番地 II ⑬④
- 小池綸叟(後凋閣) 兵庫県士族 日本橋区通三丁目四番地  
 III ⑬① ⑬③
- 礫川出版会社 小石川区掃除町三十三番地 I ⑬③
- 宏 虎童(絵入自由出版社) 東京府平民 京橋区三十間堀  
 一丁目二番地 II ⑬⑦ III ⑬⑨〔出版社は同一番地〕
- 神戸甲子二郎(顔玉堂) 東京府士族 京橋区弓町十番地  
 II ⑬① 東京京橋区南紺屋町七番地 II ⑬⑥ III ⑬⑥ ⑬⑦ ⑬⑧
- ⑬⑦ ⑬⑩ ⑬⑪
- 紅木堂 伯楽街第四坊 I ⑬④
- 小島寅三郎 高知市本町筋七十一番地 II ⑬③
- 児玉永成 東京府士族 芝区芝井町二十五番地 II ⑬② e
- 児玉彌吉 日本橋区馬喰町二丁目十八番地 I ⑬④
- 小塚義太郎 石川県士族 大阪府東区大川町六十九番地止  
 宿 II ⑬⑧
- 後藤仙造 駿州沼津上土町 I ⑬⑤ b
- 後藤忠七(文隣堂) 東京本銀町四丁目 I ⑬⑨ ☆ I ⑬②

後藤房太郎 第一大区五小区本銀町四丁目二十一番地 I

69

此村庄助(欽英堂) 大坂府平民 大坂南区順慶町通四丁目

三番地 II 143 III 127

此村彦助(黎光堂) 大阪府下東区備後町四丁目七十六番屋

敷 III 154

小林喜右衛門(仙鶴堂、靄屋) 東京浪花町 I 22 23 26

日本橋区新大坂町十番地 II 94 98

小林鉄次郎(延寿堂、丸屋) 東京府平民 日本橋区通三丁目十三番地 I 73 90 94 95 97

小林義則(文学社) 滋賀県士族 東京日本橋区本町四丁目十六番地 II 109 104

小林隣三 東京府平民 東京京橋区新栄町一丁目二十三番地 II 54

今古堂 東京下谷区御徒町一丁目一番地印書館内 II 43 46

47 51 55 日本橋区新和泉町一番地 II 59

齋藤家寿家 東京府士族 京橋区木挽町一丁目十一番地 II 16

坂上半七 東京府平民 東京日本橋区呉服町十二番地 II 157 158 159 c 159 c 159 d 159 e

神原友吉 日本橋区若松町二十一番地 II 98

嵯峨野増太郎 東京府平民 日本橋区本石町三丁目十八番地 I 61 麴町区飯田町二丁目五十六番地 I 129

坂部安之助 芝区愛宕町一丁目一番地 III 15

坂本嘉治馬(富山房) 東京市神田区裏神保町九番地 II 13

相摸屋七兵衛 I 30

41 笹川文治郎 東京府平民 東京芝愛宕町二丁目四番地 II

佐々木 猛 東京府士族 府下南足立郡花又村二百八十九番地 II 97

里村吉蔵 東京府平民 芝区金杉川口町二十二番地 I 52

佐藤乙三郎(成文堂) 愛知県平民 東京府下日本橋区大伝馬町二丁目十五番地 II 15 104 b III 85 同十六番地 II 103 104 III 56

沢 佐与 神田区五軒町十六番地 II 151

佐脇金次郎 平民 府下日本橋区浜町二丁目九番地 I 89

c 三省社本部 神奈川県横須賀元町 III 104 b

塩沢 梅(陸軍受驗講義録編輯所) 東京麴町区下二番町四十二番地 II 100 b

品川登羅(弘書堂) 東京第一大区十二小区馬喰町二丁目十

六番地 I 87

芝定四郎(撰陽堂) 大坂府平民 東京々橋区南伝馬町一丁

目十番地寄留 II 11 62 c

島田雅太郎 長崎県平民 芝区浜松町十五番地寄留 III 13

清水嘉兵衛(清宝堂) 東京府平民 東京神田区神田鍋町二

番地 II 62 b

尚古堂 II 137

集成社書店(赤坂亀次郎) 神田区小川町十番地 II 35 168 170

自由燈出版局 京橋区鎗屋町十四番地見光新聞社内 II 16

17

城重源次郎 東京府平民 京橋区弓町十二番地 III 11 b

寝々堂本店 京都西京寺町御池下ル I 143 145 146 大坂心

斎橋北詰十五番地 I 147 147 b 148 148 b 同四番地 II

9 135 136 162 III 37 39 57 91 108 109 110 117 121 123 130 136 137 137 b 152 155

同八十六番邸 I 158 160 161 164 165 ☆ I 142 150 155 III 126 138

↓大淵濤・赤松市太郎・内藤久人

新聞会社 横浜 I 7 c

菅谷与吉(日吉堂) 神田区元岩井町三十七番地 I 66 II

75 神田区佐久間町一丁目九番地 I 154

杉本 要 大阪市東区南渡辺町四十三番地 II 90 b

杉本七百丸(幹香堂) 東京府平民 日本橋区室町三丁目六

番地 II 98 日本橋区大伝馬町二丁目 III 47

鈴木喜右衛門 東京府平民 日本橋区薬研堀町四十三番地

I 12

鈴木金次郎(金泉堂) 東京府平民 日本橋区元四日市町九

番地 I 103 108 III 78 156 169 日本橋区通一丁目一番地

II 67 III 62 75

鈴木金輔(三友舎、金楨堂) 京橋区本材木町三丁目二十六

番地 I 21 小石川区柳町二十二番地寄留 I 104

東京市京橋区南槇町十二番地 I 116

鈴木泰三(耕文社) 東京浅草西鳥越町三番地 I 92

須原屋茂兵衛 I 42 e

関謙三郎 平民 長野県北佐久郡西長倉村字追分 III 17

関田倉吉(盛春堂) 埼玉県平民 東京元富士町二番地住

III 61

績文舎 京橋区南鍋町二丁目十一番地 II 44 50

瀬山佐吉(順成堂) 浅草区黒船町十五番地 I 117

添島又作(八風堂) 大分県土族 大分県豊後国大分郡大分

町九百二十五番地寄留 III 36

存誠閣(浜島精三郎) I 7

た

泰山書房 神田美土代町四丁目五番地 III 132

太平洋書房 東京湯島三組町三十一番地 II 49 53 日本

- 橋区小伝馬町二丁目十二番地 II ⑤② 東京京橋区元  
 数奇屋町二丁目一番地 II ⑤③ b 東京京橋区木挽町  
 二丁目十二番地 II ⑤④
- 高橋栄二郎(紅葉精舎) 東京府士族 東京第八大区一小区  
 青山北町五丁目四番地 II ①④⑨
- 高橋源吾郎 東京麴町区内幸町二丁目一番地 II ①⑤⑥  
 高橋種(鶴鳴堂) 東京府平民 浅草区新福井町五番地  
 III ①⑧ 日本橋区本石町一丁目二十六番地 III ①⑥④
- 高橋房治(九春堂) 宮城県平民 東京市麴町区有楽町二丁  
 目三番地寄留 III ①⑧③
- 高橋平三郎(精文堂) 大坂府平民 東京日本橋区村松町七  
 番地 III ③②④⑧④⑨
- 武川清吉 東京府平民 日本橋区本銀町二丁目十二番地  
 I ③⑧
- 武田伝右衛門(文永堂、大島屋) 東京府平民 京橋区弥左  
 工門町四番地 I ⑧④ 同十二番地 I ⑨⑨ 同十三  
 番地 I ⑥⑨⑧⑥⑧⑨ b ①⑨ c ①⑨ e ①⑨ ☆ I ⑥⑧⑧④⑧⑤⑧⑩ c
- 武田福蔵(博愛書院) 大阪東区南久太郎町四丁目四十番地  
 III ①⑥⑥
- 武部滝三郎 京橋区南紺屋町三番地 I ⑥③  
 龍野周一郎 大阪府東区大川町六十九番地止宿 II ⑧  
 田中正太郎 東京市日本橋区蛸壳町一丁目三番地寄留 III
- 田中太右衛門 大阪府南区安堂寺橋四丁目六十二番地 III  
 ①⑥⑥ ①②②
- 田中貞吉(巽々堂本店) 滋賀県士族 京都上京区第三十組  
 下本能寺前町三十六番戸寄留 I ①②①②②②③
- 田中治兵衛 京都市寺町通四条上ル III ①⑦⑧  
 田中福馬(高知社) 京都市芝区今入町二十四番地 II ①③ d  
 田中万助(光玉堂) 大坂府平民 大阪府東区高麗橋二丁目  
 二十三番地 III ①②③
- 壇上強平 広島県士族 広島県備後国沼隈郡浦崎村百七番  
 邸・当時京都府下京区第六組東側町三十七番戸寄留  
 II ①⑤
- 千葉茂三郎(共隆社) 東京々橋区南槇町七番地 I ①③①  
 京橋区銀坐二丁目六番地 I ①③①③②③③④③⑤③⑦ III ③④⑥⑤⑥⑧  
 ⑧⑥⑨⑩⑨③④①⑦①②③④①④①⑤③
- 丁卯堂 芝区露月町二十一番地 III ②③  
 丁字屋忠七 東京 I ⑥⑧  
 丁字屋善五郎 東京 I ⑥⑧
- 朝陽堂 京都市神田区神田錦町三丁目五番地 III ①⑧④  
 塚原房吉 日本橋区樽正町五番地 I ①②① b 日本橋区南  
 茅場三十九番地 I ①②①
- 辻岡文助(金松堂) 日本橋区横山町三丁目二番地 I ①⑩ b



⑩5

長島本店(盛化堂)〔中島為一郎〕 埼玉県北足立郡鴻巣宿

百十四番地 II ⑦⑦

長島恭三郎(文昌堂) 日本橋区大伝馬町二丁目二十二番地

II ⑦⑦ ⑨8

中島徳兵衛 大阪東区南久太郎町心齋橋筋 III ⑭4

中田清兵衛(中田書店) 富山県上新川郡富山東四十物町三

十五番地 II ⑦⑦

中根 淑(金港堂書籍会社) 東京市本郷区駒込曙町十六番

地 III ⑩0 b

中野雅司(今古堂) 長野県平民 日本橋区新和泉町一番地

寄留 I ⑥2

中村善兵衛 大阪府平民 南区心齋橋筋二丁目十三番地

I ⑮1

中村芳松(鐘美堂) 大阪市南区末吉橋通二丁目八十九番屋

敷 III ⑩8 ⑩9

名倉亀楠(昭文館) 大坂府士族 大坂南区清水町中橋筋南

へ入東南 III ⑭4

西村富次郎(自由閣、弘文館) 東京府平民 京橋区幸町七

番地高塚兼太郎同居 I ⑧3 II ⑧3 京橋区大鋸町

四番地 I ⑩7 II ⑦6 ⑮5 b 東京市京橋区南伝馬町

一丁目十四番地 I ⑩0 ⑩4 ⑩5 〔I ⑧3〕発兌自由閣の住所は

日本橋区本材木町一丁目〕

西村寅二郎(集文館) 東京京橋区中橋和泉町四番地 II ⑮5

c ⑮5 d

仁木政信(翠松堂) 静岡県士族 本所区松坂町二丁目八番

地 I ⑦⑦ ⑮5

日新社 東京府本郷区龍岡町五番地 III ⑥9

日報社 銀座町二丁目 I ⑨8 e

野口幾太郎(万里堂) 日本橋区呉服町十番地 II ⑦2

野口竹次郎 日本橋区本町一丁目十二番地 I ⑩6

野村銀次郎(闇花堂) 京橋区鎗屋町十四番地 II ⑥2 d

東京日本橋区通り三丁目八番地 III ⑦3

法木徳兵衛(漸進堂) 東京府平民 日本橋区元大坂町十一

番地 II ⑥3 III ④ ⑦

は

浜本伊三郎(明昇堂) 大阪府東区北久宝寺町四丁目三十五

番屋敷 II ⑩7 III ⑭2 ⑭3

早瀬 清(正札屋) 東京府平民 日本橋区通四丁目四番地

III ⑨2

林 市平 大阪府平民 府下北区中ノ島五丁目十七番地

I ⑭1

林 吉蔵(紅英堂、蔦屋) 京橋区南伝馬町一丁目二番地



町三丁目 I (33) ☆II (46) b  
細川清助 西京寺町三条上ル III (89)  
細川芳之助 東京々橋区銀坐三丁目一番地 III (89)

ま

前川源七郎(文栄堂) 大阪府平民 第一大区七小区北久宝  
寺町四丁目十八番地 I (119)  
前田ひさじ 平民 府下下谷区南稻荷町二十六番地 III (151)  
前川又三郎(梁江堂) 東京市京橋区中橋広小路六番地 II  
90 b  
牧 金之助 浅草区南元町十五番地 III (153)  
牧野吉兵衛 東京府平民 第二大区三小区芝宇田川町二十  
五番地 I (9)  
増田三郎 愛知県土族 京橋区南紺屋町二十七番地 II (4)  
増田繁蔵(三) 東京府平民 神田区神田五軒町十六番地  
II (153) 同町二十番地 II (153) b  
町田宗七(扶桑堂) 東京市日本橋区新右衛門町十番地 I  
20 (111) (112) (113)  
松井忠兵衛 東京府平民 芝区柴井町十六番地 III (13)  
松江堂 神田一ツ橋通一丁目五番地 I (125) II (48) (51)  
松田勝太郎(法木書屋) 東京日本橋区箱崎町二丁目十八番  
地 I (149)

松田周平(大成館) 東京市日本橋区大伝馬町二丁目二十三  
番地 II (12) b

松成伊三郎(松成堂) 東京京橋区南伝馬町三丁目九番地

III (21) 同六番地 III (25) (25) b 府下浅草区茅町二丁

目五番地 III (15)

松林重太郎 東京府平民 本所区本所千年町一番地 II (5)

松村九兵衛(文海堂) 大阪府平民 大坂南区心齋橋十五番

地 II (102) 大坂南区心齋橋筋二丁目四十三番地 II

(106) (143)

団々社 I (60)

漫遊会 小石川区指ヶ谷町七十三番地 I (64) (65) (66) b (105)

三浦兼助(其中堂) 愛知県平民 愛知県名古屋区門前町十

七番戸 II (154) c (155) (156) e

三浦定吉(擁万堂書店) 静岡県駿河国安倍郡静岡呉服町三

丁目十七番地 III (11)

三井新次郎(金桜堂) 日本橋区通四丁目四番地寄留 II (80)

日本橋区通三丁目十三番地 II (85)

水野幾太郎(栄泉堂) 東京府平民 東京麹町区飯田町二丁

目五十四番地 III (29) (70)

水野 幸 日本橋区通油町十八番地 III (62)

三嶽寛隆 東京京橋区元数寄屋町三丁目七番地 III (21)

箕浦勝人 東京芝区南佐久間町二丁目十四番地 II (33)

宮川保全(大日本図書株式会社) 東京市京橋区銀座一丁目

二十二番地 II 29

宮島儀三郎 日本橋区呉服町十八番地 II ①

宮田伊助(保永堂) 本所亀沢町 I 48

村岡栄助 高知市本町筋三十六番地 II 13

村形吉作(永昌堂) 東京府平民 東京府下日本橋区小網町

二丁目十二番地 III 79 81 98 102

村上真助 浅草北富坂町十三番地 II 53 62

村上奉一(文進社) 浅草小嶋町七十九番地 I 37

室谷鉄腸(宇田川翁喜寿記念会) I 166 b

名山閣 I 8 9

明治学舎 I 45 46 47 49 c

明文館 大阪市南区心斎橋北詰八十六番邸 I 162 ☆ I

164 165

目黒甚七 京橋区南伝馬町二丁目五番地 II 98

望月 誠(思誠堂、うやぎ屋、兎屋誠) 長野県士族 京橋

区南鍋町一丁目七番地 II 138 140 東京府平民・同

I 92 II 141 III 74

森小三郎(聚成堂) 東京府平民 浅草区茅町二丁目四番地

II 163 e

森 仙吉(鶴声社) 東京府平民 東京神田裏神保町八番地

I 49 d 51 66 128 日本橋区横山町二丁目十六番地 I

53 54 55 57 127 130 b 日本橋区橋町四丁目十一番地 I

154 III 24 43 b

森田鉄五郎 麴町区麴町八丁目八番地 I 119 e

師岡 国 埼玉県平民 京橋区新肴町十二番地寄留 III 13

間野秀俊 東京府平民 東京本郷区妻恋町二番地 II 132 133

丸谷新八(九春社) 東京々橋区竹川町十一番地 II 92 93

III 17

丸屋善七(丸善書籍店) 東京日本橋区通三丁目十四番地

II 20 22 24 33

丸山幸次郎 京橋区弓町十二番地 II 53 62

## や

安井兵助(文欽堂) 大阪府平民 東区南久太良町四丁目三

十三番地 III 105 113 149

安田官次郎 大阪市南区難波新地三番丁二百二十八番屋敷

III 166

安田保善社 東京市麴町区永楽町二丁目十番地 II 32 d

山内文三朗(栄泉社) 東京々橋区三十間堀二丁目一番地

I 14

山鹿福三郎 京都府平民 上京区第二十八組場之町 II 167

山崎清七(山静堂) 東京府平民 東京小伝馬町三丁目 I

27 29 29 b 日本橋小伝馬町三丁目十六番地 I 28 b

☆ I 24 25 28

山田又次郎 大坂府平民 大阪府西区土佐堀二丁目一番地

十二番戸 III 5

大和屋喜兵衛(宝集堂) I 41 42 c 中橋東中通下槇町 I 41

b

山中市兵衛(甘泉堂、和泉屋) 芝三島町 I 67

山中喜太郎 京橋区銀座四丁目三番地 II 17

山中八郎(集英堂) 栃木県平民 下野国下都賀郡乙女村

住・同国同郡栃木倭町二丁目寄留 II 163 163 d

山本金藏 東京府平民 東京深川区木場町八番地 II 133

山本常次郎(隆港堂) 東京府下浅草区浅草寿四十三番地

III 118

山本平吉 親父橋角 I 22 b

柳河(川)梅次郎 東京府平民 日本橋区本町二丁目十番地

III 87 103 119 163

柳原喜兵衛 大坂北久太郎町四丁目 III 84

吉岡平助 大阪府平民 大阪府下東区備后町四丁目三十七

番地 III 27

吉岡保道(聚星館) 岡山県士族 東京神田区淡路町一丁目

一番地 II 1 2 3

吉田伊太郎(大華堂) 大阪府西区京町堀通二丁目三十二番

地 III 131

吉田正太郎(秩山堂) 埼玉県平民 神田区小川町十番地

大塚祐英方止宿 I 50

吉野喜之助 東京府平民 芝区琴平町二パンチ I 16

横田兼太郎 東京府平民 神田五軒町二十番地 I 13 II

43 46 47 48 51 55

ら

両文社(東京絵入新聞発行所) 東京々橋区尾張町二丁目二

十番地 III 74

わ

若菜屋甚五郎 東京南伝馬丁三丁目 I 98 c

若林喜兵衛(玉養堂) 東京第一大区十四小区蛸壳町一丁目

五番地 II 140 日本橋区通三丁目 II 150

若林茂一郎 西京二条通富小路西へ入 III 189

和田静子(春陽堂) 東京市日本橋区通四丁目五番地 II 32

和田庄藏(文宝堂) 大阪府平民 東区南久太郎町四丁目三

十三番地 I 151 III 31

和田辰之助 東京市京橋区木挽町二丁目十三番地 I 19

和田篤太郎(春陽堂、香夢亭) 岐阜県平民 芝区新桜田町

十番地 I 100 東京市日本橋区通四丁目五番地 I

163 b II 18 74 77 b 77 c 77 e 77 f 78 c 79 84 b 87 109 116 126 182

III ③⑧ ④⑥ ⑧⑨ ⑨⑦ ①⑦⑨ 京橋区南伝馬町一丁目十四番地 II

⑩① ☆ III ⑤⑧

渡辺鎌三郎(迎春堂) 東京府平民 京橋区銀座二丁目十番

地 I ⑩①

和同開珍社 東京出雲町仮名新聞社中 I ⑩

# 書名索引

## あ

- 癸の嫩葉(前將軍絵物語)(菊亭静著) Ⅱ 61  
 赤穂の復讐(明治紀聞)(高瀬松吉編) Ⅱ 49  
 赤穂節義録(高島藍泉著) Ⅰ 120  
 安愚楽鍋(牛店雑談)(仮名垣魯文戯著) Ⅰ 2  
 朝日嶽の伝(鼯負角力)(條野伝平著) Ⅰ 106  
 未来之夢(町村制度)(唐端清太郎著) Ⅲ 138  
 飛鳥川(一読三嘆)(松木董宣著) Ⅲ 90  
 厚化粧万年島田(染崎延房作) Ⅰ 72  
 吾妻多びす(諷世嘲俗)(戸田欽堂戯作) Ⅱ 6  
 軋轢の原因(末広重恭著) Ⅱ 107  
 痘痕伝七郎(條野伝平著) Ⅰ 108  
 阿保多羅經(自由万歳偽党撲滅)(梅亭金鷲編) Ⅰ 52 b  
 天草軍記(実説双紙)(梅亭金鷲編) Ⅰ 55  
 荒磯割烹鯉魚腸(久保田彦作編) Ⅰ 97 b  
 あらしのなごり(末広重恭著) Ⅱ 120  
 荒海実一(須藤南翠著) Ⅱ 79  
 言逆論(当世)(清水卯三郎著) Ⅲ 6  
 居酒屋之娘(西村時彦著) Ⅲ 145  
 いさ子(織田純一郎訳) Ⅱ 162 b  
 夷嬢の誉(慨世義胆)(市川重吉著) Ⅲ 161  
 維新土佐勤王史(瑞山会編纂) Ⅱ 13 f  
 鶉の喙(條野伝平補綴) Ⅰ 107  
 板垣君近世紀聞(民権泰斗)(中島市平編) Ⅲ 11  
 板垣公の変報(自由の花岐阜の嵐)(宇和平輔編) Ⅲ 9  
 一新要文(雅俗)(高島藍泉著) Ⅰ 119 e  
 一睡夢(浮世警譚)(佐伯久作稿) Ⅲ 130  
 田舎紳士(改選余談)(須永金三郎作) Ⅲ 110  
 稲葉猴雪燈新話(仮名垣魯文戯述) Ⅰ 12  
 茨木阿瀧粉白糸(須藤南翠著述) Ⅱ 67  
 茨の花(條野伝平補綴) Ⅰ 100  
 今の誉黒旗軍記(谷口政徳編述) Ⅲ 52  
 色の革命(壮士の浮沈芸妓の苦楽)(渡辺義方著) Ⅲ 174  
 色吉原盛糸補襠(岡本起泉綴) Ⅰ 79  
 隠頭曾我物語(今古実録)(仮名垣魯文編輯) Ⅰ 14  
 隠君子(須藤南翠著) Ⅱ 77 b  
 印度征略史(末広重恭訳述) Ⅱ 100 b  
 上野戦争実記(天野八郎遺稿) Ⅰ 118 c  
 浮城物語(訂正新刊)(矢野文雄著) Ⅱ 31  
 浮城物語(報知異聞)(矢野文雄著) Ⅱ 26  
 d

- 浮世粹蕩夫(嬉笑珍話)(戸田欽堂戯著) Ⅱ ⑤
- 浮世態(後世)(高橋基一著) Ⅲ ④9
- 憂世の涕淚(一滴千金)(宮崎夢柳演義) Ⅱ ⑦ c
- 浮世之人情(松村春輔戯編) Ⅰ 93 b
- 薄月夜花廻昏(名妓実伝)(松村春輔戯著) Ⅰ 89 c
- 雨前の桜(政治小説)(末広重恭戯著) Ⅱ 109
- 雨中花(小説)(末広重恭共訳) Ⅱ 105 b
- 卯月之花(貞操美談)(高島藍泉編) Ⅰ 127
- うつし絵(社会現象)(須藤南翠著) Ⅱ 71
- 空蟬物語(佐藤蔵太郎著) Ⅲ 167
- 梅柳春雨譚(高島藍泉編次) Ⅰ 119 f
- 恨瀬戸恋神奈川(岡本起泉綴) Ⅰ 81 b
- 英京倫敦新誌(横瀬文彦口訳) Ⅱ 99
- 英国奇談(革命余波)(村松熊太郎著) Ⅲ 32
- 英雄之肝胆(五日紀変)(野田藤吉郎訳) Ⅱ 20
- 英智史略(各国)(関吉孝訳) Ⅰ 42 c
- 英米礼記(矢野文雄訳) Ⅱ 20
- 英雄之世路(革命余聞)(阿部秀吉訳) Ⅲ 43 c
- 埃及近世史(柴四朗著) Ⅱ 180
- 江戶小町(須藤南翠著) Ⅱ 83
- 江戶自慢男一疋(須藤南翠著) Ⅱ 78
- 江戶花俠客の長兵衛(高島藍泉著) Ⅰ 121
- 榎木淵(須藤南翠著) Ⅱ 90
- 烏帽子折(新編)(宇田川文海著) Ⅰ 165 b
- 繪本近世日本年契(須藤南翠編) Ⅱ 62 b
- 鴛鴦奇観(伊国情史)(近藤東之助訳) Ⅱ 57 d
- 艶才春話(月水奇遇)(佐藤蔵太郎著) Ⅲ 8
- 演説振(即席品物)(梅亭金鷲編) Ⅰ 65
- 閻魔大王判決録(高瀬巳之吉戯述) Ⅱ 42
- 大海原(政治小説)(末広重恭著) Ⅱ 126
- 大岡仁政録(政治小説)(杉浦熊吉編) Ⅲ 60
- 大岡名譽政談(政治小説)(石塚猪男三編) Ⅲ 50
- 欧州美談(婦女立志)(田島象二編) Ⅱ 152
- 大阪事件志士列伝(宮崎夢柳著) Ⅱ 8
- 大阪紳士(行幸奇事) Ⅱ 161
- 大鈍託新文鬼談(万亭応賀著) Ⅰ 28
- 欧米太平記(志士感激)(福井淳編) Ⅲ 82
- 岡山紀聞(筆野面影)(高島藍泉著) Ⅰ 129
- 茨廼上風(條野伝平著) Ⅰ 111
- 啞の旅行(末広重恭戯著) Ⅱ 113
- お鈴(宇田川文海稿) Ⅰ 162
- 阿玉ヶ池櫛月形(條野伝平作) Ⅰ 98
- 落葉のはき寄せ(時事小説)(末広重恭戯著) Ⅱ 109
- 落葉のはき寄せ(政治小説)(末広鉄腸戯著) Ⅱ 130
- 御伽話手遊八景(高島藍泉著) Ⅰ 130
- 音羽平五郎(俠客)(條野伝平著) Ⅰ 116
- 鬼念仏(太田貞次郎戯著) Ⅲ 151
- 鬼の平五郎(天保俠客)(條野伝平著) Ⅰ 117 b
- 於祓箱(必慄懲面)(万亭応賀著) Ⅰ 26 c
- 隴月夜(須藤南翠著) Ⅱ 78 c
- 隴月夜(志士宴会)(真木幹之助著) Ⅲ 115
- おもひきや(宇田川文海著) Ⅰ 159



- 議員の黑白(天外山人著) III 190  
 議員の電撃(水野正香著) III 182  
 議員の風味(国会料理)(斎藤仁平著) III 180  
 奇縁井出の下帯(宇田川文海校正) I 143  
 奇遇之幻燈(岩本吾一編次) III 75  
 奇遇之夢(才子佳人)(中村柳塙訳) III 38  
 b  
 菊種延命袋(久保田彦作著) I 96 b  
 菊浜風嘯高島(横浜奇文)(梅亭金鷲編) I 58  
 I 58  
 菊文様皿山奇談(三遊亭円朝作) I 98 c  
 鬼啾啾(虚無党実伝記)(宮崎夢柳著) II 7 d  
 喜寿記念(宇田川文海著) I 166 b  
 奇想春史(欧洲奇事)(織田純一郎訳) II 158 b  
 妖狐のお楽(七ふ志ぎ)(仮名垣魯文著) I 18  
 義勇の壮鬼(地獄奇聞)(成仏居士戯著) III 134  
 義勇兵(仏国史談)(宮崎夢柳著) II 10  
 胡瓜遣(河童相伝)(仮名垣魯文戯著) I 3  
 究理話(通俗)(仮名垣魯文翻案) I 6 b  
 究理和解(中神保訳) I 41 b  
 義烈回天百首(染崎延房編輯) I 71  
 教訓洗湯論(梅亭金鷲著) I 47  
 驕人必慄筐(万亭応賀) I 28 c  
 京童(諷誠)(坪内逍遙戯作) II 134  
 虚無党退治奇談(川島忠之助訳) III 11 c  
 金庫三代記(万亭応賀著) I 29  
 銀釵(宇田川文海著) I 159  
 近世欧洲事情(末広重恭編纂) II 104  
 近世奇談東洋才子伝(寺内章明戯編) III 160  
 近世紀聞(染崎延房輯) I 67  
 近世桜田紀聞(松村春輔編輯) I 65  
 近世社会主義評論(久松義典著) II 172  
 近世泰西美談(政治小説)(藤懸永治著) III 189  
 近代殉難事蹟(通俗)(菊亭静編述) II 56  
 金蘭花縁(既往未来)(匹田鋭吉戯著) III 94  
 空海(須藤南翠著) II 90 d  
 屑屋の籠(西村時彦著) III 44  
 国定忠二物語(実説双紙)(梅亭金鷲著) I 53  
 薰衣香(須藤南翠著) II 81  
 愚禿親鸞(須藤南翠著) II 90 c  
 熊本伝報録(鈴木幸三編輯) II 37  
 組立法(演説文章)(矢野文雄著) II 24  
 雲間月(宇田川文海校正) I 150  
 格蘭氏伝倭文賞(仮名垣魯文和解) I 10  
 c  
 慶応水滸伝(落花清風)(高島藍泉著) I 120 b  
 鯨海酔侯(坂崎斌著) II 13 d  
 経国美談(斎武名士)(矢野文雄纂訳) II 22  
 経国美談(通俗)(安田倉三著) III 79  
 経済未来記(内地雑居)(松永道一稿) III 46  
 繫思談(諷世嘲俗)(藤田茂吉佐訳) II 34  
 b  
 芸者の心得(酌子定妓)(仮名垣魯文著)

- 螢雪美談(才子佳人)(渡辺義方編) Ⅲ 19  
 契沖阿闍梨(宇田川文海著) Ⅰ 165 d  
 刑法附則註釈(織田純一郎註釈) Ⅱ 159 d  
 啓蒙修身学(久松義典纂輯) Ⅱ 163 e  
 逆鱗余聞(寓意小説)(村上昇平著) Ⅲ 101  
 今朝の春三ッ組盃(三遊亭円朝作) Ⅰ 98  
 d  
 月下問答(兎狸)(梅亭金鷲戲述) Ⅰ 46  
 月雪花(代議政談) Ⅱ 168  
 現今支那事情(仮名垣魯文鈔輯) Ⅰ 8 b  
 現今の政事社会(末広重恭著) Ⅱ 106  
 献金余聞天保紳士(大矢森之助戲著) Ⅲ  
 ⑥1  
 建白問答夢物語(奥村金次郎手記) Ⅲ 85  
 憲法発布大典賑(清水義郎編) Ⅲ 133  
 恋相場花王夜嵐(仮名垣魯文著) Ⅰ 10 e  
 慷慨書生之涙(挿画)(佐藤穆襲著) Ⅲ 128  
 昂駒之蹄(悲壯慘憺)(中村弼著) Ⅲ 54  
 孝子復讐実録(宇田川文海校正) Ⅰ 146  
 濠州クインスランド巡回報告(織田純一郎報) Ⅱ 162 d  
 巷説兎手柏(高島藍泉著) Ⅰ 119 c 136  
 巷説二葉松(勤王佐幕)(宇田川文海校正) Ⅰ 147  
 鴻雪録(末広重恭著) Ⅱ 112  
 好男児(奇気偉才)(花の家ぶどき著) Ⅲ 140  
 剛胆の少年(竹田左膳著) Ⅲ 81  
 剛胆之書生(角藤定憲著述) Ⅲ 131  
 剛胆ノ世渡(世界進歩)(香夢亭桜山著) Ⅲ 149  
 弘法新太(條野伝平稿) Ⅰ 112  
 候補者の夢(二十三年)(安西与四郎著) Ⅲ 160  
 口論会(旧弊開化)(総生寛著) Ⅲ 147  
 籠飼鶯(須藤南翠著) Ⅱ 76  
 黄金の花(末広重恭戲作) Ⅱ 118  
 黄金の花籠(丸山幸次郎編集) Ⅱ 62  
 黒貝夢物語(龍宮奇談)(仲田豊太郎述) Ⅲ 3  
 国勢論(織田純一郎著) Ⅱ 159 e  
 黒白染分僵(高島藍泉稿) Ⅰ 133  
 枯骨の扼腕(志賀祐五郎著) Ⅲ 122  
 国民大会議(国会組織)(植木枝盛著) Ⅲ 125  
 国民之演舌(自由政治)(岡三慶著) Ⅲ 104  
 国民の骸骨(鮮血淋漓)(久永廉三著) Ⅲ 106  
 国民の元氣(血涙万行)(谷口政徳纂訳補述) Ⅲ 78  
 国民の涙(政治小説)(久永廉三著) Ⅲ 80  
 獄裏ノ夢(三春落花)(河野広中著) Ⅲ 43  
 午睡之夢(軍書狂夫)(杉山藤次郎著) Ⅲ 33  
 狐政学(脇田房吉著) Ⅲ 105  
 子宝習字章(文明捷徑)(仮名垣魯文編) Ⅰ 7 d  
 蝴蝶紀談(上田秀成著) Ⅲ 11 b  
 国会胆潰(東瓢亭自選散人輯) Ⅲ 187  
 国会後の日本(政海艶話)(九岐晰著) Ⅱ 143  
 国会道中膝栗毛(二十三年)(名倉亀楠著) Ⅲ 31  
 国会之瑕瑾(仏国革命余波)(水谷由章訳) Ⅲ 99

- 国会の主意(通俗)(九岐晰著) II (141)
- 国会之燈籠(暁鐘一声)(久永廉三演著)
- III (108)
- 国会未来記(二十三年)(服部誠一著) II
- 94 国会夢物語(滑稽)(小柳津親雄著) II (38)
- 国会論(藤田茂吉著) II (33)
- 国憲綱領述義(久松義典著) II (71)
- 滑稽各国漫遊記(仮名垣魯文戯著) I (21)
- 滑稽議員(二十三年前)(総生寛編) III (139)
- 滑稽政談(口から出任せ)(中野了随著)
- III (77)
- 滑稽大演説(梅亭金鷲著) I (65)
- 滑稽討論会(梅亭金鷲著) I (64)
- 滑稽立志編(梅亭金鷲編次) I (60)
- 孤島の明月(征鴻帰燕)(柴の舎とぼそ著)
- III (129)
- 小供の心得(九岐晰著) II (38)
- 後日の東京(市区改正)(岡本純著) III (156)
- 転猫座敷の嗜(松村春輔戯稿) I (89)
- 昆太利物語(福地源一郎・塚原靖訳) III
- 102 b
- 渾沌世界(桑原蚕造著) III (184)
- こんなもの(各覧会三号結局)(万亭応賀著) I (34)
- 権兵衛太郎兵衛孫兵衛三兵衛論(万亭応賀著) I (28) b
- at
- 最近国家社会主義(久松義典著) II (75)
- 西郷隆盛君生存記(贈正三位陸軍大将)(九岐晰著) II (144) b
- 西国烈女伝(田島象二抄訳) II (152)
- 才女伝(悲憤壮烈)(伊東武彦著訳) III (184)
- b
- 裁判紀事(田島象二編纂) II (146) b
- 済民偉業録(藤田茂吉著) II (35)
- 済民之華(才子佳人)(横矢松千代著)
- III (120)
- 佐賀の夜嵐(江藤新平)(平尾貞一著) III
- 171 佐賀電信録(仮名垣魯文編輯) I (8)
- 坂本龍馬(小説)(坂崎斌原稿) II (13) e
- 桜田後日譚(菊亭静著述) II (59)
- 桜田血梁の雪(勤王実伝)(菊亭静著) II
- 53 桜の晩開(九岐晰戯著) II (139)
- 佐竹三九郎(條野伝平補綴) I (110)
- 薩長土(諷世寓意)(阿部千代松著) III (135)
- 薩長土肥(小林雄七郎著) III (159)
- 殺人犯(硝烟劔鋌)(須藤南翠著) II (73)
- 廓雀小稲の出来秋(條野伝平稿) I (101)
- 新街夜作楽(春宵閑話)(宇田川文海校正)
- I (148) b
- 佐幕慨談(佐藤尚友著) III (132)
- 五月雨日記(西南追討)(佐藤蔵太郎著)
- III (36)
- 小夜時雨(貞烈美談)(高島藍泉著) I (134)
- 沢村田之助曙草紙(岡本起泉綴) I (77)
- 三政党穴探(新説)(小柳津親雄著) II (41)
- 三則教の捷径(仮名垣魯文述) I (7) b
- 三人令嬢(條野伝平著) I (109) b
- 三府膝栗毛(昇平鞍腹)(松村春輔戯作)
- I (91)
- 思案橋暁天奇聞(岡本起泉編輯) I (81)
- 試金石(須藤南翠著) II (82)

- 地獄極楽一週記(文明開化)(大久保常吉著) III ⑦
- 志士淑女之想海(辻治之助著) III ⑨⑦
- 獅々論(馬鹿馬鹿)(梅亭金鷲戲著) I ⑥④
- 時勢走馬燈(菊地信太郎著) III ④①
- 士族の商業(宇田川文海著) I ①⑥①
- 七偏人(妙竹林話)(梅亭金鷲編次) I ⑥③
- 失策又失策(末広重恭著) II ①②①
- 実事新話(二十年間)(松村春輔編) I ⑨⑤
- 実録小芝の山風(宇田川文海校正) I ①④⑦
- b
- 支那未来記(服部誠一著) II ⑨⑥
- 時弊論(通俗)(織田純一郎著) II ①⑤①
- 島田一郎梅雨日記(岡本起泉綴) I ⑦④ c
- ⑧③
- 社会学問答(久松義典著) II ①⑦⑦
- 社会仮粧舞(百鬼夜行)(三木貞一戲著) III ⑥⑥
- 社会研究新論(久松義典著) II ①⑦③
- 社会主義全集(矢野文雄講話) II ②⑨ c
- 社会乃余憤はらし(原田種生著) III ⑦④
- 自由艶舌女文章(小室信介稿) II ①⑥
- 自由鏡(小林雄七郎著) III ①②⑦
- 宗教競進会(菊亭静編述) II ⑤⑦
- 十九世紀の暗礁(政海浮燈)(久永廉三著述) III ①①⑦
- 修身千代見草(万亭応賀著) I ③①
- 自由新話(絵入人情)(渡辺義方著) III ①③
- 繡像奇談(勸懲)(服部誠一纂評) II ⑨②
- 自由燈(見光主義)(中野了随著) III ①⑧
- 自由の凱歌(仏蘭西革命記)(宮崎夢柳意訳) II ⑦ b ⑩ b
- 自由の金花(仏国女傑如安美伝)(朝倉禾積編) III ②③
- 自由の征矢(白露革命外伝)(井上勤訳) III ②① b
- 自由太刀余波鋭鋒(該撒奇談)(坪内逍遙訳) II ①③② c
- 自由の錦袍(阿国民造)(桜田百衛著) III ①⑤
- 自由の華(政治小説)(坂下亀太郎著) III ①②④
- 自由の松(積雪不撓)(川島利太郎著) III ①⑧①
- 自由の夜譚(福島奇聞)(峯輪勝編) III ①⑥
- 秋暮嘆(裁判小説)(岡野碩著) III ⑧⑨
- 周遊雜記(矢野文雄著) II ②⑥
- 修禪寺温泉名所記(万亭応賀録) I ③⑤ b
- 春花秋月(研学叢書)(柴四朗述) II ①⑧① b
- 春鶯囀(関直彦訳述) III ①⑧ c
- 春色江戸紫(條野伝平補綴) I ①⑧①
- 春色黄金花(高島藍泉戲編) I ①③⑦
- 春色花曆(梅亭金鷲著) I ⑤①
- 春色娘節用(梅亭金鷲編次) I ⑥②
- 春色日本魂(須藤南翠著) II ⑥③
- 春窓綺話(泰西活劇)(服部誠一纂述) II ⑨③ b
- 春風情話(橋頭三訳) II ①③②
- 情海波瀾(民権演義)(戸田欽堂著) II ③
- 小学読本(新撰)(久松義典編纂) II ①⑥③ c
- 蒸気車鉄道之由来(梅亭金鷲編) I ④⑨ b
- 小人国兎見録(政治小説)(鳥尾岩太郎訳) III ⑨① b
- 小人世界(九岐晰著) II ①④④
- 小説文語錦繡(田島象二著) II ①⑤① d
- 正札附玉河晒布(須藤南翠著) II ⑥④

- 条約改正(政治小説)(塚原靖著) III 166  
 殖民偉蹟(久松義典著) II 176  
 諸芸畑水練(万亭応賀著) I 30  
 諸国温泉遊覽記(万亭応賀著) I 37 b  
 書生肝粒誌(滑稽新話)(菊亭静著) II 46  
 書生之肺肝(根岸道戯述) III 111  
 書林之庫(一大奇書)(田島象二戯述) II  
 ⑭④ 白菊(宇田川文海著) I 164  
 新亜細亜(二十世紀)(服部誠一著) II 97  
 蜃気楼(社会進歩)(山川霍吉拔萃、宇田川文海作か) III 27  
 人權新説駁論(矢野文雄著) II 21  
 新社会(矢野文雄著) II 29  
 新社会(通俗)(矢野文雄著) II 29 b  
 新制兎美断語(万亭応賀戯述) I 24  
 真誠の政治家(安田倉三著) III 79  
 新粧之佳人(一顰一笑)(須藤南翠著) II  
 ⑥⑨ 深窓の月光(鴻雁一声)(松木董宣著) III  
 ⑨③ 深窓之月(蘇国美談)(條野乙次郎著) III  
 身代の番人(九岐晰著) II 144  
 新帝国策(北村三郎著) III 45  
 蜃中楼(女子参政)(広津柳浪稿) III 165  
 新杜鵑(紅雪散人戯稿) III 158  
 新日本の佳人(桜井鎌造編) III 114  
 新日本の商人(内村義城著) III 91  
 新日本の娘艶舌(政党紀念)(久永廉三著) III 126  
 真如之月(鹿目丑彦著) III 55  
 新波瀾(日本政海)(佐々木龍著) III 154  
 新編月雪花(梅の家かをる著) III 175  
 新編三枝物語(宇田川文海校閲) I 151  
 新編黄昏日記(小宮山桂介稿) II 185  
 新編破魔弓(須藤南翠著) II 77 d  
 新編大和錦(勤王為経民権為緯)(壇上強平編輯) II 15  
 新編淀の車(宇田川文海校正) I 144  
 新磨妹と背かゞみ(坪内逍遙戯著) II 132  
 新約全書評駁(田島象二訳評) II 147  
 人類攻撃禽獸国会(田島象二戯著) II 154  
 隨筆雜纂(西遊漫記想起録)(矢野文雄著) II 27  
 雌黃鸚(須藤南翠著) II 70  
 姿の夜桜(英国革命)(高安亀次郎纂訳) III 83  
 汝所好(宇田川文海著) I 155  
 芒の一と叢(宮崎夢柳著) II 9  
 政海之過去(鉄腸叢書)(末広重恭著) II 129  
 政海廼写真(才子佳人)(石橋三造編著) III 127  
 政海の情波(三英双美)(渡辺治訳) III 25  
 政海の波(憲法講談)(唐端清太郎著) III 152  
 政海之破裂(夢幻現象)(井口元一郎著) III 142  
 政事家社会(織田純一郎著) II 162  
 政事家の狼狽(現今壯士)(南雲源之助著) III 84  
 政治難易論(織田純一郎著) II 160  
 政事の世の中(禰子も积氏も)(岡三慶著)

- 聖人肝漬志(賢愚新文)(万亭応賀著) I  
 ② b  
 政談むすめ演説(久永廉三戯著) III ⑦③  
 政痴学(自由酒義)(安井常次郎著) III ①③  
 誠忠義伝(従一位大勲位岩倉具視公)(芝  
 定四郎編纂) II ⑥② c  
 西哲叢談(梅亭金鷲編輯) I ④④  
 青天霹靂史(島本仲道著) III ⑤⑨  
 政党情話(英国奇聞)(八木半治訳) III ⑨⑦  
 b  
 生徒通(学校)(田島象二著) II ①⑤② c  
 西南拾遺(宇田川文海編輯) I ①③⑨  
 西南鎮静録(仮名垣魯文編輯) I ⑨  
 青年の進路(佐藤良之助著) III ④①  
 青年之友(同窓美談)(宇田川文海著) I  
 ①⑤②  
 清仏船栗毛(滑稽笑談)(伊東専三・川上  
 鼠文戯作) III ②①  
 西洋言行録(矢野文雄纂輯) II ①⑨  
 西洋見聞図解(梅亭金鷲編集) I ④② b  
 西洋新書(梅亭金鷲編輯) I ④①  
 西洋道中膝栗毛(万国航海)(仮名垣魯文  
 戯著) I ①  
 西洋都路(首書絵入)(仮名垣魯文著) I  
 ⑥  
 西洋落語(英和对訳)(牛山良助訳述) II  
 ①⑧④  
 西洋料理通(仮名垣魯文編) I ⑤  
 世路日記(惨風悲雨)(佐藤蔵太郎著) III  
 ②①  
 青楼半化通(万亭応賀著) I ②⑨ b  
 世界一大奇聞(一読一驚)(中沢順三編輯)  
 II ②⑥ c  
 世界共和美談(酒巻貞一郎著) III ①⑥③  
 世界乗合船(総生寛著) III ②  
 世界未来記(社会進化)(蔭山広忠訳) III  
 ⑤② b  
 説教心得艸(梅亭金鷲編輯) I ④②  
 雪中梅(政治小説)(末広重恭著) II ①①②  
 b  
 雪中松(宇田川文海著) I ①④④  
 雪裏の佳人(立志奇縁)(八重の屋主人著)  
 III ①①⑦  
 舌冷集(詩情)(田島象二選輯) II ①⑤② b  
 惹穂氏論理学(戸田欽堂訳) II ①  
 世路の残月(惨風悲雨)(末広鉄腸稿案)  
 II ①③①  
 撰拳人後日の夢(悲憤慷慨)(久永廉三著)  
 III ①⑦⑧  
 汗血千里駒(坂崎斌原稿) II ①①  
 戦後の日本(政治小説)(末広重恭著) II  
 ①②⑦ ①②⑧  
 船中演説会(運輸会社)(小柳津親雄著)  
 II ⑤①  
 千里風煙(政事上之放逐人)(鈴木力訳)  
 II ①①⑦ b  
 壮士の運動(明治社会)(内村義城稿) III  
 ①①⑦ b  
 壮士の夢(山崎勇之助著) III ③⑧  
 造船字士(宇田川文海著) I ①⑥⑤  
 想夫恋(ポッカス翁十日物語)(佐野尚訳)  
 II ⑤⑦ c  
 走馬燈(社会真影)(岡本純著) III ①④④  
 雙鸞春話(牛山良助訳) II ①②② d  
 総理大臣(政治小説)(志賀祐五郎著) III

137

壯烈譚林(読史偶評)(久松義典纂訳) II

167

続いろは文庫(正史実伝)(高島藍泉著)

I 124

素読究理双紙(梅亭金鷲著) I 42 d

染分衣(政治小説)(作者不詳) III 190 b

尊攘紀聞筑波夢(菊亭静著) II 54

た

第一の佳人(條野伝平稿) I 114 b

大全文用文姫鏡(貴女至宝)(田島象二編纂) II 154 b

大同団結之理由(国民急務)(末広重恭演述) II 110

第二十世紀(世界進歩)(服部誠一訳述) II 93 d

第二帝国議會ノ一大要件(末広重恭演説) II 119

大日本帝国の行末(久永廉三演者) III 104

大日本民権史(鮮血忠魂)(久永廉三著) III 96

台湾外記(染崎延房輯) I 70

高峰の荒鷲(勤王済民)(宮崎夢柳編述) II 7

高野長英論迷物語(加藤栄編輯) III 24

高橋阿伝夜刃譚(仮名垣魯文著) I 10 b

15

蛸入道魚説教(大洋新語)(仮名垣魯文著) I 7

他山之石(北越遺聞)(坂崎斌稿) II 12

玉手函(末広重恭戯著) II 117

玉帚(須藤南翠著) II 86 b

断蓬奇縁(慨世史談)(小宮山桂介訳) II 185 c

断腸花(欧洲佳劇)(宇田川文海訳) I 151

b

断腸之余滴(成等常照著) III 39

智恵秤(分限正札)(万亭応賀著) I 26

治外法憲(政治小説)(末広政憲著) II 108

稚児桜(教育小説)(服部誠一著) II 96

治罪法註釈(織田純一郎註釈) II 139 c

治罪法手続(現行実際)(松永源七著) II 139 b

知識初歩(梅亭金鷲著) I 49 c

癡人之夢(春曉攪眠)(須藤南翠戯著) II 68

街の噂(内地雑居)(飯塚栄太郎著) III 40

中原の鹿(政治小説)(宇田川文海著) I 153

153

網繆瑣談(朝夷六郎著) III 53

昼夜帯加茂川染(高島藍泉編輯) I 125

朝鮮事情(染崎延房編次) I 68

蝶鳥筑波裙模様(高島藍泉著) I 128

千代田刃傷(昔語)(松亭鶴仙編) I 52 II 75

75

縮屋新助物語(実説双紙)(梅亭金鷲編述) I 57

I 57

椿説打岸浪(宇田川文海校正) I 142

珍談雑煮餅(竹亭緑著述) II 45

対模様萩の尾花(高島藍泉作) I 135

月雲両面鏡(毒婦ハ於延節婦ハ音羽)(條野伝平編訳) I 105 c

I 105 c

筑波水滸伝(菊亭静著述) II 55

燕の山ぶみ(大倭仮名)(田島象二訳述) II 154 b

II 154 b

- 妻の嘆(政治小説)(井上勤訳) III 60 b  
 出鱈目の記(矢野文雄著) II 30  
 哲学大意(田島象二著) II 154 c  
 鉄腸遺稿(末広重恭著) II 131 c  
 鉄腸文集(時文大観第三卷) II 131 b  
 鉄道ばなし(小説合作)(高島藍泉編) I  
 119 起泉綴) I 74 b  
 鉄道未来記(時事小説)(西河通徹・吉本  
 義秋合著) III 180  
 鉄烈奇談(経世指針)(伊沢信三郎訳) III  
 19 b  
 照鏡(坂崎斌著) II 12  
 哲爾自由譚(山田郁治訳述) III 11 e  
 照日葵(慨世悲歌)(須藤南翠著) II 74  
 天下茶屋讐討(実説双紙)(梅亭金鷲編次)  
 I 54  
 天狗討論会(滑稽)(小柳津親雄編) II 39  
 天上大珍事(従論証拠)(万亭応賀著) I  
 27  
 電信技手(報国美談)(宇田川文海著) I  
 160  
 天誅組管之旗竿(須藤南翠著) II 65  
 天網市虎狩(万亭応賀著) I 32  
 電話の詐偽(高等探偵)(九岐晰著) II 145  
 b  
 東亜之大勢(末広重恭著) II 121  
 東京妓情(田島象二戲著) II 153  
 東京奇聞(其名も高橋毒婦の小伝)(岡本  
 起泉綴) I 74 b  
 東京新繁昌記(服部誠一著) II 91  
 東京西洋床(明治余沢)(松村春輔戲編)  
 I 88 b  
 東京花毛拔(万亭応賀著) I 33  
 東京娘風俗(松村春輔編) I 93  
 童女早学文(万亭応賀著) I 36  
 どーする(諷諭放言)(田島象二戲著) II  
 150  
 当世芸者歌舞伎(尾張の山三出雲のお国  
 (仮名垣魯文原著) I 13  
 当世書生氣質(一読三歎)(坪内逍遙戲著)  
 II 132  
 当世息子(須藤南翠著) II 86  
 当世娘性質(四文字舎半笑著) III 22  
 当世利口女(万亭応賀著) I 25  
 党派軋轢(一筆庵主人著) III 160  
 童蒙心得草(梅亭金鷲編集) I 42 e  
 東洋開化之魁(独立美談)(小樽由太郎著)  
 III 86  
 東洋社会党(社会小説)(久松義典著) II  
 174  
 東洋自由の魁(正四位板垣公実伝)(野田  
 与三次編) III 10  
 東洋之佳人(柴四朗著) II 179  
 東洋之新天地(田鍋安之助著) III 51  
 東洋民権百家伝(小室信介編輯) II 14  
 羈縻之慷慨(哲学小説)(久永廉三著述)  
 III 121  
 土佐日記千曳磐(須藤南翠著) II 80  
 徳川回復嚙龍浪(雲井龍雄実伝)(秋亭実  
 著) II 52  
 徳川天下外記実伝(梅亭金鷲編) I 61  
 独立政党論(末広重恭演説) II 100  
 鳥追阿松海上新話(久保田彦作編輯) I  
 96  
 とりかへばや(條野伝平稿) I 105 b  
 飛田小学(私立)(万亭応賀著) I 40

## な

- 二十三年夢幻の鐘(政治小説)(内村義城著) III 57
- 錦之御旗(菊亭静著) II 58
- 賈金つかひ(坪内逍遙著) II 135
- 日清韓交渉録(織田純一郎著) II 162 c
- 日本国会論(通俗)(織田純一郎著) II 158
- c
- 日本将来之運命(内村義城稿) III 110
- 日本新世界(牛山良助著述) II 183
- 日本人民(独立自治)(得能正通著) III 137
- b
- 日本前途之意見書(岡三慶著) III 66
- 日本之将来(世界に於ける)(矢野文雄著) II 29 d
- 日本の刀光(英傑偉勳)(外村讓著) III 155
- 日本之花(二十世紀戦争予言)(井口元一郎稿) III 148
- 日本之未来(社会小説)(牛山良助著述) II 182
- 日本仏法史(標註増補)(田島象二撰) II 156 e
- 日本文体文字新論(矢野文雄著) II 25
- 日本民権真論(通俗)(織田純一郎著) II 150
- 日本民権精理(通俗)(織田純一郎著) II 157
- 任天居士漂流記(田島象二戲著) II 154
- ぬれぎぬ(須藤南翠著) II 87
- 無根草(警世奇案)(寺内章明戲著) III 154
- 寝やの月(政海情波)(高安亀次郎著) III 71
- 櫓の橘(北国奇談)(宇田川文海著) I 149
- 鋸山玉石異訓(仮名垣魯文原稿) I 11
- 残花憾葉桜(條野伝平著) I 104
- 野路の花(須藤南翠著) II 81
- 野路之村雨(政事小説)(中島端蔵戲著) III 104
- 金花胡蝶幻(仮名垣魯文原稿) I 10 d
- 浪華史略(染崎延房編輯) I 69
- 浪華之縹緖(近世慨士)(太田貞治郎著) III 69
- 何をか政党と云ふ(末広重恭演説) II 115
- 涙之谷(小宮山桂介著) II 186
- 浪枕江の島新語(久保田彦作綴) I 97
- 名広沢辺萍(渡辺義方著) III 1
- 南海狂瀾(久松義典訳補) II 170
- 南海千鳥の音信(梅亭金鷲著) I 49 d
- 南海之勤王(佐々木甲象著) II 13
- 南海の激浪(政治小説)(末広重恭著) II 127
- 南溟偉蹟(久松義典著) II 169
- 南山皇旗の魁(坂崎斌稿) II 11 b
- 南洋の大波瀾(末広重恭著) II 116
- 新瀉奇聞娘演説(為永栄二演説) III 28
- 二十三年後未来記(末広政憲著) II 105
- 二十三年未来記(小柳津親雄著) II 43
- 二十三年未来記(末広重恭著) II 101
- 二十三年夢幻の鐘(政治小説)(内村義城著) III 57
- 錦之御旗(菊亭静著) II 58
- 賈金つかひ(坪内逍遙著) II 135
- 日清韓交渉録(織田純一郎著) II 162 c
- 日本国会論(通俗)(織田純一郎著) II 158
- c
- 日本将来之運命(内村義城稿) III 110
- 日本新世界(牛山良助著述) II 183
- 日本人民(独立自治)(得能正通著) III 137
- b
- 日本前途之意見書(岡三慶著) III 66
- 日本之将来(世界に於ける)(矢野文雄著) II 29 d
- 日本の刀光(英傑偉勳)(外村讓著) III 155
- 日本之花(二十世紀戦争予言)(井口元一郎稿) III 148
- 日本之未来(社会小説)(牛山良助著述) II 182
- 日本仏法史(標註増補)(田島象二撰) II 156 e
- 日本文体文字新論(矢野文雄著) II 25
- 日本民権真論(通俗)(織田純一郎著) II 150
- 日本民権精理(通俗)(織田純一郎著) II 157
- 任天居士漂流記(田島象二戲著) II 154
- ぬれぎぬ(須藤南翠著) II 87
- 無根草(警世奇案)(寺内章明戲著) III 154
- 寝やの月(政海情波)(高安亀次郎著) III 71
- 櫓の橘(北国奇談)(宇田川文海著) I 149
- 鋸山玉石異訓(仮名垣魯文原稿) I 11
- 残花憾葉桜(條野伝平著) I 104
- 野路の花(須藤南翠著) II 81
- 野路之村雨(政事小説)(中島端蔵戲著) III 104
- は
- 梅花薫(政治波瀾)(賀古保五郎著) III 76
- 梅蕾余薫(政治小説)(牛山良助訳) II 182
- b
- 馬鹿の大妙薬(万亭応賀著) I 35
- 羽川六郎(日露戦争)(柴四朗著) II 181

- 白玉蘭(別名壯士)(山田美妙齋著) III 185  
 爆裂彈(雷吼電閃)(中野了隨著) III 98  
 破窓之風琴(政哲論談)(辻治之助著) III 58  
 白菖阿繁顛末(岡本起泉綴) I 75  
 花岡奇縁譚(東京に開き横浜に薫る)(岡本起泉綴) I 80  
 花兄誉片腕(高島藍泉著) I 131  
 花嫁(宇田川文海著) I 156  
 浜の松風(駿甲俠客)(梅亭金鷲編) I 66  
 林有造氏旧夢談(坂崎斌著) II 13 b  
 巴里斯新繁昌記(仏国)(織田純一郎訳) II 15 c  
 春風日記(落花清譚)(松村春輔戯著) I 98  
 春雨文庫(開明小説)(松村春輔編) I 86  
 春告鳥(文明花園)(服部誠一著) II 95  
 春廼曙(芳草花園)(夏目助太郎述) III 47  
 春廼雁可禰(松村春輔編輯) I 87  
 樊噲夢物語(杉浦重剛立案) III 26  
 万国史直訳(改正パリー氏)(牛山良助直訳) II 84 b  
 万国史略(久松義典編纂) II 163  
 万国百物語(梅亭金鷲編輯) I 48  
 万春楽(須藤南翠著) II 77 e  
 坂東彦三倭一流(岡本起泉綴) I 76  
 美少年録(立志鳳鑑)(菊亭静著) II 60  
 美人の刺客(政治小説)(野村莊之助著) III 183  
 常陸帯(須藤南翠著) II 84 b  
 吃驚叢談(油断大敵)(酒井忠誠著) III 17  
 独案内(東京漫遊)(梅亭金鷲編集) I 66  
 百難錦(法理小説)(西岡儀三郎著) III 70  
 百物語(條野伝平著) I 113  
 備後土産稲生夜話(奇説異聞)(梅亭金鷲編述) I 56  
 貧書生(雄偉活潑)(鈴木勇次郎著) III 164  
 貧福(宇田川文海著) I 160  
 風雨渡江(経国偉績)(江口高邦著) III 179  
 復古夢物語(松村春輔編輯) I 84  
 臥待月(須藤南翠著) II 77 f  
 伏見義民伝(天明騒動)(宇田川文海校正) I 144  
 二葉廼風(芳香余談)(梅亭金鷲編輯) I 43  
 仏教滅亡論(未来予言)(田島象二著) II 155  
 筆の命毛(岡山紀聞)(柳亭燕枝編輯) I 119 g  
 不必要(矢野文雄著) II 32  
 文之友(決闘奇談)(寺内章明著) III 133  
 文学狂(須藤南翠作) II 84  
 文明東漸史(藤田茂吉著) II 34  
 文明之花(女権美談)(杉山藤次郎編) III 64  
 文化の夢(永代惨話)(佐藤蔵太郎編) III 14  
 霹靂一声(高橋又太郎著) III 157  
 別天地(田島象二著) II 156 c  
 変窟蟻の世界(三枝保之著) III 176  
 辯談典型(泰西)(久松義典纂訳) II 165  
 保安条例後日の夢(岡本純著) III 95  
 鳳縁情誌(東洋奇談)(一宮猪吉郎著) III 5  
 芳園之嫩芽(政治小説)(松木董宣著) III

- 65 報国やまと魂(染崎延房編) I 73  
 抱腹奇談(明治新話)(小柳津親雄著) II  
 48 抱腹奇語(松村春輔纂訂) I 90  
 豊稔五穀祭(理解新文)(万亭応賀著) I  
 22 法然上人(須藤南翠著) II 90 e  
 房陽奇聞(民権嚆矢)(三尾重定編) III 162  
 北征録(末広重恭著) II 124  
 蜀魂雲井の一声(松村春輔著) I 94  
 誉の復讐(忠孝美談)(須藤南翠著) II 85  
 本朝俠客伝(田島象二編纂) II 153 b  
 ま  
 真実競(浅尾岩切)(梅亭金鷲編) I 51  
 真段郎蘭伝(仏国革命自由党魁)(門田平三訳) III 9 b  
 松のうち(坪内逍遙著) II 136  
 松廼落葉(前田夏繁・高島藍泉著) I 118  
 b 松之花娘庭訓(高島藍泉編) I 119 d  
 幻阿竹嶺廼聞書(岡本起泉綴) I 73  
 迷ひの夢(條野伝平補綴) I 104  
 万福天カラフル(東景歌枕)(万亭応賀著) I 39  
 三巴里之奇説(高島藍泉著) I 122  
 三津廼白浪(大汐異聞)(宇田川文海閱) I 141  
 密夫の奇獄(泰西情譜)(近藤東之助訳) II 57 e  
 水戸史談(故老実歴)(高瀬真卿述) II 61  
 b 翠松影(雪窓佳話)(安西権五郎著) III 63  
 みなし子(須藤南翠著) II 77 c  
 未見世の夢(寺内章明戲著) III 116  
 都の錦(吉田魁光編纂) III 143  
 深山桜(政治小説)(大久保常吉著) III 67  
 未来の面影(愛知岐阜)(鍵谷龍男著) III 72  
 72 未来之警鐘(政治小説)(前川虎造著) III  
 42 未来の都(岡本純著) III 154  
 未来の夢(内地雜居)(坪内逍遙著) II 133  
 民権膝栗毛(木田清三郎著) III 12  
 百足の歩(仮名垣魯文記) I 19  
 夢幻(小宮山桂介著) II 187  
 蓆箴群馬嘶(雜賀豊太郎著) III 25 d  
 娘浄瑠璃嶺大寄(岡本起泉編) I 82  
 夢想兵衛開明物語(明治二十三年)(石橋中和編) III 30  
 夢想兵衛蝴蝶物語(第二世)(服部誠一著) II 93  
 夢想兵衛魯國譚(九岐晰著) II 145  
 陸奥宗光(坂崎斌著) II 13 c  
 夢恋々(興亜綺談)(小室信介著) II 18  
 室之梅(寓意小説)(殿木三郎著) III 62  
 室の早咲(時事小説)(高橋達郎戲著) III 112  
 明治偉臣金玉音譜(田島象二編輯) II 149  
 d 明治英名伝(高瀬松吉著) II 50  
 明治奇談(一読一驚)(久永廉三編) III 38  
 明治十五年未来記(万亭応賀著) I 37  
 明治中興雲台図録(田島象二脩纂) II 149  
 明治中興憾旧編(田島象二著) II 150

- 明治中興凌煙図録(田島象二編) Ⅱ 149 b  
 明治の花(城南逸史著) Ⅲ 189  
 明治乗合船(時事新話)(小柳津親雄著) Ⅱ 47  
 明治文庫(短編小説) Ⅰ 169 c  
 明治名婦百首(貞操節義)(高島藍泉編輯) Ⅰ 126  
 明治四十年の日本(政事小説)(末広重恭著) Ⅱ 125  
 明治流行噓八百(滑稽新話)(高瀬真卿戯著) Ⅱ 44  
 明治烈女伝(通俗)(松村春輔編纂) Ⅰ 92  
 明治烈婦伝(貞操節義)(松村春輔著) Ⅰ 89 b  
 明良双葉草(万亭応賀作) Ⅰ 38  
 女夫鬚操競(名器の茶入名妓の古跡)(高島藍泉述) Ⅰ 132  
 罔両(須藤南翠著) Ⅱ 78 b  
 物之始教草(梅亭金鷲編輯) Ⅰ 45  
 楓時故郷の錦木(高島藍泉戯作) Ⅰ 121 c
- 訳書読法(矢野文雄著) Ⅱ 23  
 安田善次郎伝(矢野文雄撰) Ⅱ 32 d  
 耶穌一代辨妄記(田島象二編) Ⅱ 146  
 耶穌教意問答(田島象二著編) Ⅱ 146 c  
 矢野龍溪時事意見(金田一良三編纂) Ⅱ 29  
 薊黄鸚八幡不知(條野伝平作) Ⅰ 98 b  
 倭国字西洋文庫(仮名垣魯文作) Ⅰ 4  
 倭魂故郷廻錦(復讐奇譚)(梅亭金鷲編) Ⅰ 59  
 閨夜鴉(末広重恭記述) Ⅱ 114  
 結城台戦花鋏形(須藤南翠著) Ⅱ 62 d  
 優勝劣敗三人鑑(関寅造著) Ⅲ 177  
 遊清記(第一)(小室信介著) Ⅱ 17  
 雄辯大家集(改正刪補)(久松義典纂訳) Ⅱ 164  
 雄辯大家集(泰西)(久松義典訳述) Ⅱ 163 b  
 雪埋松(恐多くも新年御題をその儘に)(宇田川文海著) Ⅰ 154  
 行春(小説)(須藤南翠著) Ⅱ 89 b  
 夢廻暁(欧洲奇談)(條野伝平著) Ⅰ 105
- 夢廻手枕(浮萍断梗)(宇田川文海校正) Ⅰ 145  
 ゆるさぬ閑(須藤南翠著) Ⅱ 90 b  
 夜嵐阿衣花廻仇夢(岡本起泉綴) Ⅰ 74  
 横浜往来(仮名垣魯文編) Ⅰ 7 c  
 義経蝦夷軍記(仮名垣魯文編) Ⅰ 16  
 よもや草紙(加藤紫芳著) Ⅲ 172
- ら  
 龍溪閑話(矢野文雄著) Ⅱ 32 c  
 龍溪隨筆(矢野文雄著) Ⅱ 32 b  
 柳巷新史(東京)(服部誠一戯誌) Ⅱ 93 c  
 柳亭叢書(高島藍泉編輯) Ⅰ 121  
 流離奇談(佳人才子)(熊谷確資著) Ⅲ 29  
 両国橋奇聞(はつ卯みあげ)(九岐晰編) Ⅱ 142  
 良政府談(井上勤訳) Ⅲ 7 b  
 緑簑談(雨臆漫筆)(須藤南翠稿) Ⅱ 66  
 緑簑談(処世写真)(須藤南翠著) Ⅱ 72  
 烈士伝(近代悲憤)(飯田熊治郎編) Ⅲ 25 25 b  
 烈女之勲功(米政新話)(長井常著) Ⅲ 100

烈女之名譽(波斯新説)(矢野文雄訳) II 和談三才図笑(方亭応賀著) I 23

26 b 和洋合才袋(梅亭金鷲編輯) I 49

烈婦銘々伝(赤穂義士)(條野伝平編輯) 童謡甲斐の胆奪(仮名垣魯文著) I 20

I 99 腕力之權利(天賦固有)(中野了随著) III

蓮如上人(須藤南翠著) II 90 f

連理談(文学小説)(服部誠一纂述) II 94

b

羅馬国史(九岐晰訳述) II 97

羅馬盛衰鑑(沙吉比亜戯曲)(小宮山桂介

訳) II 95 b

郎蘭夫人の伝(泰西女丈夫伝の内)(坪内

逍遙訳) II 93 b

論事矩(戸田欽堂訳) II 1

魯帝弒逆記(大久保常吉編) III 4

魯敏遜漂流記(新訳)(牛山良助訳) II 92

c

龍動新繁昌記(英国)(織田純一郎訳) II

97 b

倫敦塔(悲風慘雨)(三木貞一訳) III 94 b

わ

我国之内政外交(末広重恭著) II 11